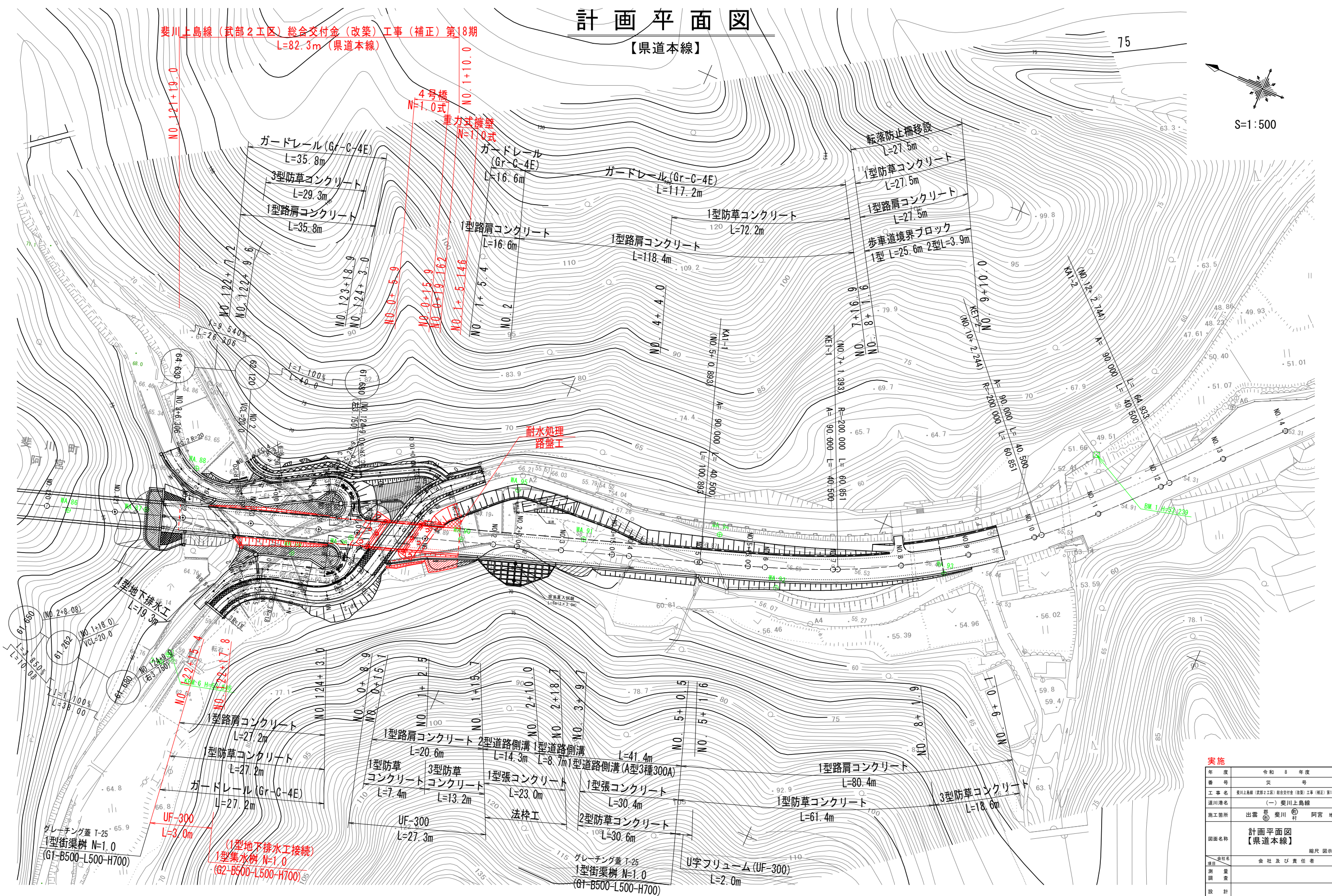
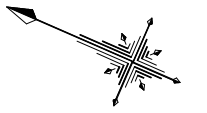


# 計画平面図

【県道本線】

斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第18期  
L=82.3m(県道本線)

S=1:500



実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第18期
通川地名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	計画平面図 【県道本線】
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【県道本線】 7葉の内 1	

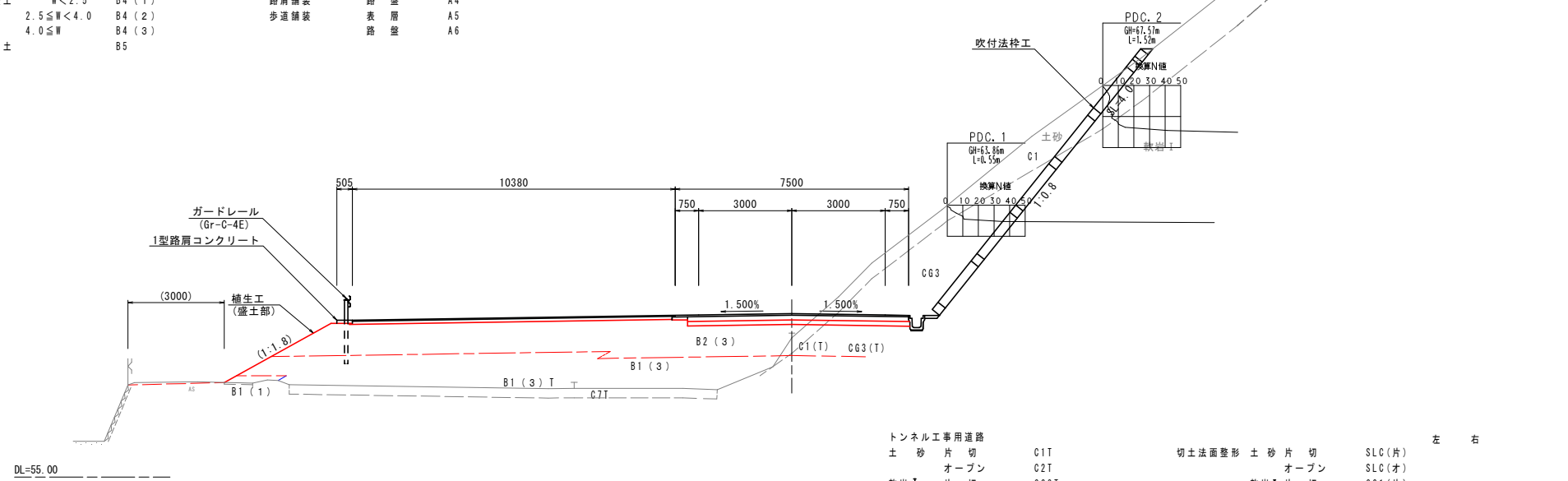


# 標準断面図

S=1:100

土砂	片切	C1	切土法面整形	土砂片切	SLC(片)
	オープン	C2		オープン	SLC(オ)
軟岩Ⅰ	片切	CG3	軟岩Ⅰ片切	CG1(片)	
	オープン	CG4		オープン	CG1(オ)
軟岩Ⅱ	片切	CG5	盛土法面整形	削り取り整形	BL1
	オープン	CG6			
路体盛土	W<2.5	B1(1)	法面保護工	種子吹付(ネット併用, 切土法面)	
	2.5≤W<4.0	B1(2)		コンクリート, モルタル	
	4.0≤W	B1(3)		種子吹付(盛土法面)	
路床盛土	W<2.5	B2(1)	舗装はぎとり		
	2.5≤W<4.0	B2(2)	表土はぎとり	C7	
	4.0≤W	B2(3)			
歩道盛土	W<2.5	B3(1)	車道舗装	表層	A1
	2.5≤W<4.0	B3(2)		上層路盤	A2
	4.0≤W	B3(3)		下層路盤	A3
路肩盛土	W<2.5	B4(1)	路肩舗装	路盤	A4
	2.5≤W<4.0	B4(2)	歩道舗装	表層	A5
	4.0≤W	B4(3)		路盤	A6
埋土		B5			

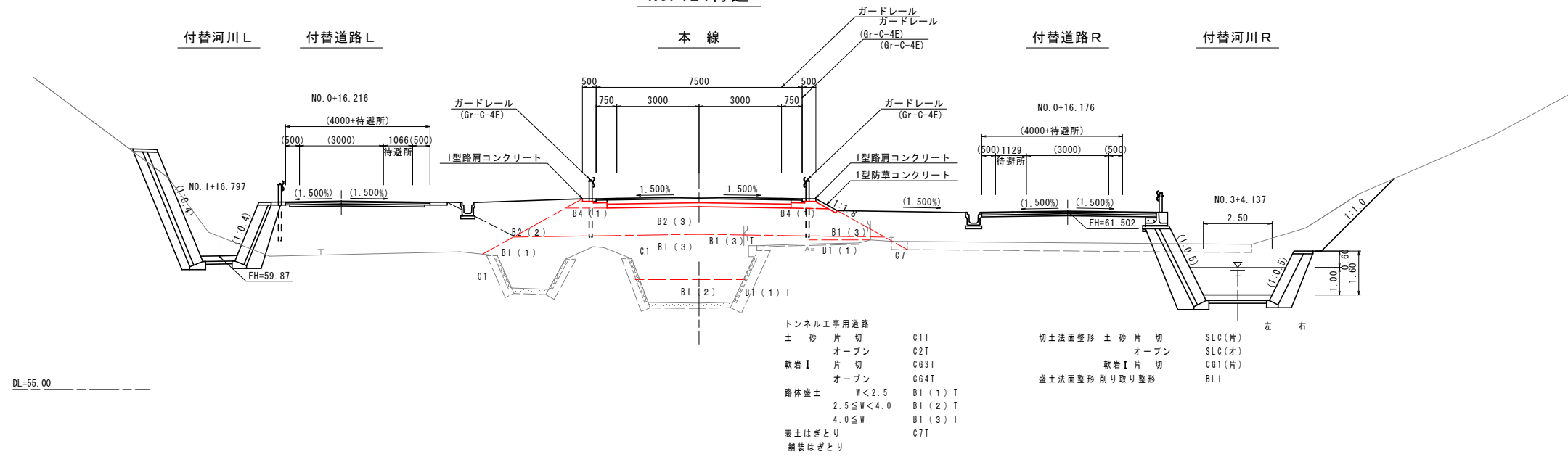
## NO. 2+7.0付近



トンネル工事用道路	土砂	片切	C1T	切土法面整形	土砂片切	SLC(片)
		オープン	C2T		オープン	SLC(オ)
	軟岩Ⅰ	片切	CG3T	軟岩Ⅰ片切	CG1(片)	
		オープン	CG4T		オープン	CG1(オ)
	路体盛土	W<2.5	B1(1)T	盛土法面整形	削り取り整形	BL1
		2.5≤W<4.0	B1(2)T			
		4.0≤W	B1(3)T			
	表土はぎとり		C7T			

土砂	片切	C1	切土法面整形	土砂片切	SLC(片)
	オープン	C2		オープン	SLC(オ)
軟岩Ⅰ	片切	CG3	軟岩Ⅰ片切	CG1(片)	
	オープン	CG4		オープン	CG1(オ)
軟岩Ⅱ	片切	CG5	盛土法面整形	削り取り整形	BL1
	オープン	CG6			
路体盛土	W<2.5	B1(1)	法面保護工	種子吹付(ネット併用, 切土法面)	
	2.5≤W<4.0	B1(2)		コンクリート, モルタル	
	4.0≤W	B1(3)		種子吹付(盛土法面)	
路床盛土	W<2.5	B2(1)	舗装はぎとり		
	2.5≤W<4.0	B2(2)	表土はぎとり	C7	
	4.0≤W	B2(3)			
歩道盛土	W<2.5	B3(1)	車道舗装	表層	A1
	2.5≤W<4.0	B3(2)		上層路盤	A2
	4.0≤W	B3(3)		下層路盤	A3
路肩盛土	W<2.5	B4(1)	路肩舗装	路盤	A4
	2.5≤W<4.0	B4(2)	歩道舗装	表層	A5
	4.0≤W	B4(3)		路盤	A6
埋土		B5			

## NO. 124付近

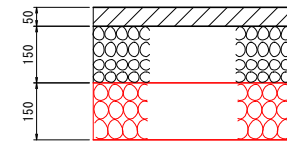


トンネル工事用道路	土砂	片切	C1T	切土法面整形	土砂片切	SLC(片)
		オープン	C2T		オープン	SLC(オ)
	軟岩Ⅰ	片切	CG3T	軟岩Ⅰ片切	CG1(片)	
		オープン	CG4T		オープン	CG1(オ)
	路体盛土	W<2.5	B1(1)T	盛土法面整形	削り取り整形	BL1
		2.5≤W<4.0	B1(2)T			
		4.0≤W	B1(3)T			
	表土はぎとり		C7T			

## 舗装構成

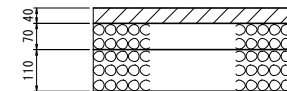
S=1:10

### 車道舗装



表層(密粒度20ギャップ) t=5cm  
 上層路盤(粒調砕石M-40) t=15cm  
 下層路盤(切込砕石RC-40) t=15cm  
 交通区分 N4交通  
 設計CBR 8%

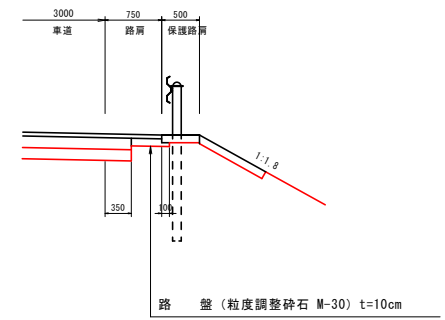
### 付替道路舗装



表層(密粒度13ステップ60/80) t=4cm  
 上層路盤(粒調砕石M-30) t=7cm  
 下層路盤(切込砕石RC-30) t=11cm  
 交通区分 N1交通  
 設計CBR 8%

## 路肩部詳細図

S=1:50



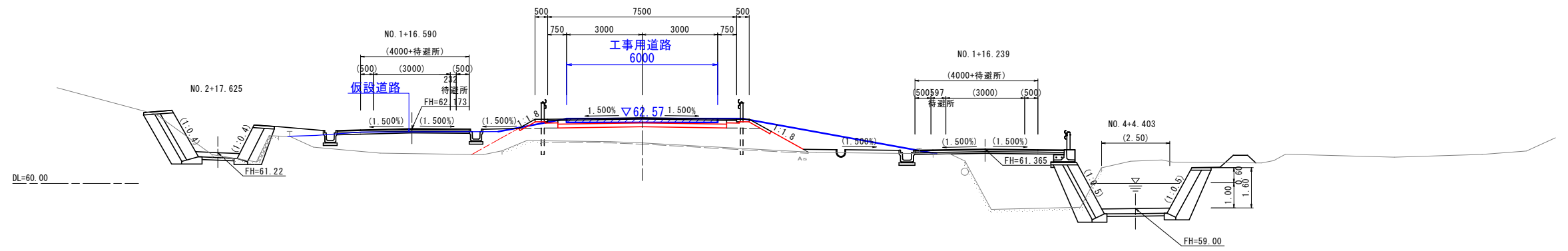
## 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線(奥川2工区)総合交付金(改善)工事(補正)第10種
運川港名	(一)奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	標準断面図
項目	会社名 会社及び責任者
調査	
設計	
	【県道本線】 7葉の内 3

※施工時の留意事項  
 ・工事に当たってはCBR試験を行い設計CBRを決定すること。  
 ・青線は、トンネル施工時の仮設計画である。

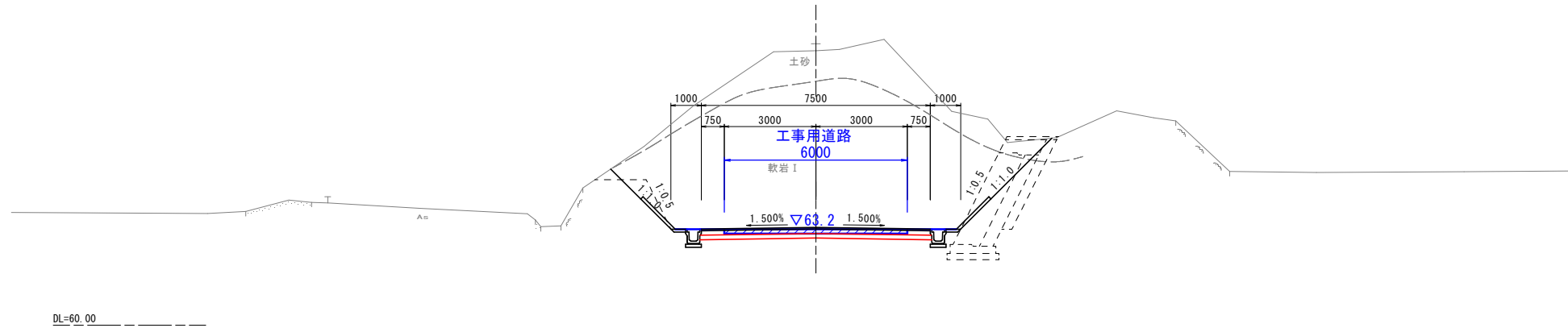
NO. 123

GH=61.61  
FH=62.606  
D=20.000



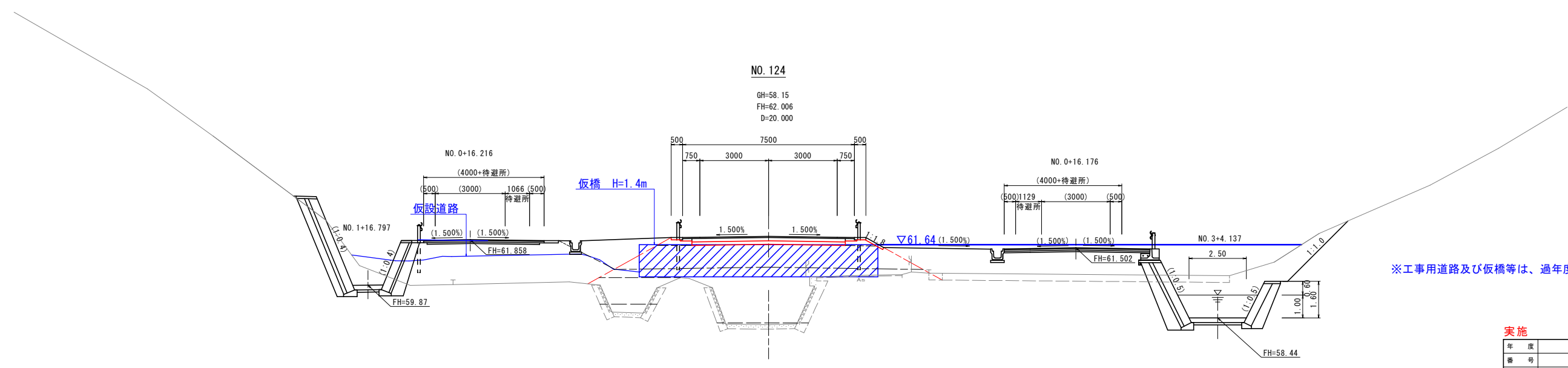
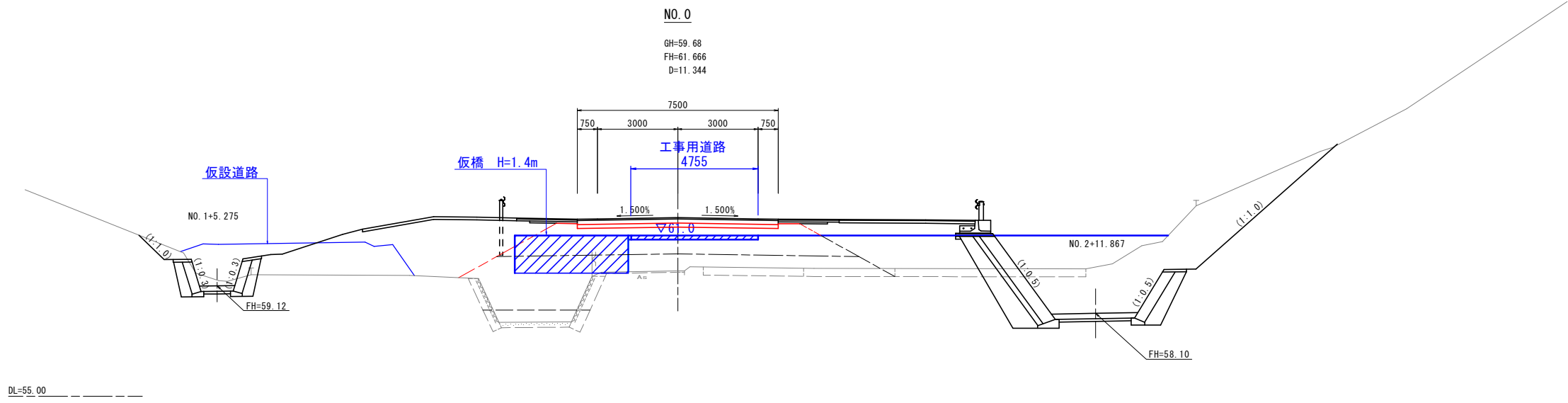
NO. 122

GH=69.00  
FH=63.206  
D=



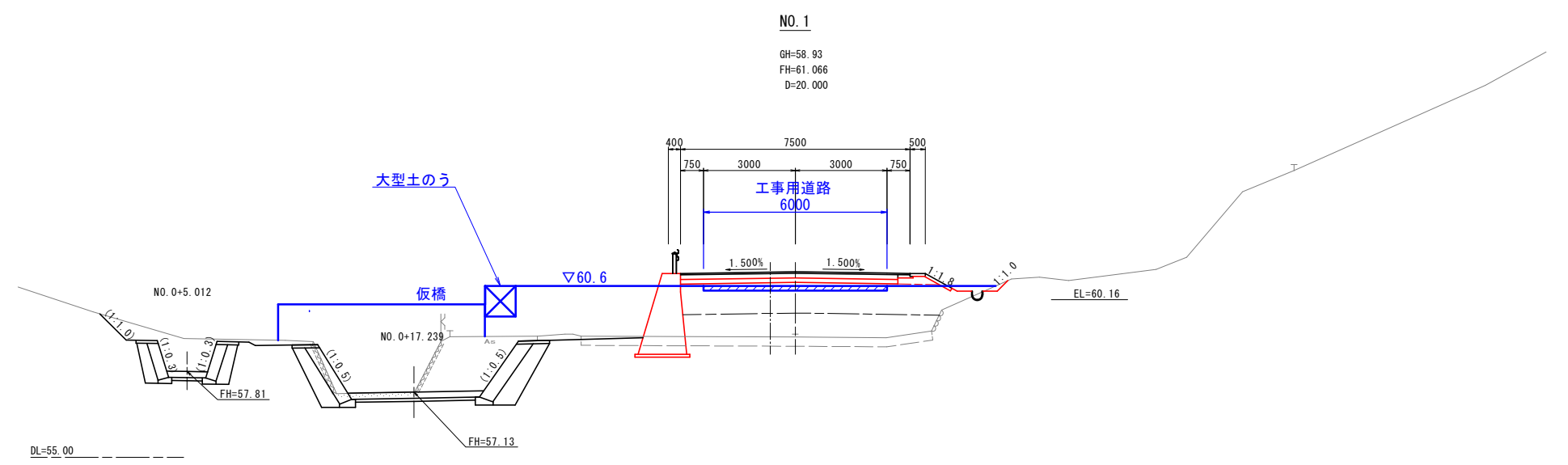
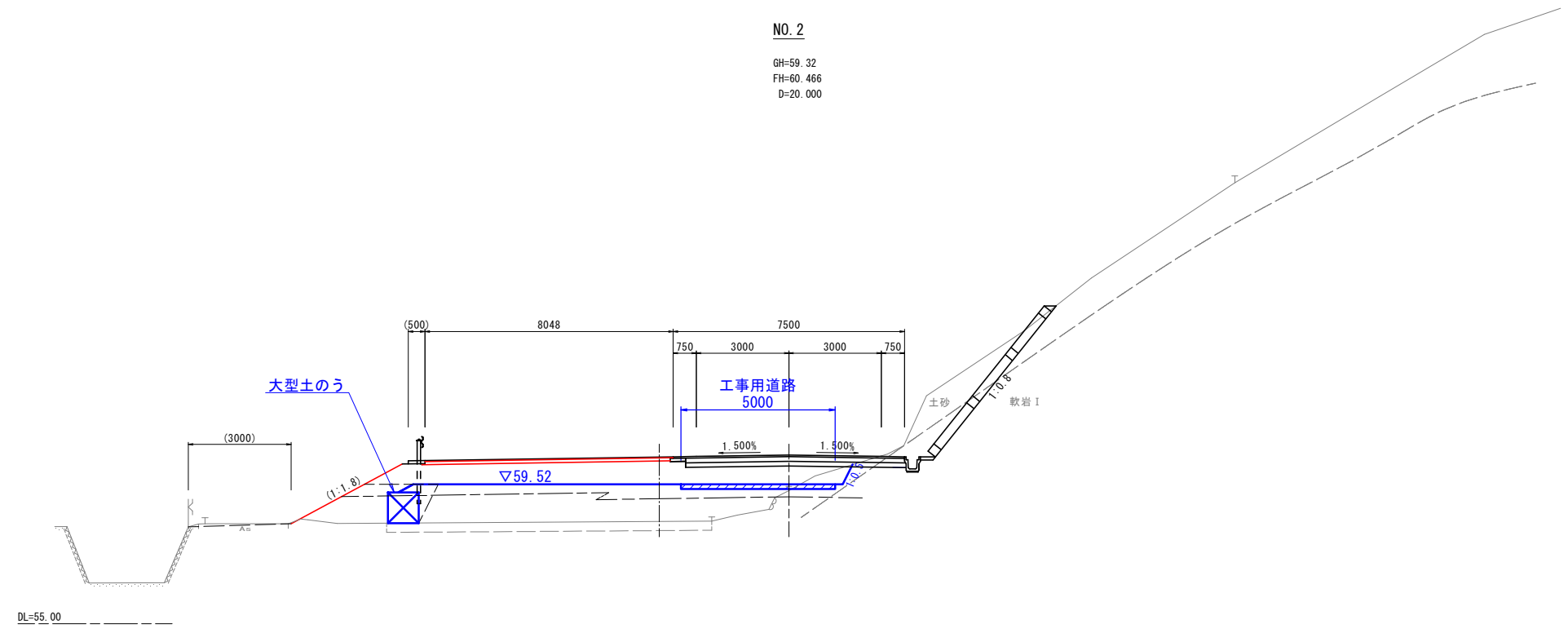
※工事用道路及び仮橋等は、過年度工事で施工済み。

実施		年度	
年度	令和 8 年度	年度	令和 8 年度
番号	災 号	年度	令和 8 年度
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第10期	年度	令和 8 年度
運川港名	(一) 斐川上島線	年度	令和 8 年度
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内	年度	令和 8 年度
図面名称	横断面図(1)		
項目	会社名 会社及び責任者		
測 量	会社及び責任者		
設 計	会社及び責任者		
	【県道本線】 7 葉の内 4		



※工事用道路及び仮橋等は、過年度工事で施工済み。

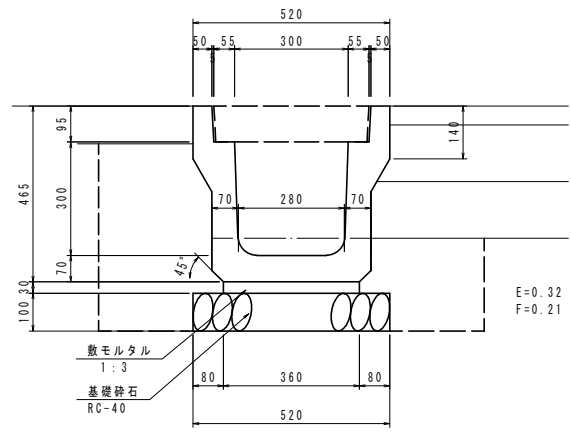
実施		県道本線 NO.124, NO.0
年度	令和 8 年度	
番号	災 号	
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種	
道川港名	(一) 斐川上島線	
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内	
図面名称	横断面図(2)	
項目	会社名 会社及び責任者	
測 量		
設 計		
【県道本線】 7葉の内 5		



※工事用道路及び仮橋等は、過年度工事で施工済み。

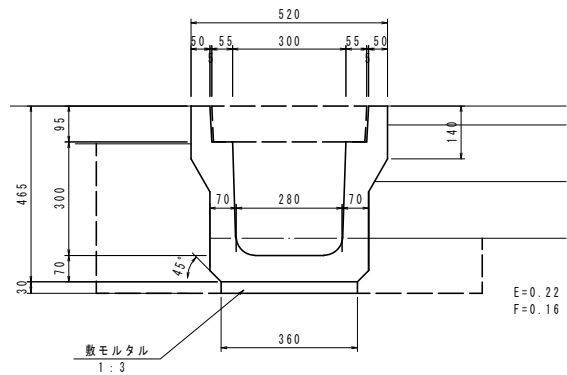
県道本線 NO. 1, NO. 2	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
道川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	横断面図 (3)
縮尺	縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
設計	
【県道本線】 7葉の内 6	

1型道路側溝  
A型3種300A S=1:10



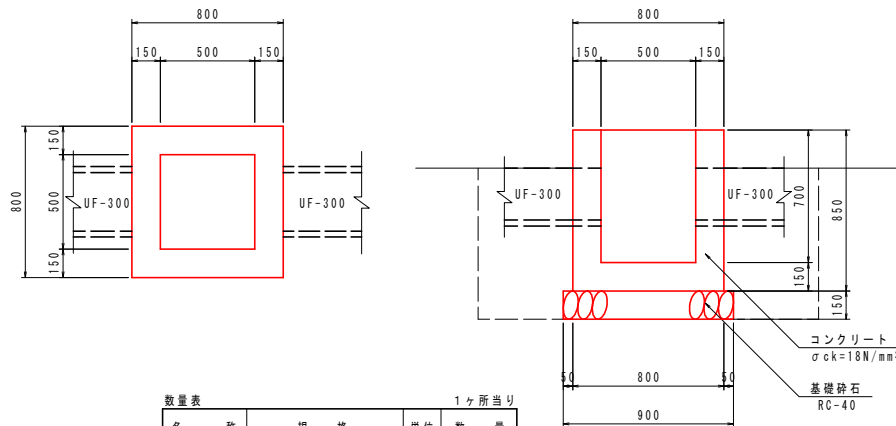
数量表 10m当り			
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	3.2
埋戻	W<1.0(種別D)	m <sup>3</sup>	2.1
基面整正	土砂	m <sup>2</sup>	5.2
敷モルタル	1:3 t=3cm	m <sup>2</sup>	0.108
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	5.20
側溝	A型3種300A	m	10.0

2型道路側溝  
A型3種300A(岩着) S=1:10



数量表 10m当り			
名称	規格	単位	数量
床掘	軟岩	m <sup>3</sup>	2.2
埋戻	W<1.0(種別D)	m <sup>3</sup>	1.6
基面整正	軟岩	m <sup>2</sup>	3.6
敷モルタル	1:3 t=3cm	m <sup>2</sup>	0.108
側溝	A型3種300A	m	10.0

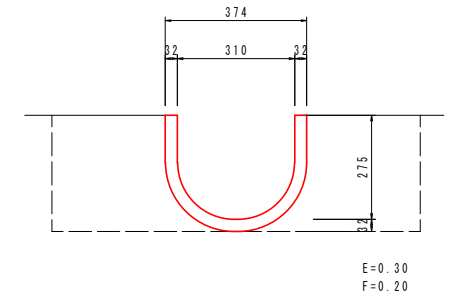
1型集水樹  
G2-B500-L500-H700 S=1:20



数量表 1ヶ所当り			
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	2.6
埋戻	W<1.0(種別D)	m <sup>3</sup>	2.1
基面整正		m <sup>2</sup>	0.8
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>2</sup>	0.369
型枠		m <sup>2</sup>	4.42
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	0.81

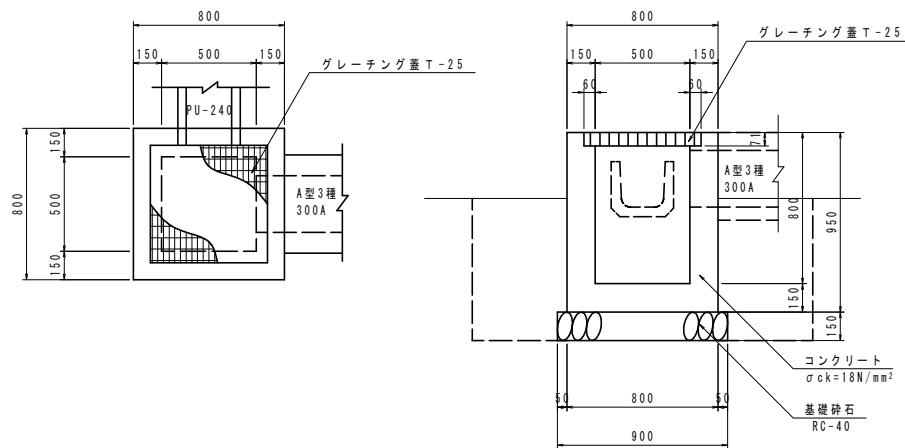
※施工済みの1型地下排水工の接続を行うこと。

U字フリューム  
UF-300 S=1:10



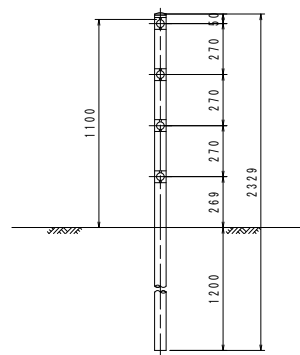
数量表 10m当り			
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	3.0
埋戻	W<1.0(種別D)	m <sup>2</sup>	2.0
基面整正		m <sup>2</sup>	2.0
U字フリューム	UF-300	m	10.0

1型街渠樹  
G1-B500-L500-H700 S=1:20



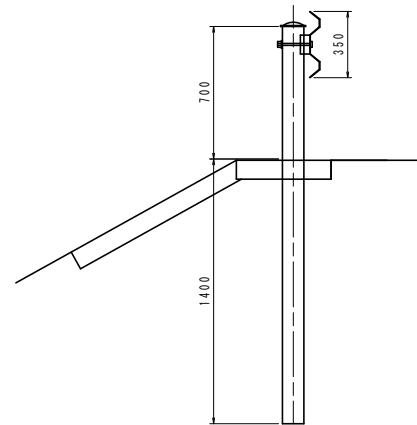
数量表 1ヶ所当り			
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	2.4
埋戻	W<1.0(種別D)	m <sup>3</sup>	1.9
基面整正		m <sup>2</sup>	0.8
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>2</sup>	0.392
型枠		m <sup>2</sup>	4.94
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	0.81
グレーチング	8500-L500用 T-25	枚	1.0

転落防止柵  
(P種4段掛 H=1100) S=1:20



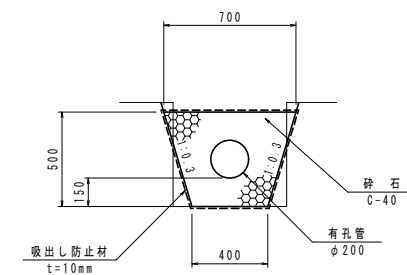
数量表 10m当り			
名称	規格	単位	数量
転落防止柵	P種4段掛(土中用)	m	10.0

ガードレール  
Gr-C-4E S=1:20



数量表 10m当り			
名称	規格	単位	数量
ガードレール	Gr-C-4E	m	10.0

1型地下排水工  
(φ200) S=1:20

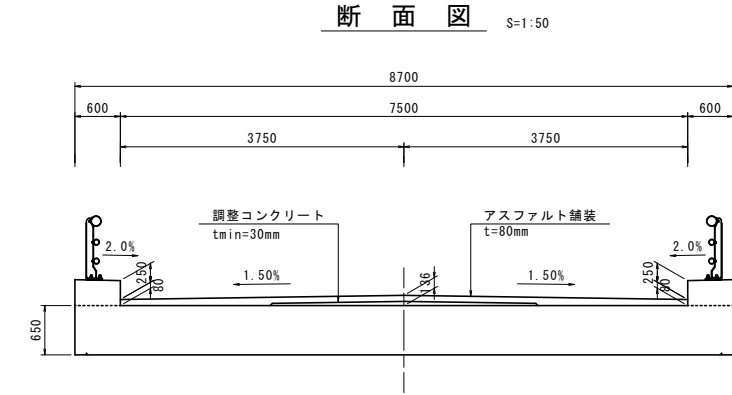
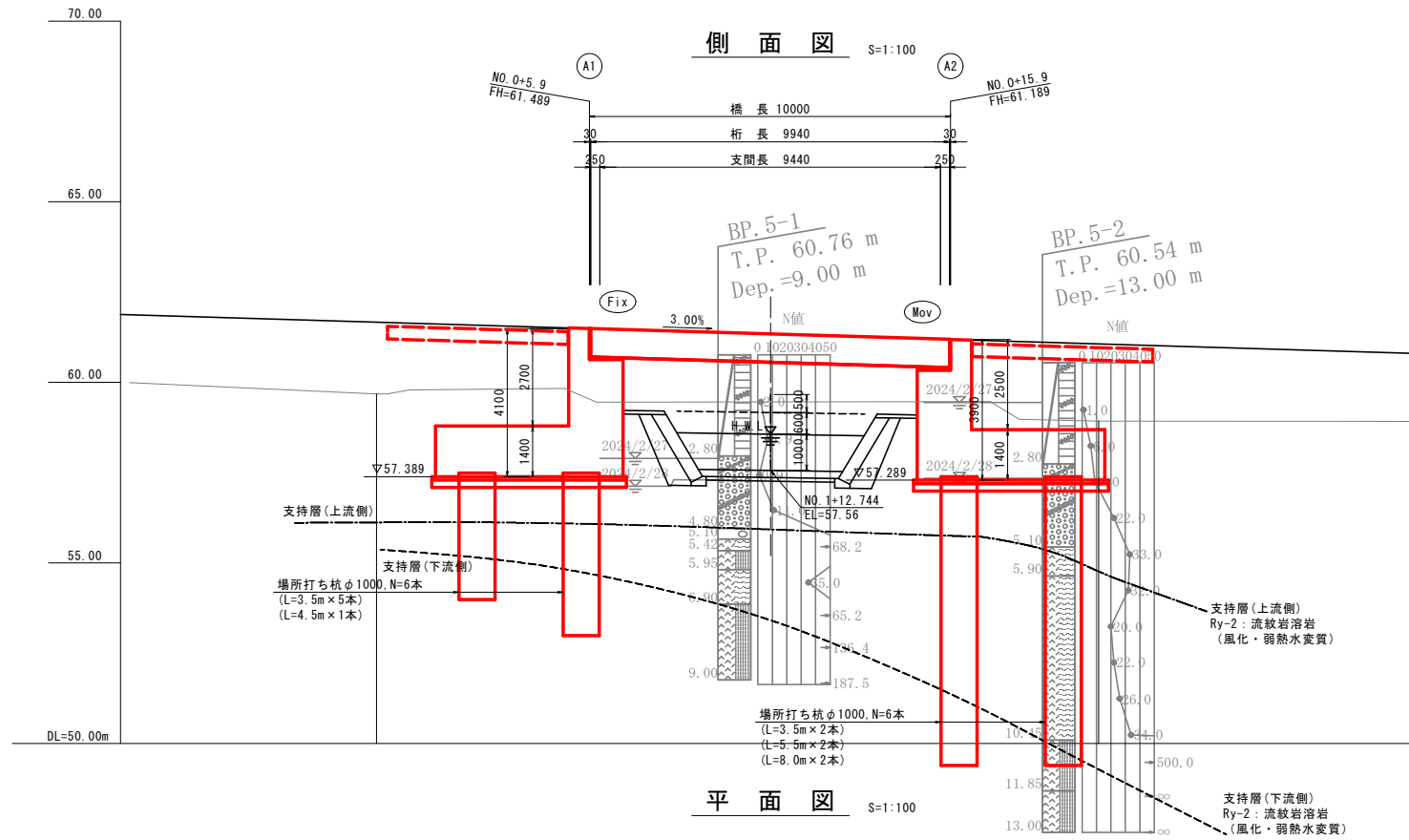


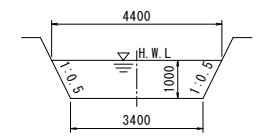
数量表 10m当り			
名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	4.0
砕石	C-40	m <sup>3</sup>	2.4
有孔管	φ200	m	10.0
吸出し防止材	t=10mm	m <sup>2</sup>	21.4

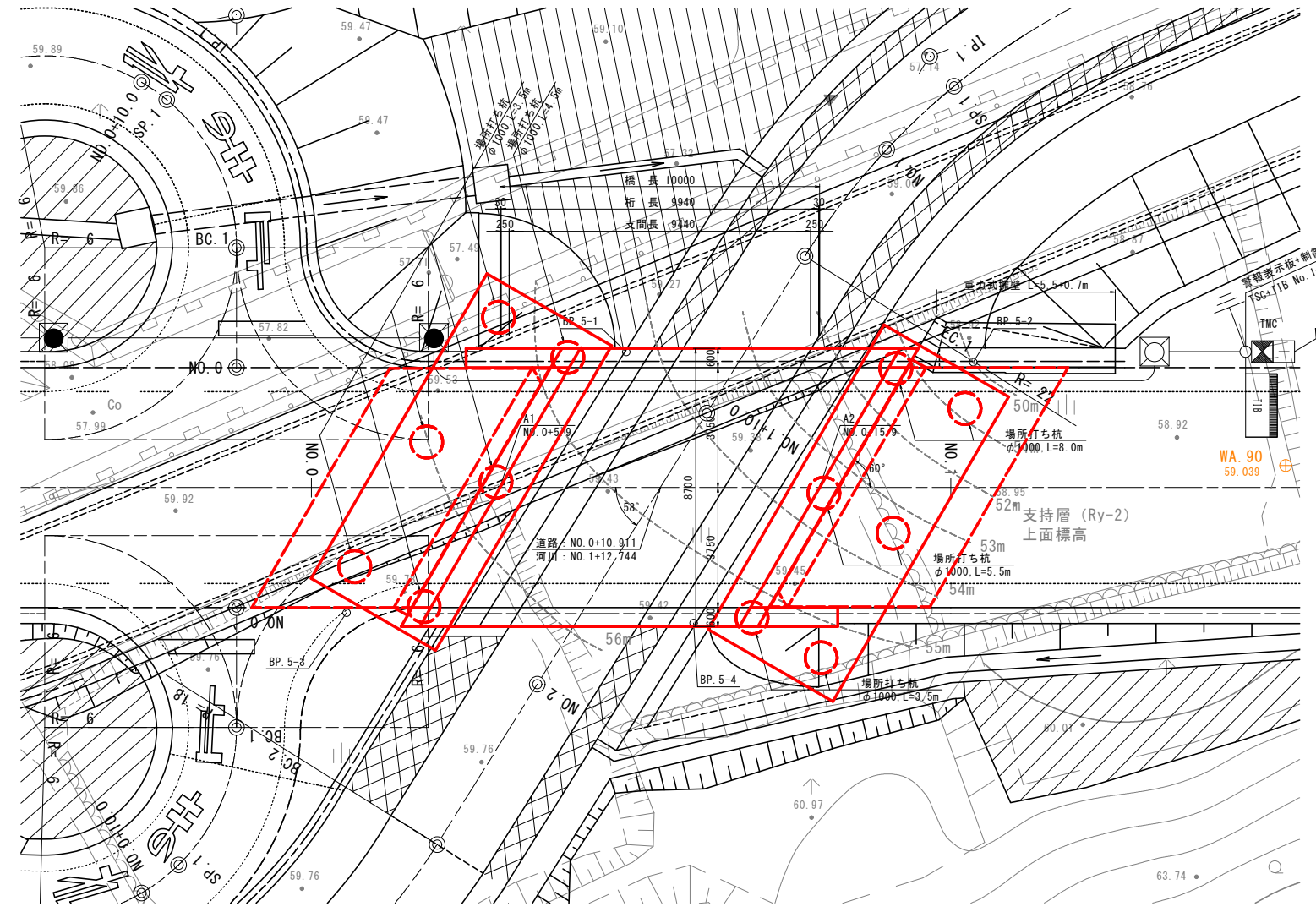
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	構造図(1)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	【県道本線】 7葉の内 7

# 橋梁一般図



設計条件		
橋名	武部4号橋 (仮称)	
路線名	一般県道斐川上鳥線	
河川名	普通河川畑谷川 (砂防指定地河川)	
道路規格	第3種第3級	
橋種	鉄筋コンクリート道路橋	
橋長	10.000m	
支間長	9.440m	
幅員	有効幅員	7.500m
	全幅	8.700m
設計速度	V=50km/h	
縦断勾配	3.00%	
横断勾配	1.50% (拌み勾配)	
斜角	左60°00'00"	
設計荷重	B活荷重	
橋の重要度区分	B種の橋	
雪荷重	1.0kN/m <sup>2</sup>	
添加荷重	0.2kN/m (下流側)	
支承タイプ	ゴム支承	
橋台背面土	( $\gamma=19kN/m^3$ , $\phi=30^\circ$ )	
形式	上部工	鉄筋コンクリート単純床版橋
	A1 橋台	逆T式橋台
	A2 橋台	逆T式橋台
	基礎工	杭基礎 (場所打ち杭)
桁下余裕	0.6+0.5m以上	
河川断面		
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (平成29年11月)	



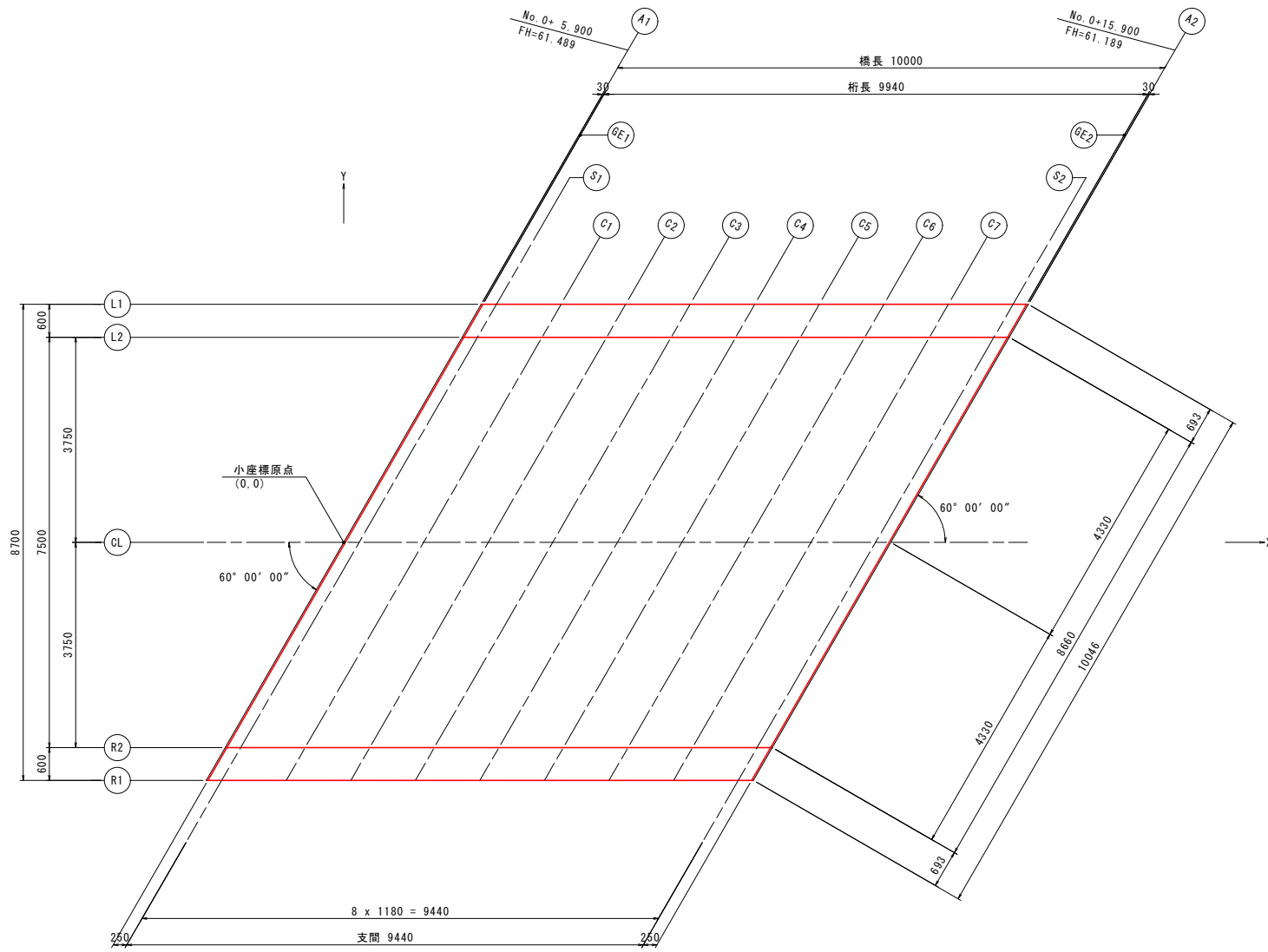
※施工留意事項  
以下の事項に留意し施工を行う必要がある。

- ・本計画の施工時には、一般車両及び斐川上鳥線施工の工事用車両が通行する。一般車両と工事用車両の通路を重複する計画のため、誘導員を配置する等、車両通行の安全を確保すること。
- ・本計画地の埋設物は、「埋蔵文化財：なし (出雲市文化財課)」 「上水道管：モルタル充填で廃止、損傷しても復旧不要 (斐川水道企業団)」 「下水道管：なし (出雲市上下水道局)」 となっており、施工に支障はない。
- ・本計画地の支持層は、熱水変質作用による風化のため、不陸していることが想定される。適切な支持層を確認し施工を行うこと。
- ・畑谷川の仮橋は、すべて撤去せず、一部を残置し、施工に活用することが望ましい。
- ・本計画地の右岸側下部工の施工は、畑谷川の切替後では機械資材の渡河が困難なため、畑谷川の護岸施工より前に行うことが望ましい。
- ・本橋の下流右岸側の護岸上の管理道は、下流の入口から橋梁まで100m以上、出入口がない。そのため本橋右岸側の道路平場で坂路を設けることが望ましい。
- ・本計画地の畑谷川上流部の落差工にて取水する配水管が存在するが、水は利用されていない。管理者に確認の上、撤去することが望ましい。

実施	
年度	令和 8 年度
番号	契 号
工事名	斐川上鳥線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上鳥線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	橋梁一般図
縮尺	縮尺 示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【 4号橋 】 38 葉の内 1	

# 線形図

平面図 S=1:60



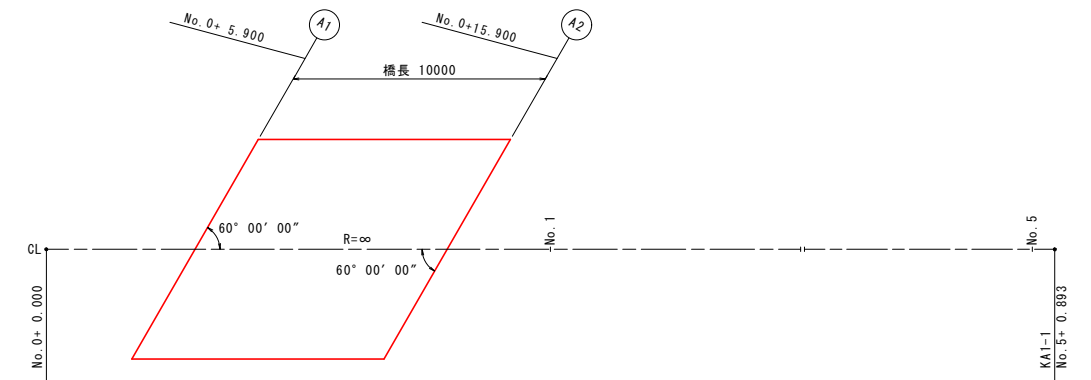
小座標の設定  
A1とCLの交点を小座標原点(0,0)とする。  
CLをX軸とし、X軸に対して直角方向をY軸とする。

## 座標値

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
L1	X	2.5115	2.5415	2.7915	3.9715	5.1515	6.3315	7.5115	8.6915	9.8715	11.0515	12.2315	12.4815	12.5115
	Y	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500	4.3500
	Z	61.6194	61.6185	61.6110	61.5756	61.5402	61.5048	61.4694	61.4340	61.3986	61.3632	61.3278	61.2924	61.2570
L2	X	2.1651	2.1951	2.4451	3.6251	4.8051	5.9851	7.1651	8.3451	9.5251	10.7051	11.8851	12.1351	12.1651
	Y	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500	3.7500
	Z	61.3678	61.3669	61.3594	61.3240	61.2886	61.2532	61.2178	61.1824	61.1470	61.1116	61.0762	61.0408	61.0054
CL	X	0.0000	0.0300	0.2800	1.4600	2.6400	3.8200	5.0000	6.1800	7.3600	8.5400	9.7200	9.9700	10.0000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	61.4890	61.4881	61.4806	61.4452	61.4098	61.3744	61.3390	61.3036	61.2682	61.2328	61.1974	61.1899	61.1890
R2	X	-2.1651	-2.1351	-1.8851	-0.7051	0.4749	1.6549	2.8349	4.0149	5.1949	6.3749	7.5549	7.8049	7.8349
	Y	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500	-3.7500
	Z	61.4977	61.4968	61.4893	61.4539	61.4185	61.3831	61.3477	61.3123	61.2769	61.2415	61.2061	61.1986	61.1977
R1	X	-2.5115	-2.4815	-2.2315	-1.0515	0.1285	1.3085	2.4885	3.6685	4.8485	6.0285	7.2085	7.4585	7.4885
	Y	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500	-4.3500
	Z	61.7701	61.7692	61.7617	61.7263	61.6909	61.6555	61.6201	61.5847	61.5493	61.5139	61.4785	61.4710	61.4701

線形要素

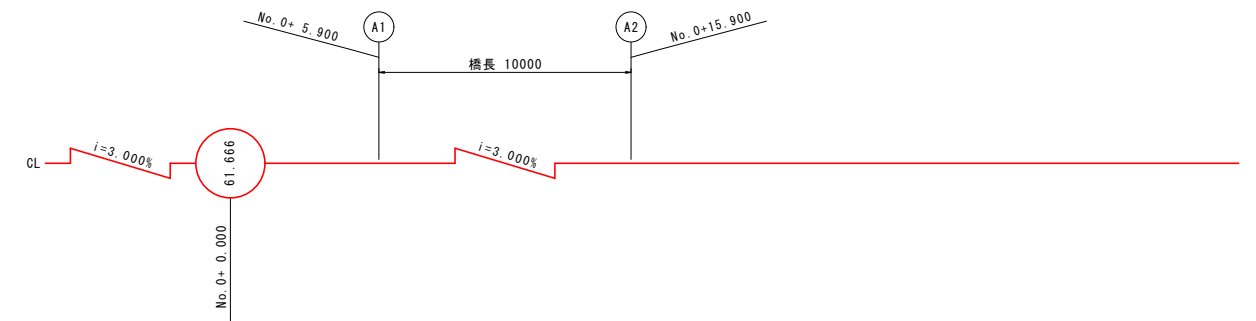
平面要素



CL主要点大座標

変化点	測点	X座標	Y座標	要素
No. 0	No. 0+ 0.000	-71259.573	61735.747	R=∞
KA1-1	No. 5+ 0.893	-71355.155	61768.051	R=∞

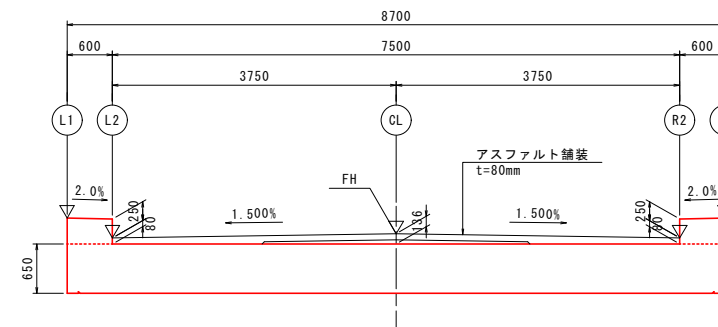
縦断要素



横断要素



断面図 S=1:50

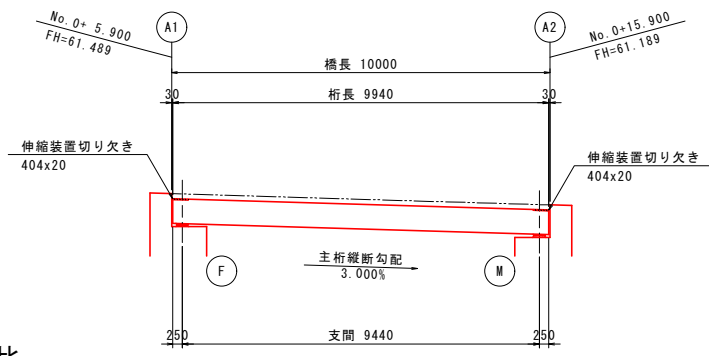


## 実施

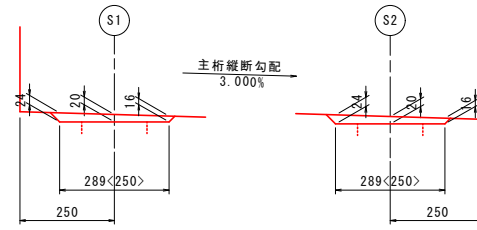
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
道川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	線形図
縮尺	縮尺 図示
設計者	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38葉の内 2

# 上部工構造一般図(その1)

側面図 S=1:100



レアー詳細図 S=1:10



注) < >内は直角方向の値を示す。

## 設計条件

構造形式	RC単床床板橋
橋長	10,000 m
桁長	9,940 m
支間	9,440 m
有効幅員	7,500 m
斜角	左60° 00' 00"
活荷重	B活荷重
雪荷重	1.0 kN/m <sup>2</sup>

## 材料強度及び制限値

種別	単位	主桁
設計基準強度	N/mm <sup>2</sup>	24
曲げ圧縮応力度制限値	N/mm <sup>2</sup>	8.00
耐力性能(永続作用支配状況)	N/mm <sup>2</sup>	8.00
耐力性能(疲労)調査時	N/mm <sup>2</sup>	8.00
平均せん断応力度の基本値	N/mm <sup>2</sup>	0.35
平均せん断応力度の最大値	N/mm <sup>2</sup>	3.20
種別	単位	SD345
降伏点応力度	N/mm <sup>2</sup>	345
引張応力度の最大値	N/mm <sup>2</sup>	210
耐力性能(疲労)	N/mm <sup>2</sup>	180
耐力性能(防食)	N/mm <sup>2</sup>	100
引張応力度の制限値	N/mm <sup>2</sup>	180
床版	N/mm <sup>2</sup>	120
耐力性能(疲労)	N/mm <sup>2</sup>	120

※ 地覆コンクリートの設計基準強度は  $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$

## 主桁据付勾配

$\theta = 60^\circ 00' 00''$

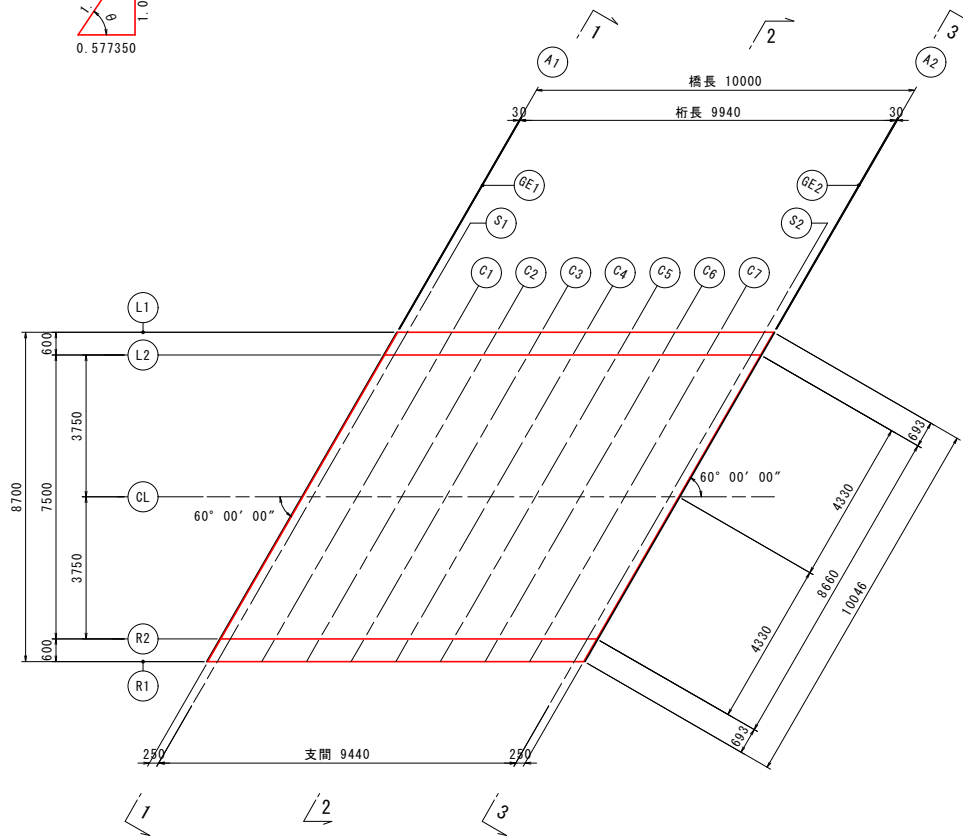


## 斜比

$\theta = 60^\circ 00' 00''$



平面図 S=1:100

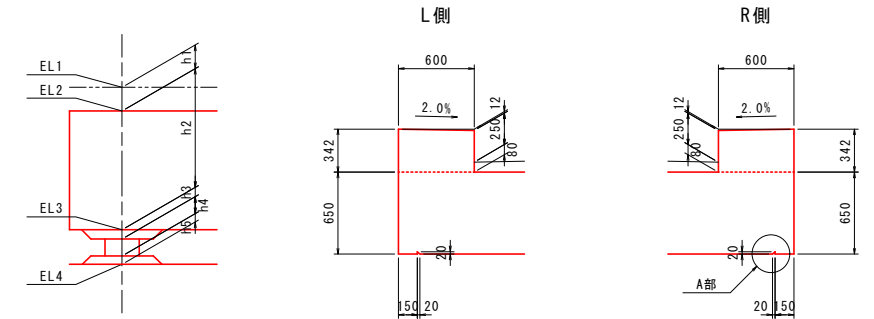


## 構造高表

	EL	A1側 S1 Fix			A2側 S2 Mov		
		L2	CL	R2	L2	CL	R2
計画高	EL1	61.359	61.481	61.489	61.076	61.197	61.206
舗装厚	h1	0.080	0.136	0.080	0.080	0.136	0.080
桁天端高	EL2	61.279	61.345	61.409	60.996	61.061	61.126
桁高	h2	0.650	0.650	0.650	0.650	0.650	0.650
桁下高さ	EL3	60.629	60.695	60.759	60.346	60.411	60.476
レアー厚	h3	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
支承厚	h4	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023
モルタル厚	h5	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035	0.035
下部工天端高	EL4	60.551	60.617	60.681	60.268	60.333	60.398

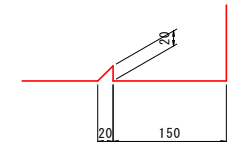
## 地覆詳細図

S=1:30



## A部詳細図

S=1:5



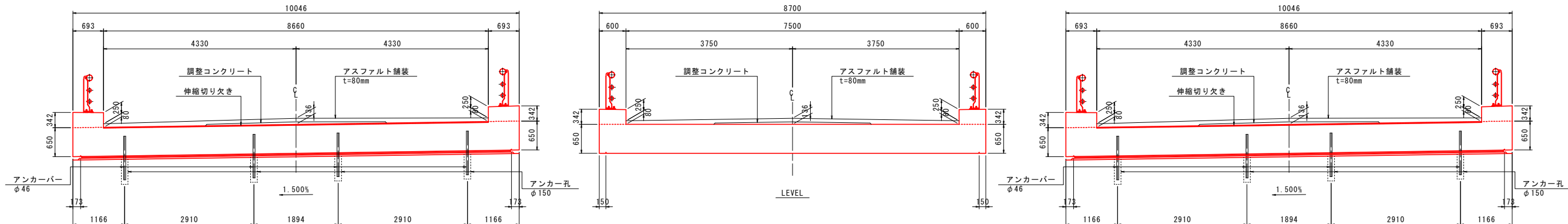
## 断面図

S=1:50

1 - 1 (S1)

2 - 2 (C4)

3 - 3 (S2)



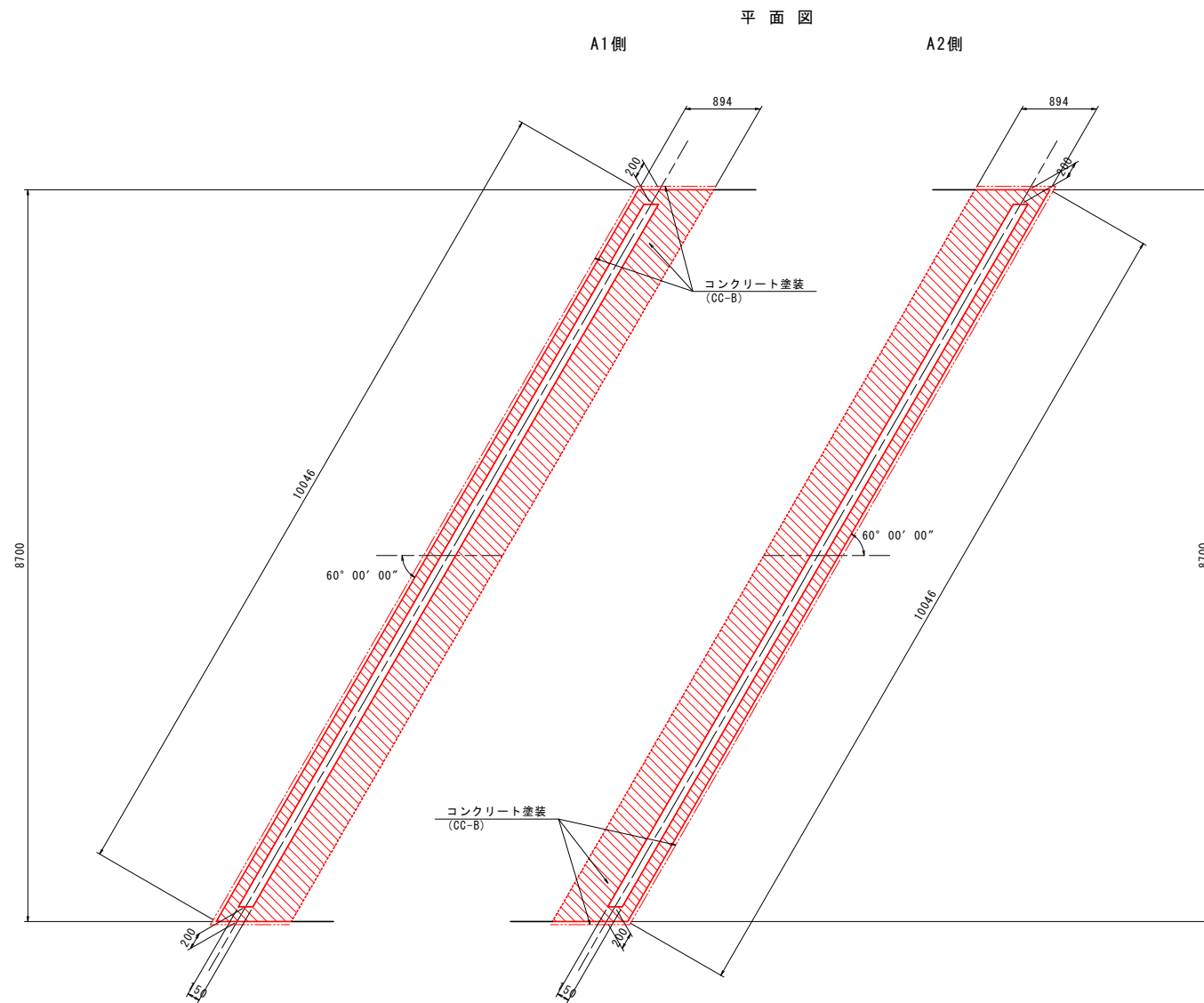
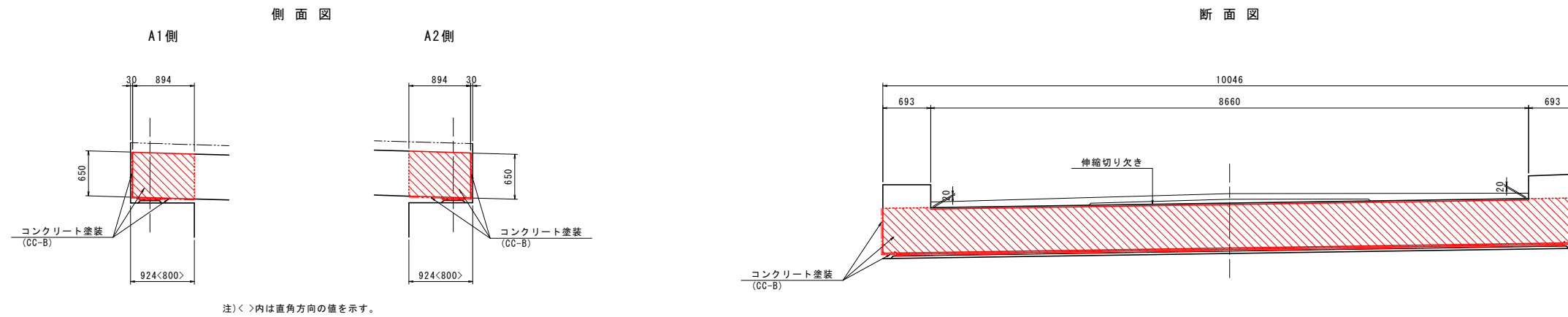
## 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋(武部2工区)総合交付金(改善)工事(補正)第10種
道川港名	(一)奥川上島線
施工箇所	出雲 郡 奥川 村 阿宮 地内
図面名称	上部工構造一般図(その1)
縮尺	縮尺 図示
設計	会社及び責任者
調査	
設計	

【4号橋】 38葉の内 3

# 上部工構造一般図(その2)

桁端塗装詳細図 S=1:40

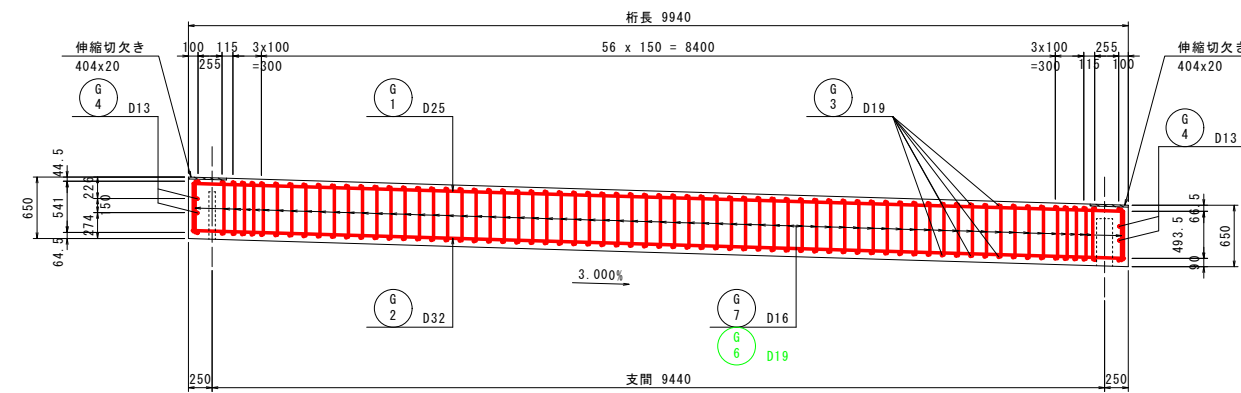


**実施**

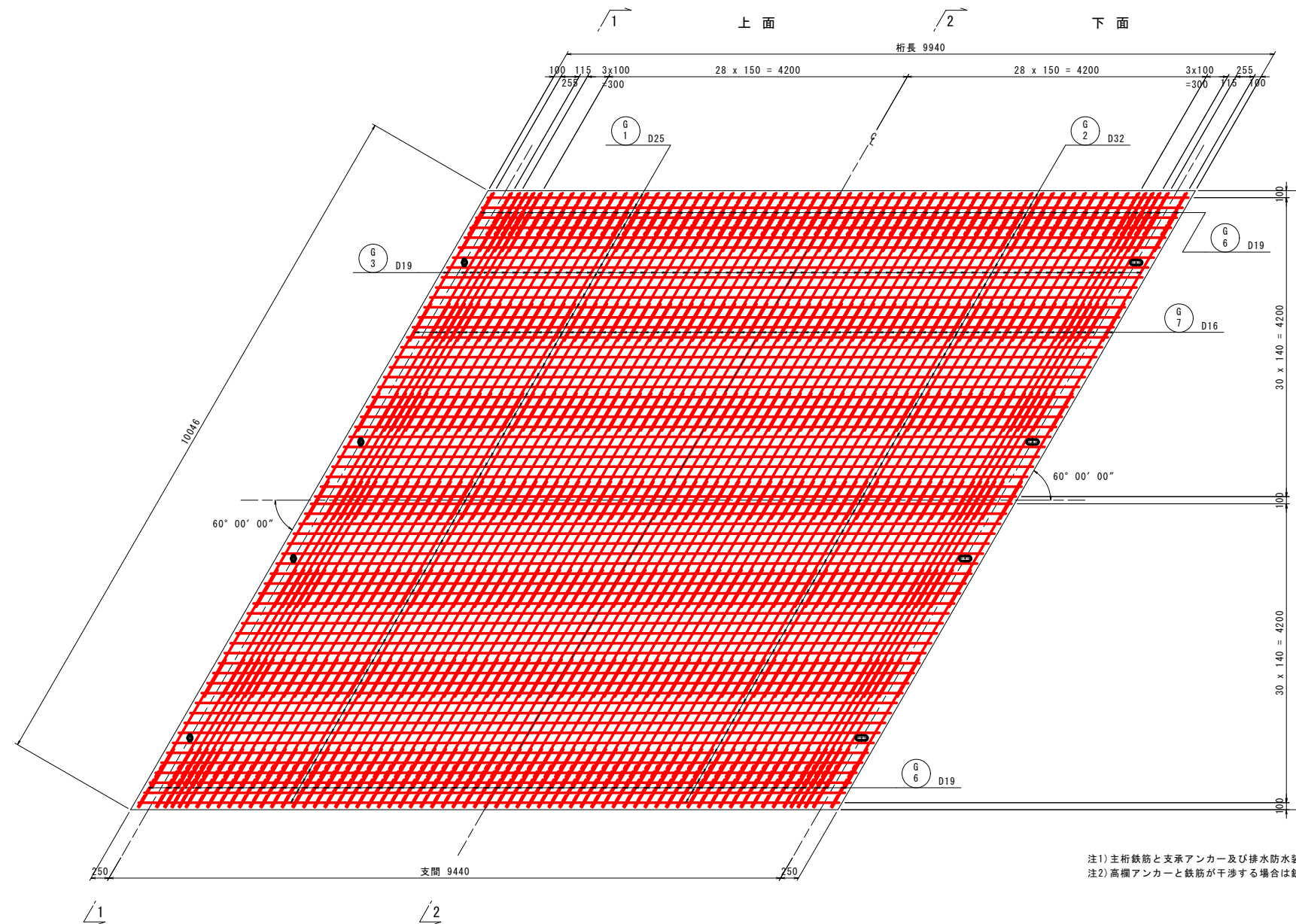
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
道川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	上部工構造一般図(その2)
縮尺	縮尺 図示
設計者	会社及び責任者
調査	
設計	
	[ 4号欄 ] 38葉の内 4

# 上部工配筋図(その1)

側面図 S=1:40



平面図 S=1:40



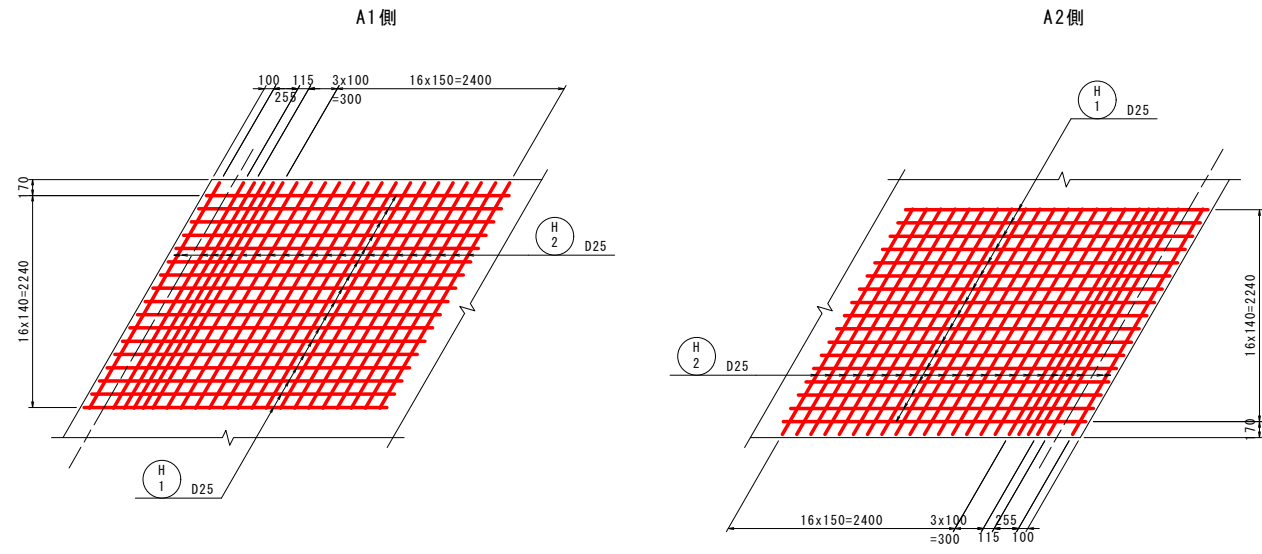
注1) 主桁鉄筋と支承アンカー及び排水防水装置が干渉する場合は鉄筋をずらすか切断などして現場にて適宜処理する。  
 注2) 高欄アンカーと鉄筋が干渉する場合は鉄筋をずらすなどして現場にて適宜処理する。

実施

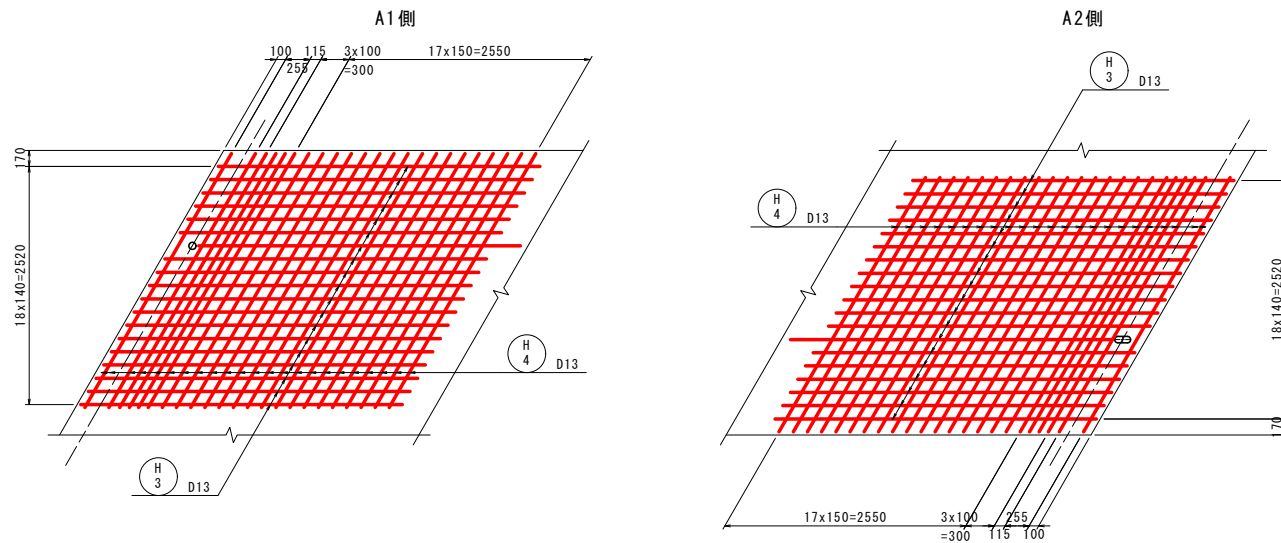
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10期
道川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	上部工配筋図(その1)
縮尺	縮尺 図示
設計	会社及び責任者
調査	
設計	
備考	[ 4号欄 ] 38 葉の内 5

# 上部工配筋図(その2)

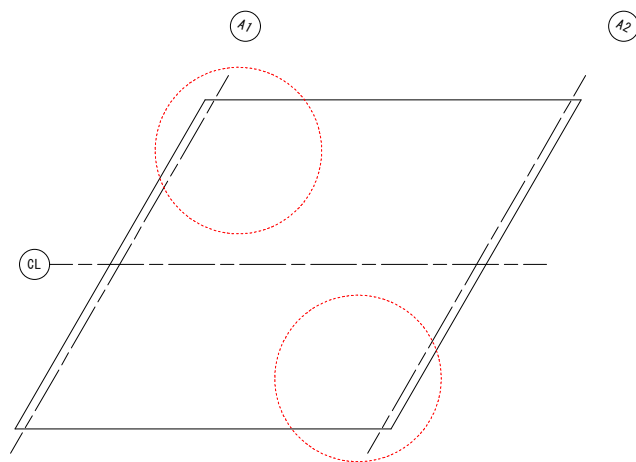
鈍角部詳細図 S=1:40  
上面



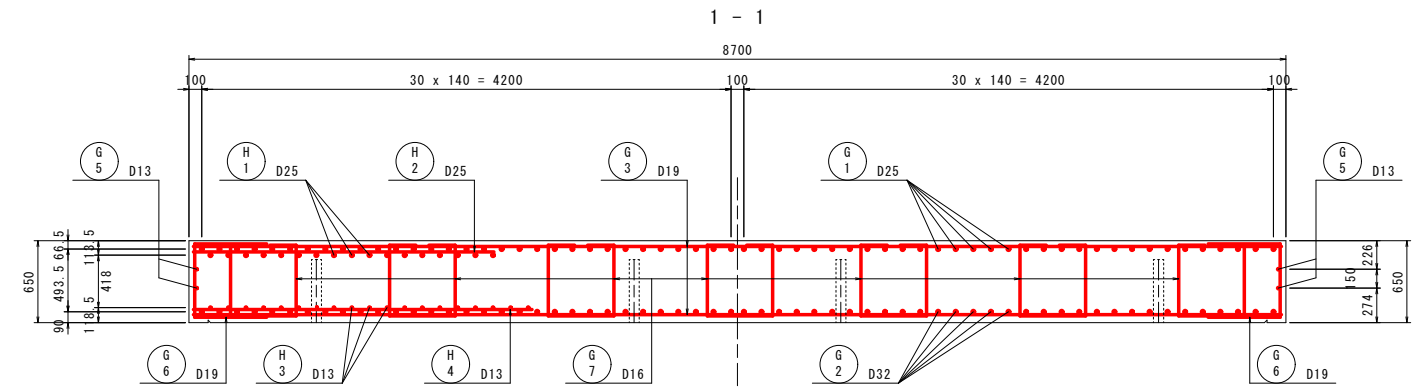
下面



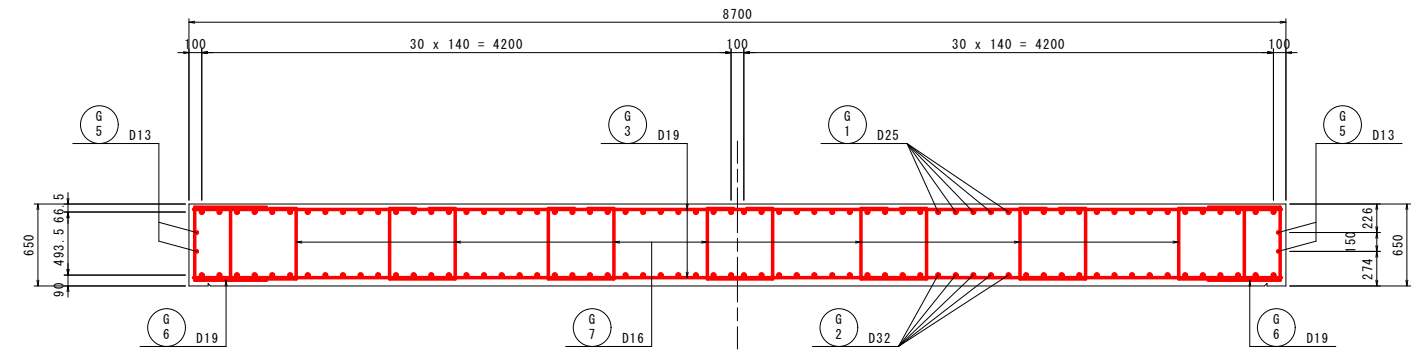
鈍角部位置図



断面図 S=1:30

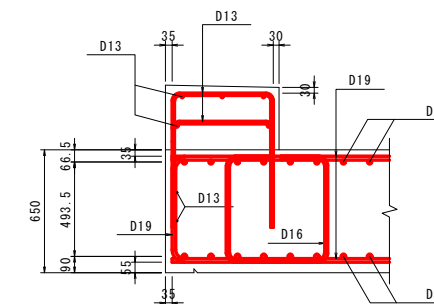


断面図



かぶり詳細図

断面図



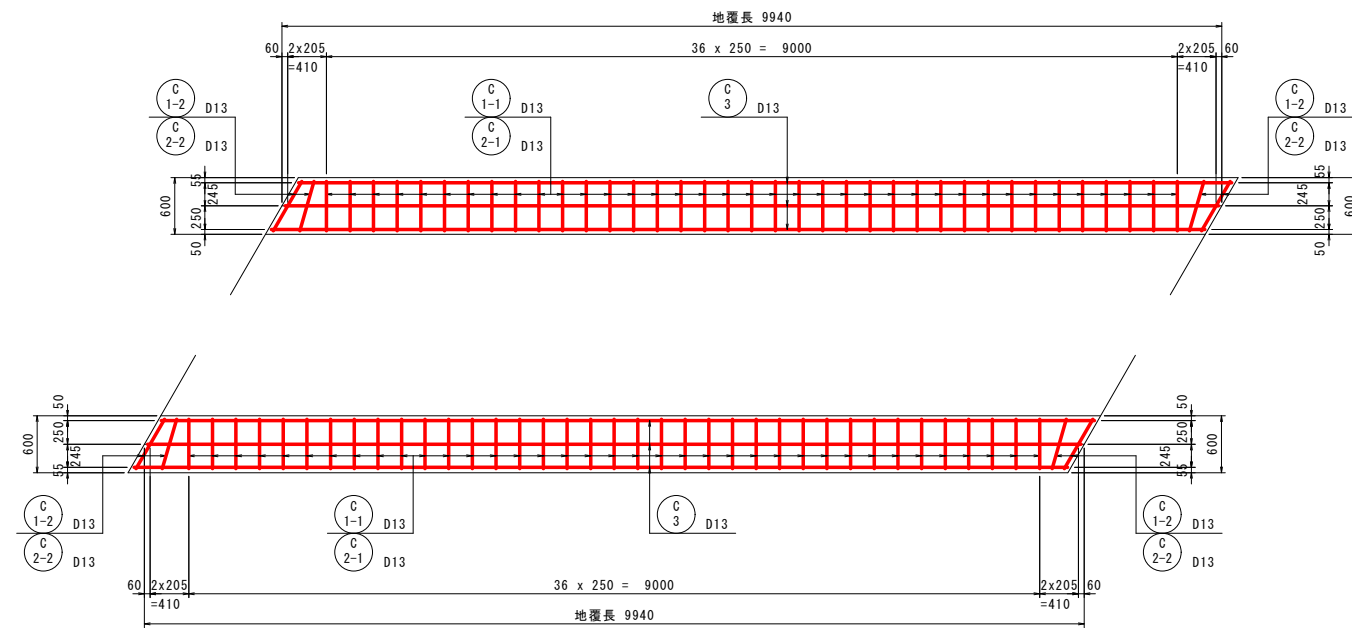
注1) 主筋鉄筋と支承アンカー及び排水防水装置が干渉する場合は鉄筋をずらすか切断などして現場にて適宜処理する。  
注2) 高欄アンカーと鉄筋が干渉する場合は鉄筋をずらすなどして現場にて適宜処理する。

実施

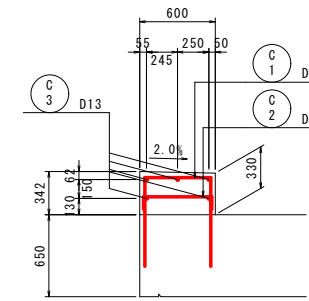
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
道川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	上部工配筋図(その2)
縮尺	図示
設計者	会社及び責任者
調査	
設計	
	[ 4号欄 ] 38 葉の内 6

# 上部工配筋図 (その3)

地覆平面図 S=1:40



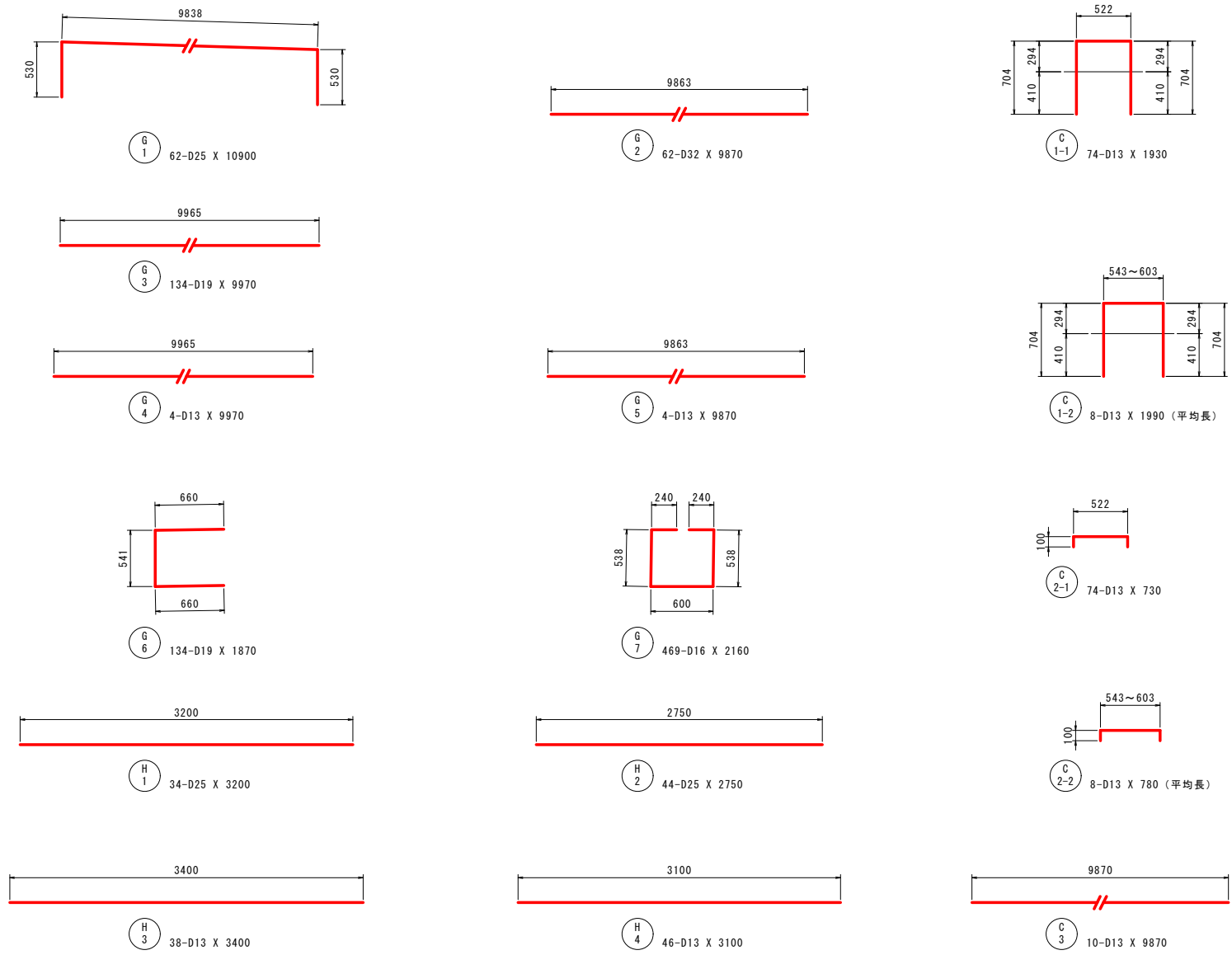
地覆断面図 S=1:30



鉄筋表

(1橋当り)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	形状(備考)
<b>主桁部</b>							
G 1	D25	10900	62	3.98	43.38	2690	┌──┐
G 2	D32	9870	62	6.23	61.49	3812	──
G 3	D19	9970	134	2.25	22.43	3006	──
G 4	D13	9970	4	0.995	9.92	40	──
G 5	"	9870	4	"	9.82	39	──
G 6	D19	1870	134	2.25	4.21	564	└──┘
G 7	D16	2160	469	1.56	3.37	1581	└──┘
9720 kg							
<b>地覆部</b>							
H 1	D25	3200	34	3.98	12.74	433	──
H 2	"	2750	44	"	10.95	482	──
H 3	D13	3400	38	0.995	3.38	128	──
H 4	"	3100	46	"	3.08	142	──
1185 kg							
<b>地覆部</b>							
C 1-1	D13	1930	74	0.995	1.92	142	┌──┐
C 1-2	"	1990	8	"	1.98	16	┌──┐ (平均長)
C 2-1	"	730	74	"	0.73	54	──
C 2-2	"	780	8	"	0.78	6	── (平均長)
C 3	"	9870	10	"	9.82	98	──
316 kg							
				SD345	D32	3812 kg	
					D25	3605 kg	
					D19	3570 kg	
					D16	1581 kg	
					D13	665 kg	
				<b>総質量</b>		<b>13233 kg</b>	



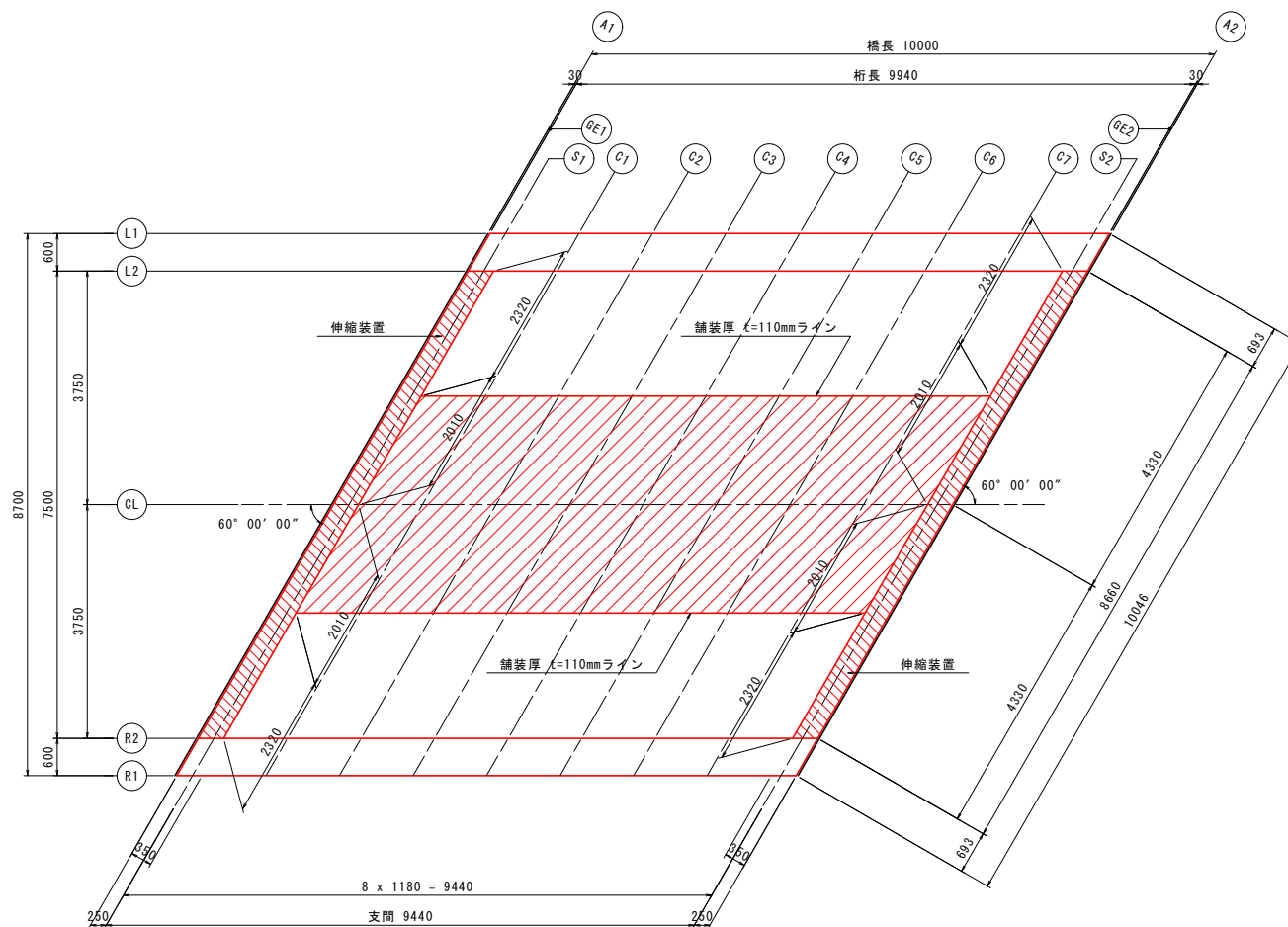
注1) 主桁鉄筋と支承アンカー及び排水防水装置が干渉する場合は鉄筋をずらすか切断などして現場にて適宜処理する。  
注2) 高欄アンカーと鉄筋が干渉する場合は鉄筋をずらすなどして現場にて適宜処理する。

実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
道川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	上部工配筋図 (その3)
縮尺	縮尺 図示
調査	会社及び責任者
設計	
	[ 4号橋 ] 38葉の内 7

# 橋面工詳細図

平面図 S=1:60

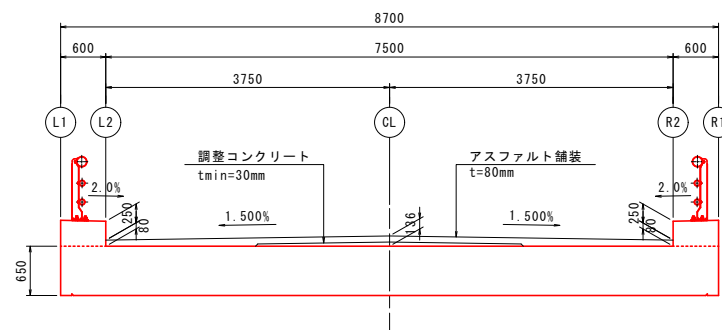


注：斜線部は、調整コンクリートを示す。  
 斜線部は、伸縮装置を示す。

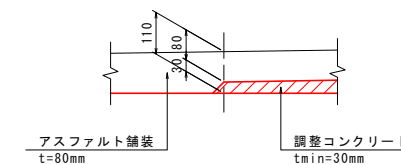
舗装厚表 (mm)

		GE1~GE2
L2	舗装厚	80
	調整コンクリート厚	-
CL	舗装厚	136
	調整コンクリート厚	56
R2	舗装厚	80
	調整コンクリート厚	-

断面図 S=1:50



端部処理図 S=1:10

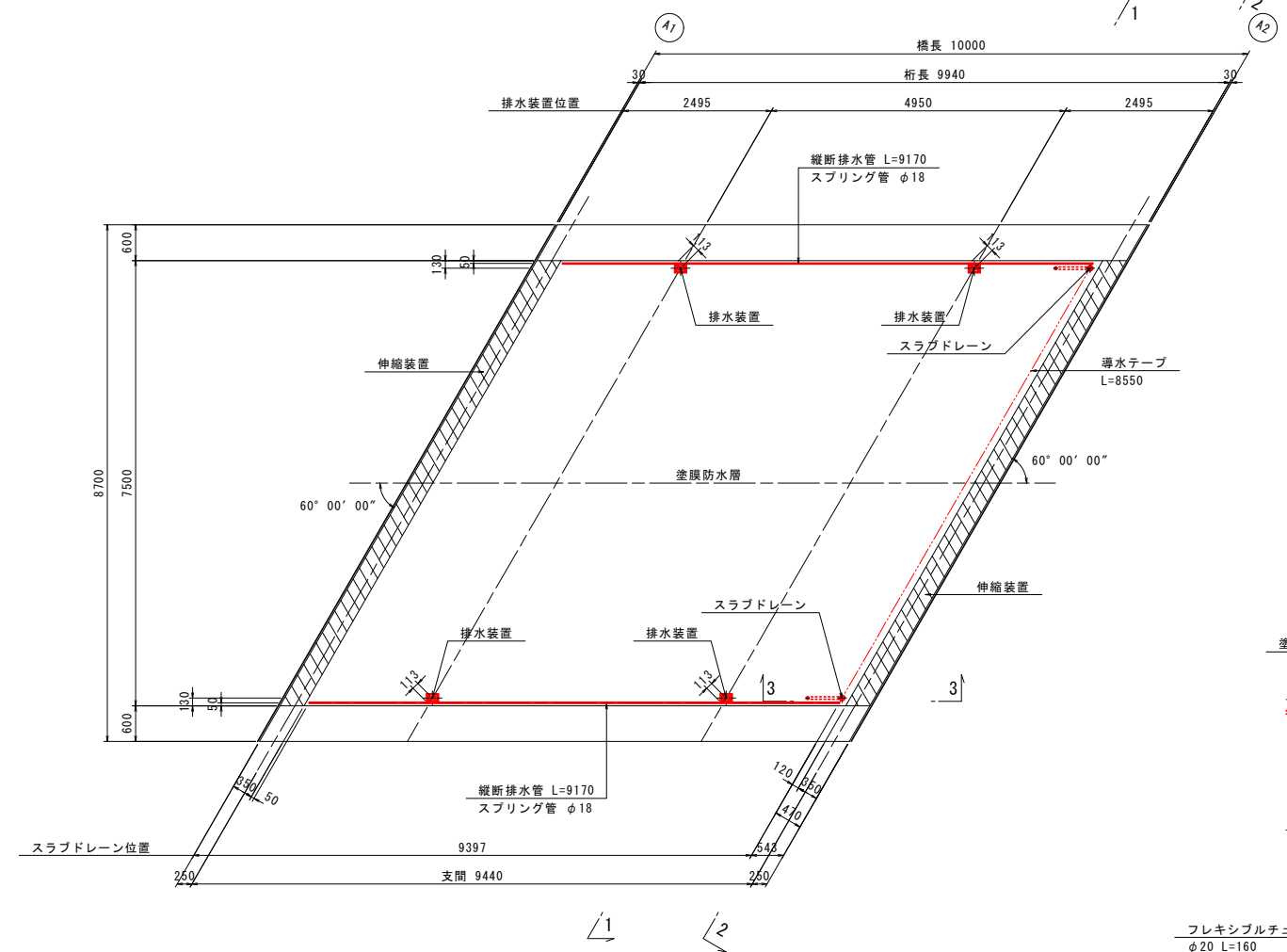


実施

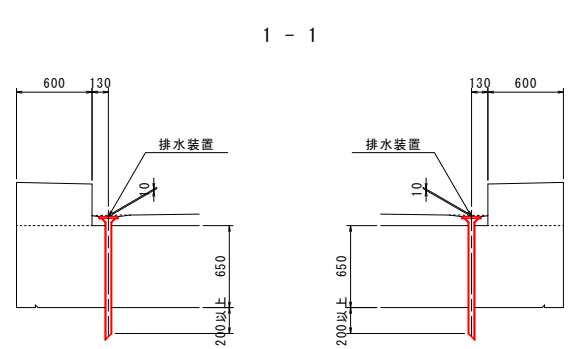
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10期
道川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	橋面工詳細図 縮尺 図示
調査	会社及び責任者
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 8

# 排水・防水工詳細図

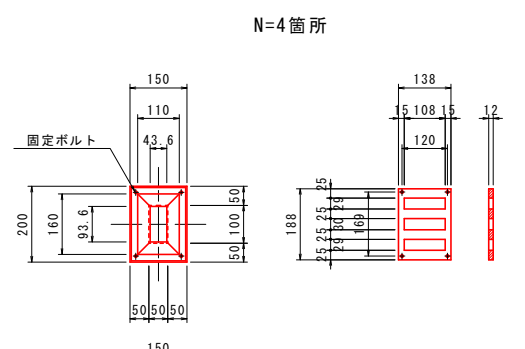
平面図 S=1:60



排水断面図 S=1:30



排水装置詳細図 S=1:10

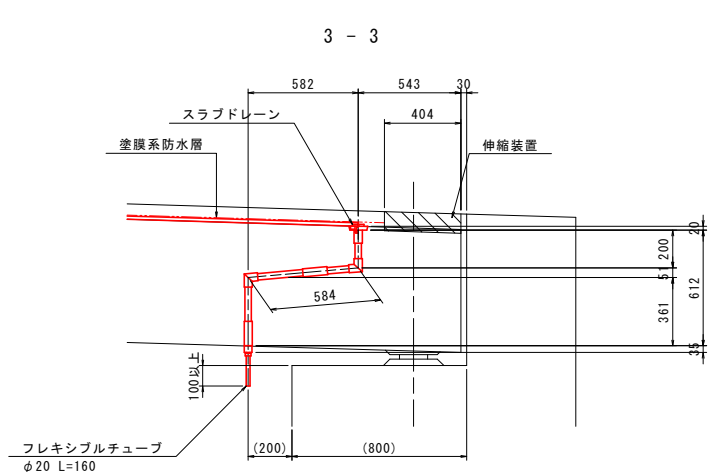


排水装置材料表

品名	材質	数量	質量(kg)	備考
本体	SS400	1	7.6	亜鉛メッキ
目皿	SS400	1	1.6	亜鉛メッキ
固定ボルト	SS400	4	0.2	亜鉛メッキ
1組分合計質量(kg)			9.4	

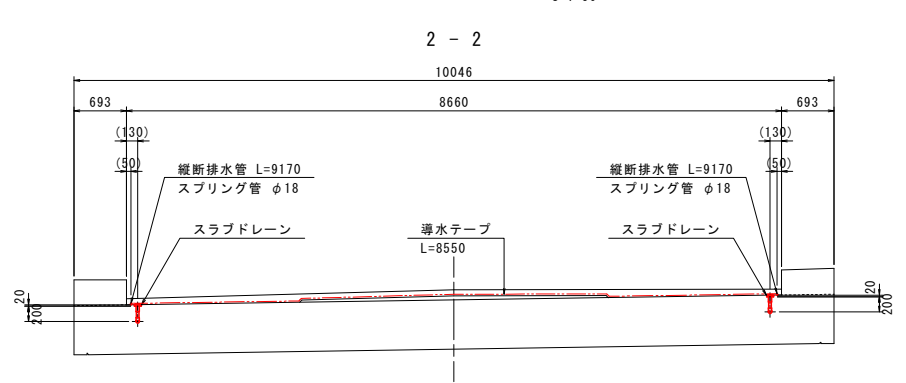
注) 固定ボルトは、協議の上決定すること。

側面図 S=1:20



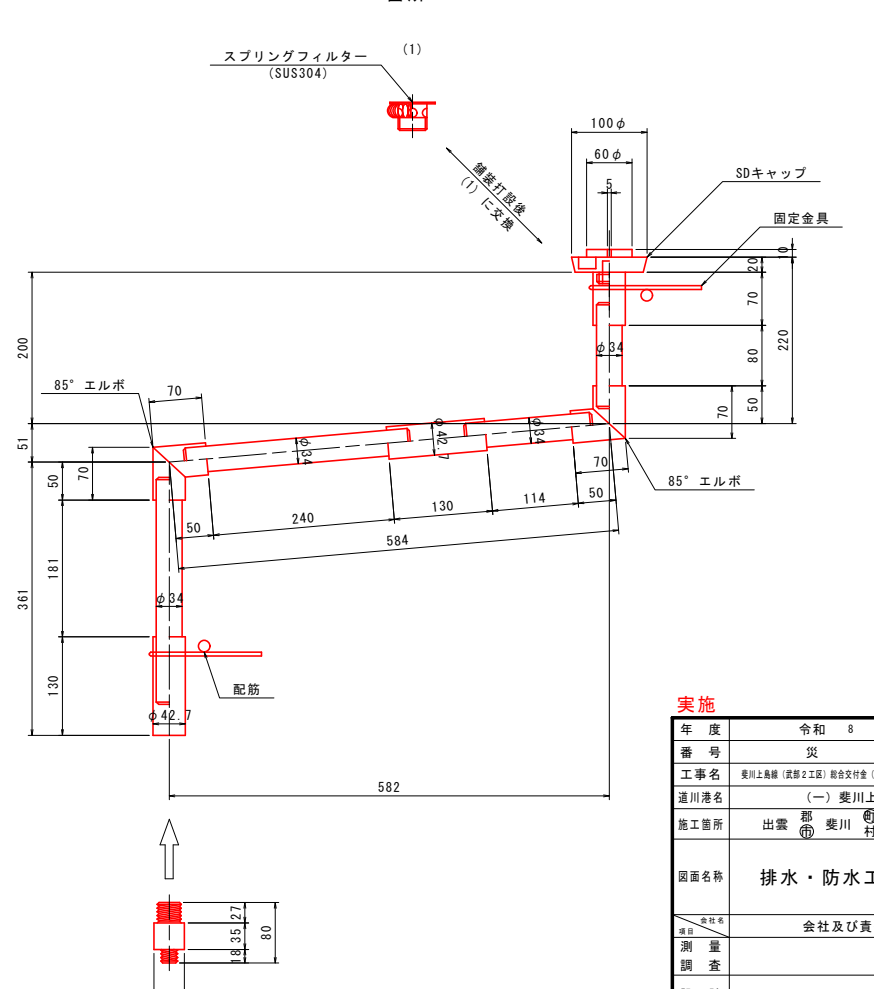
注) ( )内は、橋台に対して直角方向の値を示す。

断面図 S=1:50

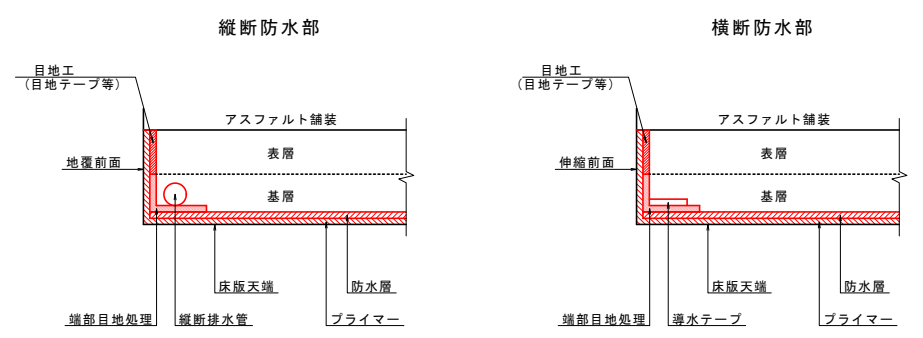


注) 導水テープは、左側のスラブレインに向かって勾配をつける。  
( )内は、主桁に対して直角方向の値を示す。

スラブレイン詳細図 S=1:5



端部防水詳細図 S=1:3



防水工材料表

種別	仕様	単位	数量	備考
縦断排水管	φ18(スプリング管)	m	18.3	溶融亜鉛メッキ同等品以上
導水テープ		m	8.6	
端部目地処理		m	35.6	
目地工		m	35.6	
スラブレイン		箇所	2	溶融亜鉛メッキ
フレキシブルチューブ	φ20	m	0.3	SUS304
塗膜系防水層		m <sup>2</sup>	68.5	

防水層の施工に対する留意点

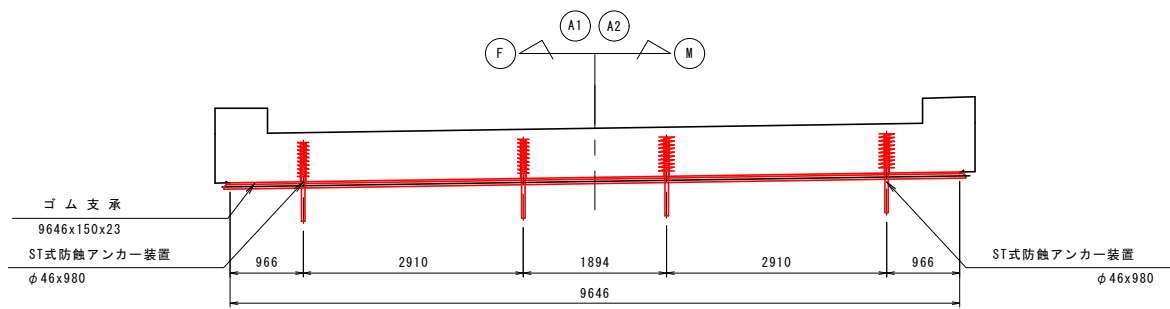
- ・ 施工に先立ち接着層表面の乾燥状態をよく確認しておくとともに、ごみ、どろ、その他の有害物は撤去清掃しておくこと。
- ・ 計画路面高さ、天候・気候などの気象条件を確認して施工すること。
- ・ 施工にあたって温度管理、養生、施工面の処理、排水樹付近や伸縮装置部、車道境界部などの端部等に対しては十分注意すること。
- ・ 詳細については「道路橋床版防水便覧」(日本道路協会)を参考にすること。

実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	栗川上島橋 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
道川港名	(一) 栗川上島線
施工箇所	出雲 郡 栗川 町 阿宮 地内
図面名称	排水・防水工詳細図 縮尺 図示
調査	会社及び責任者
設計	
	[ 4号橋 ] 38葉の内 9

# 支承詳細図

断面図 S=1:50

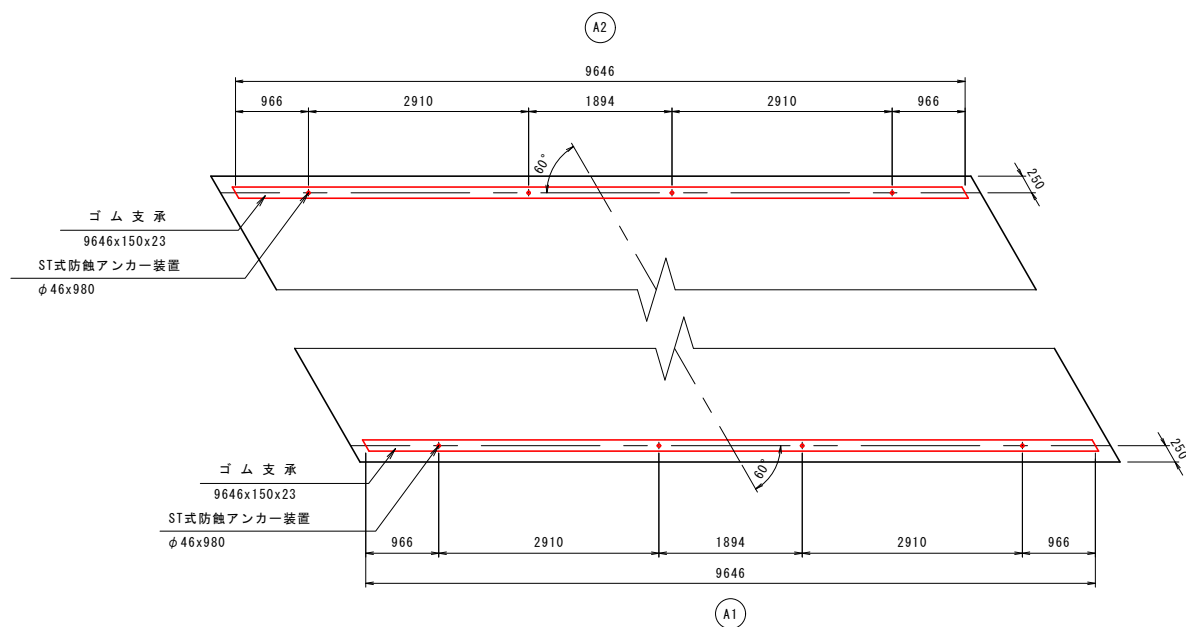


側面図 S=1:20

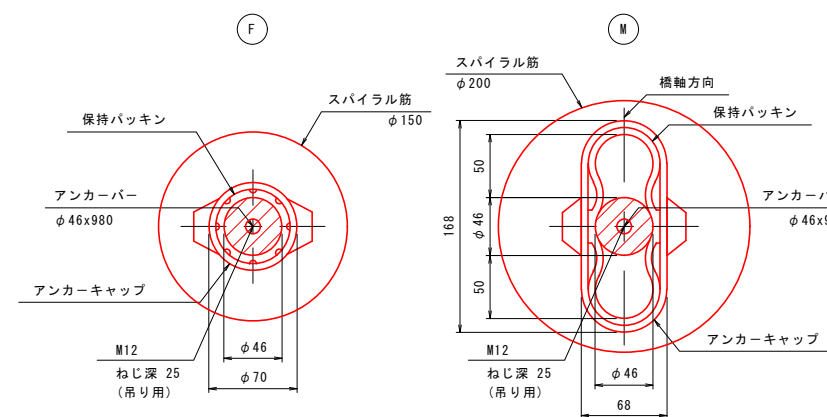


※音産モルタルは支承据え付け勾配を考慮して配置する事。

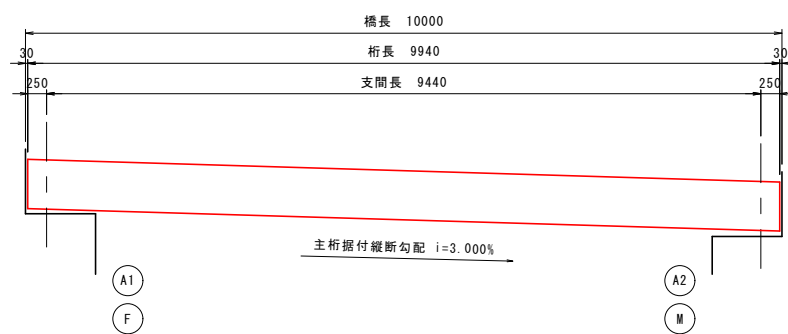
平面図 S=1:50



アンカーキャップ S=1:3



配置図 S=1:50



## 材料表

名称	寸法	材質	単位	数量			備考
				Fix	Mov	合計	
ゴム支承	150x23	図示	m	9.646	9.646	19.292	STパッド
ST式防蝕アンカー装置	F46D	余剰ゴム SR235 S35CN ポリエステル	組	4		4	ST-SGN12
"	M46D	余剰ゴム SR235 S35CN ポリエステル	"		4	4	"
補強格子鉄筋	9750x250	SD345又はSD295	kg	60.20	60.20	120.40	D10x50x50
音産モルタル		無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.189	0.189	0.378	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.035	0.035	0.070	
アイボルト	M12用		本	4		4	防蝕アンカー施工用

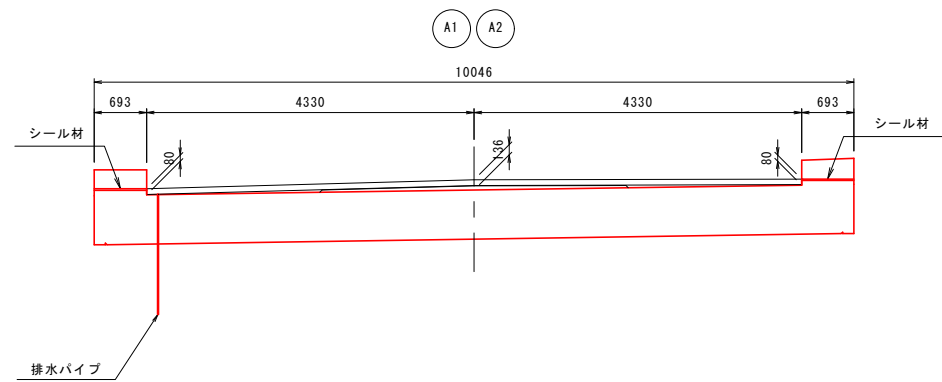
※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体は、ST-SGN12とする。  
※ 道路橋支承便覧 平成30年12月版

## 実施

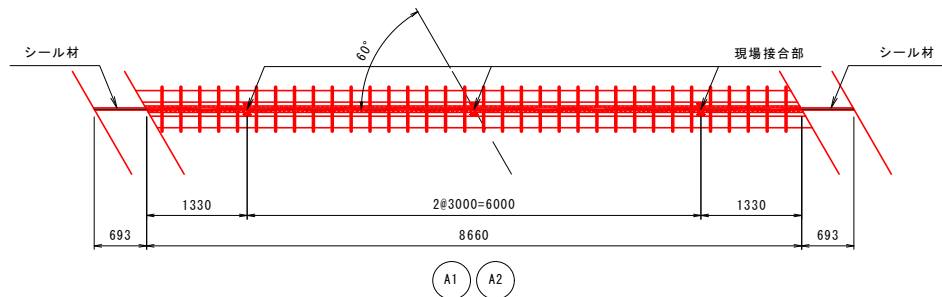
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
道川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	支承詳細図
縮尺	縮尺 図示
設計者	会社及び責任者
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 10

# 伸縮継手詳細図 (参考図)

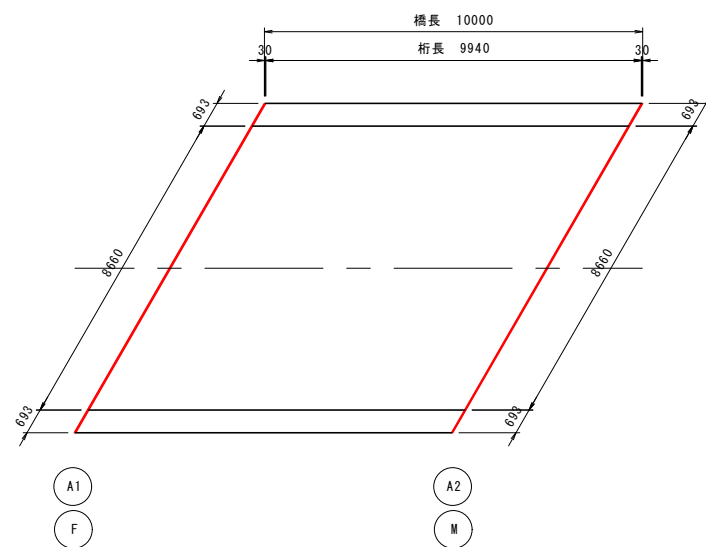
断面図 S=1:50



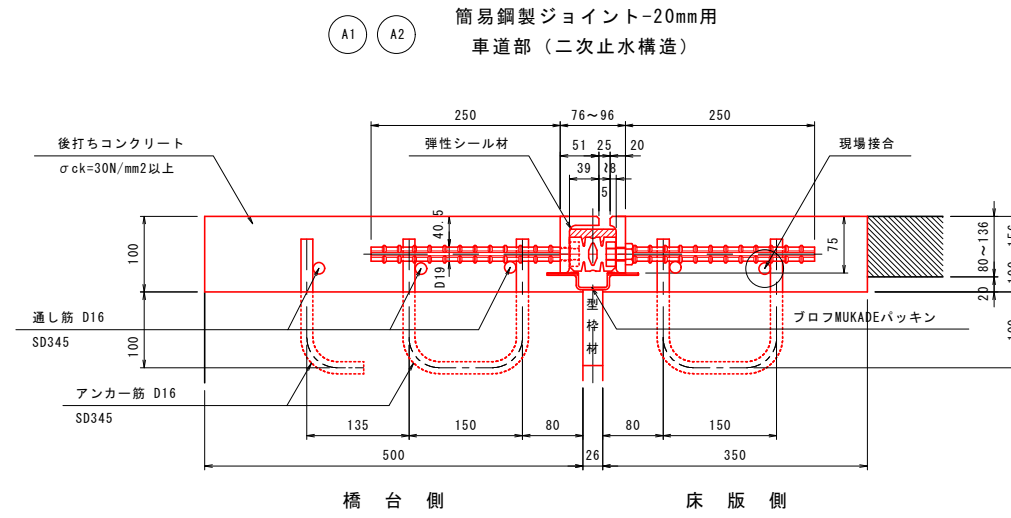
平面図 S=1:50



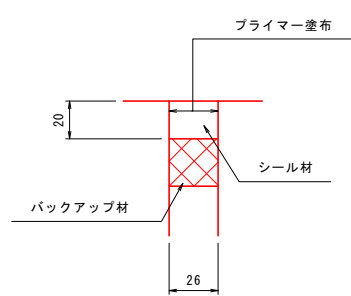
位置図 S=1:100



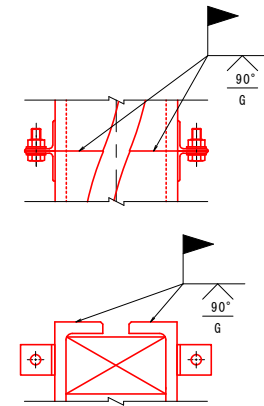
伸縮継手断面図 S=1:5



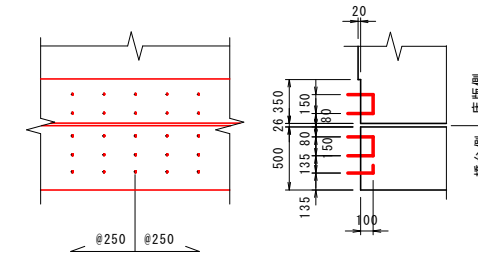
シール材充填図 S=1:2



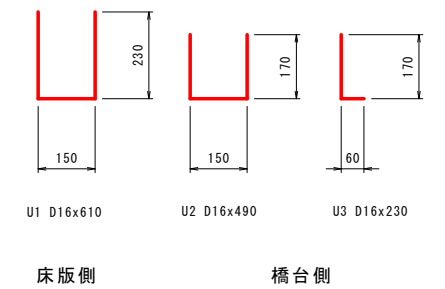
現場接合部詳細



アンカー筋埋設図 S=1:30



鉄筋加工図 S=1:10



伸縮継手材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計数量	備考
簡易鋼製ジョイント-20mm用	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	8.660 m	8.660 m	17.320 m	車道用、二次止水構造、誘導板付き
シール材	シリコン系	0.72 リッター	0.72 リッター	1.44 リッター	地覆部
後打コンクリート		0.821 m3	0.821 m3	1.642 m3	
通し筋	SD345	5 本	5 本	10 本	D16x8660
排水パイプ	ステンレス	1 本	1 本	2 本	15A x 5000
現場接合部用接着剤		1 式	1 式	2 式	20用

アンカー筋表

寸法	A1数量	A2数量	合計数量	1本当り質量	合計質量	備考
U1 D16x610	35 本	35 本	70 本	0.952 kg	66.6 kg	床版側
U2 D16x490	35 本	35 本	70 本	0.764 kg	53.4 kg	橋台側
U3 D16x230	35 本	35 本	70 本	0.359 kg	25.2 kg	橋台側

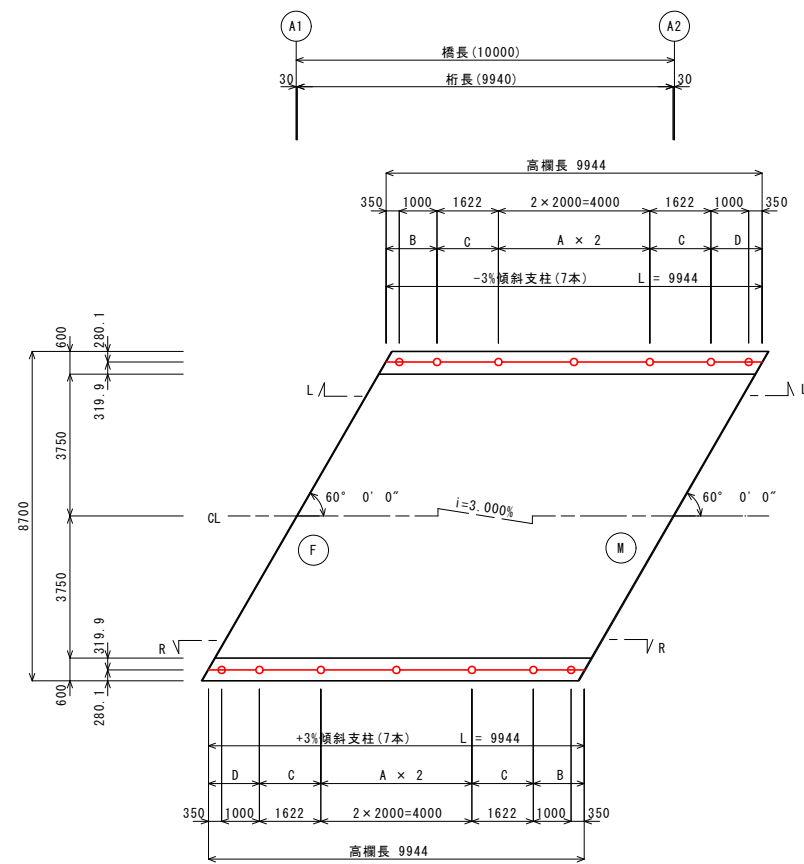
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
道川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 町 阿宮 地内
図面名称	伸縮継手詳細図 (参考図) 縮尺 図示
調査	会社及び責任者
設計	
	[ 4号橋 ] 38葉の内 11

# 高欄詳細図 (参考図)

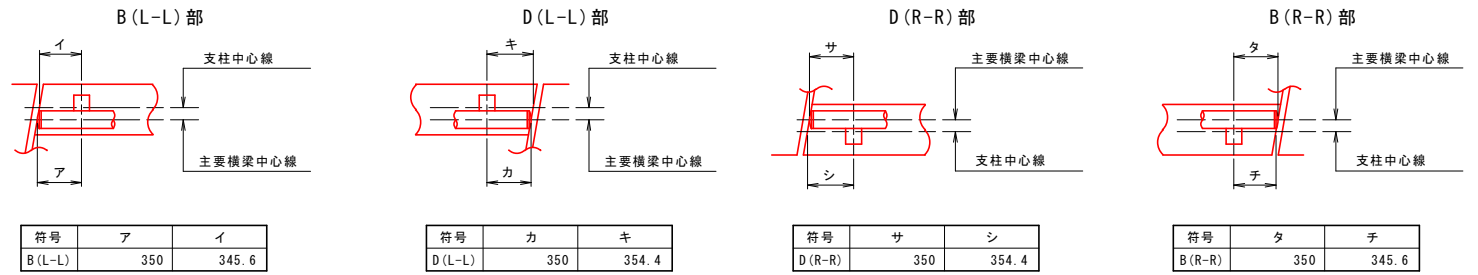
高欄配置図 S=1:100

・高欄長は主要横梁中心線上の実長寸法を示す。  
・( ) 内寸法は平面長を示す。



各部詳細図

・アンカーボルトは支柱中心線上で施工の事。



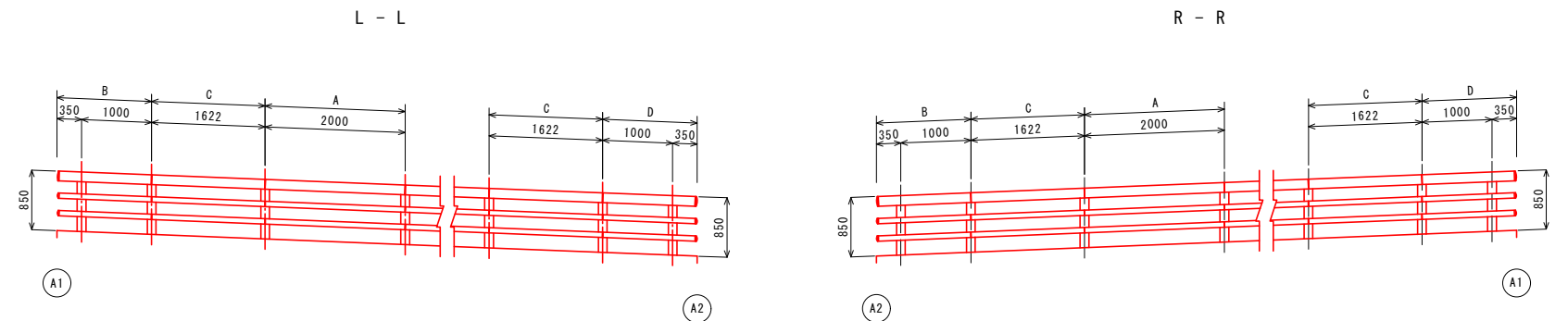
符号	ア	イ
B(L-L)	350	345.6

符号	カ	キ
D(L-L)	350	354.4

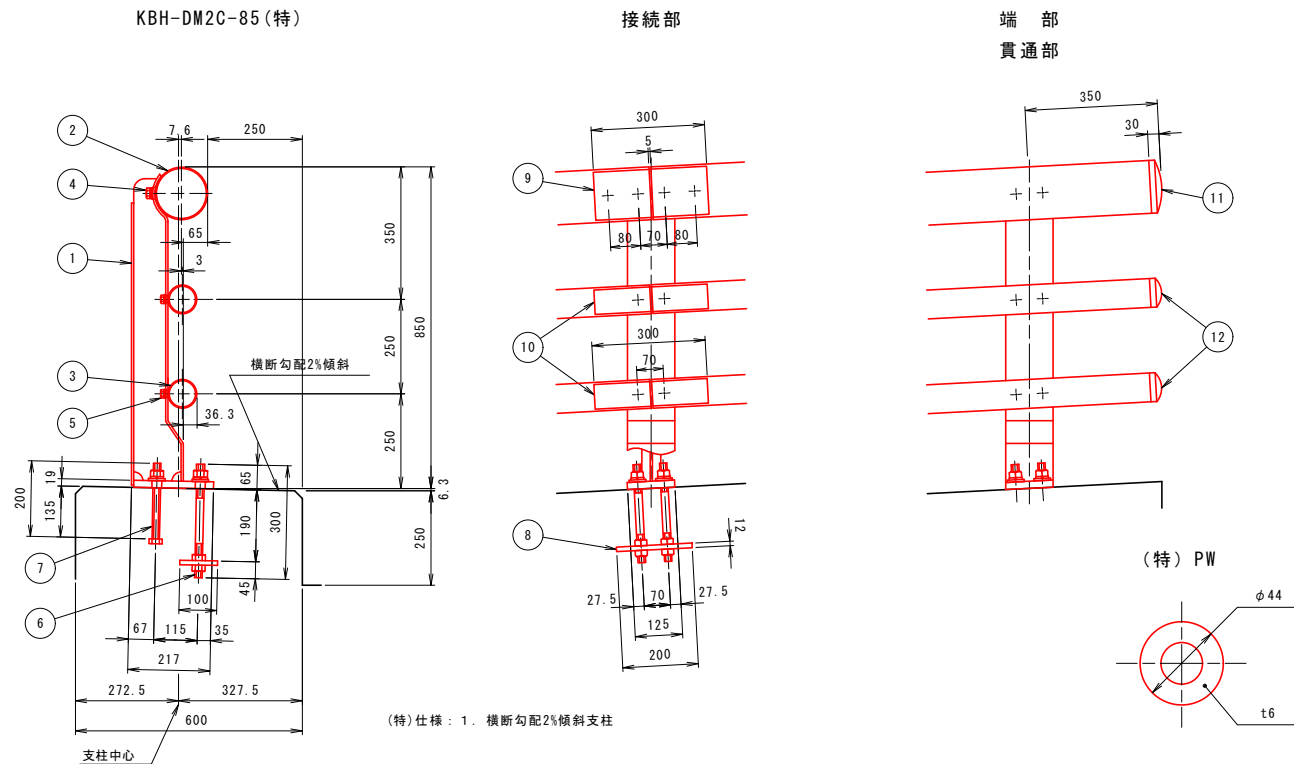
符号	サ	シ
D(R-R)	350	354.4

符号	タ	チ
B(R-R)	350	345.6

高欄姿図 S=1:50



高欄取付詳細図 S=1:10  
KBH-DM2C-85 (特)



材料表

KBH-DM2C-85 (特)

符号	名称	寸法	材質	単重(kg/本)	個数	重量(Kg)	記事
1	支柱	217x125x6.0x6.0	SS400	13.9	14	194.6	
2	主要横梁	φ139.8x3.5x1995.0	STK400	23.5	4	94.0	A部
		φ139.8x3.5x1617.0	STK400	19.1	4	76.4	C部
		φ139.8x3.5x1317.5	STK400	15.5	4	62.0	B,D部
	小計					232.4	
3	下段横梁	φ76.3x2.8x1995.0	STK400	10.1	8	80.8	A部
		φ76.3x2.8x1617.0	STK400	8.21	8	65.7	C部
		φ76.3x2.8x1317.5	STK400	6.69	8	53.5	B,D部
	小計					200.0	
4	セットボルト	M16x35	4.6以上	0.11	48	5.3	PW・SW付
5	セットボルト	M12x35	8.8	0.06	56	3.4	PW・SW付
6	アンカーボルト	M20x300	8.8	0.95	28	26.6	3N(強度区分8)・(特)PW・SW付
7	アンカーボルト	M20x200(金ねじ六角ボルト)	4.6以上	0.64	28	17.9	N(強度区分8)・(特)PW・SW付
8	アンカープレート	100x12x200	SS400	1.88	14	26.3	
9	スリーブ	φ127.0x4.2x300	STK400	3.81	10	38.1	主要横梁用
10	スリーブ	φ65.0x3.5x300	STK400	1.59	20	31.8	下段横梁用
11	エンドキャップ	φ139.8x3.2	SS400	0.88	4	3.5	
		φ76.3x3.2	SS400	0.33	8	2.6	
	合計			39.3 kg/m	19.888 m	782.5	

注記

・N:ナット、PW:平座金、SW:バネ座金を示す。  
・製品の表面処理は「JIS H8643」溶融亜鉛アルミニウム合金めっき(Mg入り)  
・本体はHZA50A「主要部材の平均膜厚50μm以上」とし、  
・ボルト、ナット類、アンカープレートはHZA36A「平均膜厚36μm以上」とする。

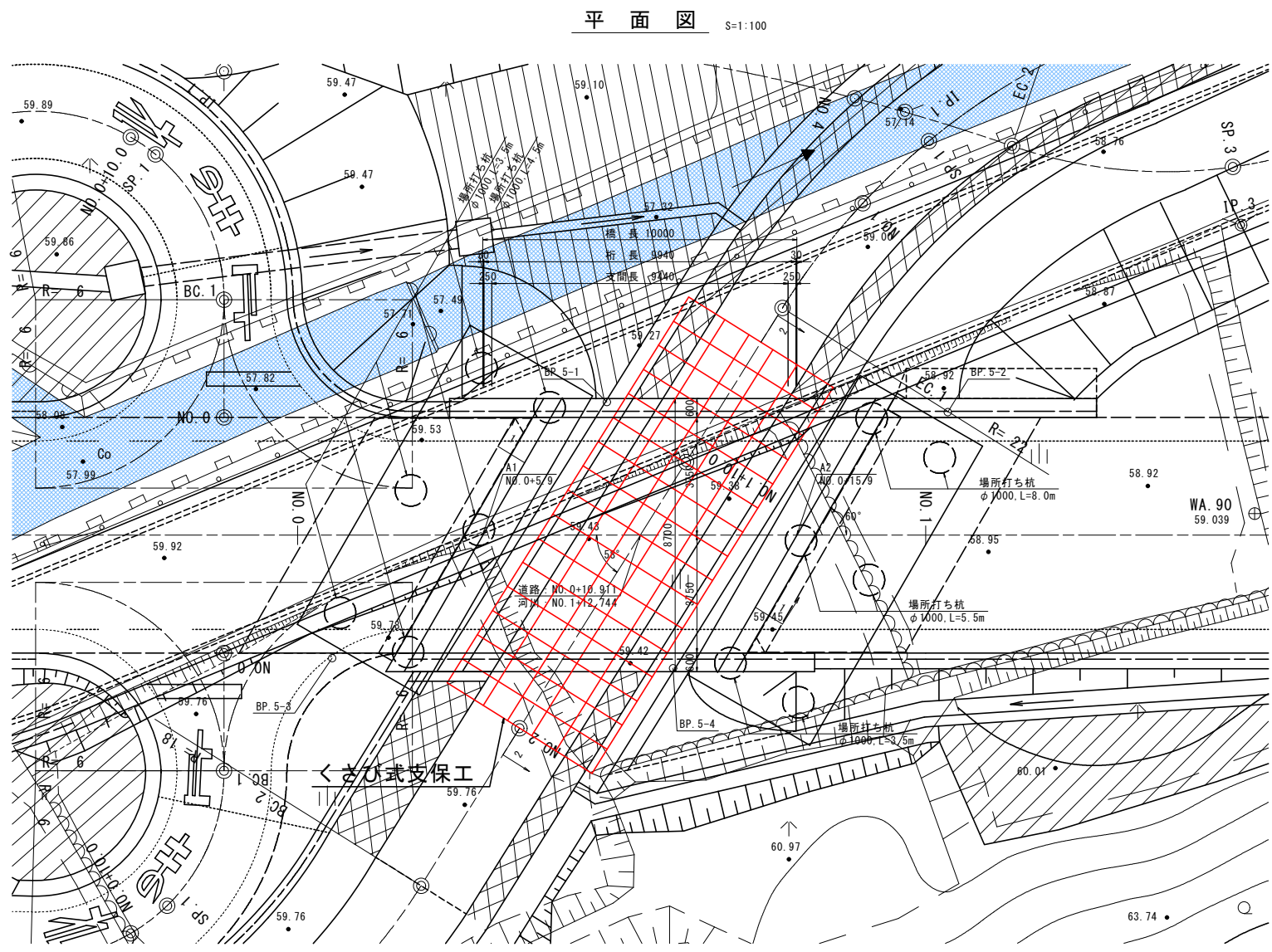
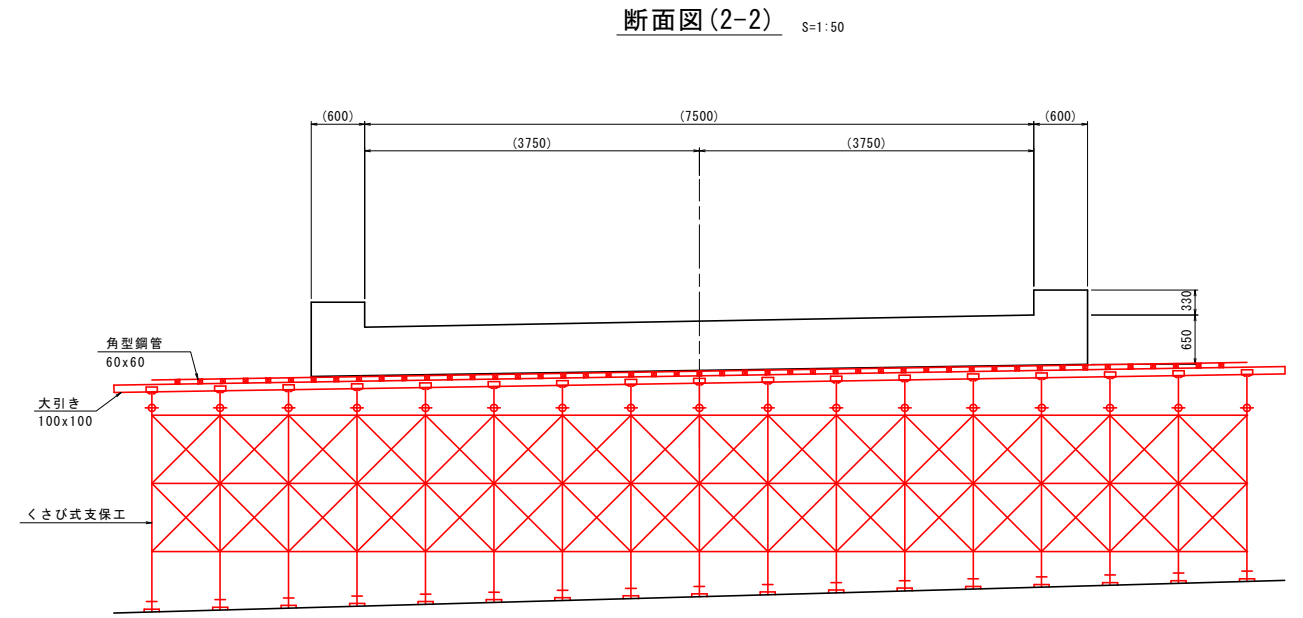
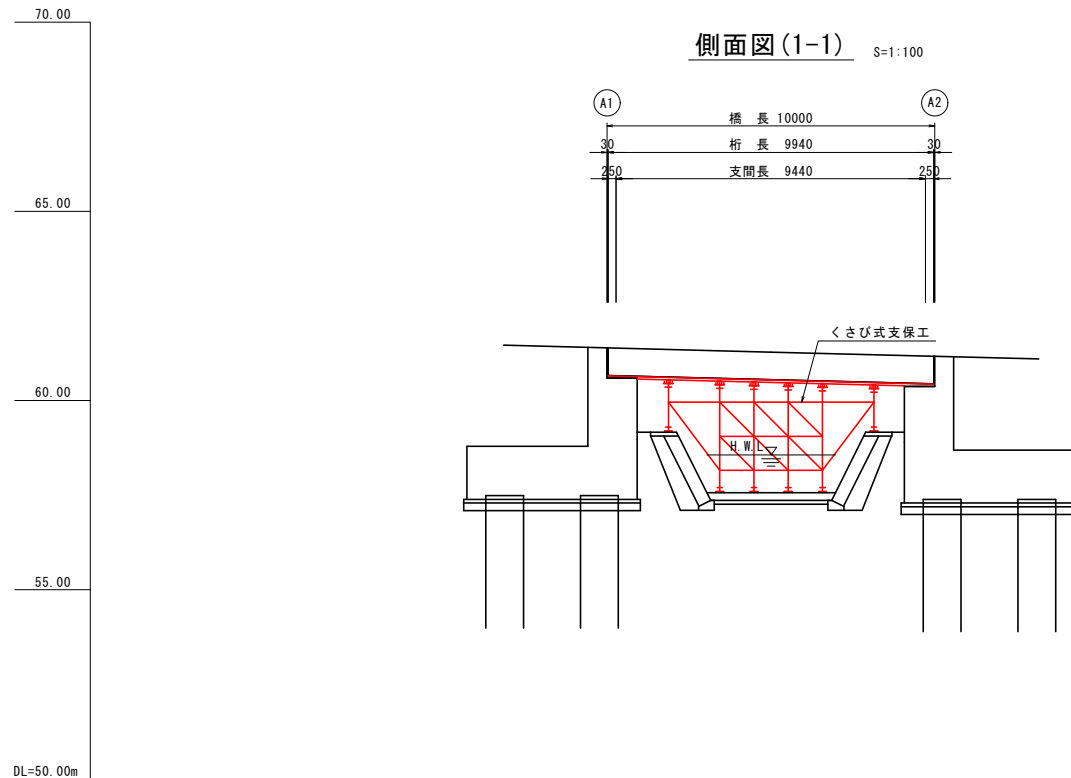
特殊加工表

加工	傾斜支柱	本数	長さ
傾斜加工	+3%傾斜支柱	7本	L = 9944
	-3%傾斜支柱	7本	L = 9944
	合計	14本	L = 19888
支柱加工	横断勾配2%傾斜支柱	14本	L = 19888

実施

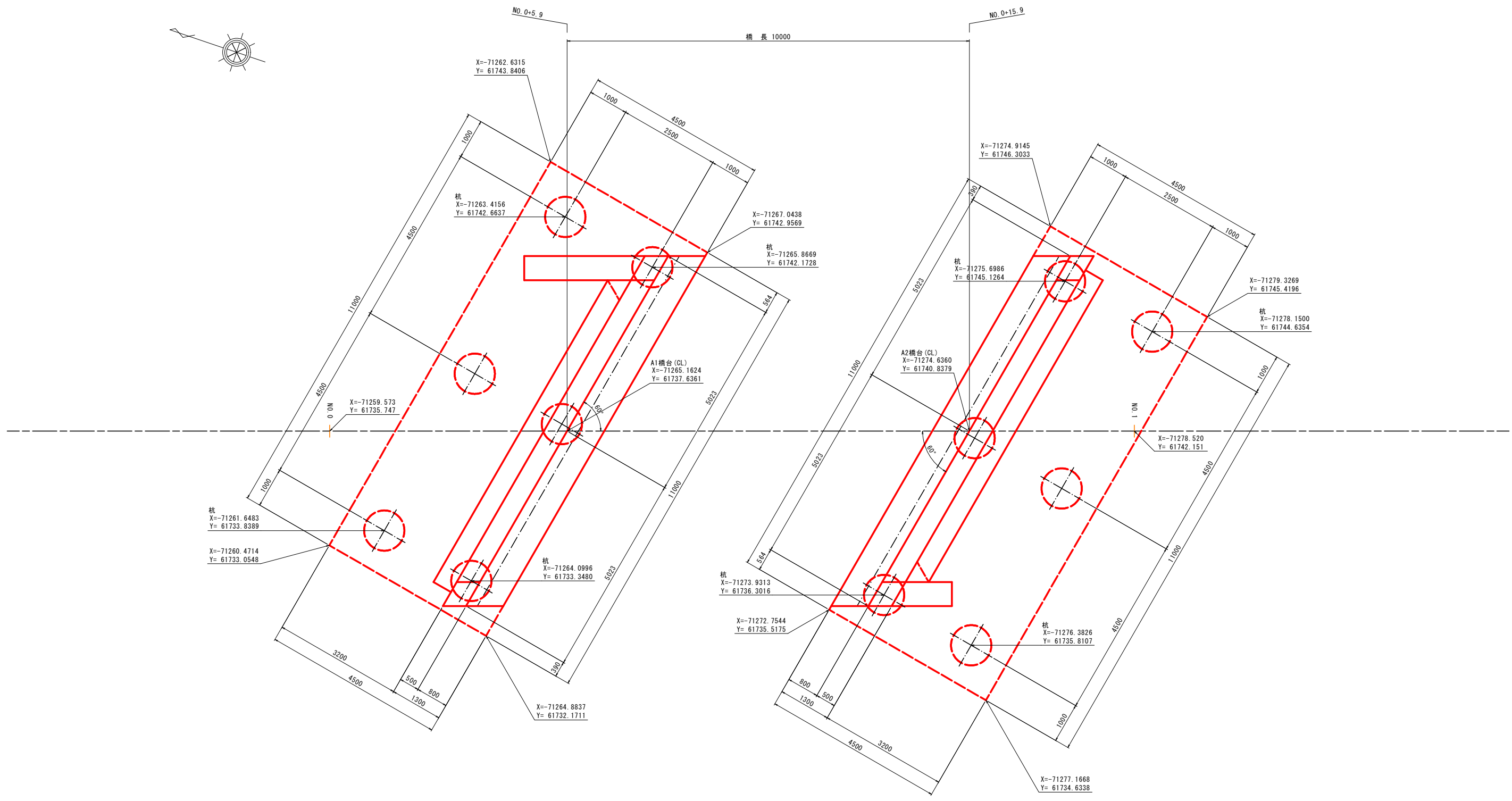
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋 (東部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
道川港名	(一) 奥川上島橋
施工箇所	出雲 郡 奥川 町 阿宮 地内
図面名称	高欄詳細図 (参考図) 縮尺 図示
設計	会社及び責任者
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38葉の内 12

# 架設要領図 (参考図)



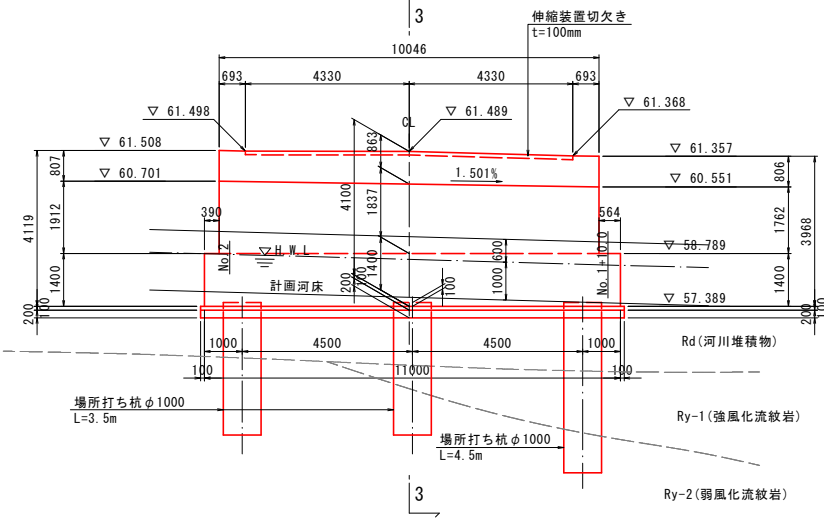
実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (武部工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
道川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	架設要領図 (参考図)
縮尺	縮尺 図示
設計者	会社及び責任者
測量	
設計	
【 4号橋 】 38 葉の内 13	

下部工座標図 S=1:50

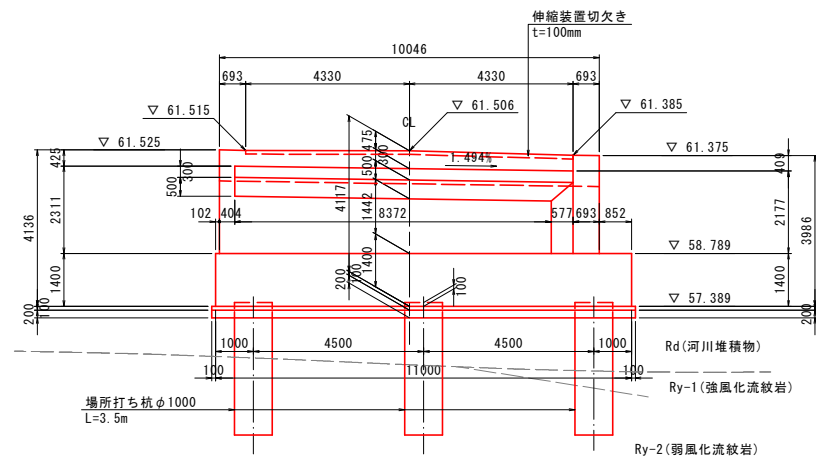


# A1橋台構造一般図(その1) S=1:100

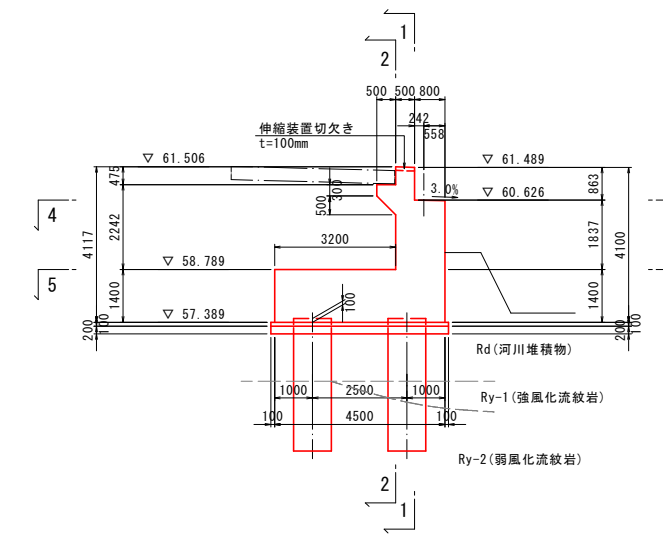
正面図(1-1)



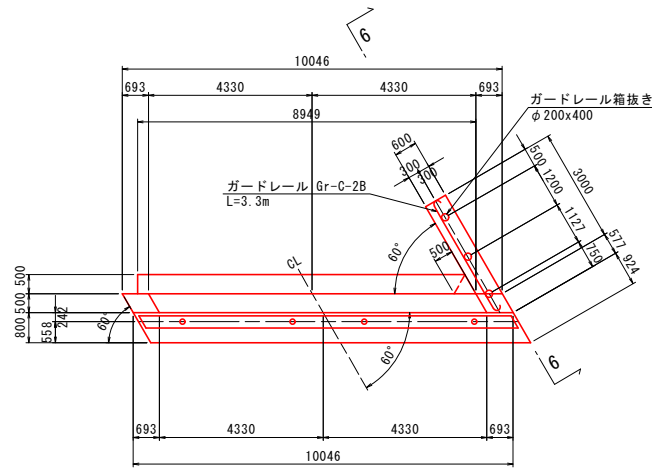
背面図(2-2)



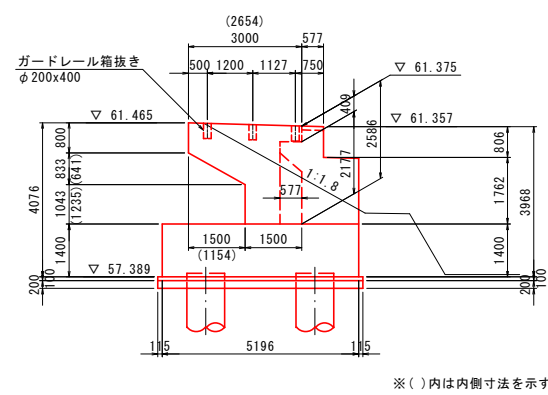
断面図(3-3)



平面図(4-4)

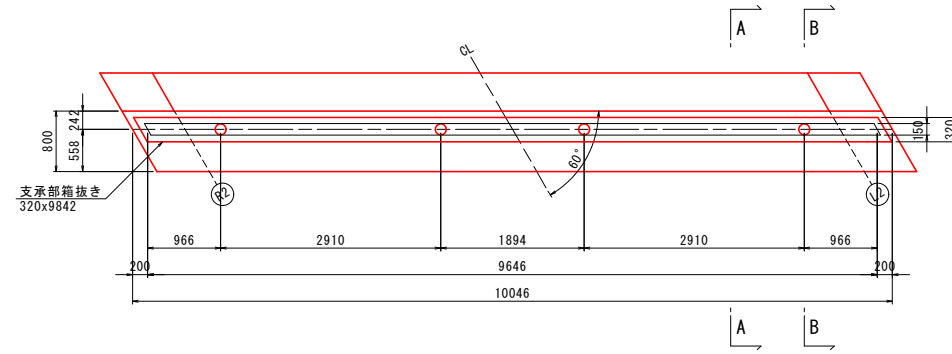


右側翼壁断面図(6-6)

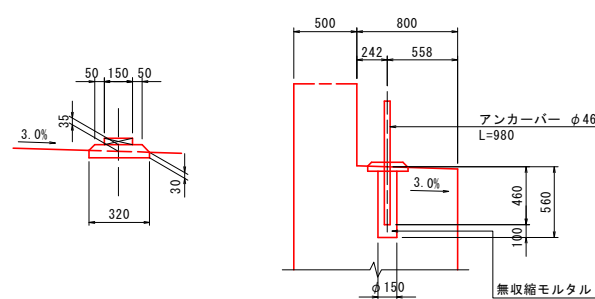


支承部箱抜き詳細図

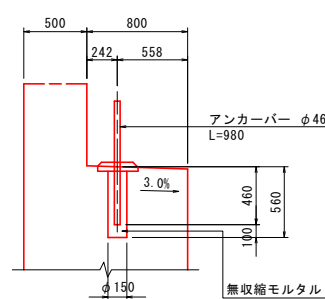
平面図 S=1:50



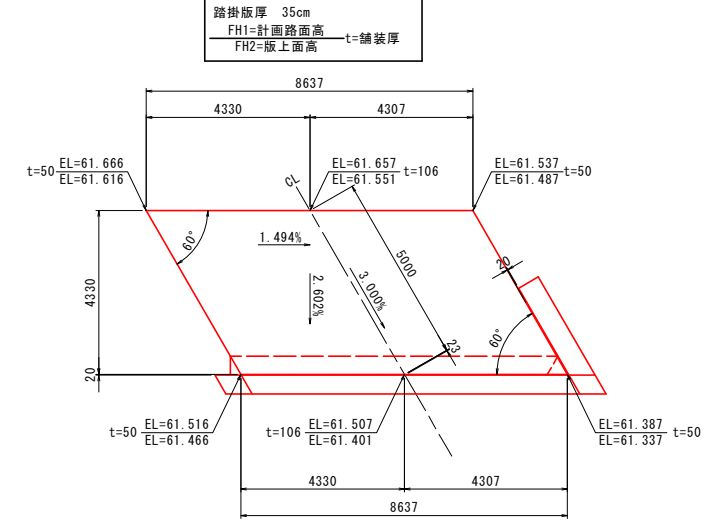
A - A S=1:20



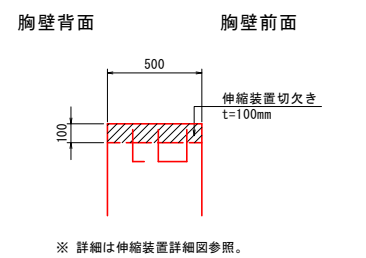
B - B S=1:30



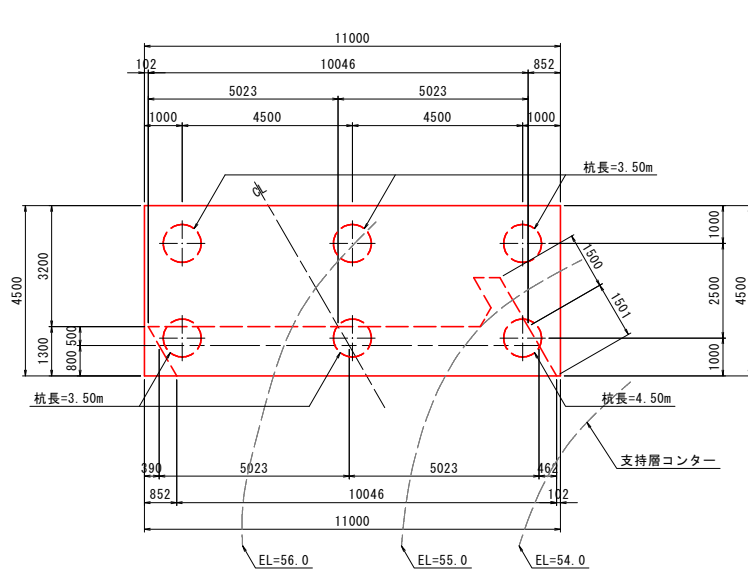
踏掛版平面図



伸縮装置詳細図 S=1:20

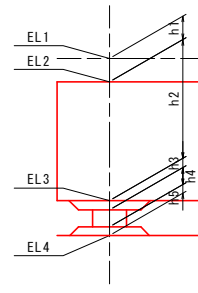


底板平面図(5-5)



構造高表

		A1側 S1 Fix (m)		
		L2	CL	R2
計画高	EL1	61.359	61.481	61.489
舗装厚	h1	0.080	0.136	0.080
桁天端高	EL2	61.279	61.345	61.409
桁高	h2	0.650	0.650	0.650
桁下高さ	EL3	60.629	60.695	60.759
レアー厚	h3	0.020	0.020	0.020
支承厚	h4	0.023	0.023	0.023
モルタル厚	h5	0.035	0.035	0.035
下部工天端高	EL4	60.551	60.617	60.681



使用材料

部位	名称	規格	概要
本体工	後打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上	伸縮装置部
	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	
	均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	
	基礎砕石	RC-40	
基礎工	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	呼び強度30N/mm <sup>2</sup>
	鉄筋	SD345	

実施

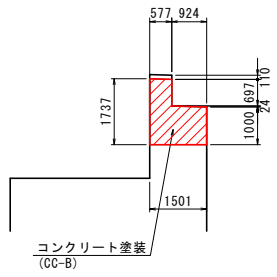
年度	令和 8 年度
工事番号	豊川上島線(豊川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
工事名	運川港名 (一) 豊川上島線
施工箇所	出雲 豊川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台構造一般図(その1)
縮尺	縮尺 図示
設計	会社名 会社及び責任者
調査	
設計	

# A1橋台構造一般図(その2) S=1:100

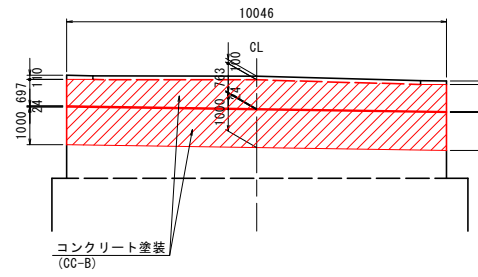
## コンクリート塗装範囲

## 橋台背面アプローチ部詳細図

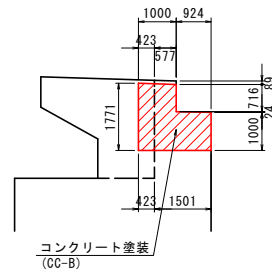
左側側面図



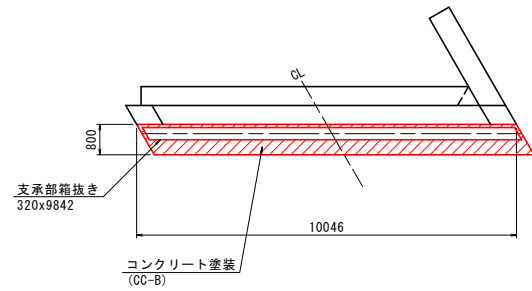
正面図



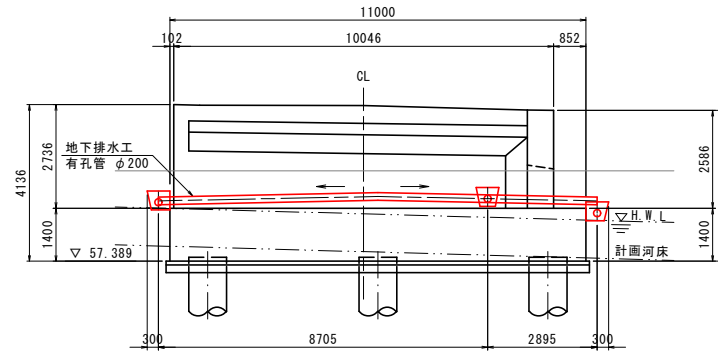
右側側面図



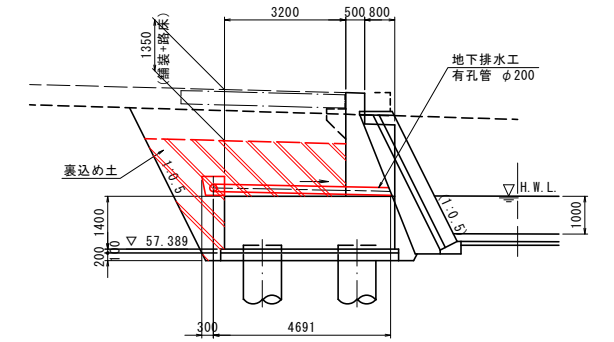
平面図



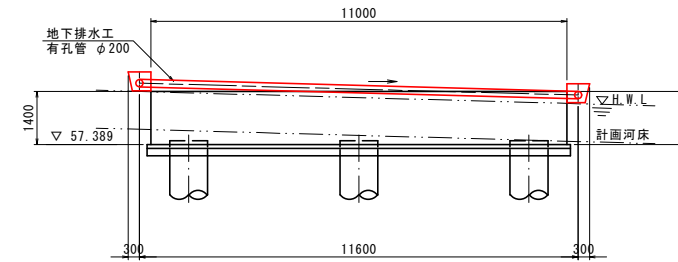
パラペット背面図(1-1)



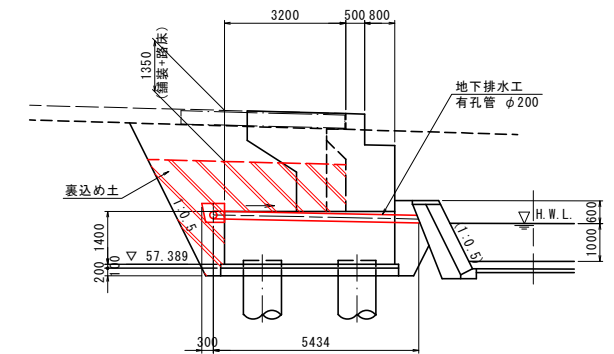
左側側面図(3-3)



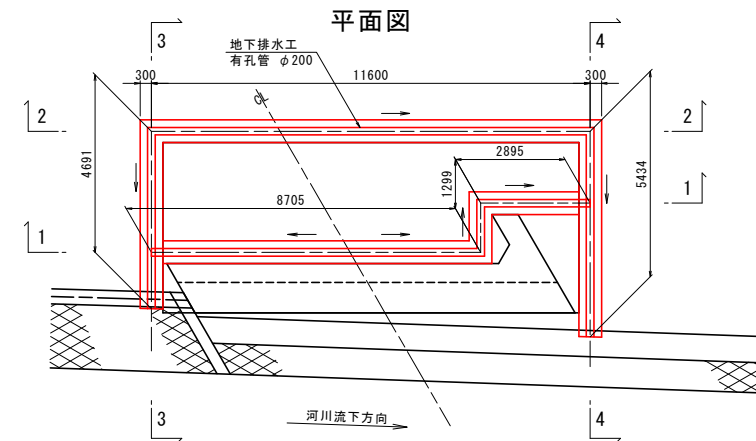
底板背面図(2-2)



右側側面図(4-4)



平面図

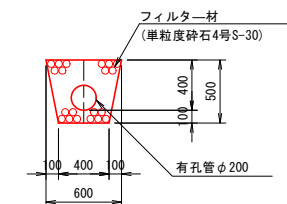


※地下排水工の勾配は2%程度で適宜調整すること

コンクリート面への塗装仕様 CC-B

工程	使用材料	塗装条件			塗装間隔
		目標膜厚 (μm)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装方法	
前処理	プライマー	—	0.10	スプレー (はけ、ローラー)	1~10日
	パテ	—	0.30	へら	
中塗	コンクリート塗装用柔軟型エポキシ樹脂塗装中塗	60	0.32 (0.26)	スプレー (はけ、ローラー)	1~10日
上塗	コンクリート塗装用柔軟型ふっ素樹脂塗料上塗	30	0.15 (0.12)	スプレー (はけ、ローラー)	1~10日

## 有孔管、フィルター材詳細図 S=1:30



### 特記・注意事項

裏込め土材料の仕様・締固め管理  
橋台背面アプローチ部の裏込め材は、締固めが容易で、非圧縮性・透水性があり、強度低下の少ない安定した下表の材料を用いる。

項目	範囲
最大粒径	100mm
4750 μm ふるい通過百分率	25 ~ 100%
75 μm ふるい通過百分率	0 ~ 25%
塑性指数 Ip (425 μm ふるい通過分について)	10 以下

※材料の仕様例及び締固め管理値の目安は、「道路標示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月参考資料3. 橋台背面アプローチ部」及び「道路土工盛土工指針(平成22年度版)」の材料の仕様及び締固め管理の例 から引用。

・締固め管理値の目安は下表のとおり。

項目	範囲
締固め度 Dc	Dc > 平均92%, 最小90%
仕上り厚	200mm 以下

※材料の仕様例及び締固め管理値の目安は、「道路標示方書・同解説 IV 下部構造編 平成29年11月参考資料3. 橋台背面アプローチ部」及び「道路土工盛土工指針(平成22年度版)」の材料の仕様及び締固め管理の例 から引用。

橋台背面排水工数量表

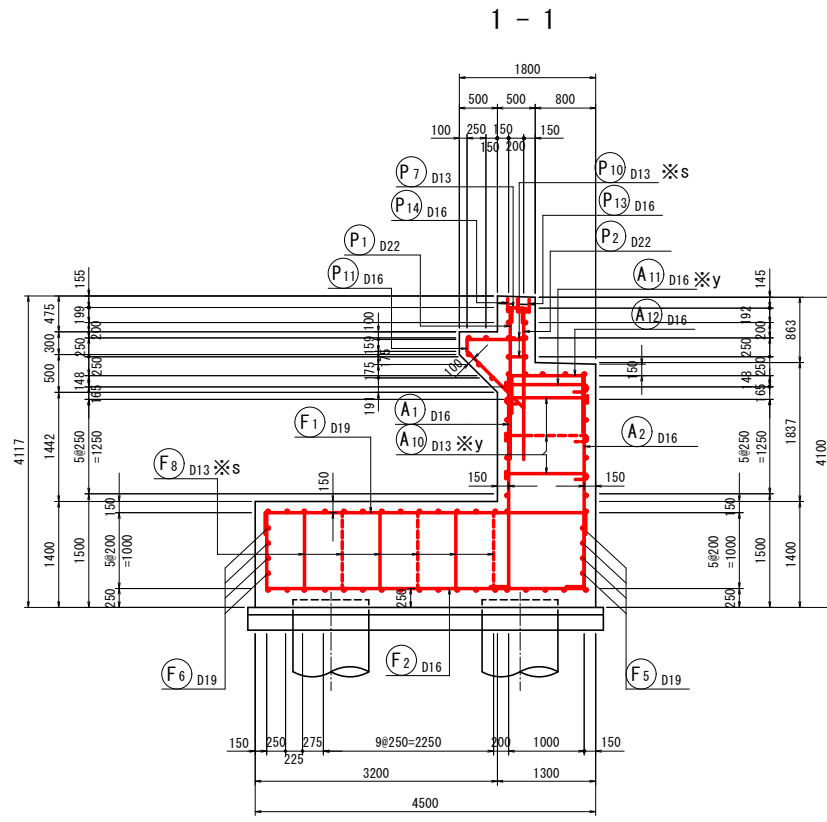
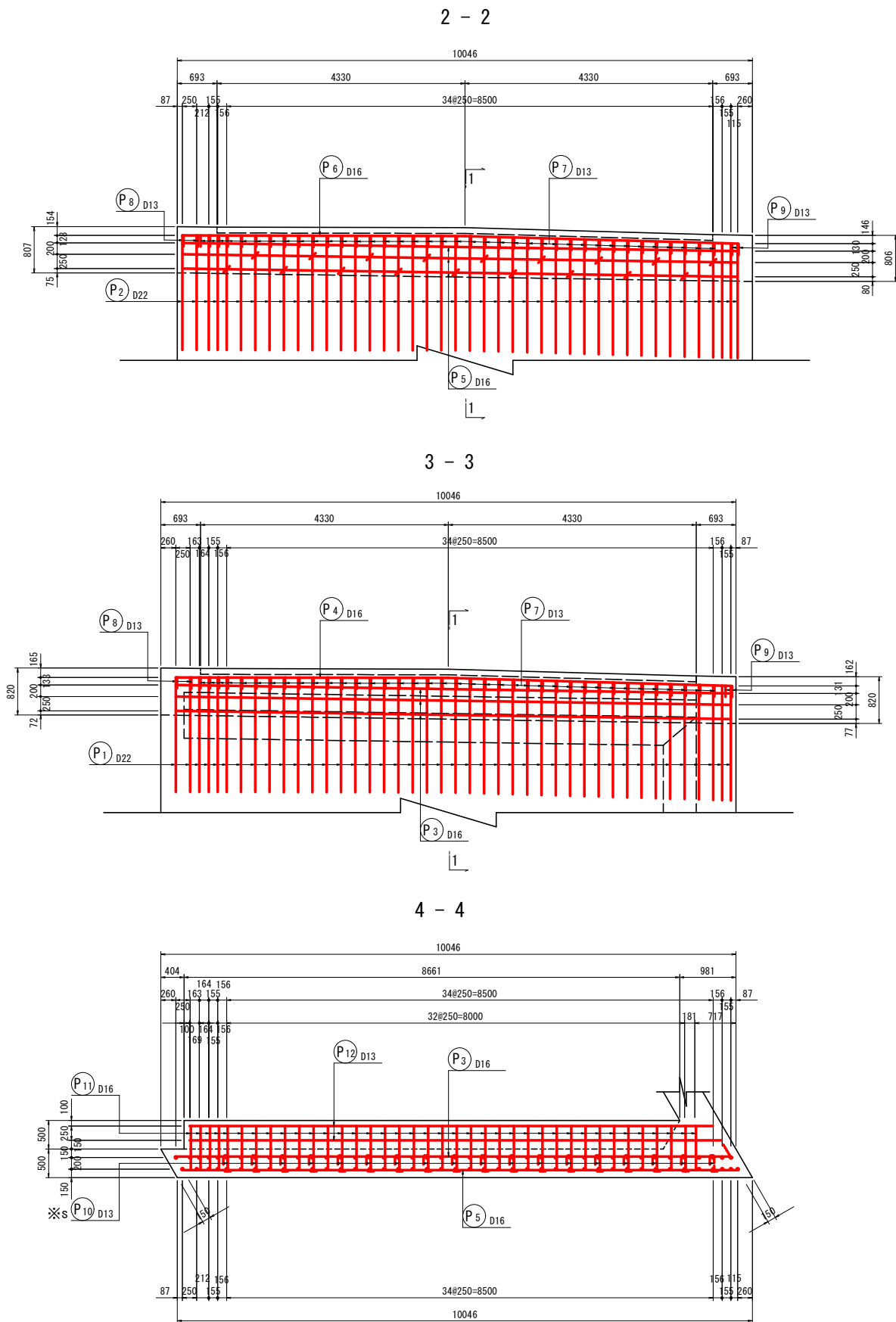
項目	規格	単位	数量
有孔管	φ200	m	34.6
フィルター材	単粒度砕石 4号 S-30	m <sup>3</sup>	7.6

### 実施

年度	令和 8 年度
番号	契 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改善)工事(補正)第1種
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台構造一般図(その2)
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 16

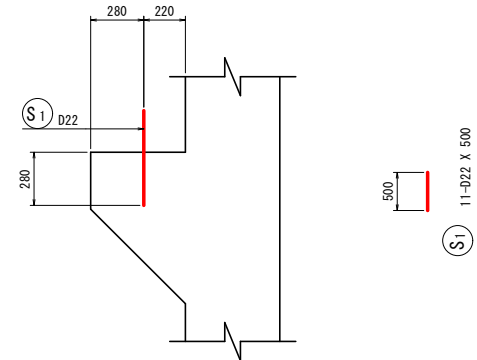
# A1橋台配筋図(1)

S=1:50

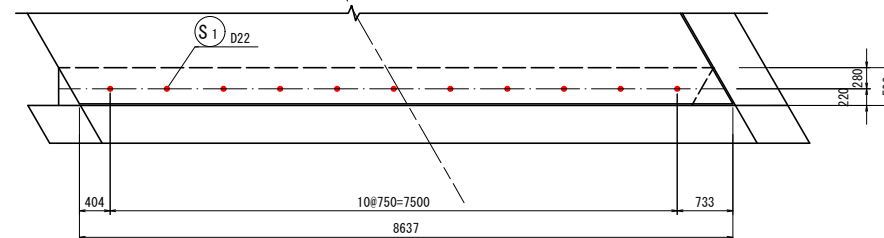


## アンカー鉄筋詳細図

S=1:20

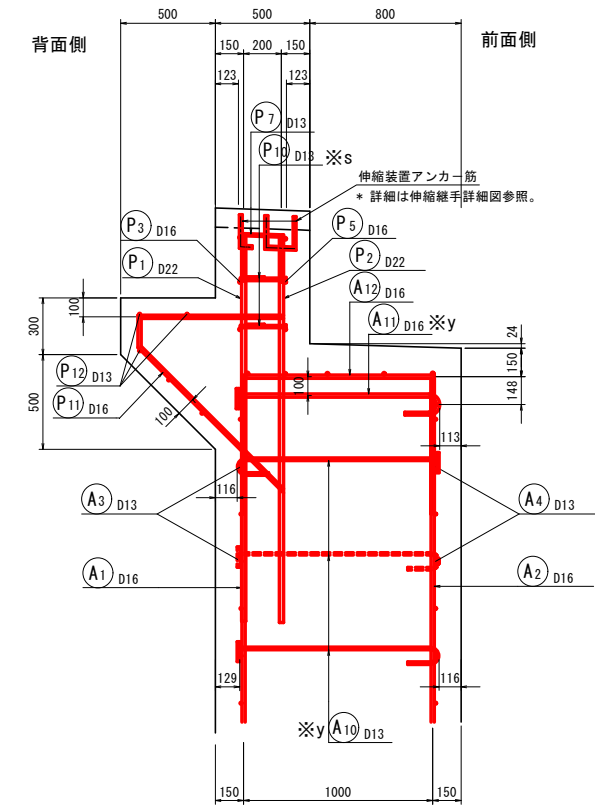


## アンカー配置図



## パラペット・堅壁詳細図

S=1:20



- 注) せん断補強鉄筋 (P10) は、半円形フックを背面側に配置する。
- せん断補強鉄筋は、主鉄筋 (P1) (P2) にフックをかけるものとする。
- 注) (A10) 中間帯鉄筋は (A3) (A4) 配力筋に掛けること。
- (A11) 水平補強筋は (A5) (A6) 配力筋に掛けること。
- また、(A10) (A11) は、半円形フックが交互にくるよう配置すること。

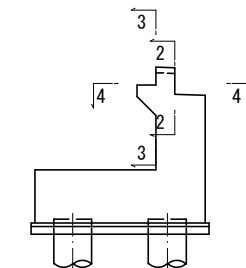
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

## 位置図

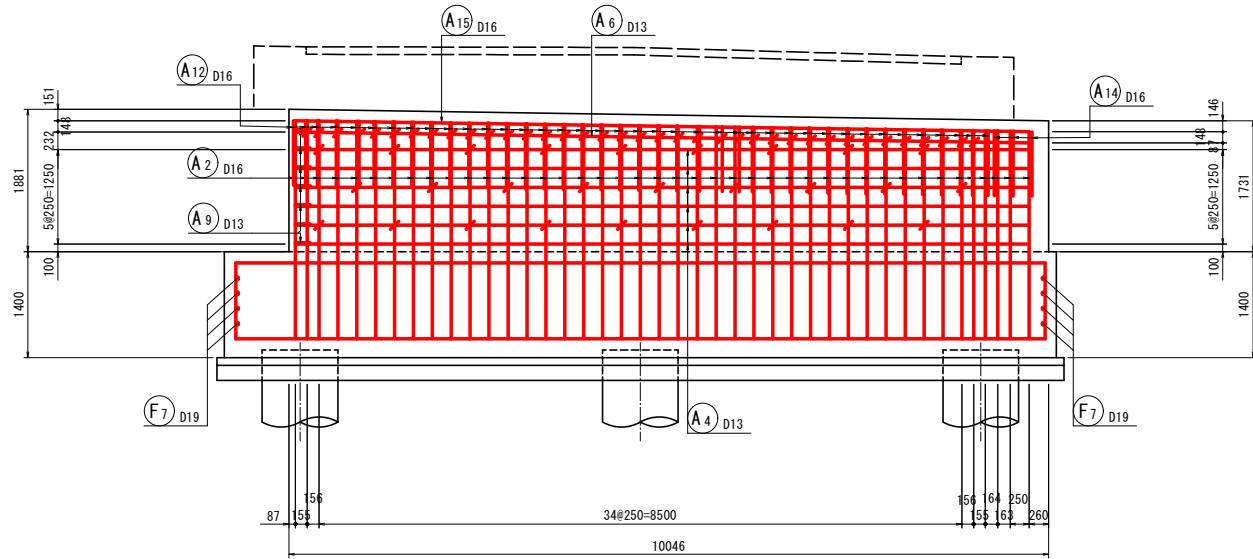


実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台配筋図(1)
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	【 4号橋 】 38 葉の内 17

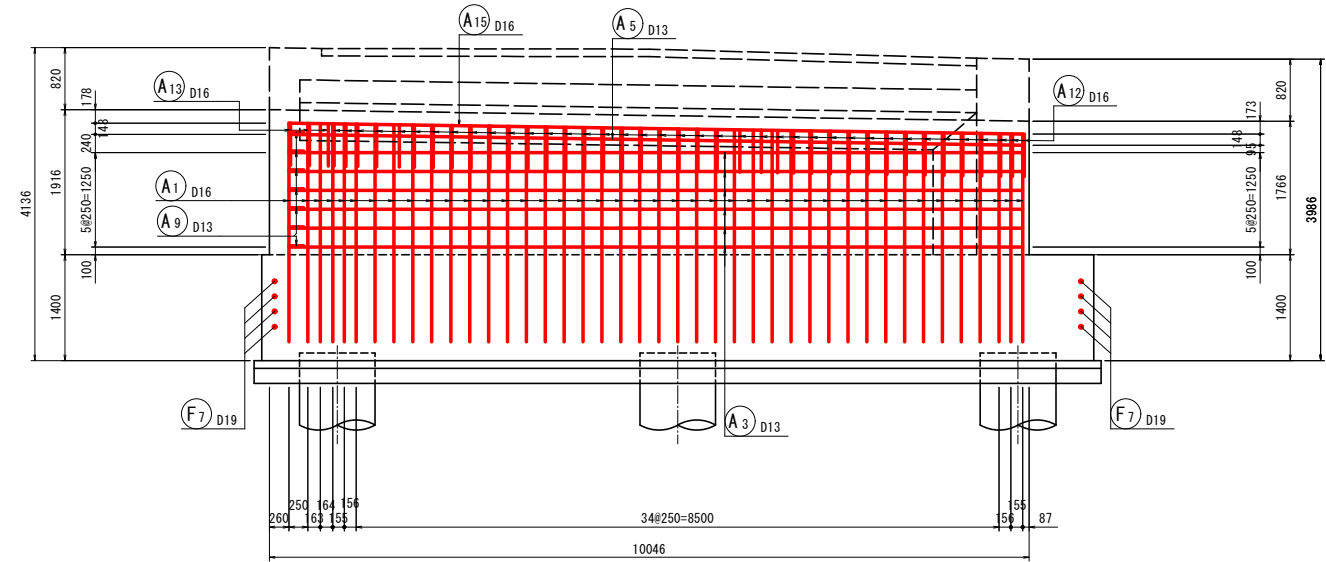
# A1橋台配筋図(2)

S=1:50

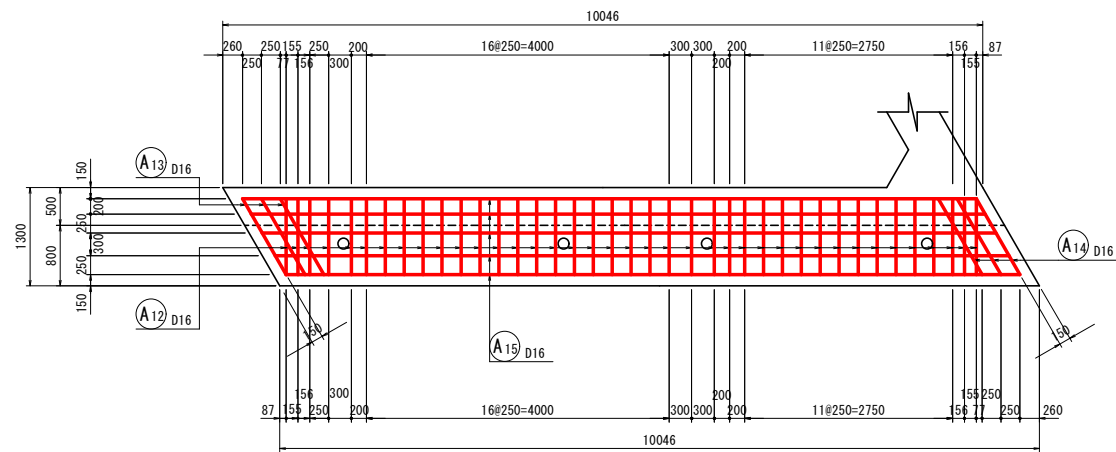
5 - 5



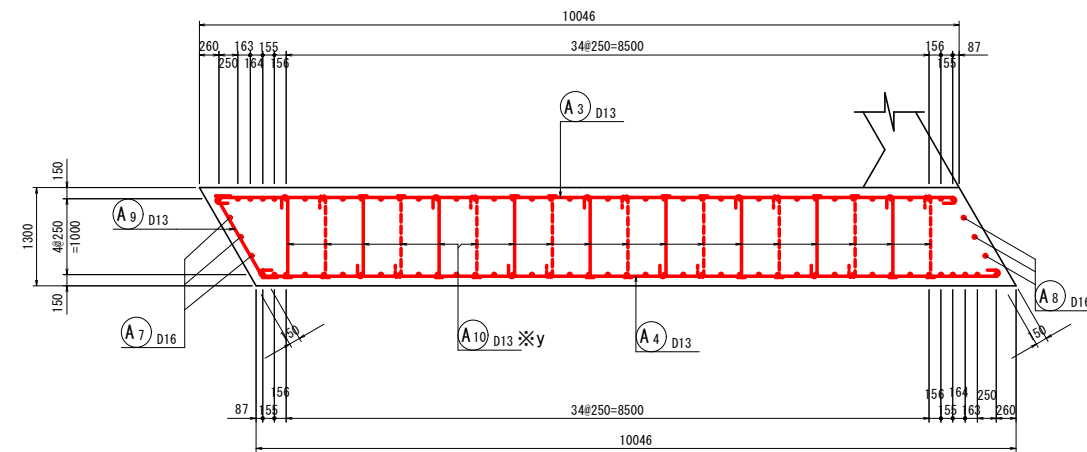
6 - 6



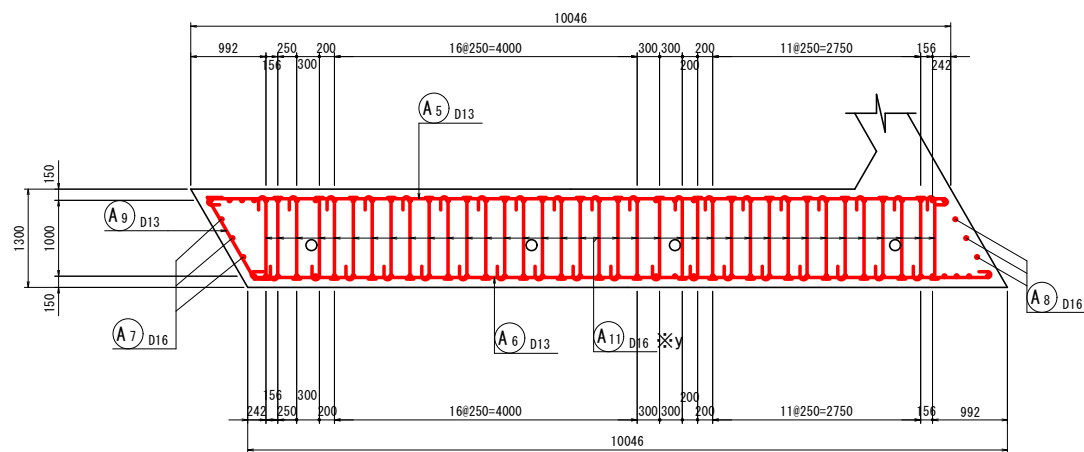
7 - 7



9 - 9



8 - 8



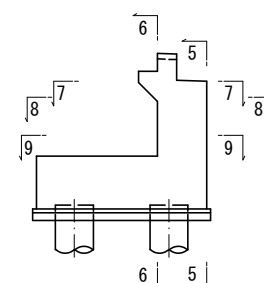
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: セン断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

位置図

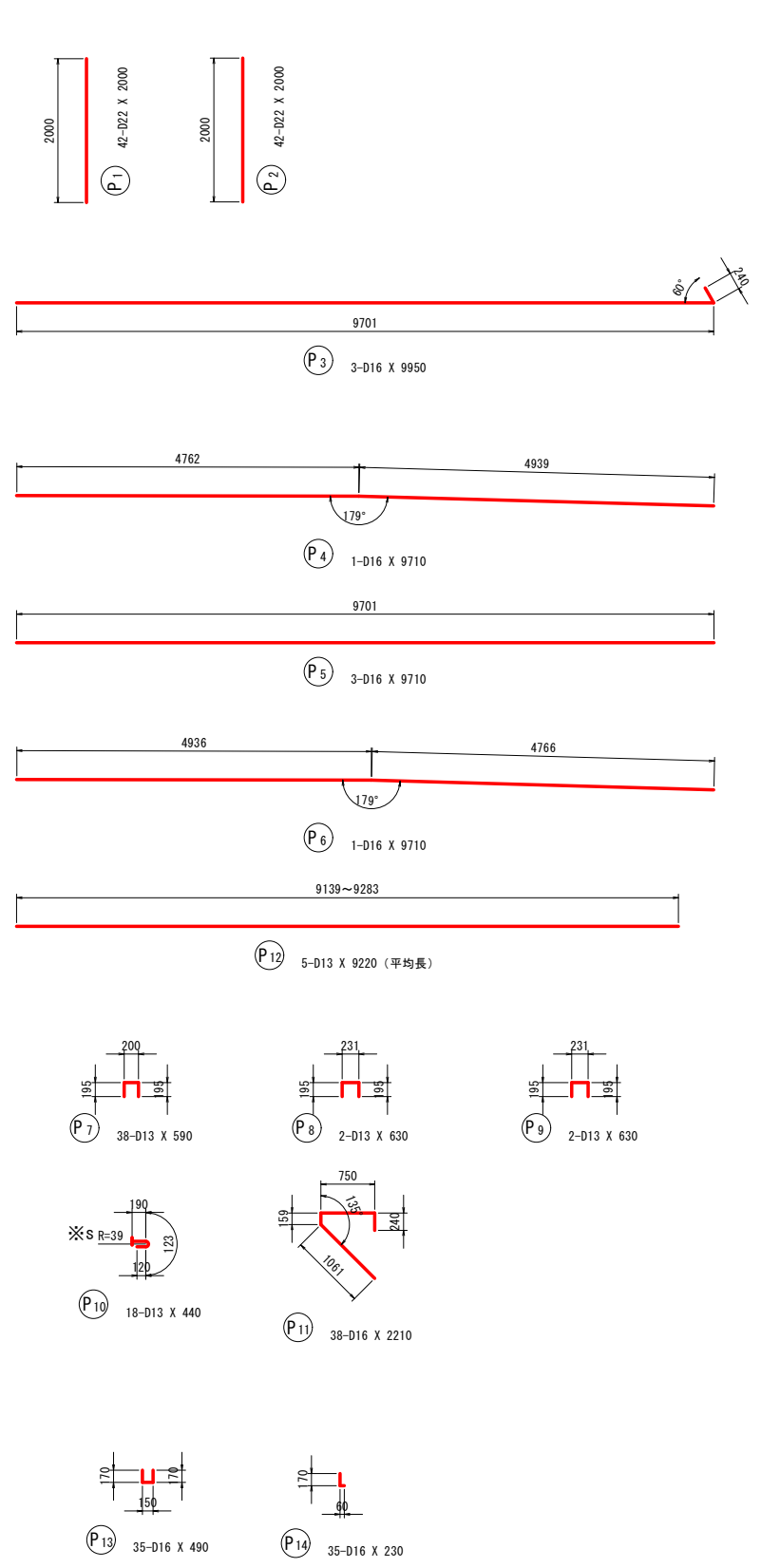


実施

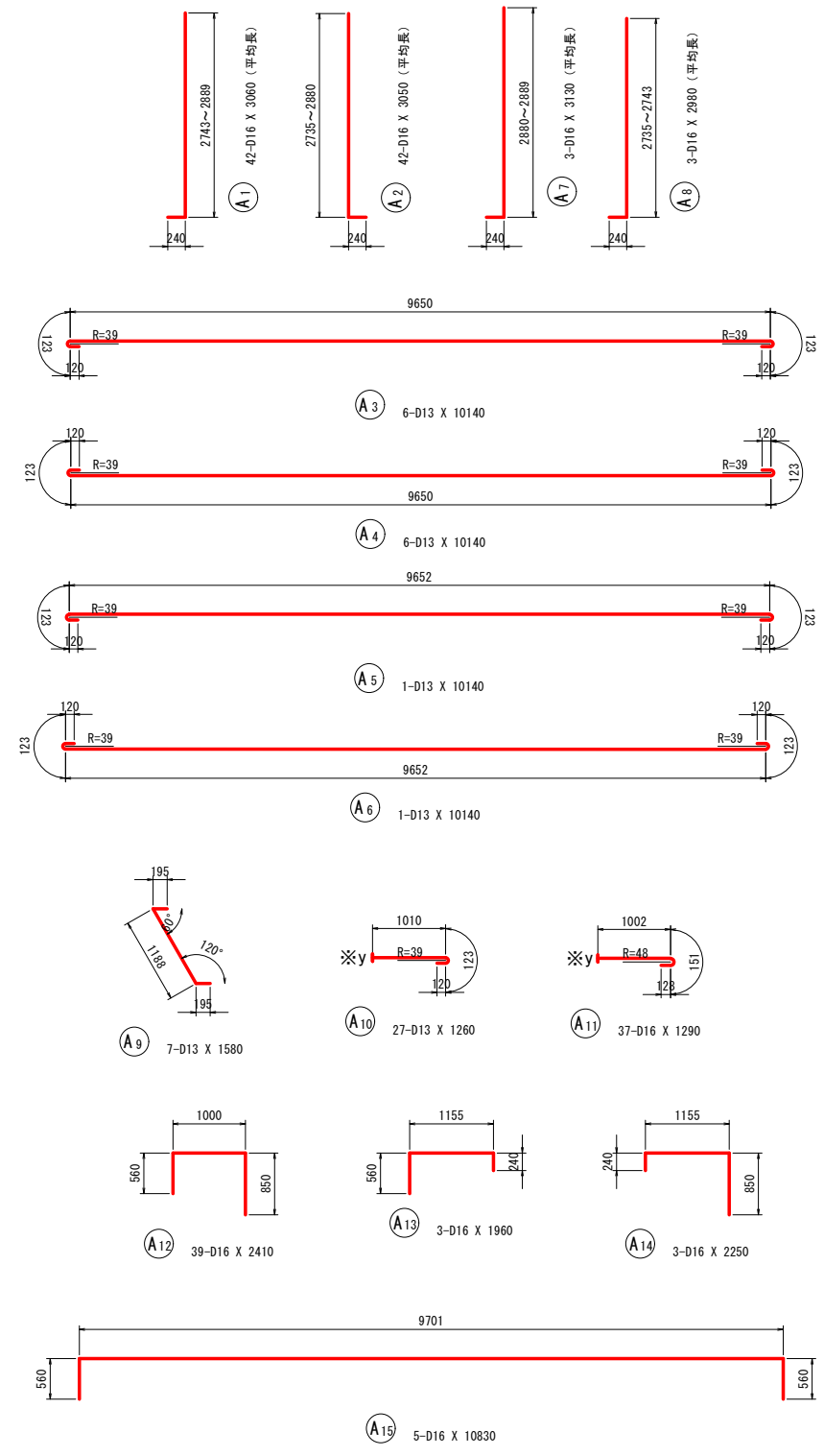
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	A1橋台配筋図(2)
縮尺	縮尺 1:50
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	【 4号橋 】 38 葉の内 18

# A1橋台配筋図(3)

S=1:50



注) (P13), (P14) は伸縮装置アンカー筋  
(詳細は伸縮装置詳細図参照)



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、  
下記の基準等を満足すること。

1. 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と  
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: セン断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

## 実施

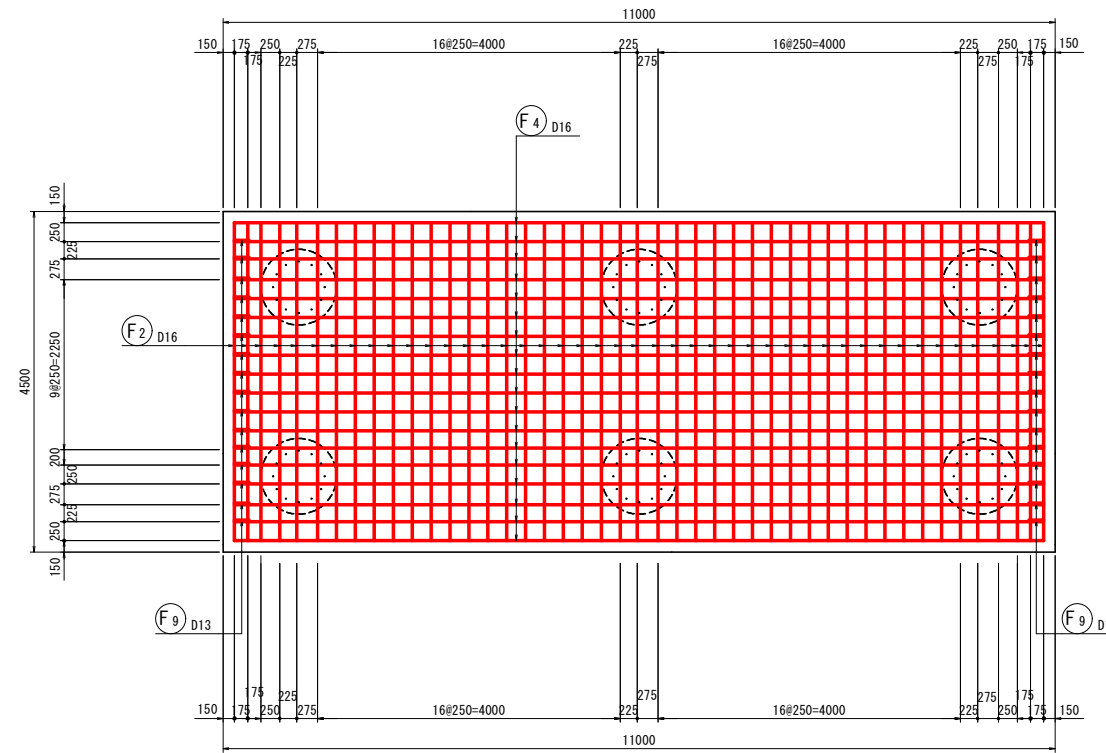
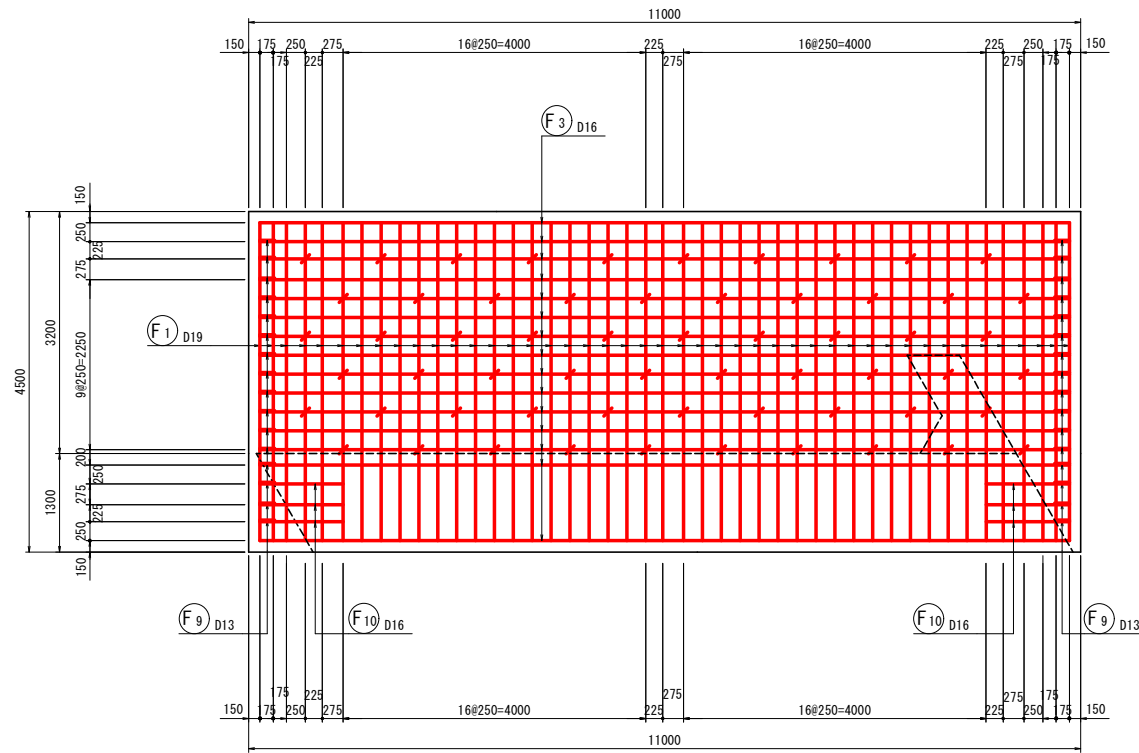
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島橋 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台配筋図(3)
縮尺	縮尺 1:50
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 19

# A1橋台配筋図(4)

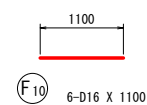
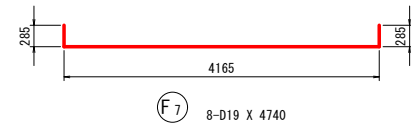
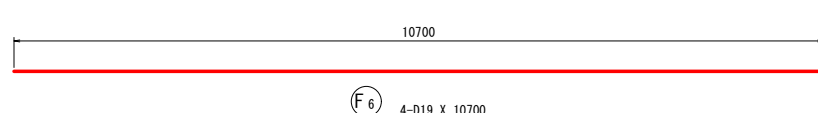
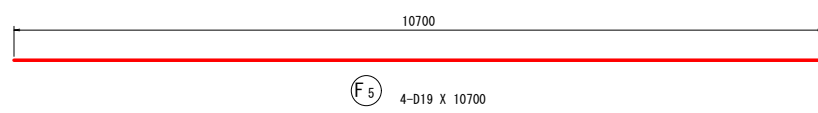
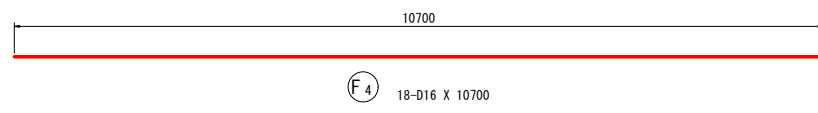
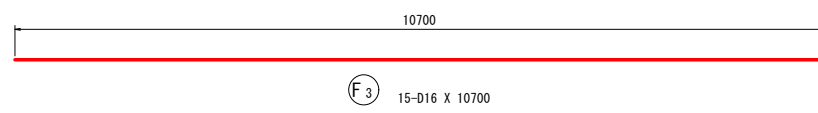
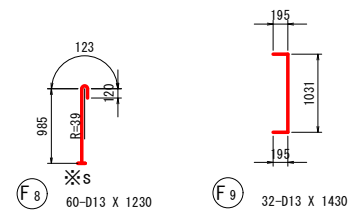
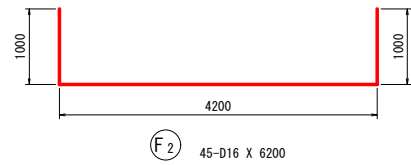
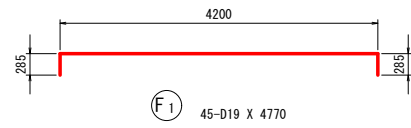
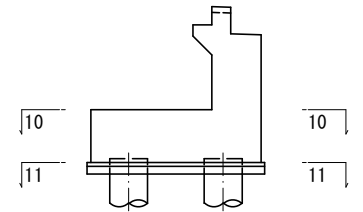
S=1:50

10 - 10

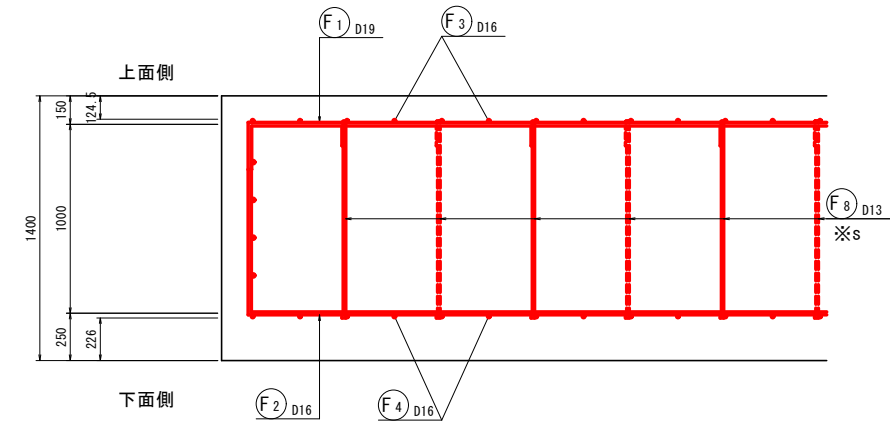
11 - 11



位置図



後フーチング詳細図 S=1:20



注) 後フーチングのせん断補強筋 (F8) は上面側に半円形フックを配置する。  
フーチングのせん断補強筋は、主鉄筋に掛けること。

注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

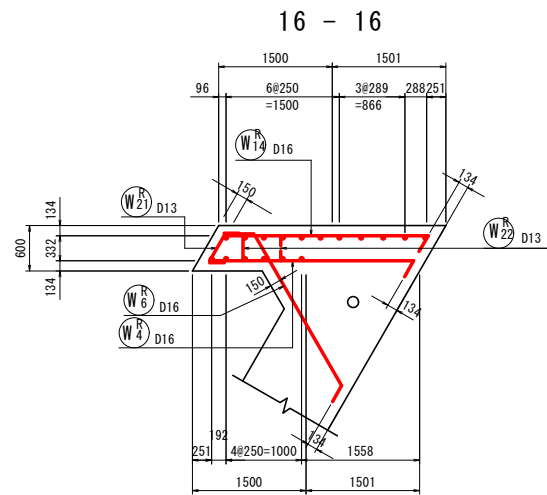
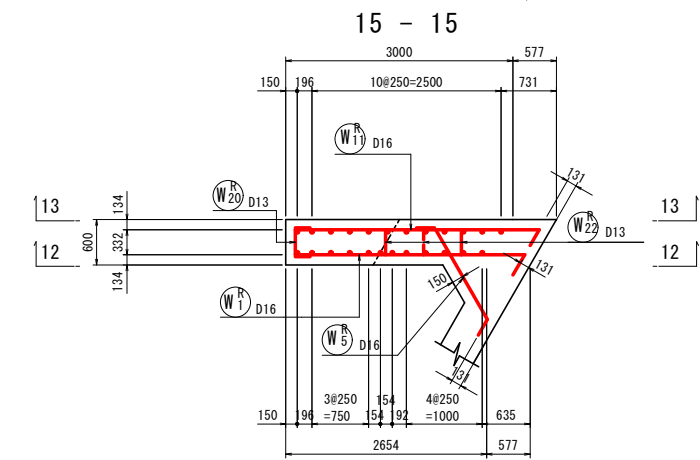
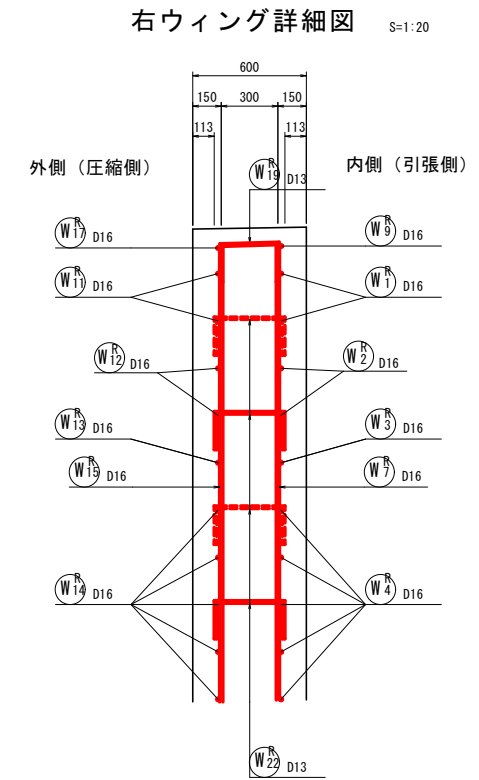
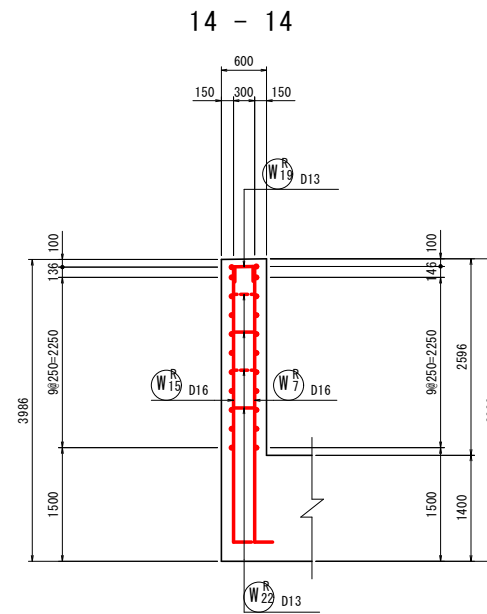
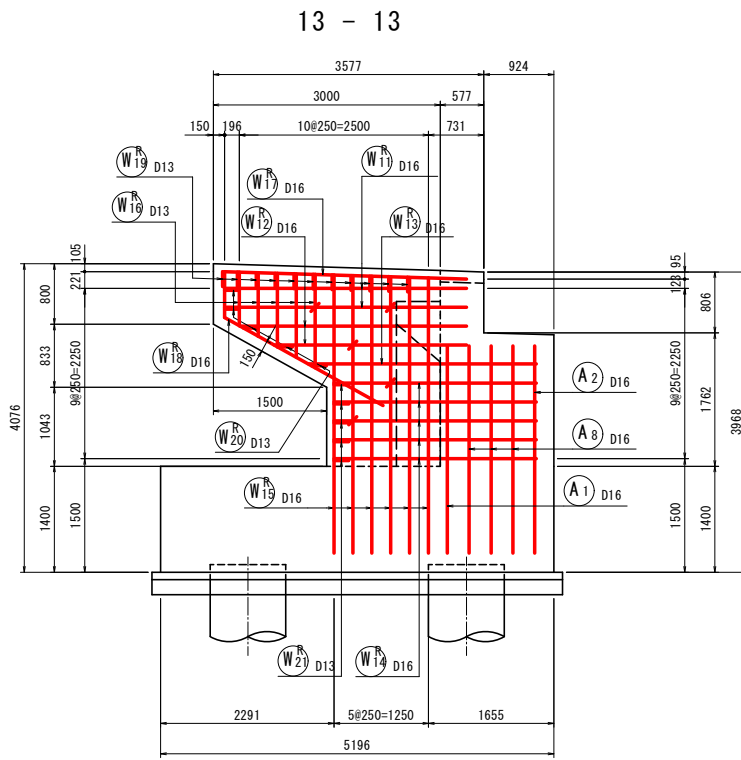
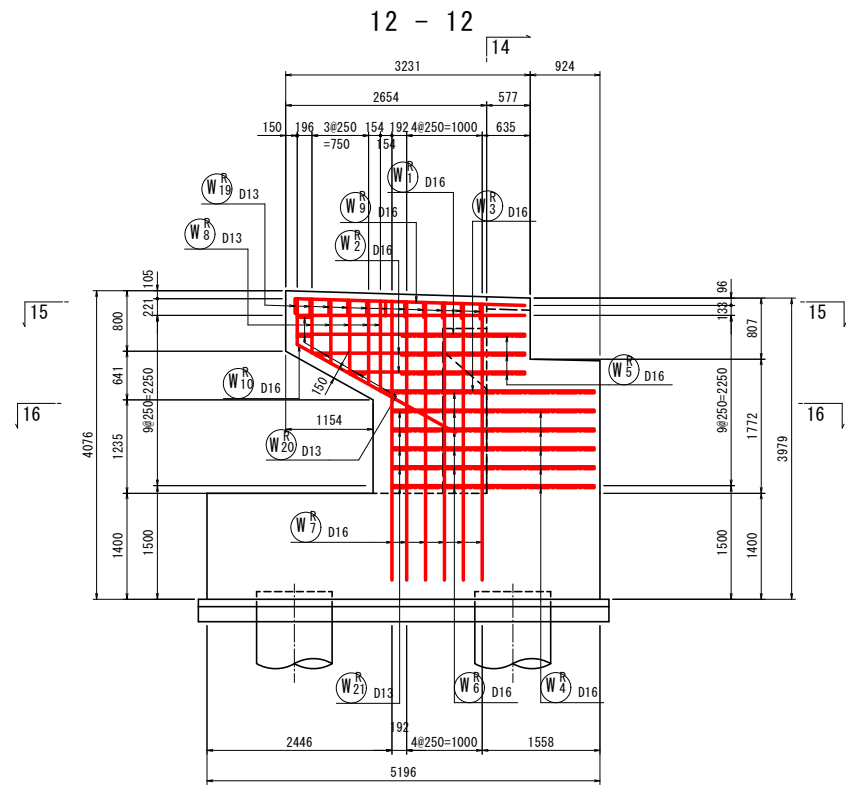
※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

実施

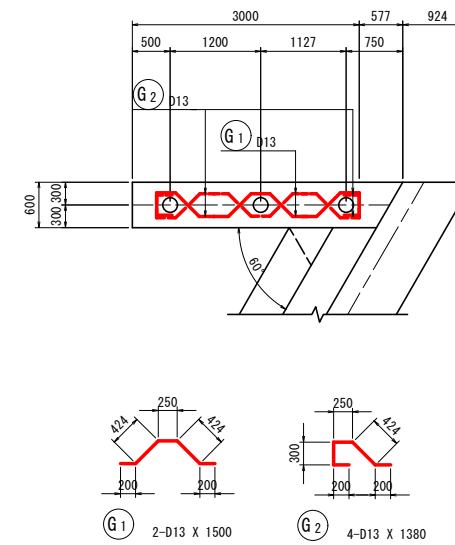
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島橋 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台配筋図(4)
項目	会社名 会社及び責任者
測量	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 20

# A1橋台配筋図(5)

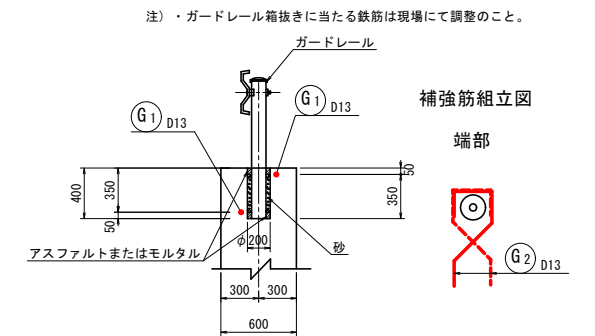
S=1:50



## ガードレール補強筋配置図



## ガードレール箱抜き詳細図



注) ・ガードレール箱抜きに当たる鉄筋は現場にて調整のこと。

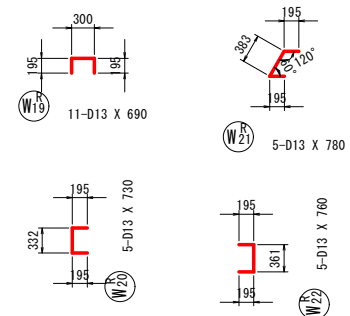
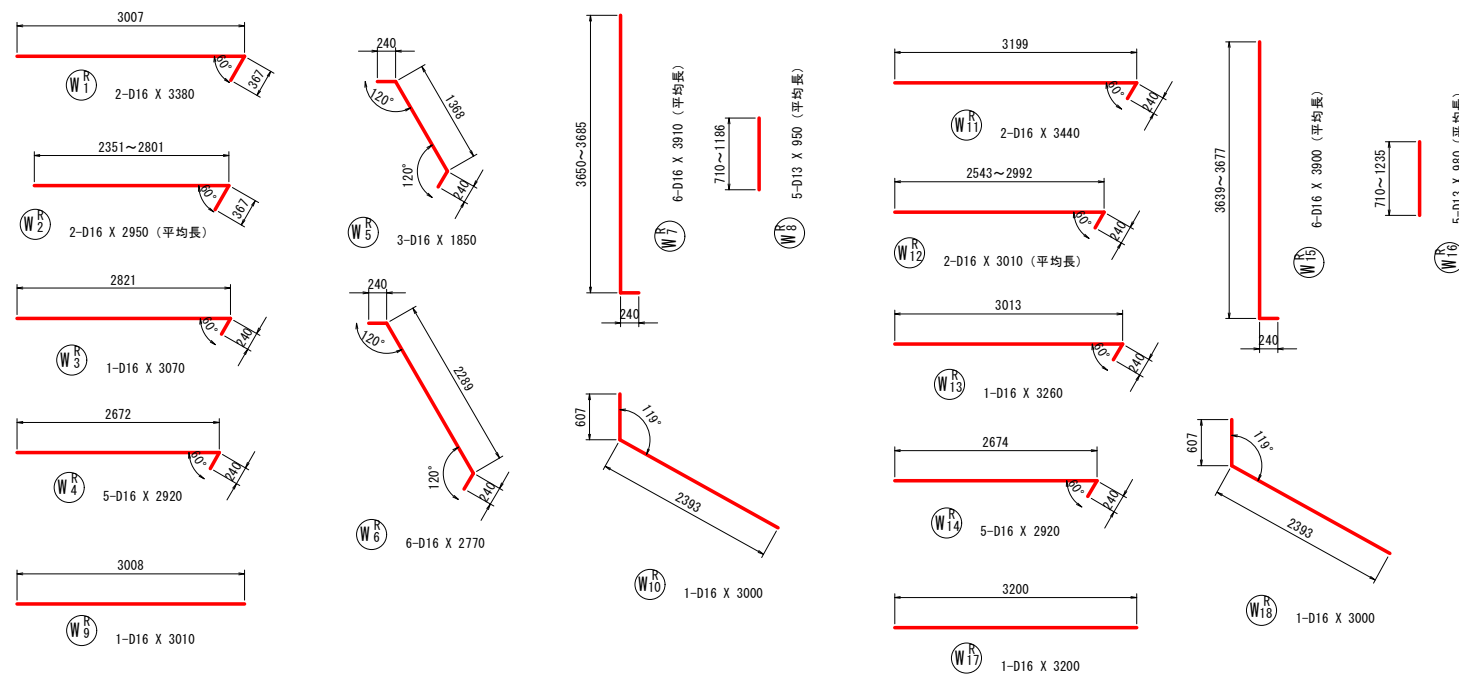
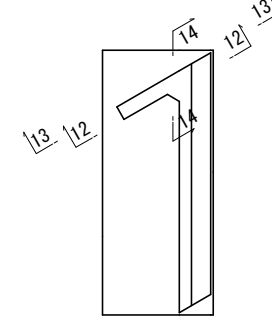
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: セン断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

## 位置図



実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋 (西部2工区) 耐震改修工事 (補正) 第10種
道川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 郡 奥川 町 阿宮 地内
図面名称	A1橋台配筋図(5)
項目	橋尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 21

# A1橋台配筋図(6)

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 1	D22	2000	42	3.04	6.08	255	
P 2	D22	2000	42	3.04	6.08	255	
P 3	D16	9950	3	1.56	15.52	47	—
P 4	D16	9710	1	1.56	15.15	15	—
P 5	D16	9710	3	1.56	15.15	45	—
P 6	D16	9710	1	1.56	15.15	15	—
P 7	D13	590	38	0.995	0.59	22	□
P 8	D13	630	2	0.995	0.63	1	□
P 9	D13	630	2	0.995	0.63	1	□
P 10	D13	440	18	0.995	0.44	8	⌋ ※s
P 11	D16	2210	38	1.56	3.45	131	↘
P 12	D13	9220	5	0.995	9.17	46	— (平均長)
P 13	D16	490	35	1.56	0.76	27	⌋
P 14	D16	230	35	1.56	0.36	13	⌋
881 kg							
S 1	D22	500	11	3.04	1.52	17	
17 kg							
A 1	D16	3060	42	1.56	4.77	200	(平均長)
A 2	D16	3050	42	1.56	4.76	200	(平均長)
A 3	D13	10140	6	0.995	10.09	61	—
A 4	D13	10140	6	0.995	10.09	61	—
A 5	D13	10140	1	0.995	10.09	10	—
A 6	D13	10140	1	0.995	10.09	10	—
A 7	D16	3130	3	1.56	4.88	15	(平均長)
A 8	D16	2980	3	1.56	4.65	14	(平均長)
A 9	D13	1580	7	0.995	1.57	11	↘
A 10	D13	1260	27	0.995	1.25	34	— ※y
A 11	D16	1290	37	1.56	2.01	74	— ※y
A 12	D16	2410	39	1.56	3.76	147	□
A 13	D16	1960	3	1.56	3.06	9	□
A 14	D16	2250	3	1.56	3.51	11	□
A 15	D16	10830	5	1.56	16.89	84	—
941 kg							

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 1	D19	4770	45	2.25	10.73	483	—
F 2	D16	6200	45	1.56	9.67	435	⌋
F 3	D16	10700	15	1.56	16.69	250	—
F 4	D16	10700	18	1.56	16.69	300	—
F 5	D19	10700	4	2.25	24.08	96	—
F 6	D19	10700	4	2.25	24.08	96	—
F 7	D19	4740	8	2.25	10.67	85	—
F 8	D13	1230	60	0.995	1.22	73	※s
F 9	D13	1430	32	0.995	1.42	45	⌋
F 10	D16	1100	6	1.56	1.72	10	—
1873 kg							
W R 1	D16	3380	2	1.56	5.27	11	↘
W R 2	D16	2950	2	1.56	4.60	9	— (平均長)
W R 3	D16	3070	1	1.56	4.79	5	—
W R 4	D16	2920	5	1.56	4.56	23	—
W R 5	D16	1850	3	1.56	2.89	9	↘
W R 6	D16	2770	6	1.56	4.32	26	↘
W R 7	D16	3910	6	1.56	6.10	37	(平均長)
W R 8	D13	950	5	0.995	0.95	5	(平均長)
W R 9	D16	3010	1	1.56	4.70	5	—
W R 10	D16	3000	1	1.56	4.68	5	↘
W R 11	D16	3440	2	1.56	5.37	11	—
W R 12	D16	3010	2	1.56	4.70	9	— (平均長)
W R 13	D16	3260	1	1.56	5.09	5	—
W R 14	D16	2920	5	1.56	4.56	23	—
W R 15	D16	3900	6	1.56	6.08	36	(平均長)
W R 16	D13	980	5	0.995	0.98	5	(平均長)
W R 17	D16	3200	1	1.56	4.99	5	—
W R 18	D16	3000	1	1.56	4.68	5	↘
W R 19	D13	690	11	0.995	0.69	8	□
W R 20	D13	730	5	0.995	0.73	4	⌋
W R 21	D13	780	5	0.995	0.78	4	↘
W R 22	D13	760	5	0.995	0.76	4	⌋
254 kg							
G 1	D13	1500	2	0.995	1.49	3	—
G 2	D13	1380	4	0.995	1.37	5	—
8 kg							
合計				D22	527 kg		
				D19	760 kg		
				D16	2266 kg		
				D13	421 kg		
総質量				3974 kg			※S1 (踏掛版Aバー筋) は溶融亜鉛めっき加工をすること。

機械式鉄筋定着工法数量表

せん断補強鉄筋

鉄筋径	箇所数					
	①0<L≤1m	②1m<L≤2m	③2m<L≤3m	④3m<L≤4m	⑤4m<L≤5m	⑥5m<L≤6m
D13	18	60	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
小計	18	60	—	—	—	—
合計						78

横拘束鉄筋

鉄筋径	箇所数					
	①0<L≤1m	②1m<L≤2m	③2m<L≤3m	④3m<L≤4m	⑤4m<L≤5m	⑥5m<L≤6m
D13	—	27	—	—	—	—
D16	—	37	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
小計	—	64	—	—	—	—
合計						64

注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道橋標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

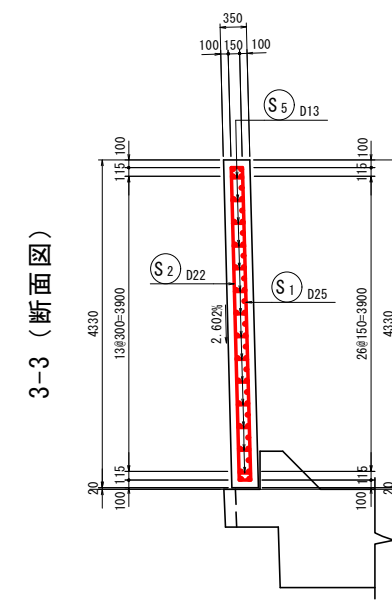
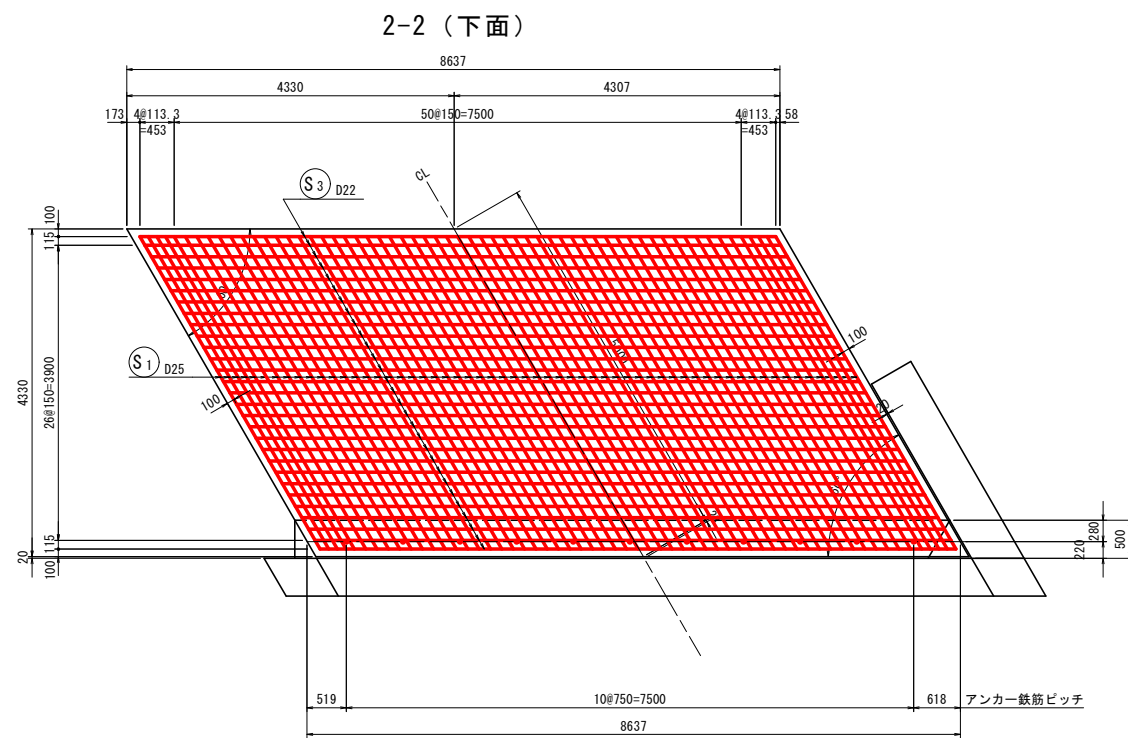
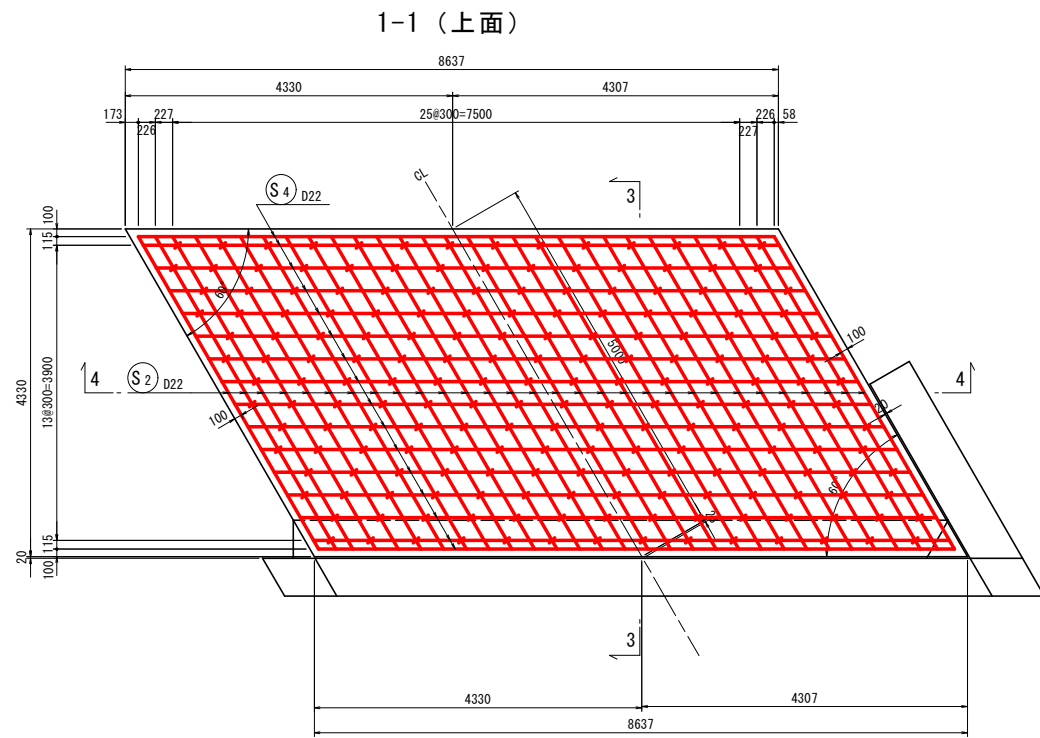
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

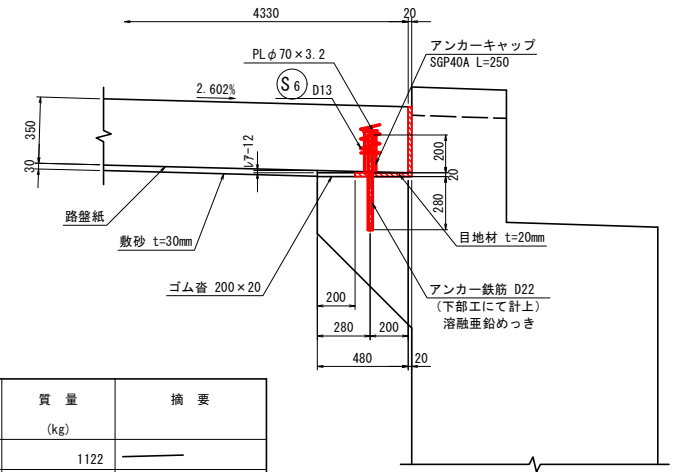
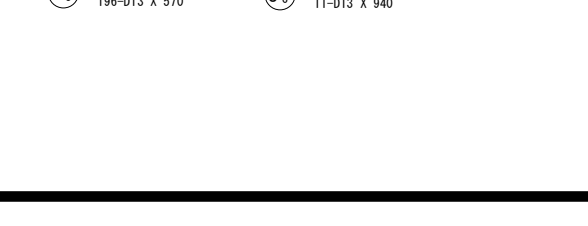
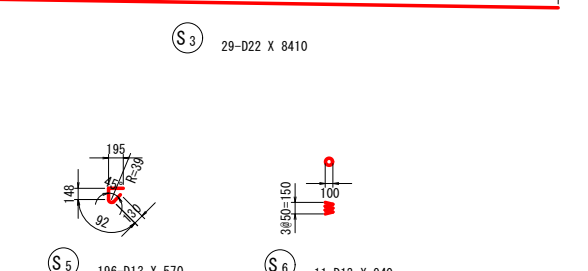
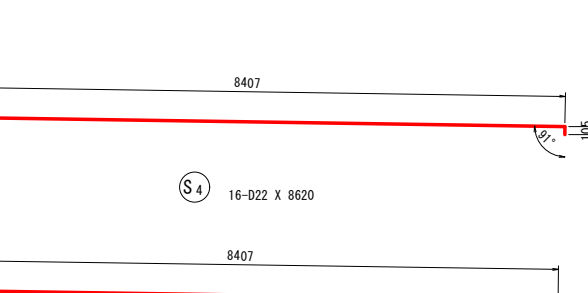
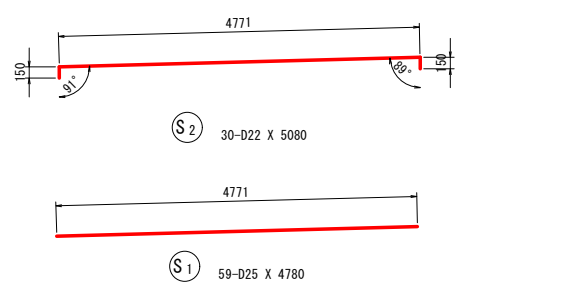
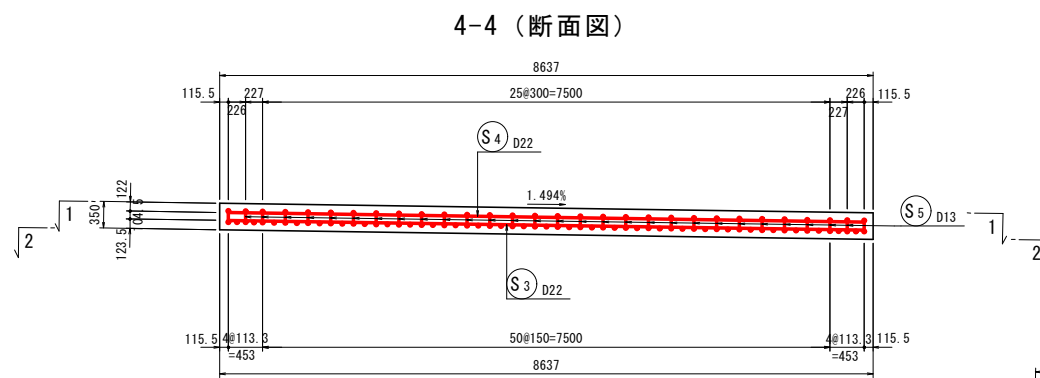
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
道川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台配筋図(6)
縮尺	No sca 縮尺 No sca
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【 4号橋 】	38 葉の内 22

# A1橋台踏掛版配筋図 S=1:50



支承詳細図 S=1:20

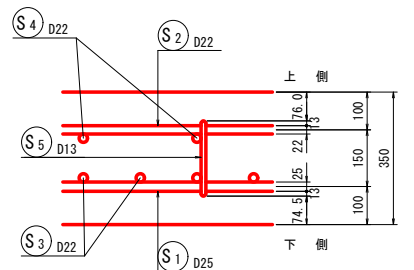


注) アンカーボルトについては、下部工事時に設置済とする。

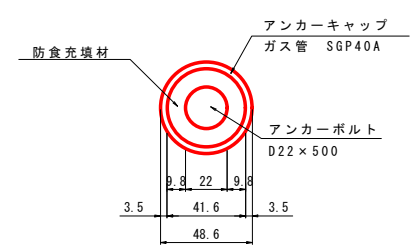
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D25	4780	59	3.98	19.02	1122	
S 2	D22	5080	30	3.04	15.44	463	
S 3	D22	8410	29	3.04	25.57	742	
S 4	D22	8620	16	3.04	26.20	419	
S 5	D13	570	196	0.995	0.57	112	┘
S 6	D13	940	11	0.995	0.94	10	W
						2868 kg	
合計 D25				1122 kg			
D22				1624 kg			
D13				122 kg			
総質量				2868 kg			

かぶり詳細図 S=1:10



アンカーキャップ S=1:2



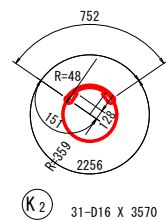
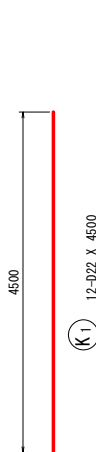
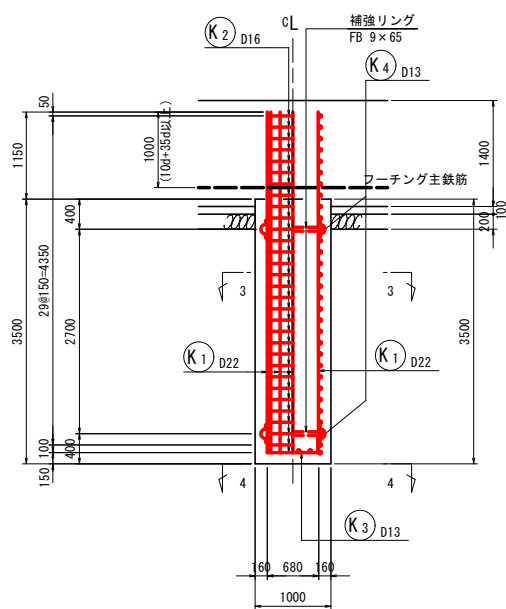
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	A1橋台踏掛版配筋図
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 23

# A1橋台場所打ち杭配筋図(1) (L=3.50m)

S=1:50

1 - 1      2 - 2

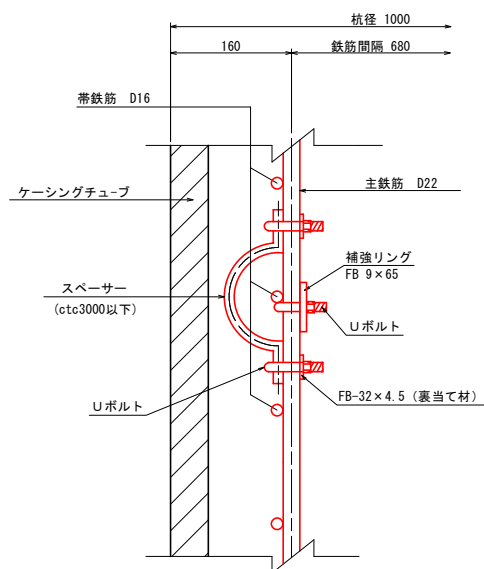


注) 帯鉄筋の継手部は千鳥状に配置すること。

## 変化鉄筋表

種別	径	本数	l	L
K 3-1	D13	4	522	920
-2	D13	4	672	1070
平均長		8		990

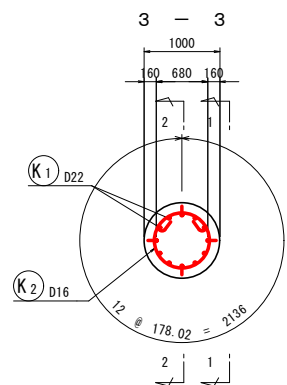
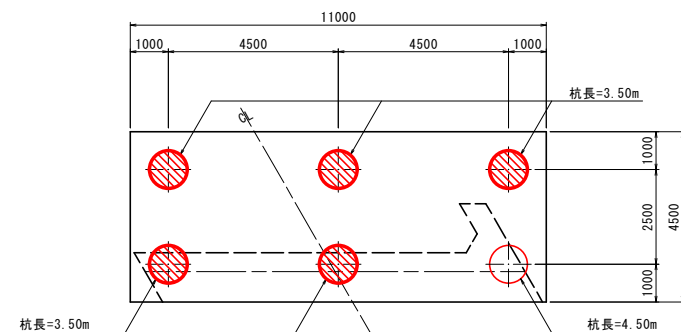
## スペーサー詳細図 S=1:5



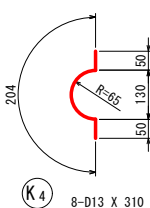
## 鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K 1	D22	4500	12	3.04	13.68	164	
K 2	D16	3570	31	1.56	5.57	173	○
K 3	D13	990	8	0.995	0.99	8	(平均長)
K 4	D13	310	8	0.995	0.31	2	<
347 kg							
				杭一本当り	杭本数	橋台一基当り	
合計 D22				164 kg	x 5	= 820 kg	
D16				173 kg	x 5	= 865 kg	
D13				10 kg	x 5	= 50 kg	
総質量				347 kg	x 5	= 1735 kg	

## 杭配置図 S=1:100



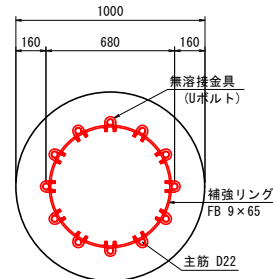
## スペーサー S=1:10



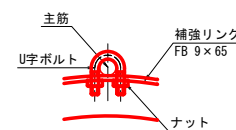
注) スペーサーは各断面に45°程度ずらす。(1断面当り4ヶ所)

## 無溶接金具 (Uボルト) 取付図(参考図)

### 補強リングと主鉄筋金具詳細図



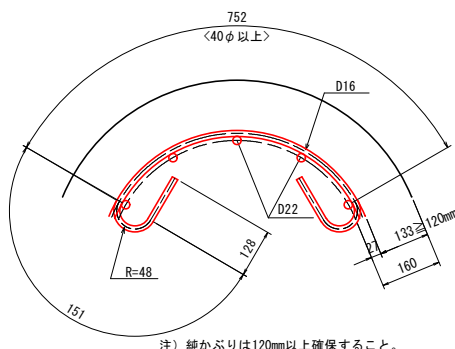
### Uボルト取付詳細図



Uボルトまたは同等品  
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定

4 - 4

## 帯鉄筋詳細図 S=1:10



注) 純かぶりは120mm以上確保すること。

## 補強リング・固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
FB 9 x 65	2039	2	4.592	9.36	19	補強リング
Uボルト	-	24	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

注) 1) 補強リングと軸方向鉄筋の交点は、全ての箇所を固定金具で固定すること。  
2) 軸方向鉄筋と帯鉄筋の交点は、軸方向鉄筋 3~4本おきに結束線にて結束することとし、固定金具は使用しない。

## スペーサー用固定金具

種別	本数	摘要
Uボルト	16	スペーサーと主鉄筋の固定 裏当て材含む

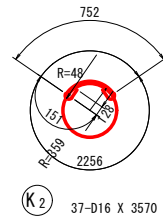
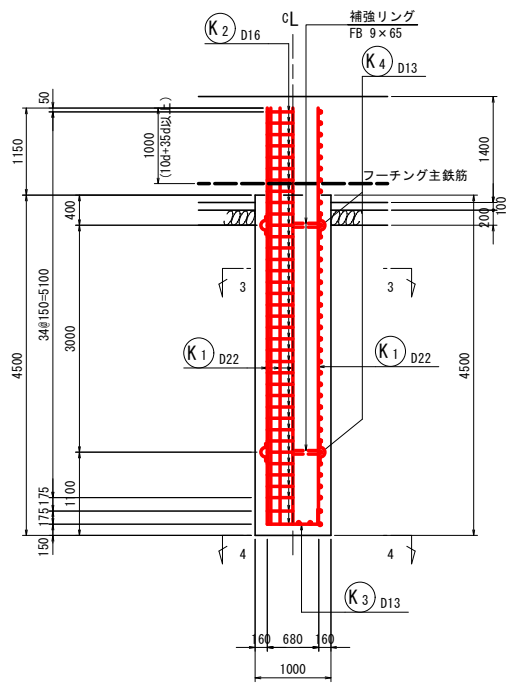
## 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台場所打ち杭配筋図(1)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量調査	
設計	
【 4号欄 】	38 葉の内 24

# A1橋台場所打ち杭配筋図(2) (L=4.50m)

S=1:50

1 - 1      2 - 2

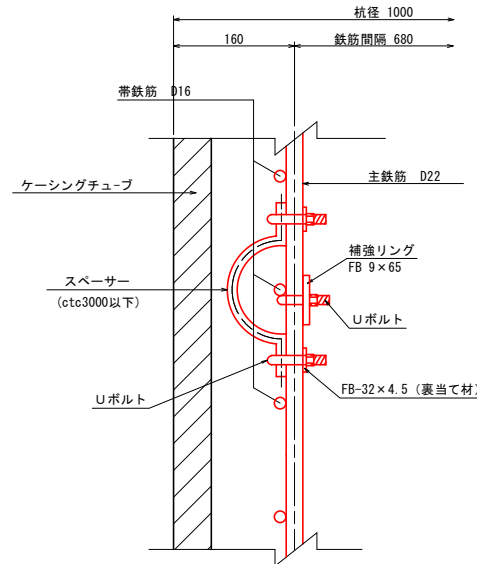


注) 帯鉄筋の継手部は千鳥状に配置すること。

## 変化鉄筋表

種別	径	本数	l	L
K 3-1	D13	4	522	920
-2	D13	4	672	1070
平均長		8		990

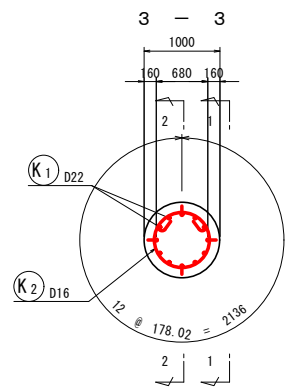
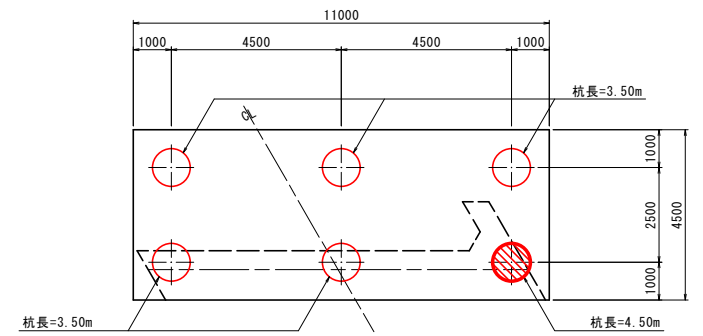
## スペーサー詳細図 S=1:5



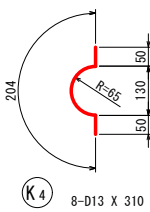
## 鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K 1	D22	5500	12	3.04	16.72	201	
K 2	D16	3570	37	1.56	5.57	206	○
K 3	D13	990	8	0.995	0.99	8	┌ (平均長)
K 4	D13	310	8	0.995	0.31	2	└
417 kg							
杭一本当り							
合計 D22					201 kg		
D16					206 kg		
D13					10 kg		
総質量					417 kg		

## 杭配置図 S=1:100



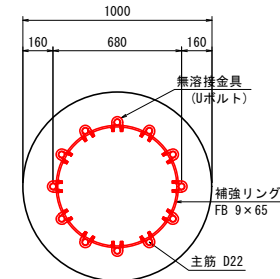
## スペーサー S=1:10



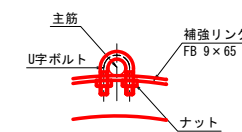
注) スペーサーは各断面に45°程度ずらす。(1断面当り4ヶ所)

## 無溶接金具 (Uボルト) 取付図(参考図)

### 補強リングと主鉄筋金具詳細図

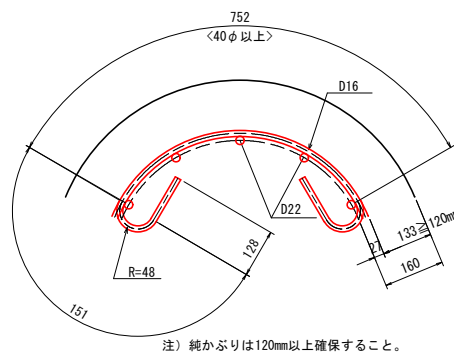


### Uボルト取付詳細図



Uボルトまたは同等品  
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定

## 帯鉄筋詳細図 S=1:10



注) 純かぶりは120mm以上確保すること。

## 補強リング・固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
FB 9×65	2039	2	4.592	9.36	19	補強リング
Uボルト	-	24	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

注) 1) 補強リングと軸方向鉄筋の交点は、全ての箇所を固定金具で固定すること。  
2) 軸方向鉄筋と帯鉄筋の交点は、軸方向鉄筋 3~4本おきに結束線にて結束することとし、固定金具は使用しない。

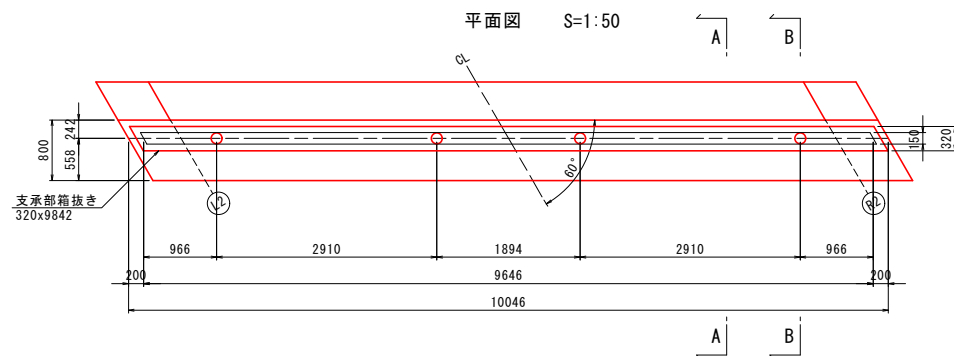
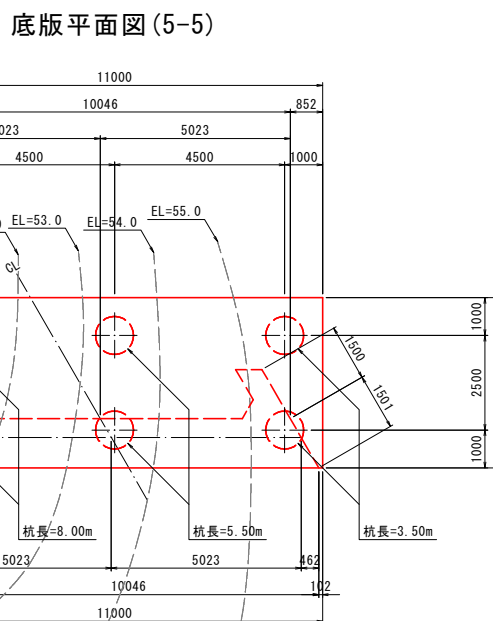
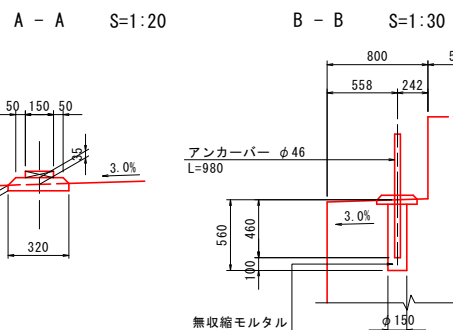
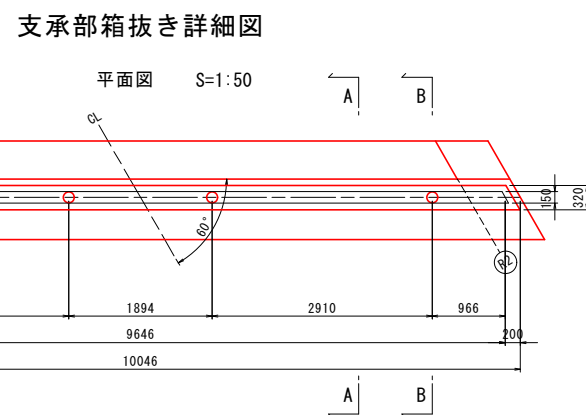
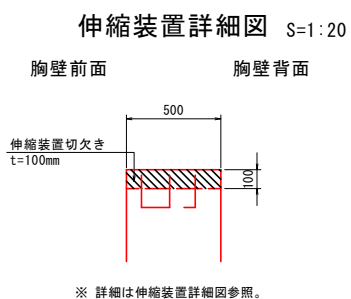
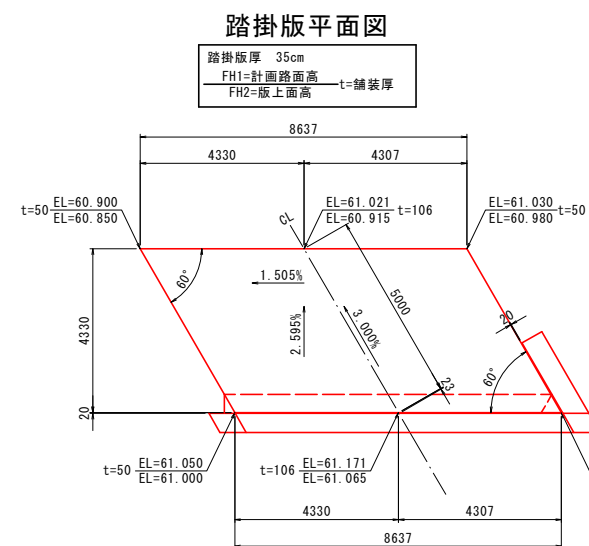
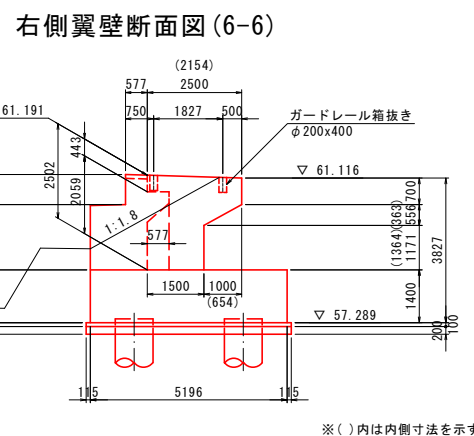
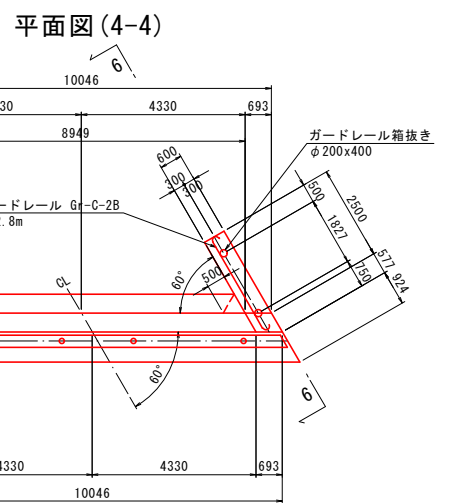
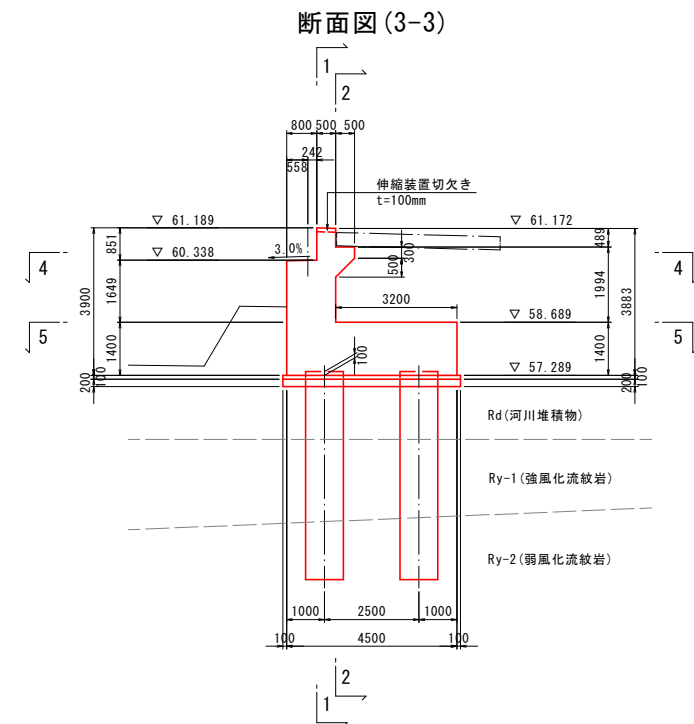
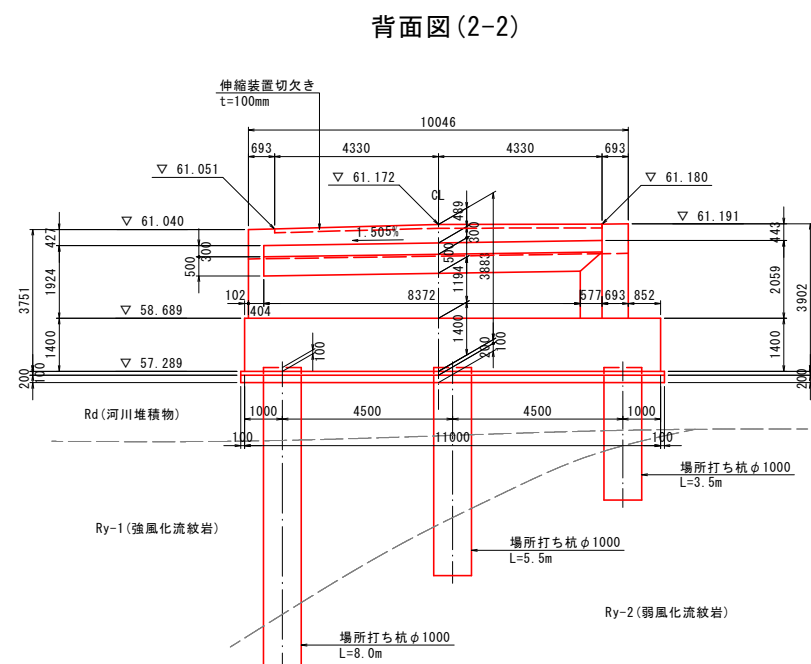
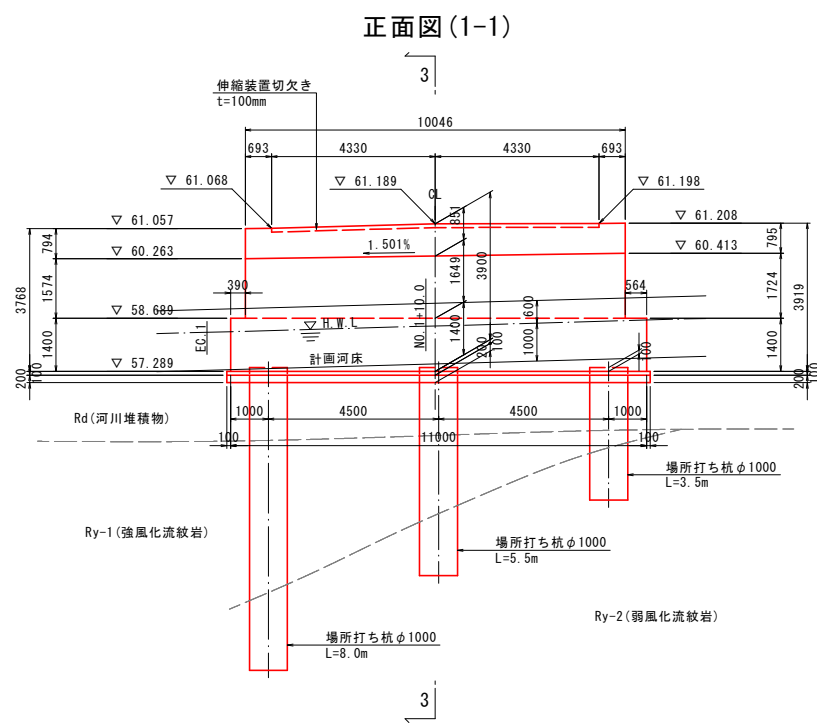
## スペーサー用固定金具

種別	本数	摘要
Uボルト	16	スペーサーと主鉄筋の固定 裏当て材含む

## 実施

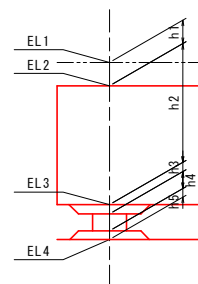
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A1橋台場所打ち杭配筋図(2)
縮尺	縮尺 1:50
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 25

# A2橋台構造一般図(その1) S=1:100



構造高表 (m)

		A2側 S2 Mov		
		L2	CL	R2
計画高	EL1	61.076	61.197	61.206
舗装厚	h1	0.080	0.136	0.080
桁天端高	EL2	60.996	61.061	61.126
桁高	h2	0.650	0.650	0.650
桁下高さ	EL3	60.346	60.411	60.476
レアー厚	h3	0.020	0.020	0.020
支承厚	h4	0.023	0.023	0.023
モルタル厚	h5	0.035	0.035	0.035
下部工天端高	EL4	60.268	60.333	60.398



使用材料

名称	規格	概要
後打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$ 以上	伸縮装置部
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	
鉄筋	SD345	
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	
基礎砕石	RC-40	
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	呼び強度30N/mm <sup>2</sup>
鉄筋	SD345	

実施

年度	令和 8 年度
番号	契 号
工事名	東川上橋(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台構造一般図(その1)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	

# A2橋台構造一般図(その2) S=1:100

コンクリート塗装範囲

橋台背面アプローチ部詳細図

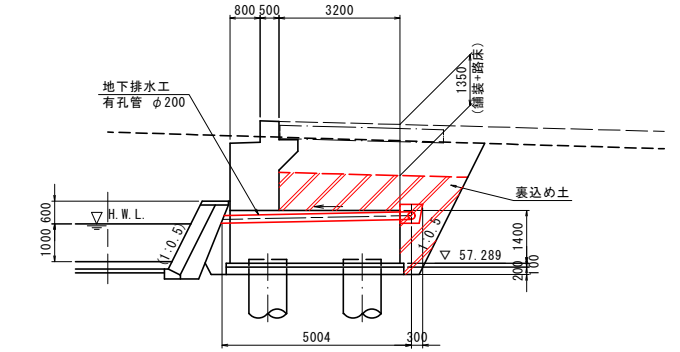
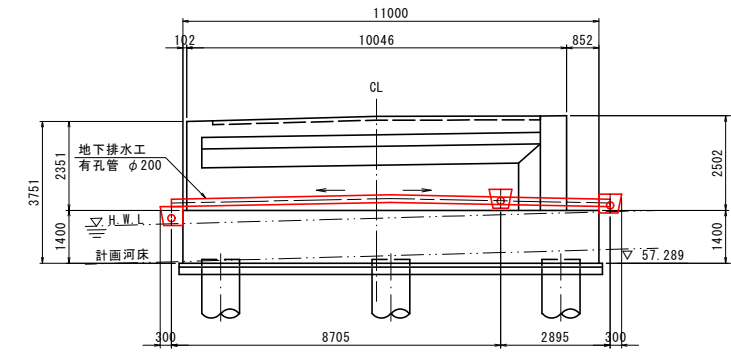
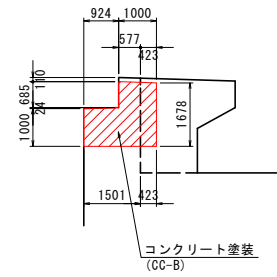
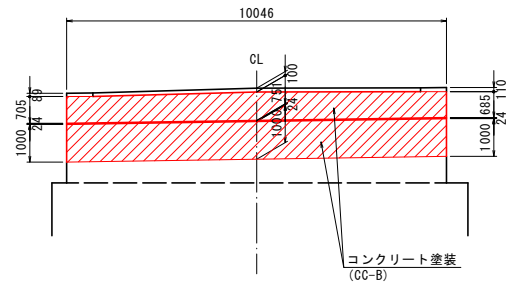
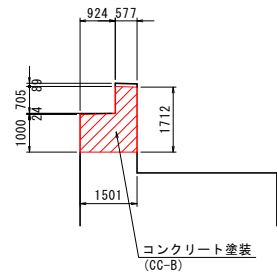
左側側面図

正面図

右側側面図

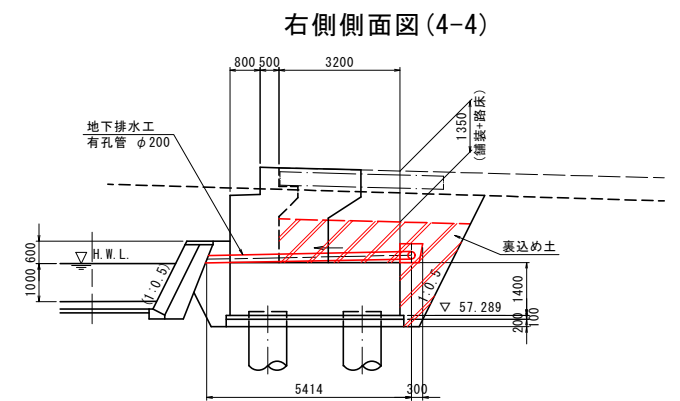
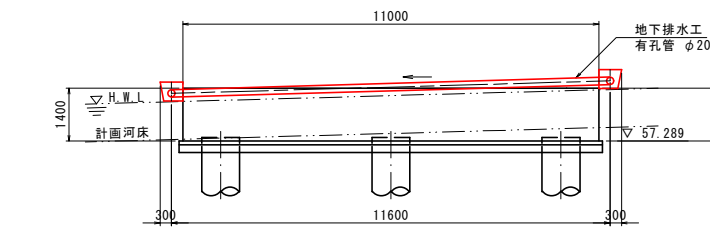
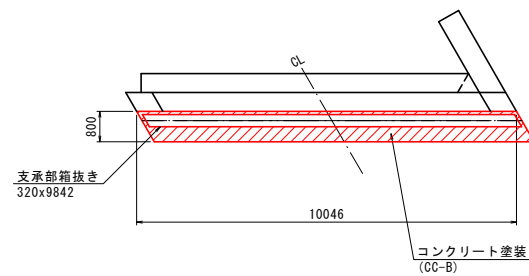
パラペット背面図(1-1)

左側側面図(3-3)



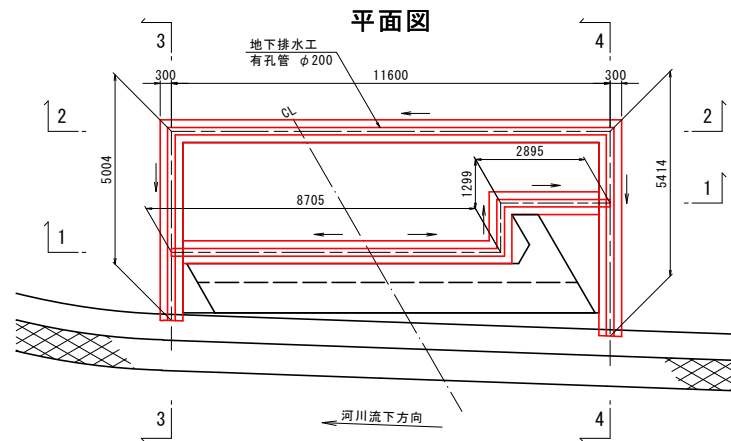
平面図

底板背面図(2-2)



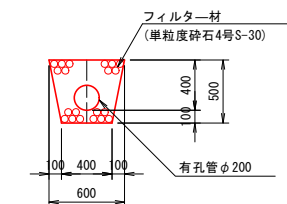
コンクリート面への塗装仕様 CC-B

工程	使用材料	塗装条件			塗装間隔
		目標膜厚 (μm)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装方法	
前処理	プライマー	—	0.10	スプレー (はけ、ローラー)	1~10日
	パテ	—	0.30	へら	
中塗	コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗装中塗	60	0.32 (0.26)	スプレー (はけ、ローラー)	1~10日
上塗	コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	30	0.15 (0.12)	スプレー (はけ、ローラー)	1~10日



※地下排水工の勾配は2%程度で適宜調整すること

有孔管、フィルター材詳細図 S=1:30



特記・注意事項

裏込め土材料の仕様・締めの管理  
 ・橋台背面アプローチ部の裏込め材は、締めが容易で、非圧縮性・透水性があり、強度低下の少ない安定した下表の材料を用いる。

項目	範囲
最大粒径	100mm
4750 μm ふるい通過百分率	25 ~ 100%
75 μm ふるい通過百分率	0 ~ 25%
塑性指数 Ip (425 μm ふるい通過分について)	10 以下

※材料の仕様例及び締め管理値の目安は、「道路標示方書・同解説 IV下部構造編 平成29年11月参考資料3.橋台背面アプローチ部」及び「道路土工盛土工指針(平成22年度版)」の材料の仕様及び締め管理の例 から引用。

・締め管理値の目安は下表のとおり。

項目	範囲
締めめ度 Dc	Dc > 平均92%, 最小90%
仕上り厚	200mm 以下

※材料の仕様例及び締め管理値の目安は、「道路標示方書・同解説 IV下部構造編 平成29年11月参考資料3.橋台背面アプローチ部」及び「道路土工盛土工指針(平成22年度版)」の材料の仕様及び締め管理の例 から引用。

橋台背面排水工数量表

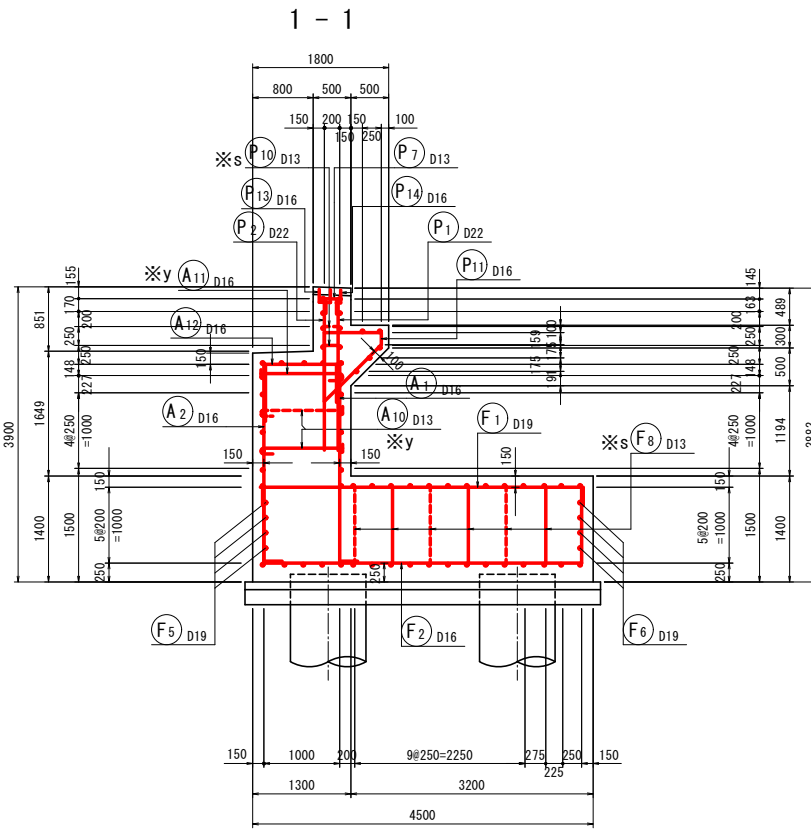
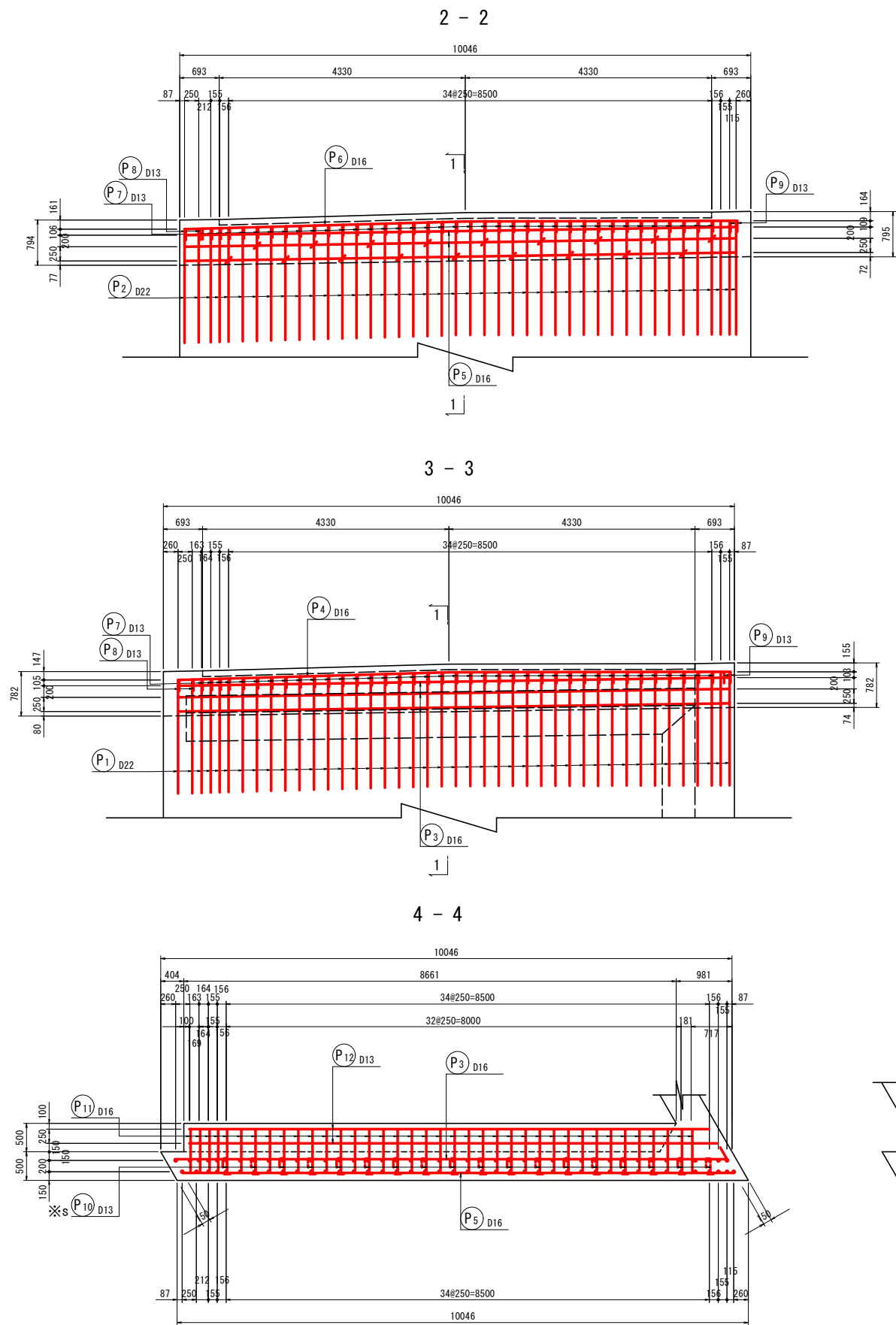
項目	規格	単位	数量
有孔管	φ200	m	34.9
フィルター材	単粒度砕石 4号 S-30	m <sup>3</sup>	7.6

実施

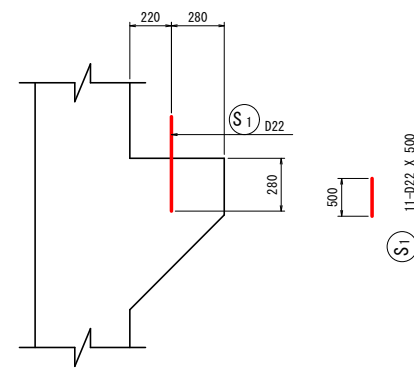
年度	令和 8 年度
番号	契 号
工事名	奥川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
通川港名	(一)奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台構造一般図(その2)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 27

# A2橋台配筋図(1)

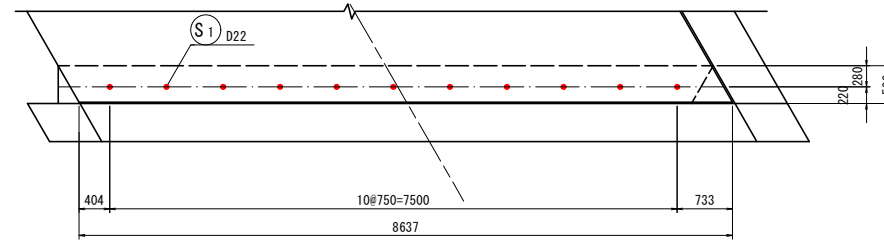
S=1:50



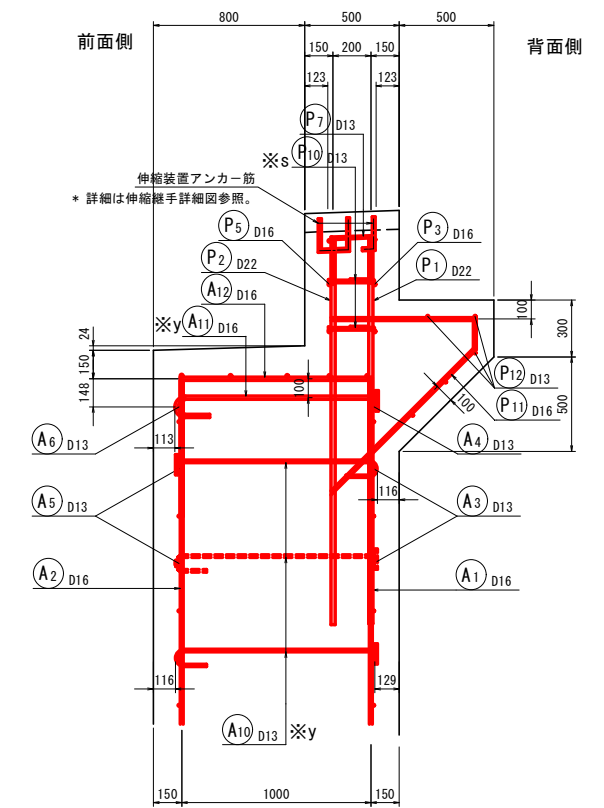
アンカー鉄筋詳細図 S=1:20



アンカー配置図



パラペット・堅壁詳細図 S=1:20



注) せん断補強鉄筋 (P10) は、半円形フックを背面側に配置する。  
せん断補強鉄筋は、主鉄筋 (P1) (P2) にフックをかけるものとする。  
注) (A10) 中間帯鉄筋は (A3) (A5) 配力筋に掛けること。  
(A11) 水平補強鉄筋は (A4) (A6) 配力筋に掛けること。  
また、(A10) (A11) は、半円形フックが交互になるよう配置すること。

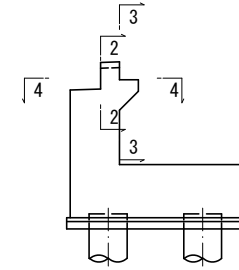
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

位置図



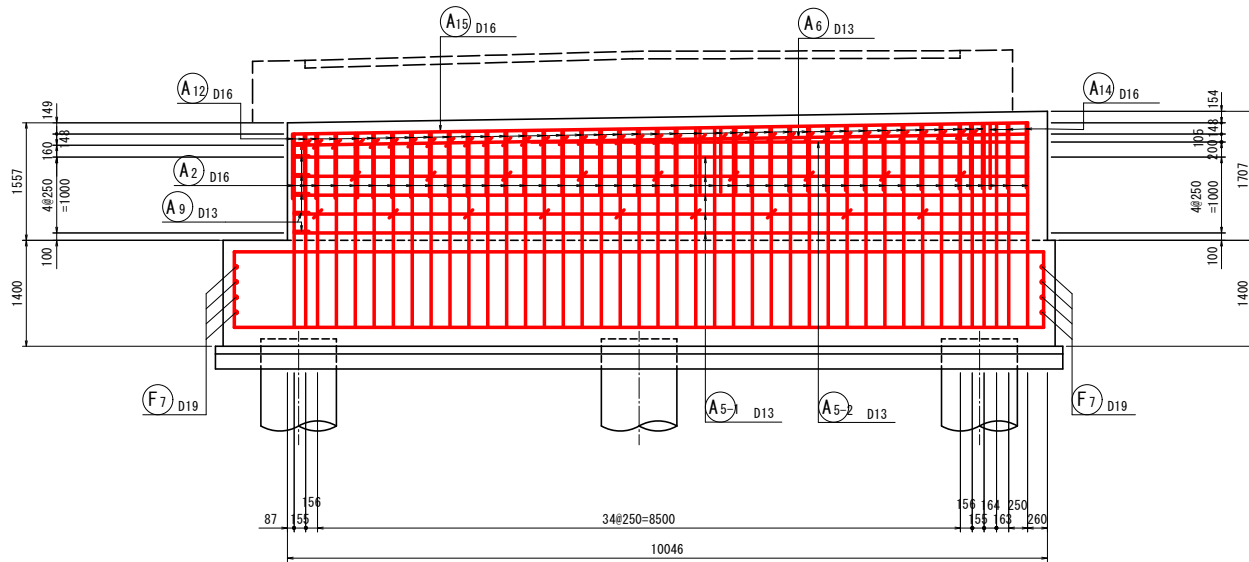
## 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	A2橋台配筋図(1)
項目	会社名 社 及 び 責任者
測 量	
調 査	
設 計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 28

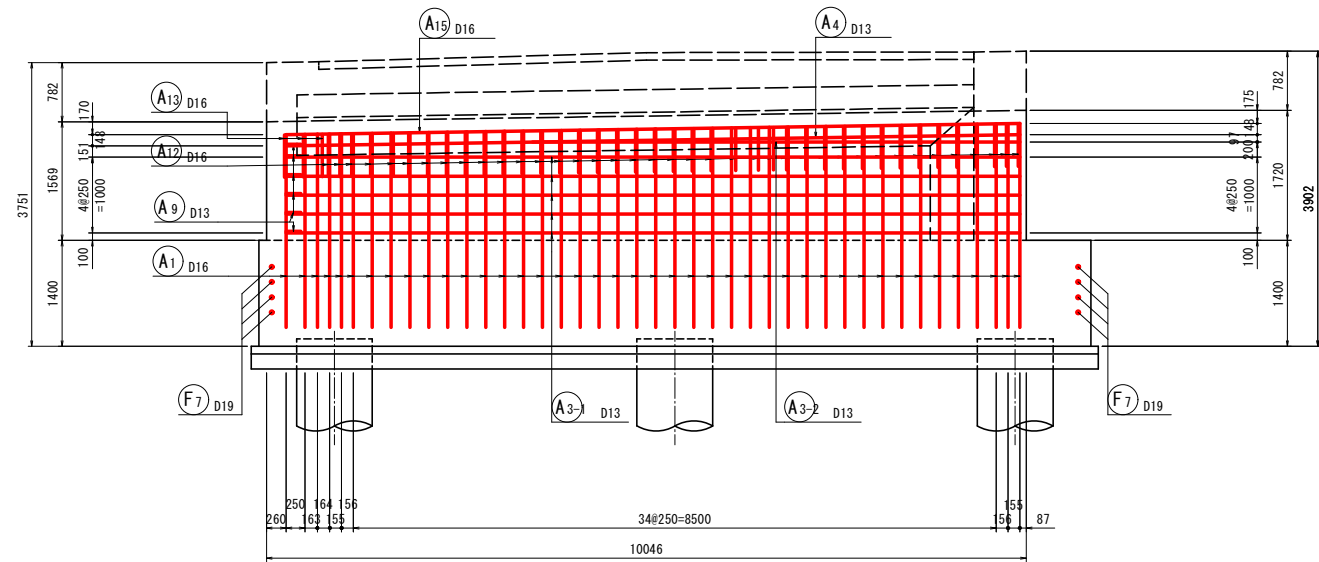
# A2橋台配筋図(2)

S=1:50

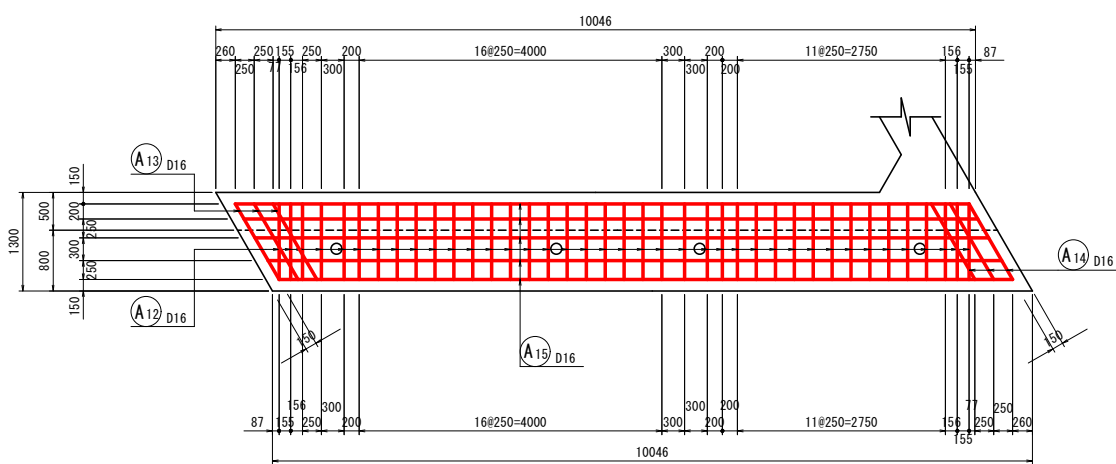
5 - 5



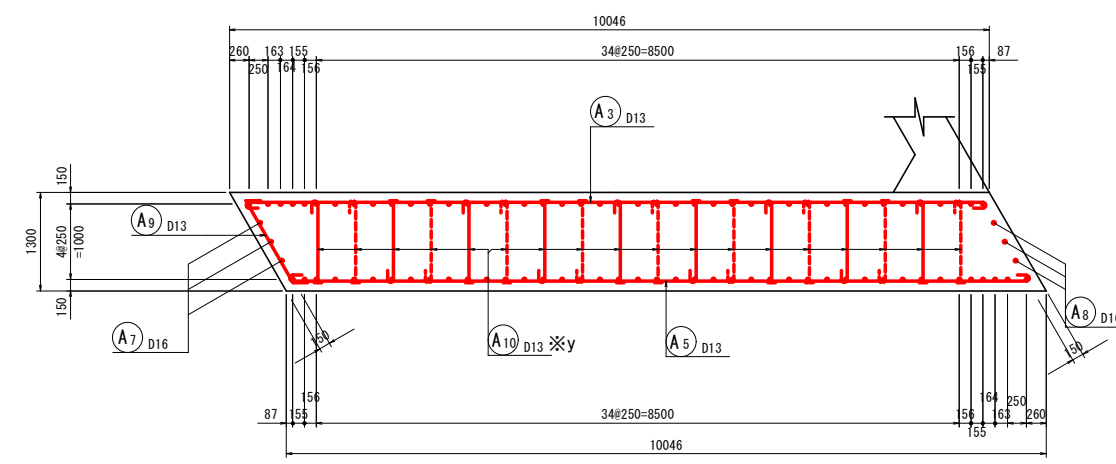
6 - 6



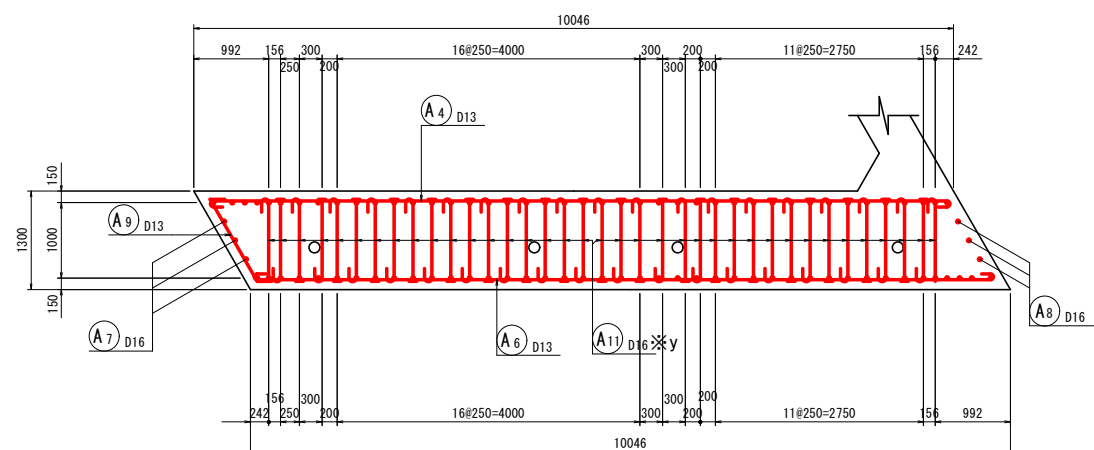
7 - 7



9 - 9



8 - 8



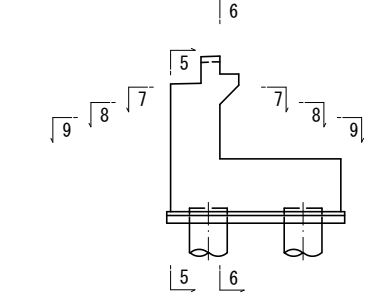
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横構束鉄筋

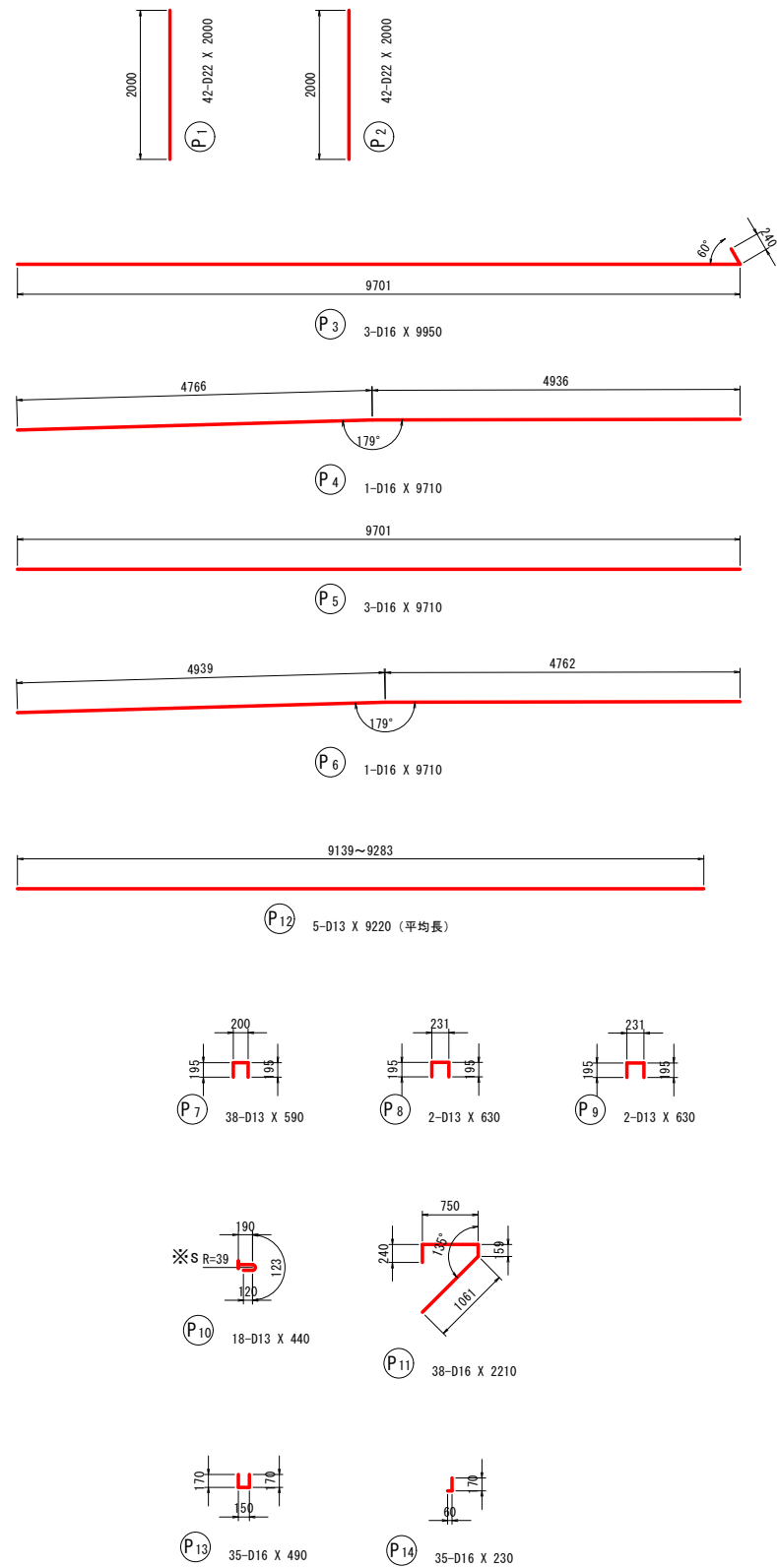
位置図



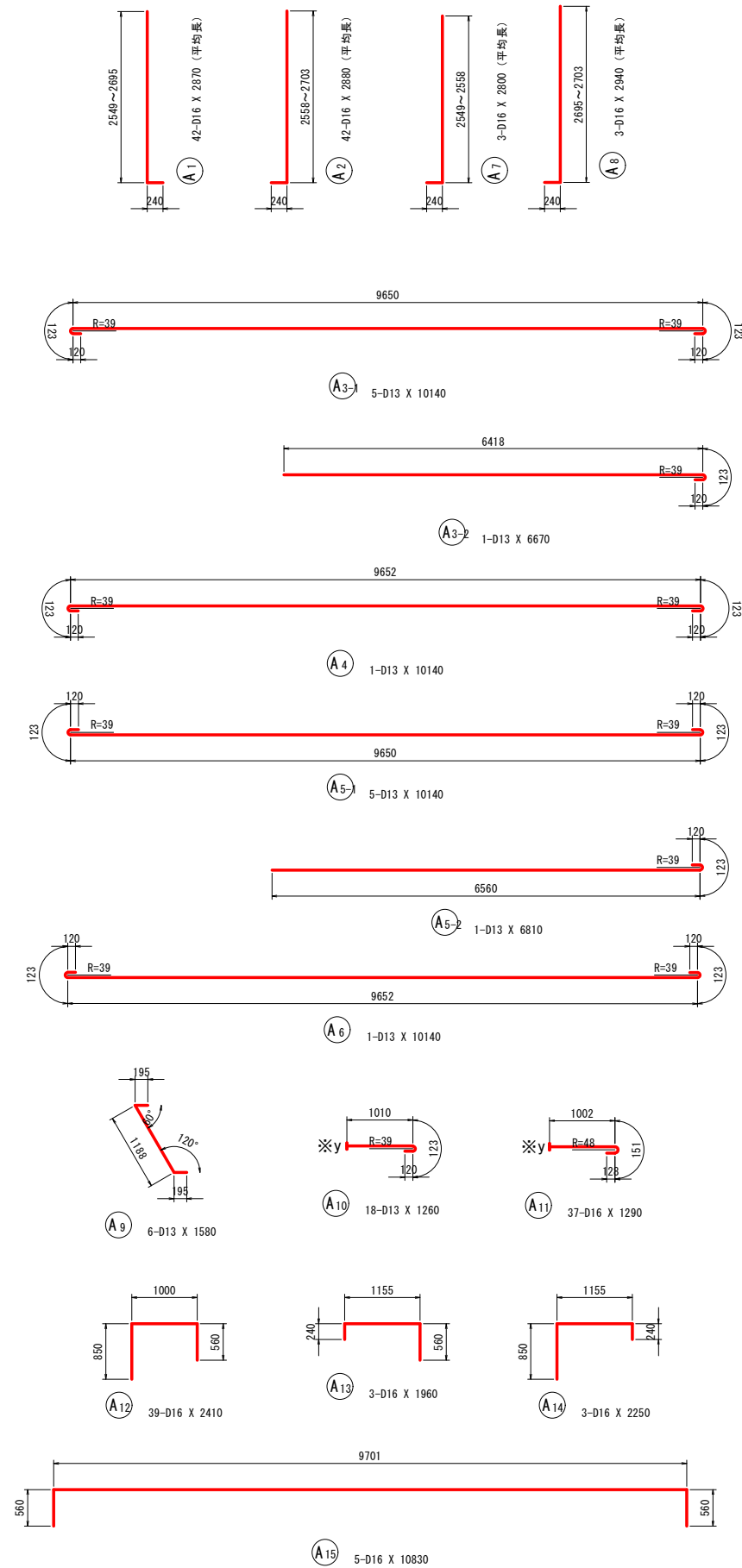
実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋 (武部2工区) 耐震改修工事 (補正) 第10種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台配筋図(2)
縮尺	縮尺 1:50
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【 4号橋 】 38 葉の内 29	

# A2橋台配筋図(3)

S=1:50



注) (P13), (P14) は伸縮装置アンカー筋  
(詳細は伸縮装置詳細図参照)



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

## 実施

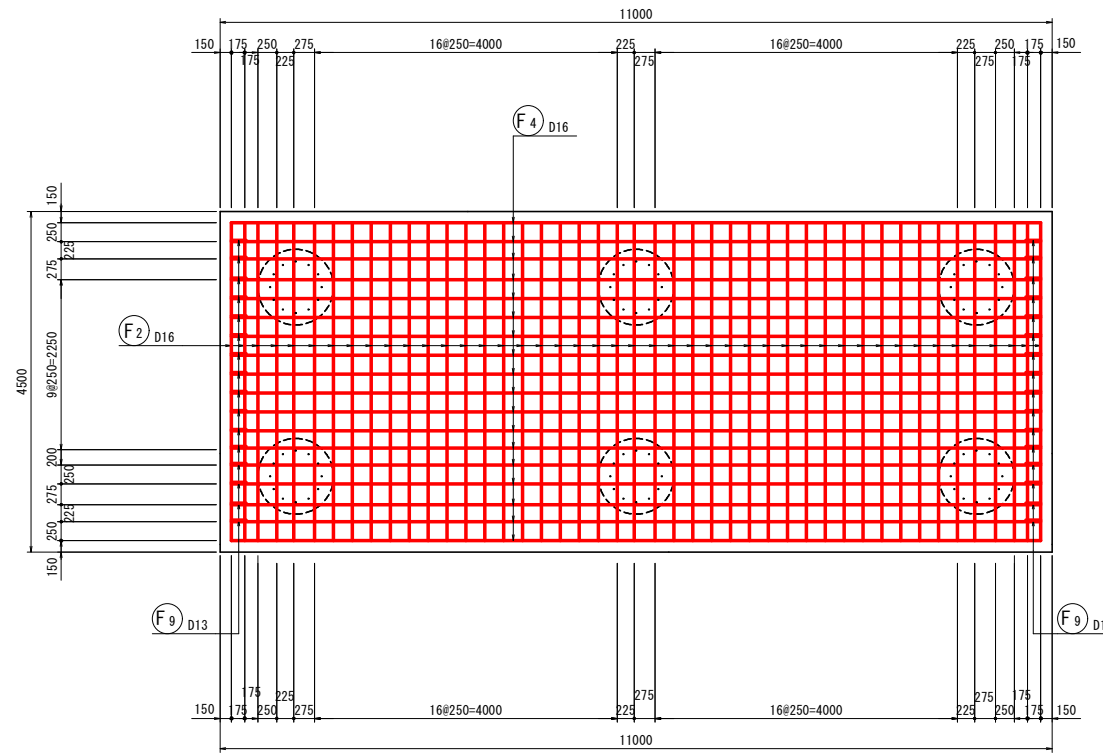
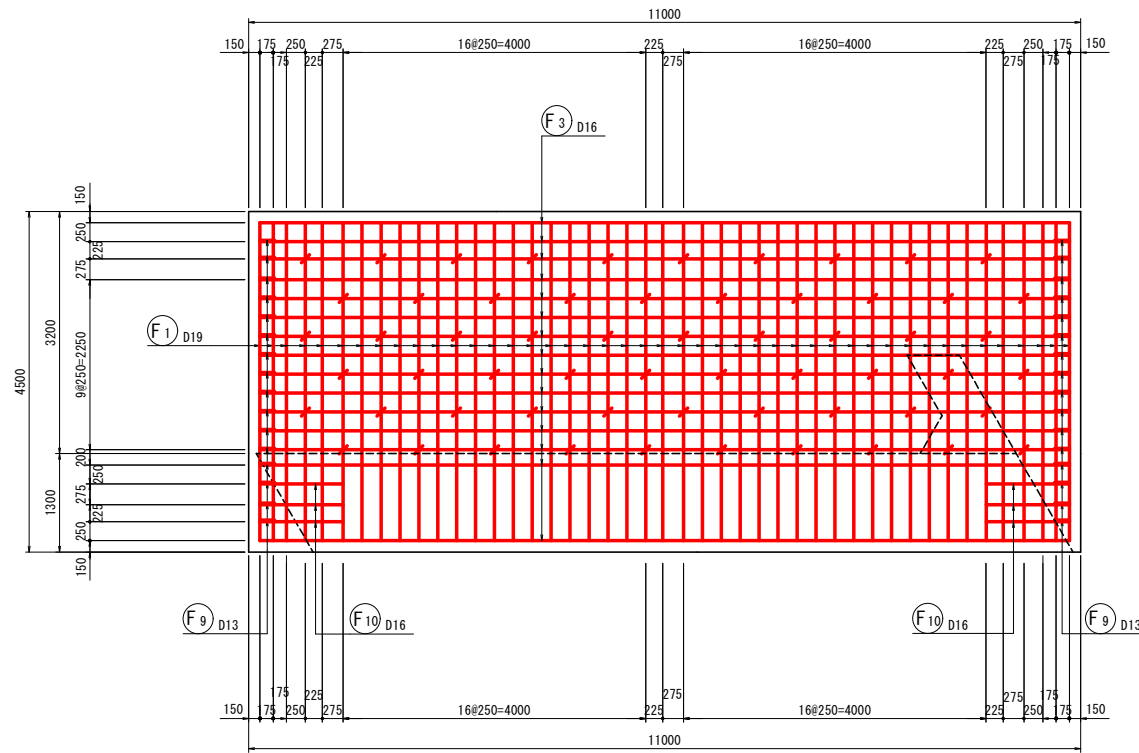
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	豊川上島線(豊川2工区)総合交代倉(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一) 豊川上島線
施工箇所	出雲 豊川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台配筋図(3)
縮尺	縮尺 1:50
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 30

# A2橋台配筋図(4)

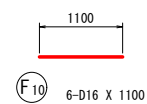
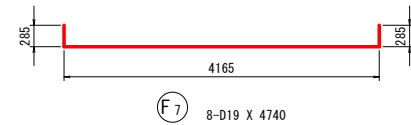
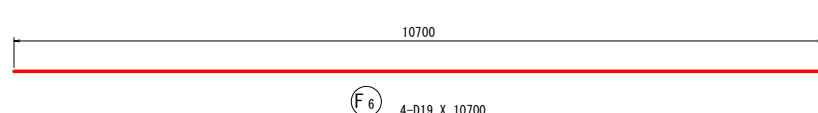
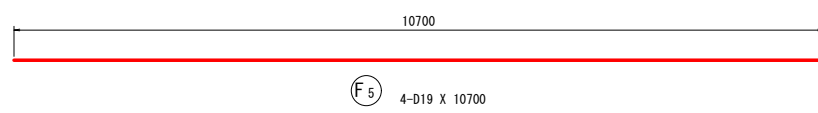
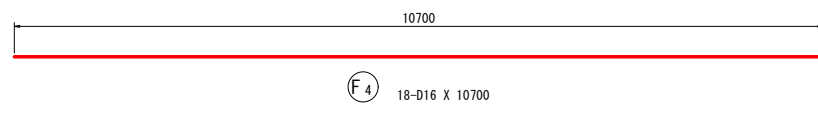
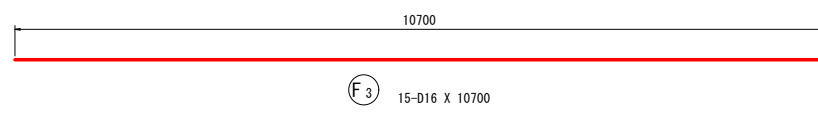
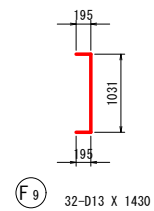
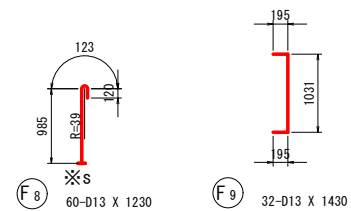
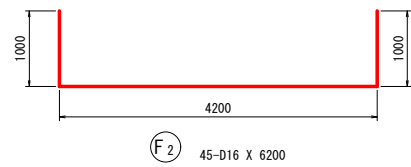
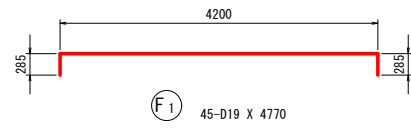
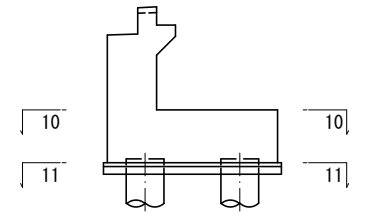
S=1:50

10 - 10

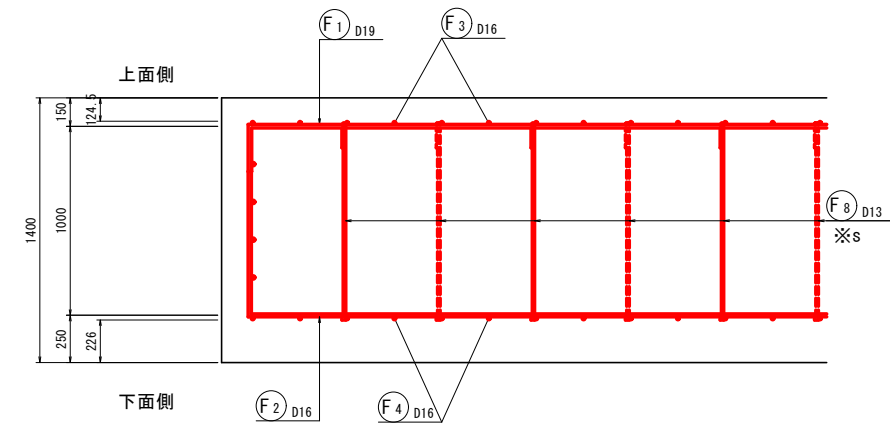
11 - 11



位置図



後フーチング詳細図 S=1:20



注) 後フーチングのせん断補強筋(F8)は上面側に半円形フックを配置する。  
フーチングのせん断補強筋は、主鉄筋に掛けること。

※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

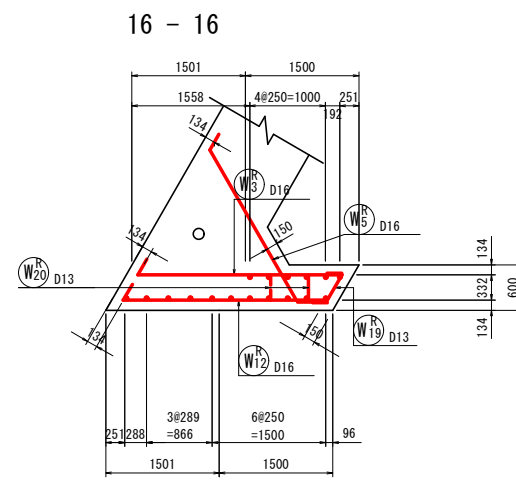
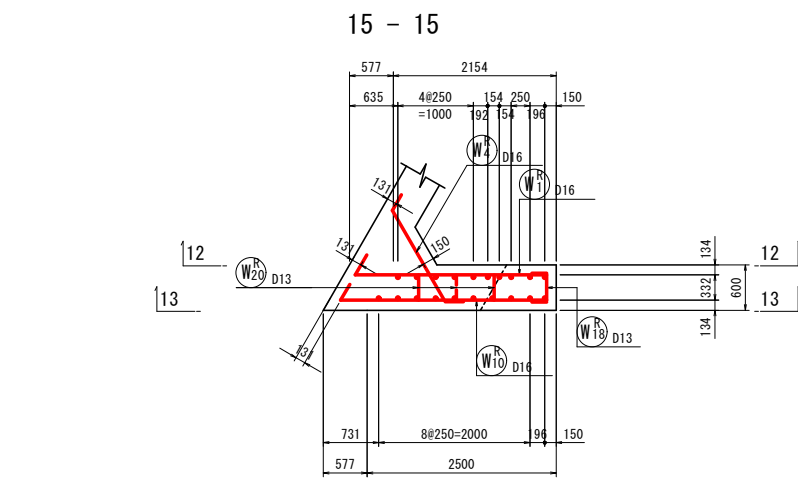
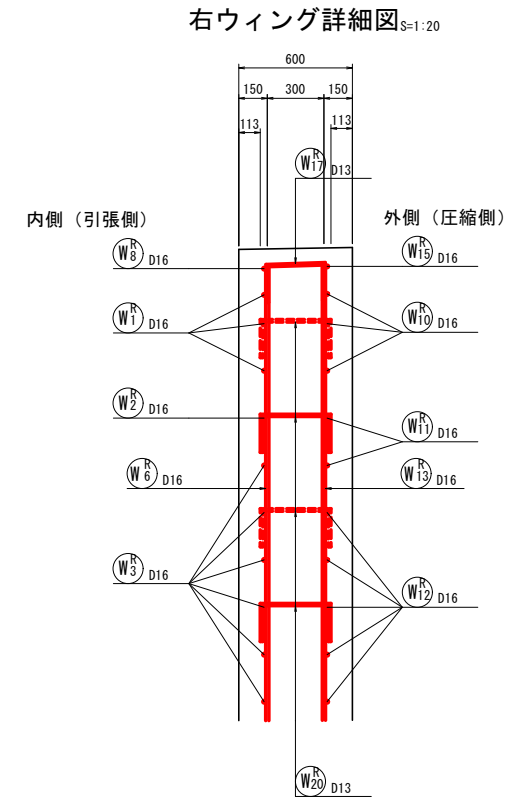
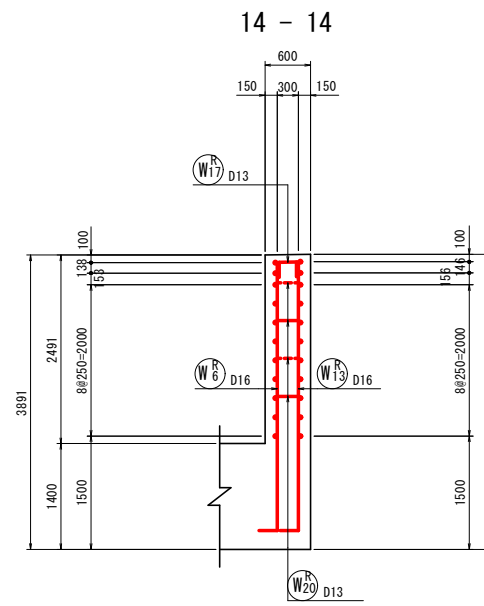
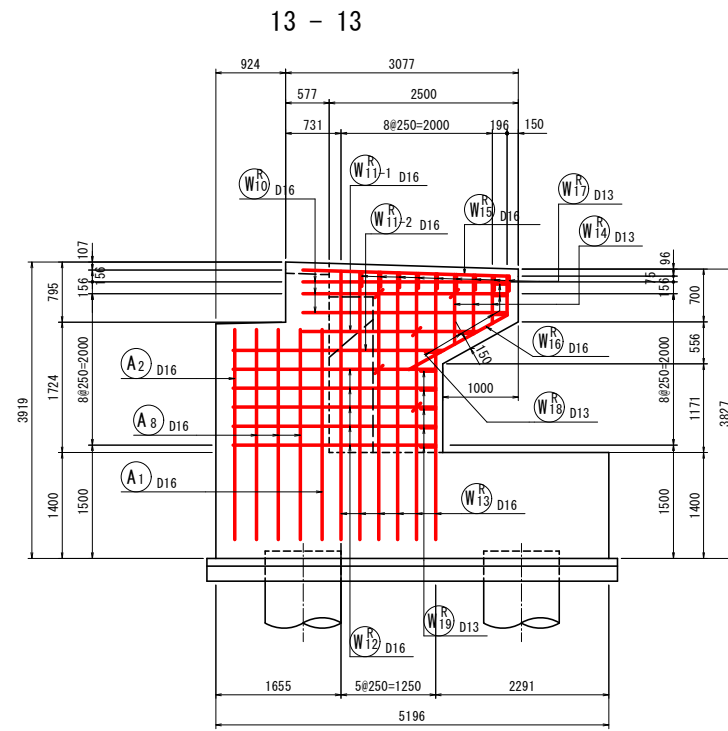
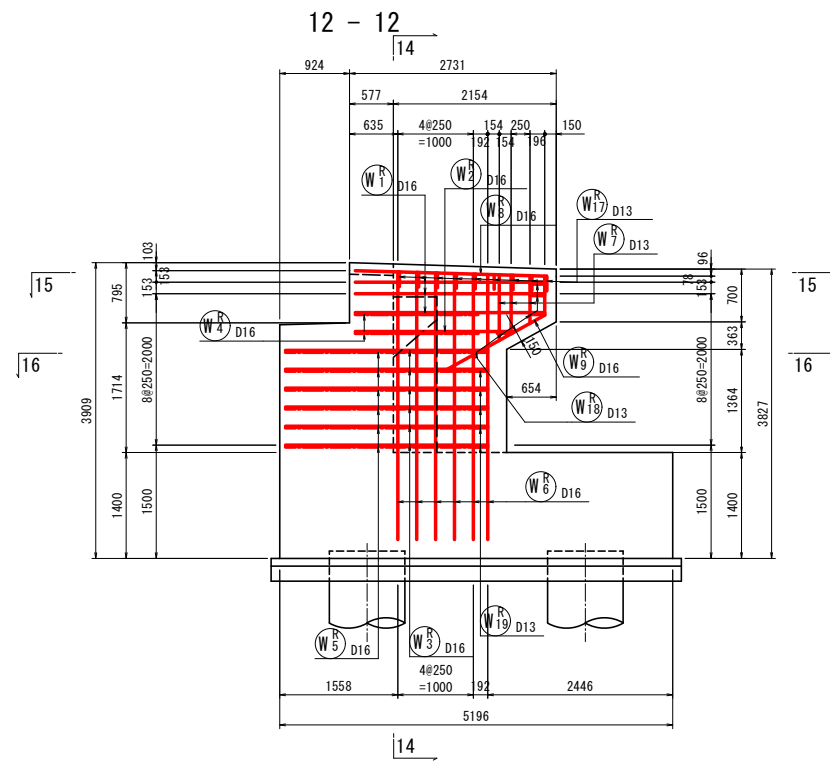
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

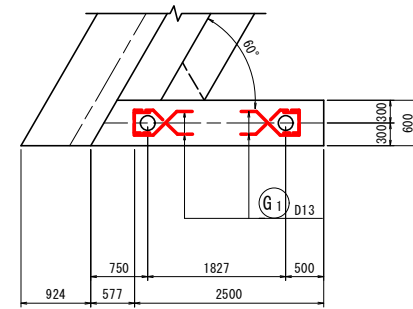
実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台配筋図(4)
項目	会社名 会社及び責任者
測定	
設計	
	縮尺 図示
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 31

# A2橋台配筋図(5)

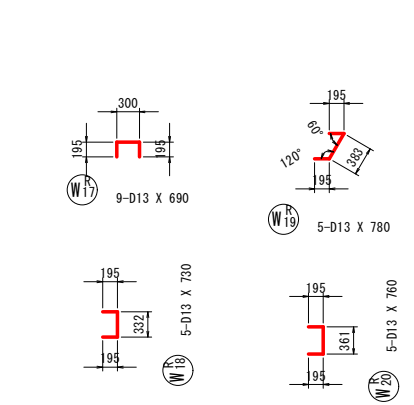
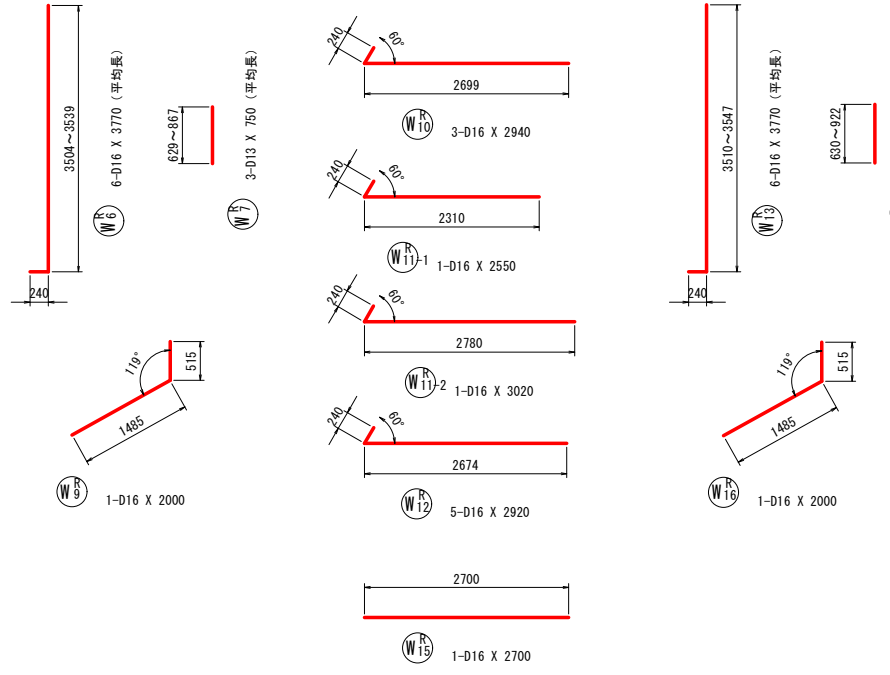
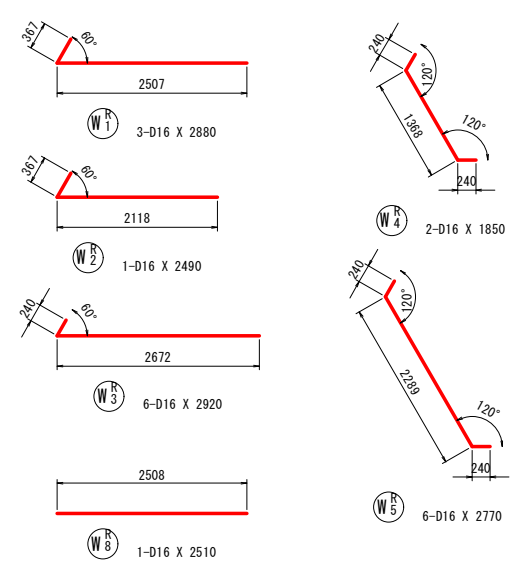
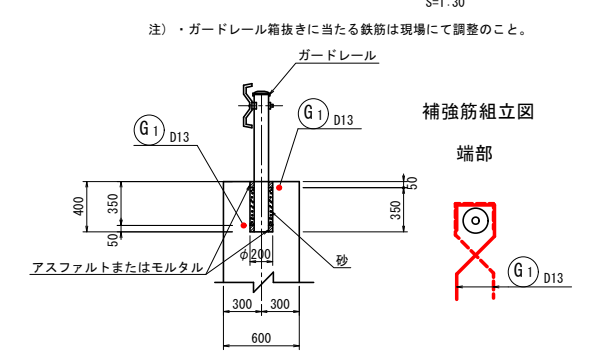
S=1:50



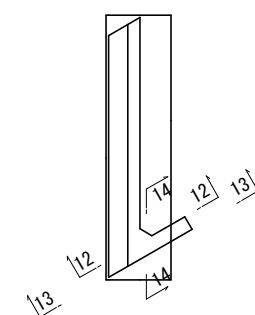
ガードレール補強筋配置図



ガードレール箱抜き詳細図



位置図



※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
- 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 実施 ※y: 横拘束鉄筋

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	A2橋台配筋図(5)
項目	会社名 会社及び責任者
調査	
設計	
	【 4号橋 】 38 葉の内 32

## A2橋台配筋図(6)

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 1	D22	2000	42	3.04	6.08	255	
P 2	D22	2000	42	3.04	6.08	255	
P 3	D16	9950	3	1.56	15.52	47	—
P 4	D16	9710	1	1.56	15.15	15	—
P 5	D16	9710	3	1.56	15.15	45	—
P 6	D16	9710	1	1.56	15.15	15	—
P 7	D13	590	38	0.995	0.59	22	□
P 8	D13	630	2	0.995	0.63	1	□
P 9	D13	630	2	0.995	0.63	1	□
P 10	D13	440	18	0.995	0.44	8	⌋ ※s
P 11	D16	2210	38	1.56	3.45	131	∟
P 12	D13	9220	5	0.995	9.17	46	— (平均長)
P 13	D16	490	35	1.56	0.76	27	⌋
P 14	D16	230	35	1.56	0.36	13	⌋
881 kg							
S 1	D22	500	11	3.04	1.52	17	
17 kg							
A 1	D16	2870	42	1.56	4.48	188	(平均長)
A 2	D16	2880	42	1.56	4.49	189	(平均長)
A 3-1	D13	10140	5	0.995	10.09	50	—
A 3-2	D13	6670	1	0.995	6.64	7	—
A 4	D13	10140	1	0.995	10.09	10	—
A 5-1	D13	10140	5	0.995	10.09	50	—
A 5-2	D13	6810	1	0.995	6.78	7	—
A 6	D13	10140	1	0.995	10.09	10	—
A 7	D16	2800	3	1.56	4.37	13	(平均長)
A 8	D16	2940	3	1.56	4.59	14	(平均長)
A 9	D13	1580	6	0.995	1.57	9	∟
A 10	D13	1260	18	0.995	1.25	23	→ ※y
A 11	D16	1290	37	1.56	2.01	74	→ ※y
A 12	D16	2410	39	1.56	3.76	147	□
A 13	D16	1960	3	1.56	3.06	9	□
A 14	D16	2250	3	1.56	3.51	11	□
A 15	D16	10830	5	1.56	16.89	84	—
895 kg							

機械式鉄筋定着工法数量表

せん断補強鉄筋

鉄筋径	箇所数					
	①0<L≤1m	②1m<L≤2m	③2m<L≤3m	④3m<L≤4m	⑤4m<L≤5m	⑥5m<L≤6m
D13	18	60	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
小計	18	60	—	—	—	—
合計	78					

横拘束鉄筋

鉄筋径	箇所数					
	①0<L≤1m	②1m<L≤2m	③2m<L≤3m	④3m<L≤4m	⑤4m<L≤5m	⑥5m<L≤6m
D13	—	18	—	—	—	—
D16	—	37	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
小計	—	55	—	—	—	—
合計	55					

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 1	D19	4770	45	2.25	10.73	483	—
F 2	D16	6200	45	1.56	9.67	435	⌋
F 3	D16	10700	15	1.56	16.69	250	—
F 4	D16	10700	18	1.56	16.69	300	—
F 5	D19	10700	4	2.25	24.08	96	—
F 6	D19	10700	4	2.25	24.08	96	—
F 7	D19	4740	8	2.25	10.67	85	—
F 8	D13	1230	60	0.995	1.22	73	↑ ※s
F 9	D13	1430	32	0.995	1.42	45	⌋
F 10	D16	1100	6	1.56	1.72	10	—
1873 kg							
W R 1	D16	2880	3	1.56	4.49	13	—
W R 2	D16	2490	1	1.56	3.88	4	—
W R 3	D16	2920	6	1.56	4.56	27	—
W R 4	D16	1850	2	1.56	2.89	6	∟
W R 5	D16	2770	6	1.56	4.32	26	∟
W R 6	D16	3770	6	1.56	5.88	35	(平均長)
W R 7	D13	750	3	0.995	0.75	2	(平均長)
W R 8	D16	2510	1	1.56	3.92	4	—
W R 9	D16	2000	1	1.56	3.12	3	∟
W R 10	D16	2940	3	1.56	4.59	14	—
W R 11-1	D16	2550	1	1.56	3.98	4	—
W R 11-2	D16	3020	1	1.56	4.71	5	—
W R 12	D16	2920	5	1.56	4.56	23	—
W R 13	D16	3770	6	1.56	5.88	35	(平均長)
W R 14	D13	780	3	0.995	0.78	2	(平均長)
W R 15	D16	2700	1	1.56	4.21	4	—
W R 16	D16	2000	1	1.56	3.12	3	∟
W R 17	D13	690	9	0.995	0.69	6	□
W R 18	D13	730	5	0.995	0.73	4	⌋
W R 19	D13	780	5	0.995	0.78	4	∟
W R 20	D13	760	5	0.995	0.76	4	⌋
228 kg							
G 1	D13	1380	4	0.995	1.37	5	∟
5 kg							
合計							
D22				527 kg			
D19				760 kg			
D16				2223 kg			
D13				389 kg			
総質量				3899 kg			
※S1 (踏掛バー筋) は溶融亜鉛めっき加工をすること。							

注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

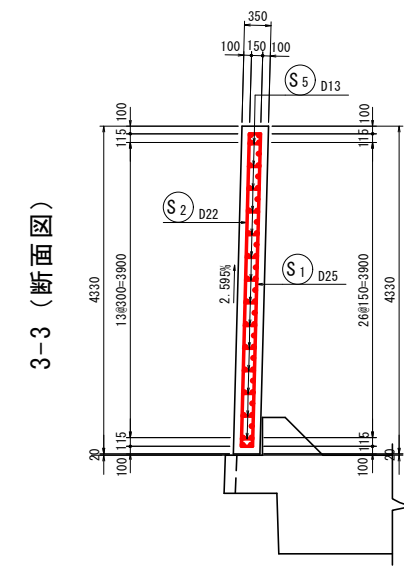
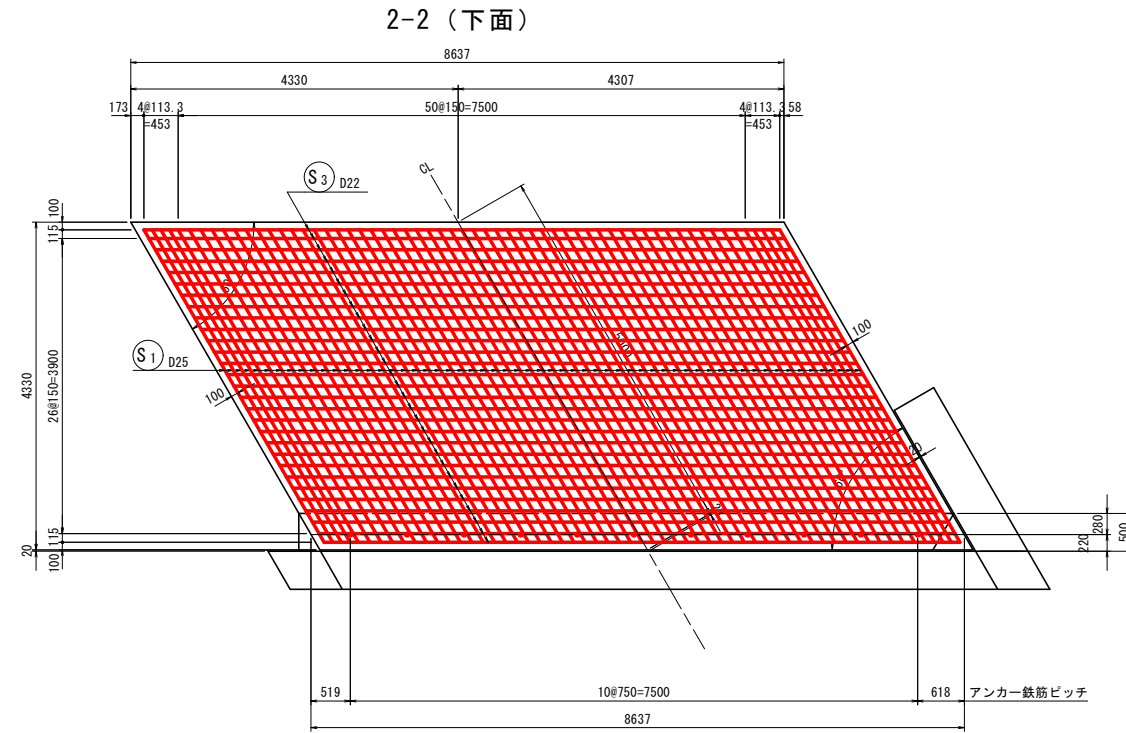
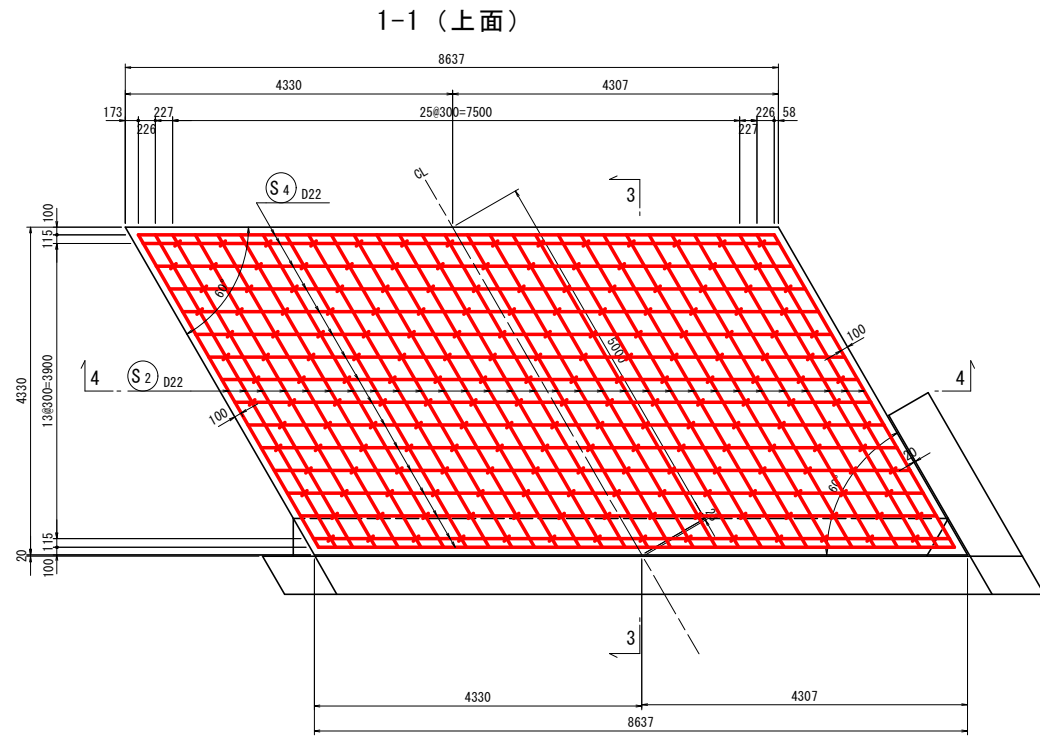
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

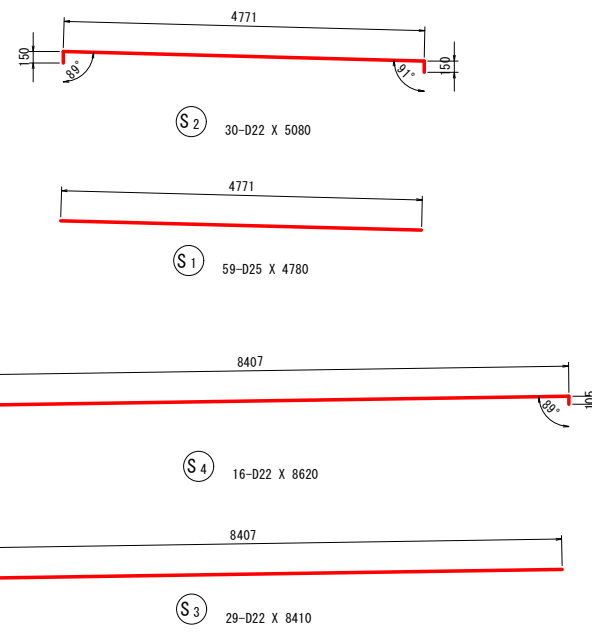
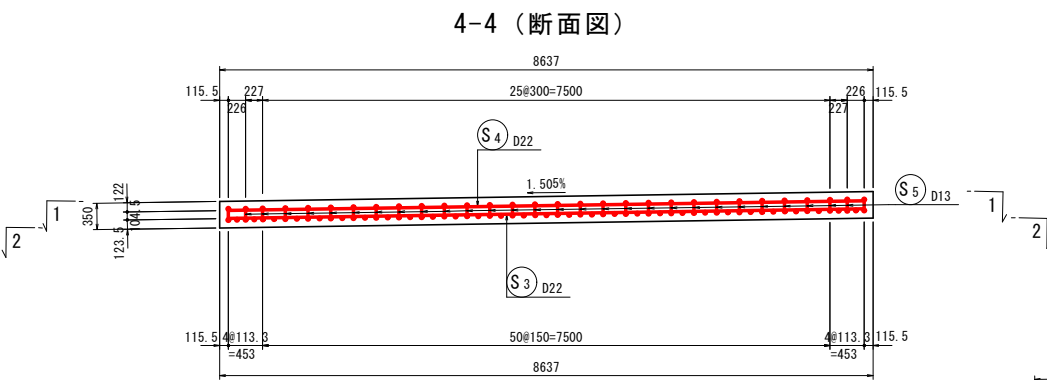
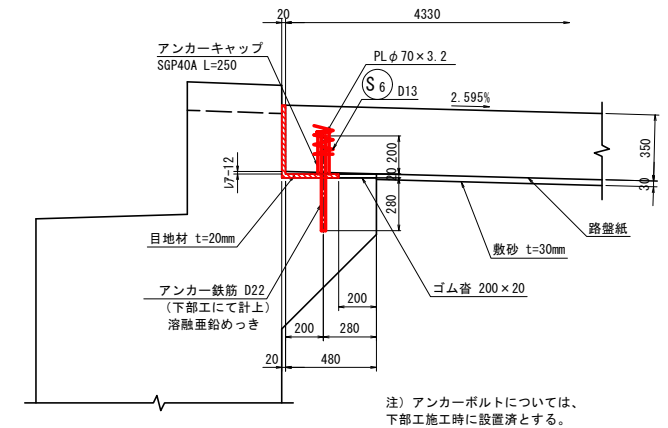
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 郡 奥川 村 阿宮 地内
図面名称	A2橋台配筋図(6)
縮尺	No sca
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【 4号橋 】	38 葉の内 33

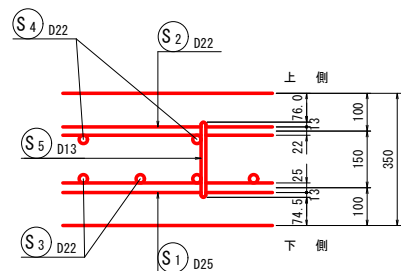
# A2橋台踏掛版配筋図 S=1:50



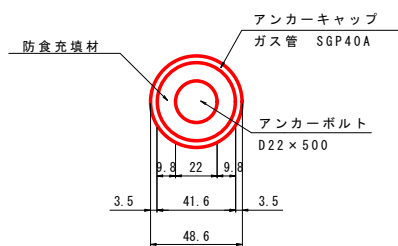
支承詳細図 S=1:20



かぶり詳細図 S=1:10



アンカーキャップ S=1:2



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S 1	D25	4780	59	3.98	19.02	1122	—
S 2	D22	5080	30	3.04	15.44	463	—
S 3	D22	8410	29	3.04	25.57	742	—
S 4	D22	8620	16	3.04	26.20	419	—
S 5	D13	570	196	0.995	0.57	112	▽
S 6	D13	940	11	0.995	0.94	10	W
						2868 kg	
合計				D25	1122 kg		
				D22	1624 kg		
				D13	122 kg		
総質量					2868 kg		

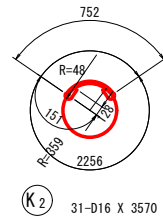
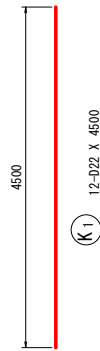
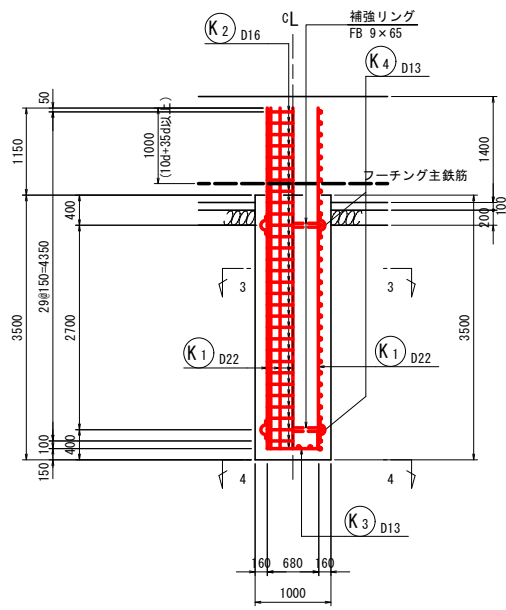
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (奥部2工区) 踏掛版付合 (改築) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	A2橋台踏掛版配筋図
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 34

# A2橋台場所打ち杭配筋図(1) (L=3.50m)

S=1:50

1 - 1      2 - 2

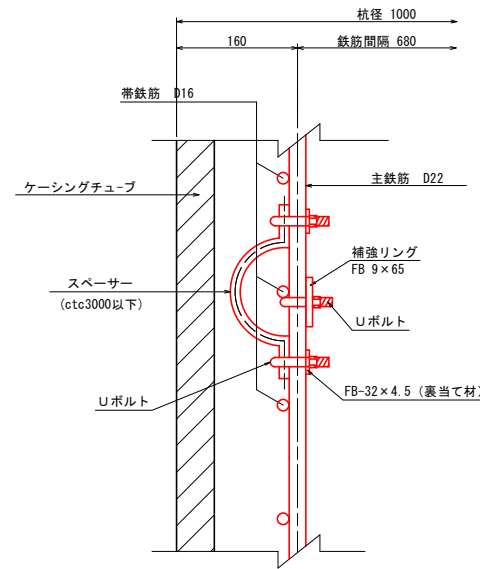


注) 帯鉄筋の継手部は千鳥状に配置すること。

## 変化鉄筋表

種別	径	本数	l	L
K 3-1	D13	4	522	920
-2	D13	4	672	1070
平均長		8		990

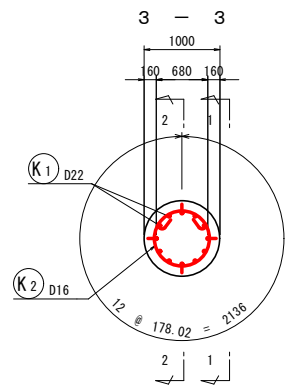
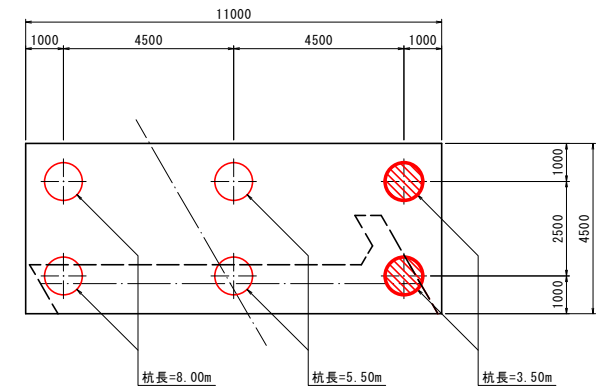
## スペーサー詳細図 S=1:5



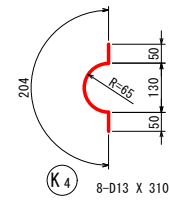
## 鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
K 1	D22	4500	12	3.04	13.68	164	
K 2	D16	3570	31	1.56	5.57	173	○
K 3	D13	990	8	0.995	0.99	8	┌ (平均長)
K 4	D13	310	8	0.995	0.31	2	└
347 kg							
				杭一本当り	杭本数	橋台一基当り	
合計 D22				164 kg	x 2	= 328 kg	
D16				173 kg	x 2	= 346 kg	
D13				10 kg	x 2	= 20 kg	
総質量				347 kg	x 2	= 694 kg	

## 杭配置図 S=1:100



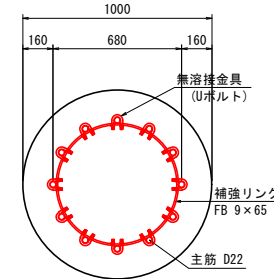
## スペーサー S=1:10



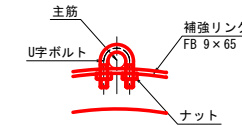
注) スペーサーは各断面に45°程度ずらす。  
(1断面当り4ヶ所)

## 無溶接金具 (Uボルト) 取付図(参考図)

### 補強リングと主鉄筋金具詳細図

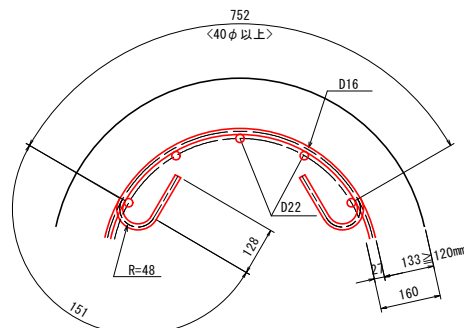


### Uボルト取付詳細図



Uボルトまたは同等品  
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定

## 帯鉄筋詳細図 S=1:10



注) 純かぶりは120mm以上確保すること。

## 補強リング・固定金具

種別	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
	(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
FB 9 x 65	2039	2	4.592	9.36	19	補強リング
Uボルト	-	24	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

注) 1) 補強リングと軸方向鉄筋の交点は、全ての箇所を固定金具で固定すること。  
2) 軸方向鉄筋と帯鉄筋の交点は、軸方向鉄筋 3~4本おきに結束線にて結束することとし、固定金具は使用しない。

## スペーサー用固定金具

種別	本数	摘要
Uボルト	16	スペーサーと主鉄筋の固定 裏当て材含む

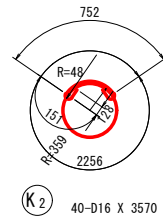
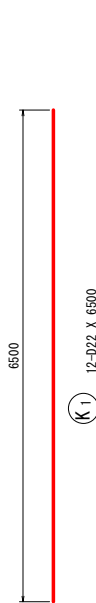
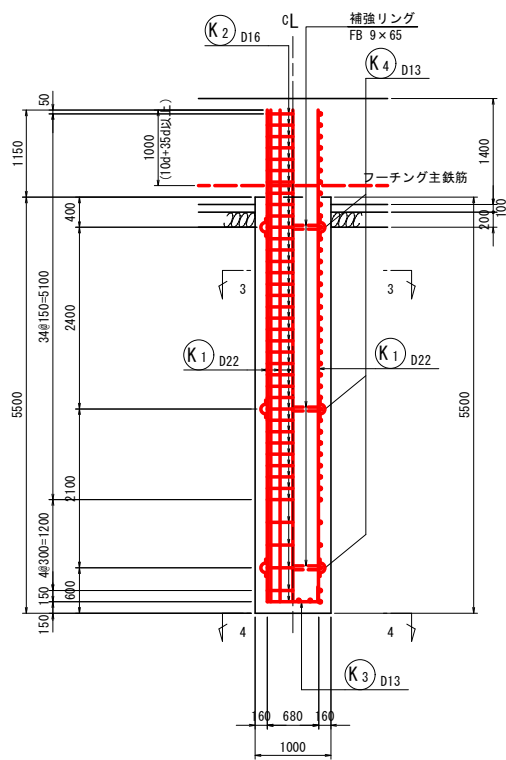
## 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台場所打ち杭配筋図(1)
項目	会社名 会社及び責任者
測 量	
調 査	
設 計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 35

# A2橋台場所打ち杭配筋図(2) (L=5.50m)

S=1:50

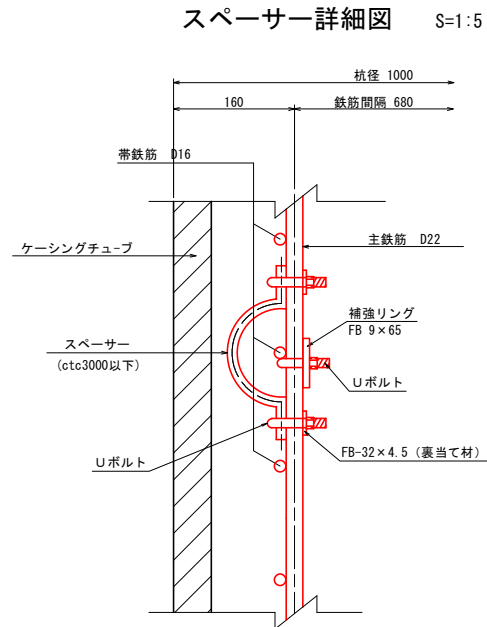
1 - 1      2 - 2



注) 帯鉄筋の継手部は千鳥状に配置すること。

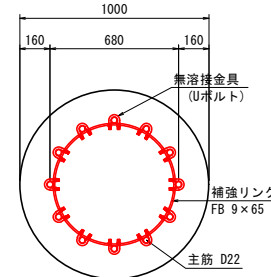
### 変化鉄筋表

種別	径	本数	l	L
K 3-1	D13	4	522	920
-2	D13	4	672	1070
平均長		8		990

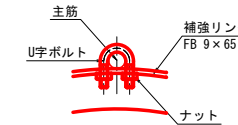


### 無溶接金具 (Uボルト) 取付図(参考図)

#### 補強リングと主鉄筋金具詳細図



#### Uボルト取付詳細図

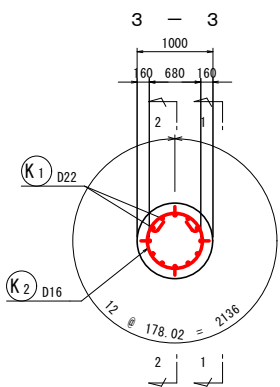
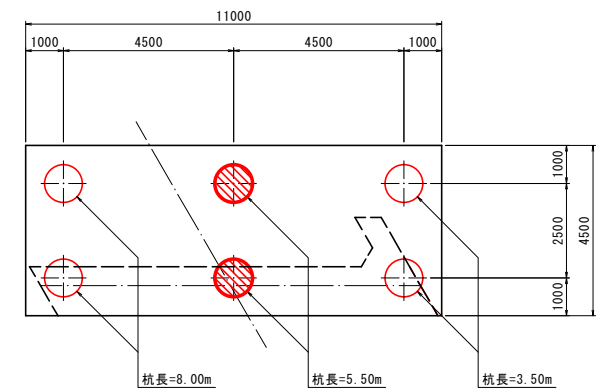


Uボルトまたは同等品  
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定

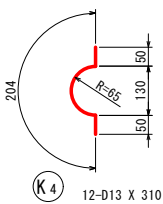
### 鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K 1	D22	6500	12	3.04	19.76	237	
K 2	D16	3570	40	1.56	5.57	223	○
K 3	D13	990	8	0.995	0.99	8	(平均長)
K 4	D13	310	12	0.995	0.31	4	<
472 kg							
				杭一本当り	杭本数	橋台一基当り	
合計 D22				237 kg	x 2	= 474 kg	
D16				223 kg	x 2	= 446 kg	
D13				12 kg	x 2	= 24 kg	
総質量				472 kg	x 2	= 944 kg	

### 杭配置図

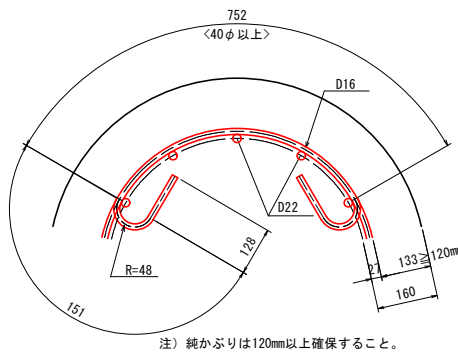


### スペーサー S=1:10



注) スペーサーは各断面に45°程度ずらす。  
(1断面当り4ヶ所)

### 帯鉄筋詳細図 S=1:10



注) 継かぶりは120mm以上確保すること。

### 補強リング・固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
FB 9x65	2039	3	4.592	9.36	28	補強リング
Uボルト	-	36	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

注) 1) 補強リングと軸方向鉄筋の交点は、全ての箇所を固定金具で固定すること。  
2) 軸方向鉄筋と帯鉄筋の交点は、軸方向鉄筋 3~4本おきに結束線にて結束することとし、固定金具は使用しない。

### スペーサー用固定金具

種別	本数	摘要
Uボルト	24	スペーサーと主鉄筋の固定 裏当て材含む

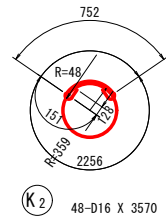
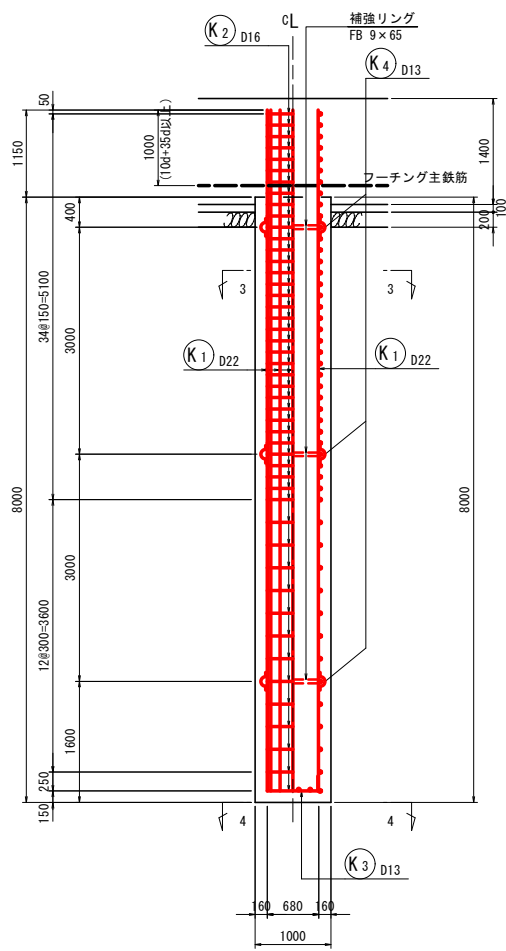
### 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台場所打ち杭配筋図(2)
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【 4号橋 】	38 葉の内 36

# A2橋台場所打ち杭配筋図(3) (L=8.00m)

S=1:50

1 - 1      2 - 2

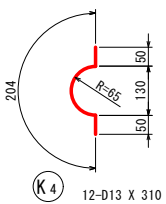


注) 帯鉄筋の継手部は千鳥状に配置すること。

### 変化鉄筋表

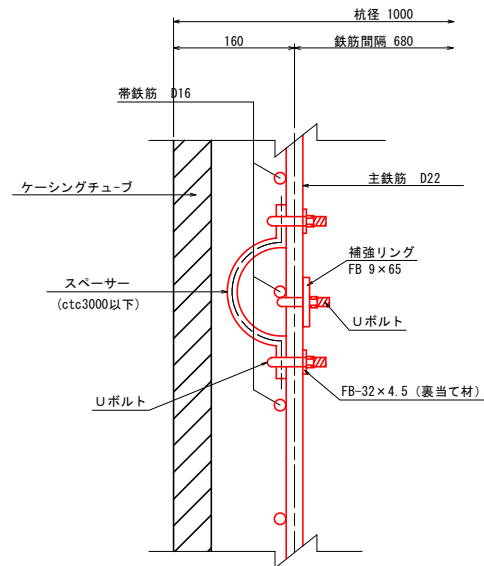
種別	径	本数	l	L
K 3-1	D13	4	522	920
-2	D13	4	672	1070
平均長		8		990

### スペーサー S=1:10



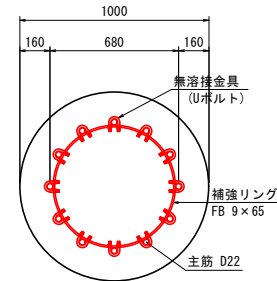
注) スペーサーは各断面に45°程度ずらす。  
(1断面当り4ヶ所)

### スペーサー詳細図 S=1:5

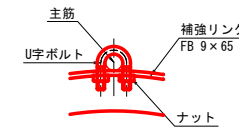


### 無溶接金具 (Uボルト) 取付図(参考図)

### 補強リングと主鉄筋金具詳細図



### Uボルト取付詳細図

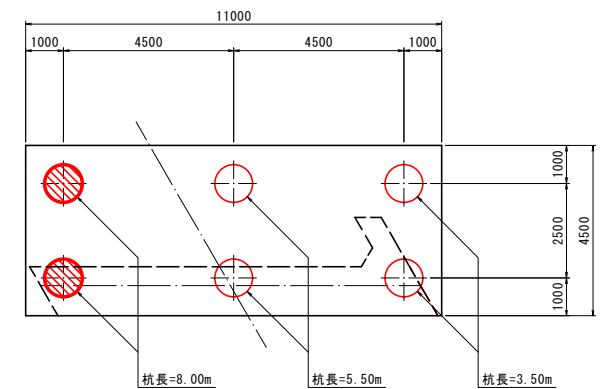


Uボルトまたは同等品  
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定

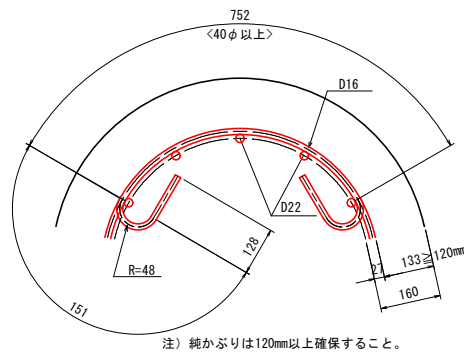
### 鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K 1	D22	9000	12	3.04	27.36	328	
K 2	D16	3570	48	1.56	5.57	267	○
K 3	D13	990	8	0.995	0.99	8	(平均長)
K 4	D13	310	12	0.995	0.31	4	<
607 kg							
				杭一本当り	杭本数	橋台一基当り	
合計 D22				328 kg	x 2	= 656 kg	
D16				267 kg	x 2	= 534 kg	
D13				12 kg	x 2	= 24 kg	
総質量				607 kg	x 2	= 1214 kg	

### 杭配置図 S=1:100



### 帯鉄筋詳細図 S=1:10



注) 純かぶりは120mm以上確保すること。

### 補強リング・固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
FB 9×65	2039	3	4.592	9.36	28	補強リング
Uボルト	-	36	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

注) 1) 補強リングと軸方向鉄筋の交点は、全ての箇所を固定金具で固定すること。  
2) 軸方向鉄筋と帯鉄筋の交点は、軸方向鉄筋 3~4本おきに結束線にて結束することとし、固定金具は使用しない。

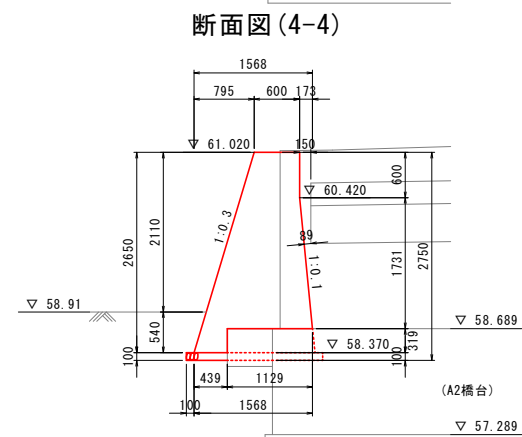
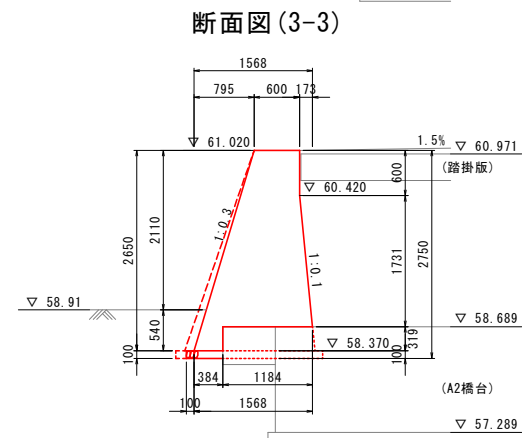
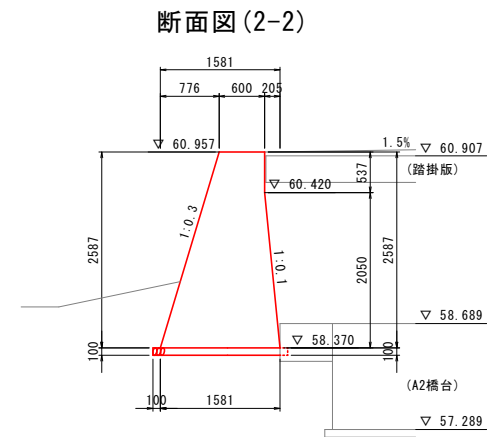
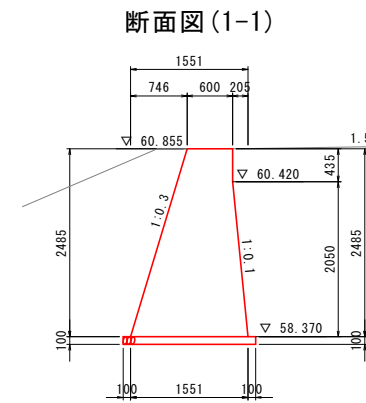
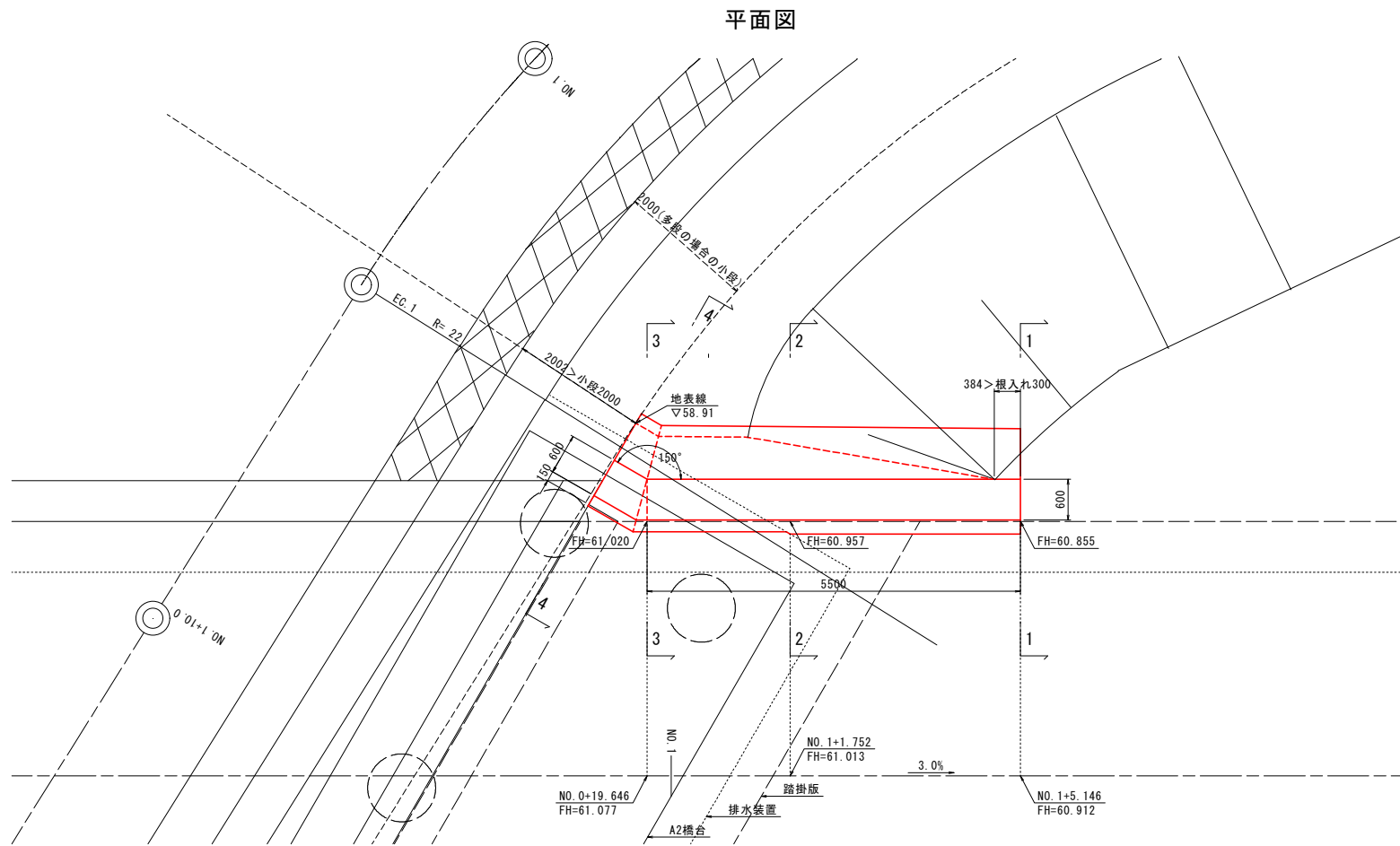
### スペーサー用固定金具

種別	本数	摘要
Uボルト	24	スペーサーと主鉄筋の固定 裏当て材含む

### 実施

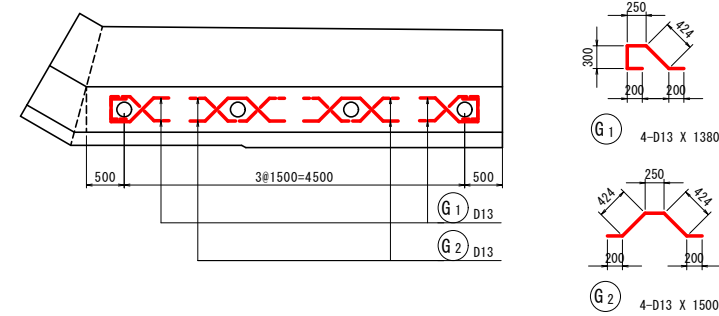
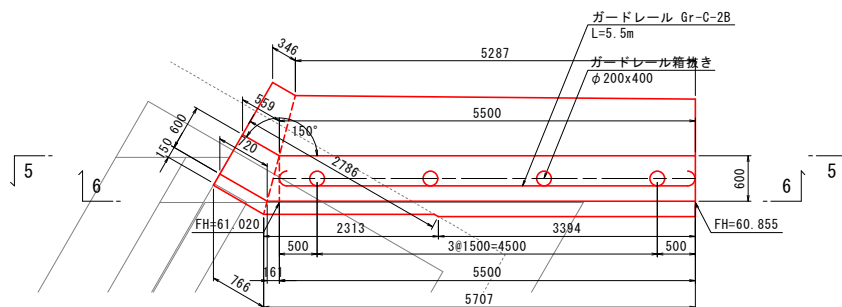
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	A2橋台場所打ち杭配筋図(3)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	[ 4号橋 ] 38 葉の内 37

# 重力式擁壁構造図 S=1:50

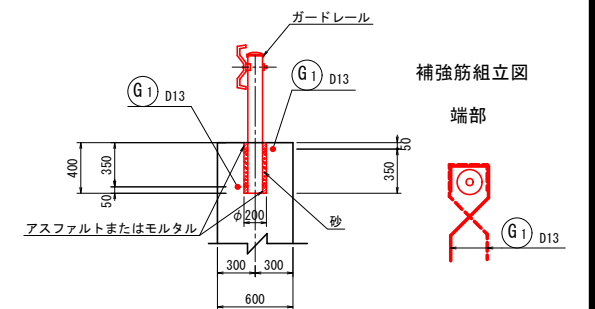


平面図

ガードレール補強筋配置図

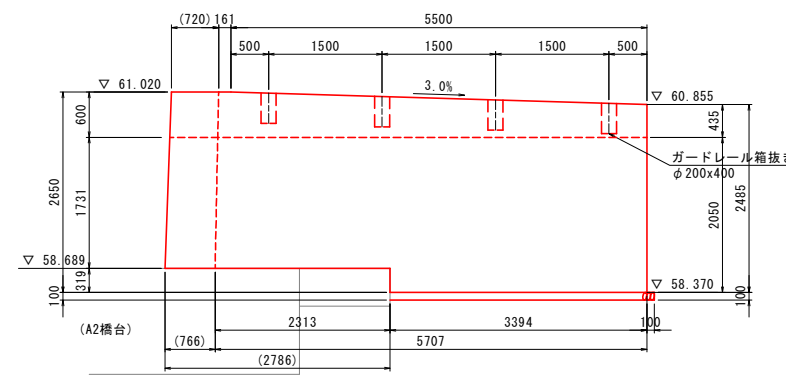
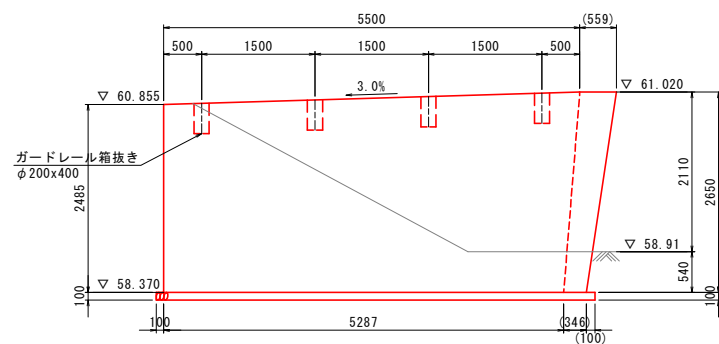


ガードレール箱抜き詳細図 S=1:30



正面図(5-5)

背面図(6-6)



実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第10種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	重力式擁壁構造図
項目	会社名 会社及び責任者 縮尺 図示
測量	
調査	
設計	
【 4号橋 】 38 葉の内 38	

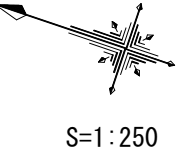
# 計画平面図 【付替河川】

仮設道	IP. 1
IPNO	83-04-33
IA	20.000
R	17.718
TL	28.999
CL	6.719
SL	0.000
BC. 1	NO. 0+ 0.000
BC. 2	NO. 0+14.500
EC. 1	NO. 1+ 8.999

IPNO	IP. 2
IA	38-09-10
R	70.000
TL	24.207
CL	46.612
SL	4.068
BC. 2	NO. 1+18.622
SP. 2	NO. 3+ 1.928
EC. 2	NO. 4+ 5.234

IPNO	IP. 3
IA	54-26-10
R	15.000
TL	7.715
CL	14.251
SL	1.868
BC. 3	NO. 4+ 5.234
SP. 3	NO. 4+12.360
EC. 3	NO. 4+19.485

IPNO	IP. 4
IA	13-01-27
R	20.000
TL	2.283
CL	4.546
SL	0.130
BC. 3	NO. 4+19.485
SP. 3	NO. 5+ 1.758
EC. 3	NO. 5+ 4.031



付替道路L	IP. 1
IPNO	100-59-32
IA	6.000
R	7.278
TL	10.576
CL	3.432
SL	0.000
BC. 1	NO. 0+ 3.750
SP. 1	NO. 0+ 9.038
EC. 1	NO. 0+14.326

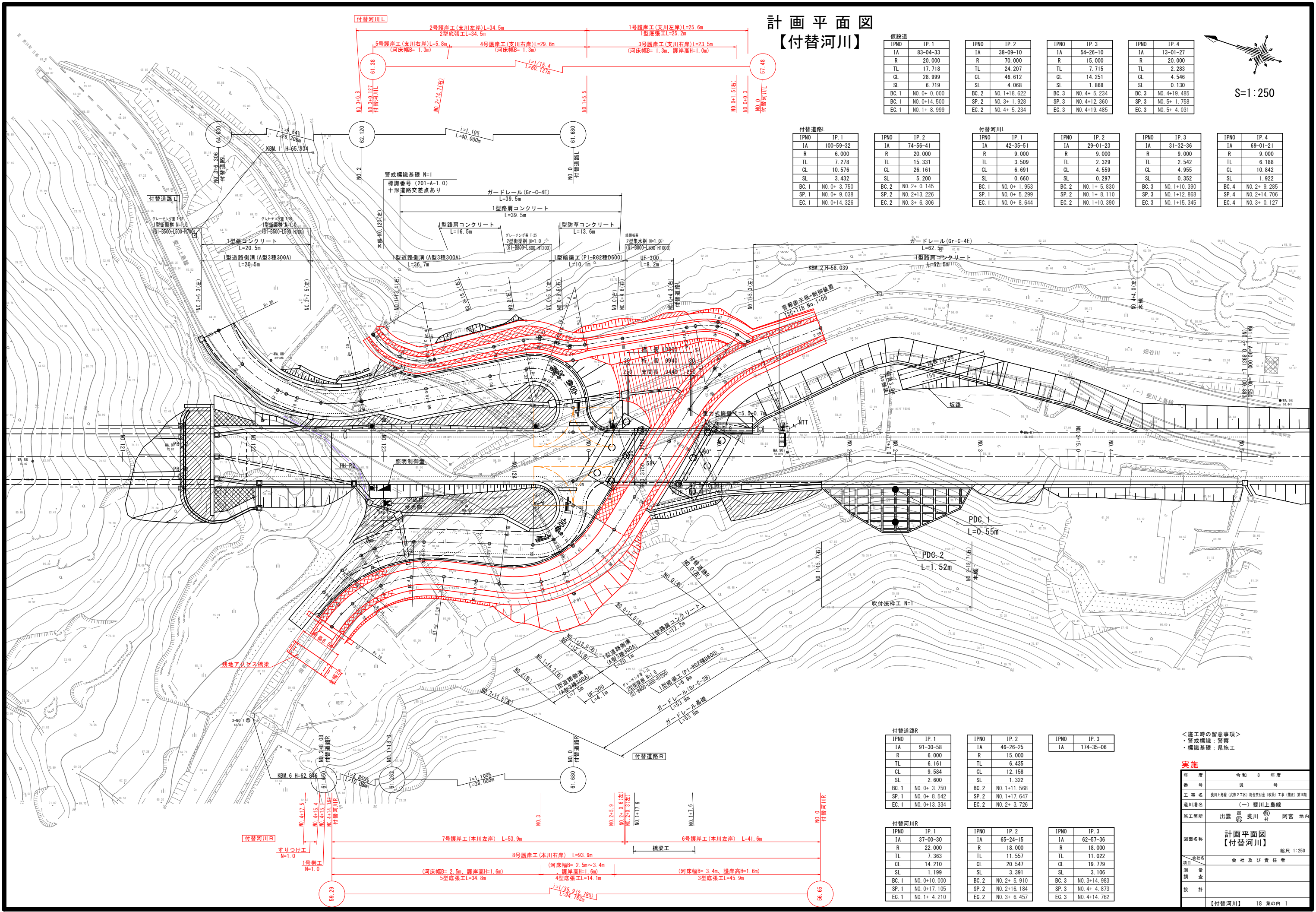
IPNO	IP. 2
IA	74-56-41
R	20.000
TL	15.331
CL	26.161
SL	5.200
BC. 2	NO. 2+ 0.145
SP. 2	NO. 2+13.226
EC. 2	NO. 3+ 6.306

付替河川L	IP. 1
IPNO	42-35-51
IA	9.000
R	3.509
TL	6.691
CL	0.660
SL	0.000
BC. 1	NO. 0+ 1.953
SP. 1	NO. 0+ 5.299
EC. 1	NO. 0+ 8.644

IPNO	IP. 2
IA	29-01-23
R	9.000
TL	2.329
CL	4.559
SL	0.297
BC. 2	NO. 1+ 5.830
SP. 2	NO. 1+ 8.110
EC. 2	NO. 1+10.390

IPNO	IP. 3
IA	31-32-36
R	9.000
TL	2.542
CL	4.955
SL	0.352
BC. 3	NO. 1+10.390
SP. 3	NO. 1+12.868
EC. 3	NO. 1+15.345

IPNO	IP. 4
IA	69-01-21
R	9.000
TL	6.188
CL	10.842
SL	1.922
BC. 4	NO. 2+ 9.285
SP. 4	NO. 2+14.706
EC. 4	NO. 3+ 0.127



付替道路R	IP. 1
IPNO	91-30-58
IA	6.000
R	6.161
TL	9.584
CL	2.600
SL	0.000
BC. 1	NO. 0+ 3.750
SP. 1	NO. 0+ 8.542
EC. 1	NO. 0+13.334

IPNO	IP. 2
IA	46-26-25
R	15.000
TL	6.435
CL	12.158
SL	1.322
BC. 2	NO. 1+11.568
SP. 2	NO. 1+17.647
EC. 2	NO. 2+ 3.726

IPNO	IP. 3
IA	174-35-06

付替河川R	IP. 1
IPNO	37-00-30
IA	22.000
R	7.363
TL	14.210
CL	1.199
SL	0.000
BC. 1	NO. 0+10.000
SP. 1	NO. 0+17.105
EC. 1	NO. 1+ 4.210

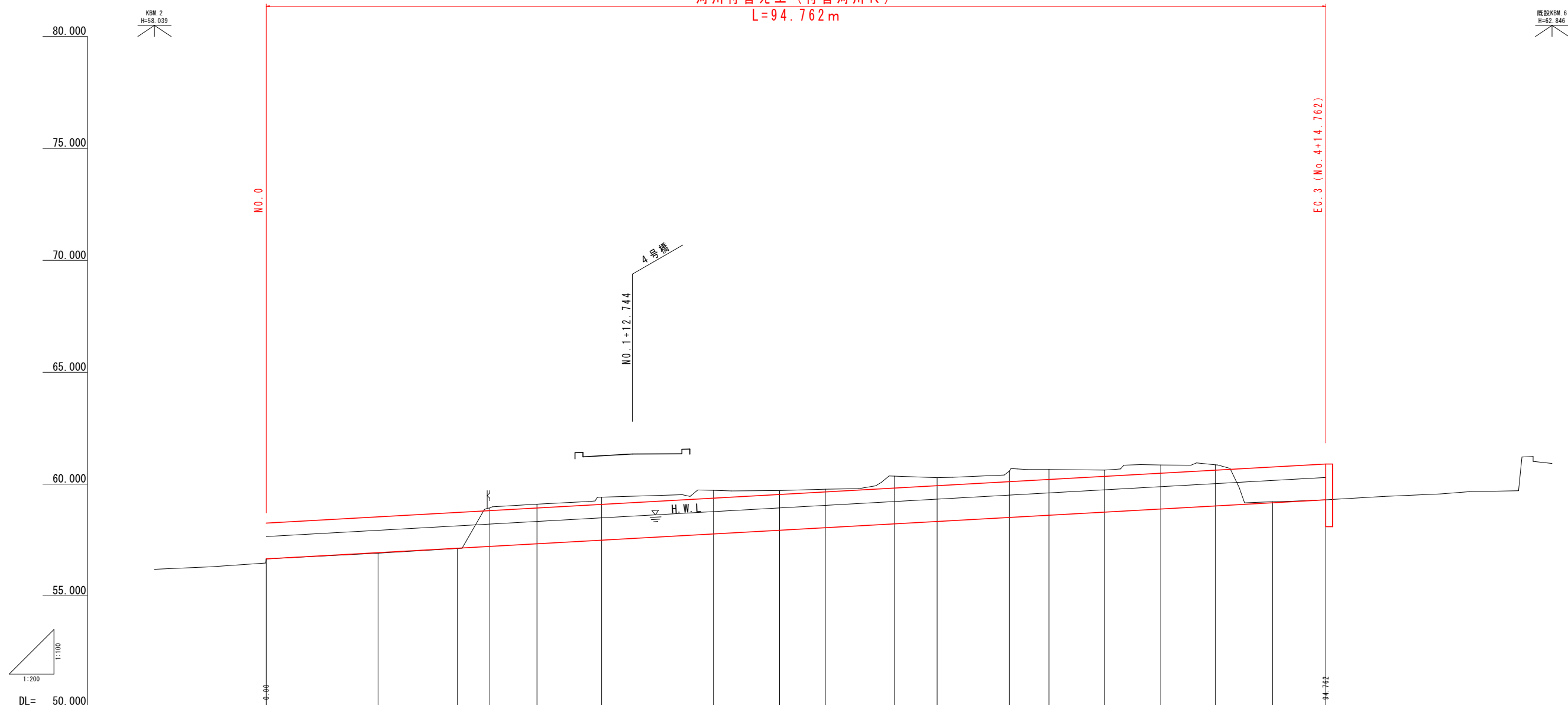
IPNO	IP. 2
IA	65-24-15
R	18.000
TL	11.557
CL	20.547
SL	3.391
BC. 2	NO. 2+ 5.910
SP. 2	NO. 2+16.184
EC. 2	NO. 3+ 6.457

IPNO	IP. 3
IA	62-57-36
R	18.000
TL	11.022
CL	19.779
SL	3.106
BC. 3	NO. 3+14.983
SP. 3	NO. 4+ 4.873
EC. 3	NO. 4+14.762

＜施工時の留意事項＞  
 ・警戒標識：警察  
 ・標識基礎：県施工

実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上高橋 (奥川2工区) 道路交付金 (改修) 工事 (補正) 第1期
通川港名	(一) 奥川上高橋
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	計画平面図 【付替河川】
設計	会社及び責任者
縮尺	1:250
【付替河川】	18 葉の内 1

斐川上島線（武部2工区）総合交付金（改築）工事（補正）第18期  
河川付替え工（付替河川R）  
L=94.762m



計	勾配	i=1/35.9 L=94.762m																		
	計画高	56.65	56.93	57.13	57.21	57.32	57.49	57.76	57.93	58.04	58.22	58.32	58.50	58.60	58.74	58.88	59.01	59.16	59.29	59.29
画	盛土	0.00	0.02	0.01																
	切土			1.72	1.78	1.92	1.96	1.78	1.73	2.13	1.96	2.08	2.05	1.88	1.97	1.85	0.05	0.00	0.00	
地盤高		56.65	56.91	57.12	58.93	59.10	59.41	59.72	59.71	60.35	60.28	60.58	60.65	60.62	60.85	60.86	59.21	59.29	59.29	
追加距離		0.000	10.000	17.105	20.000	24.210	30.000	40.000	46.910	50.000	56.184	60.000	66.457	70.000	74.983	80.000	84.873	90.000	94.762	
単距離		0.000	10.000	7.105	2.895	4.210	5.790	10.000	5.910	4.090	6.184	3.816	6.457	3.540	4.983	5.017	4.873	5.127	4.762	
測点		NO.0	BC.1	SP.1	NO.1	EC.1	+10.0	NO.2	BC.2	+10.0	SP.2	NO.3	EC.2	+10.0	BC.3	NO.4	SP.3	+10.0	EC.3	
曲線				IP.1 IA=37-00-30 R=22 CL=14.210 TL= 7.363 SL= 1.199							IP.2 IA=65-24-15 R=18 CL=20.547 TL=11.557 SL= 3.391									IP.3 IA=62-57-36 R=18 CL=19.779 TL=11.022 SL= 3.106
片勾配摺付け図																				
拡幅																				

実施  
付替河川R

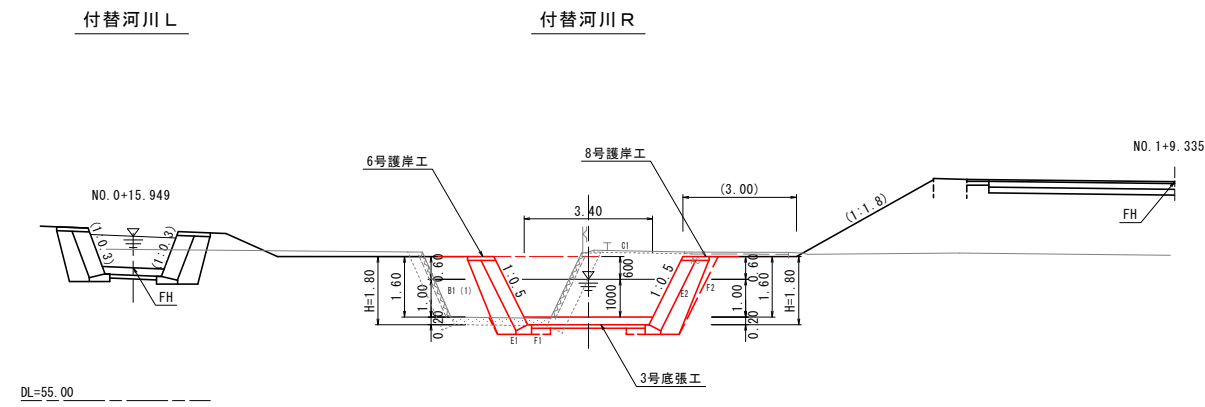
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線（武部2工区）総合交付金（改築）工事（補正）第18期
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	縦断面図
項目	会社名 縮尺 図示
測量	会社及び責任者
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 2

# 標準断面図

S=1:100

土砂片切	C1	切土法面整形 土砂片切	SLC(片)	左	右
オープン	C2	オープン	SLC(オ)		
堤体盛土	B1(1)	盛土法面整形 削り取り整形	BL1		
2.5 ≤ W < 4.0	B1(2)				
4.0 ≤ W	B1(3)	法面保護工 種子吹付(ネット併用, 切土法面)			
埋土	B2	種子吹付(盛土法面)			
床掘(左岸)	E1	舗装はぎとり			
埋戻(左岸)	F1	表土はぎとり	C3		
床掘(右岸)	E2				
埋戻(右岸)	F2				

## NO. 1付近

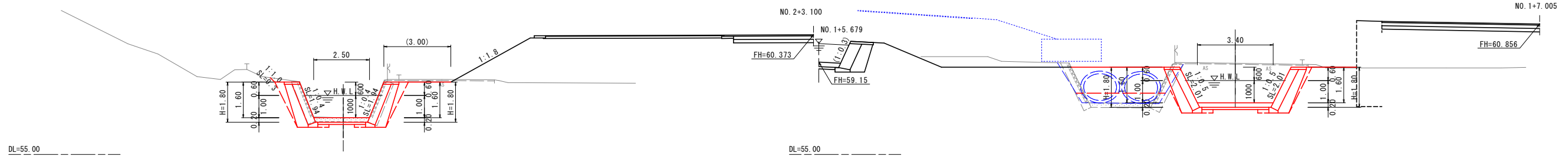


### 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	標準断面図
縮尺	縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 3

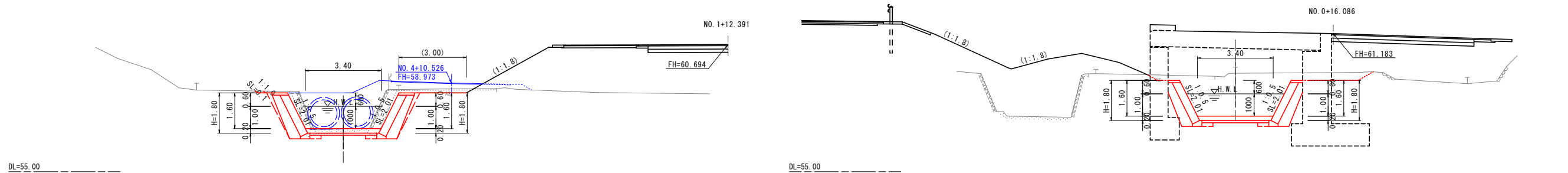
NO. 0  
 PH=56.659  
 GH=56.65  
 FH=56.65  
 D= 0.000

EC. 1  
 PH=59.108  
 GH=59.10  
 FH=57.32  
 D= 4.210



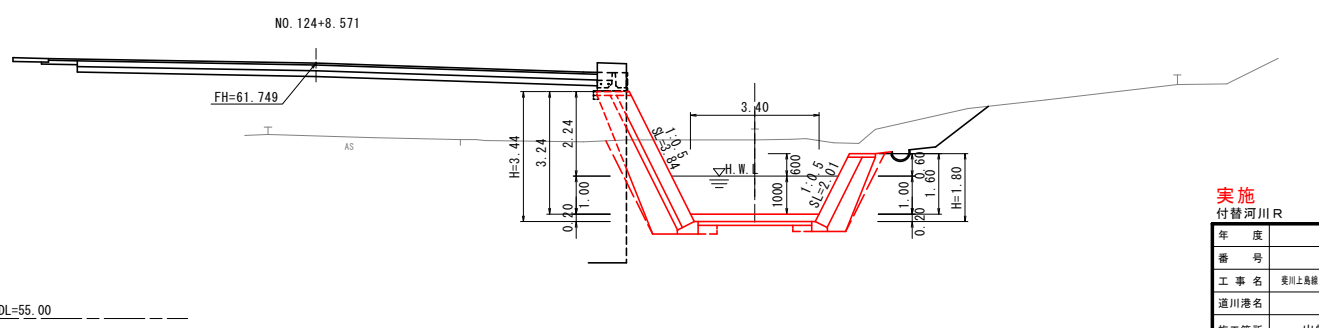
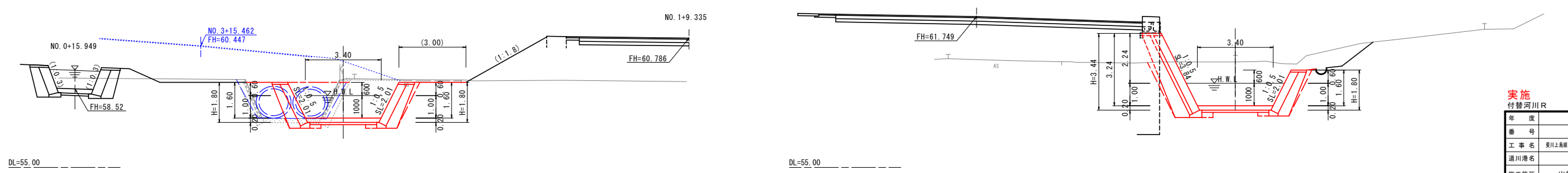
BC. 1  
 PH=56.915  
 GH=56.91  
 FH=56.93  
 D=10.000

NO. 1+10. 0  
 PH=59.682  
 GH=59.41  
 FH=57.49  
 D= 5.790



NO. 1  
 PH=58.931  
 GH=58.93  
 FH=57.21  
 D=10.000

NO. 2  
 PH=60.008  
 GH=59.72  
 FH=57.76  
 D=10.000



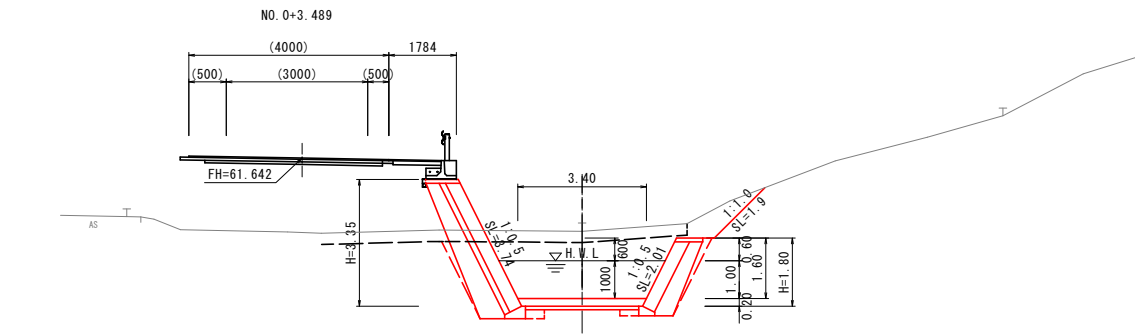
注) 供用中の仮設道路と横断面図に示す仮設道路(青)との差異  
 及び、TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

実施  
 付替河川R

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10期
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	横断面図 NO. 0~NO. 2 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 4

**BC. 2**

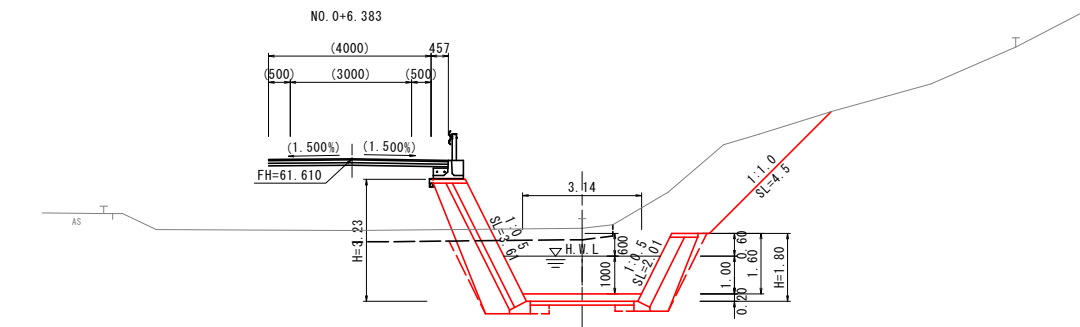
PH=59.926  
GH=59.71  
FH=57.93  
D= 5.910



DL=55.00

**NO. 2+10.0**

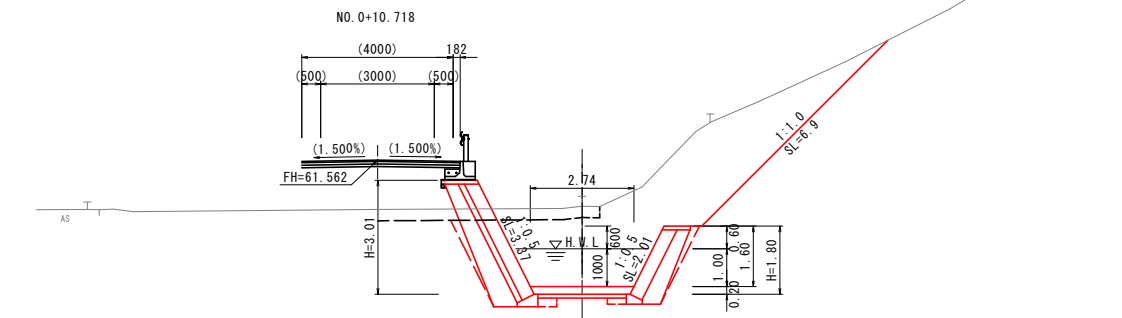
PH=60.023  
GH=59.77  
FH=58.04  
D= 4.090



DL=55.00

**SP. 2**

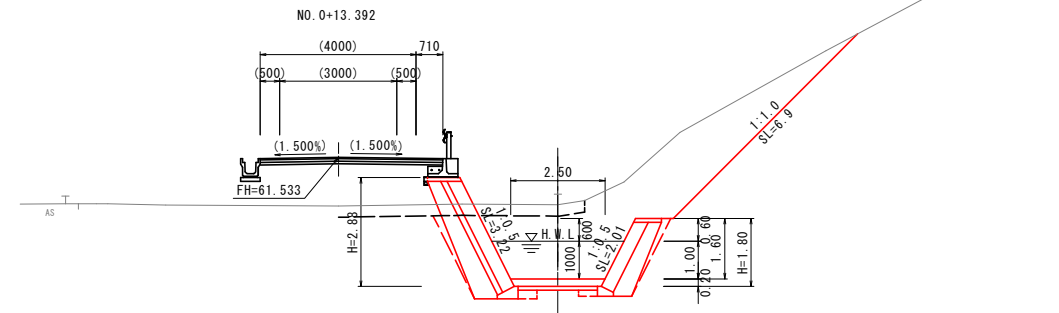
PH=60.606  
GH=60.35  
FH=58.22  
D= 6.184



DL=55.00

**NO. 3**

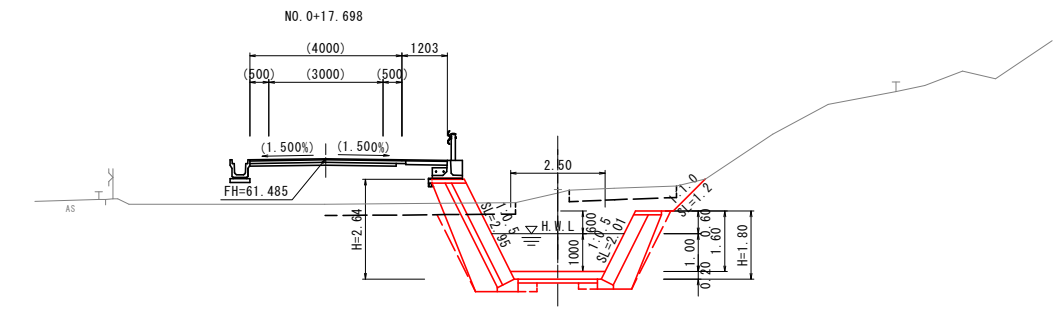
PH=60.560  
GH=60.28  
FH=58.32  
D= 3.816



DL=55.00

**EC. 2**

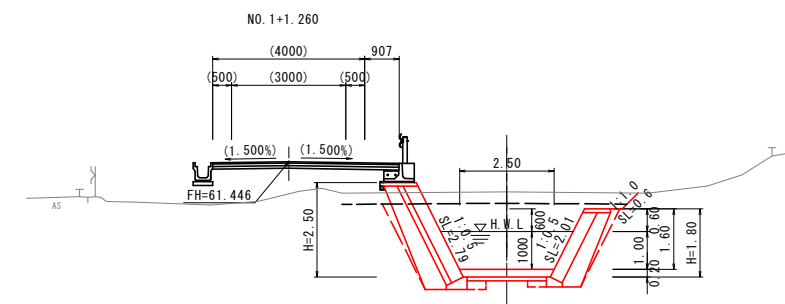
PH=60.672  
GH=60.58  
FH=58.50  
D= 6.46



DL=55.00

**NO. 3+10.0**

PH=60.894  
GH=60.65  
FH=58.60  
D= 3.54



DL=55.00

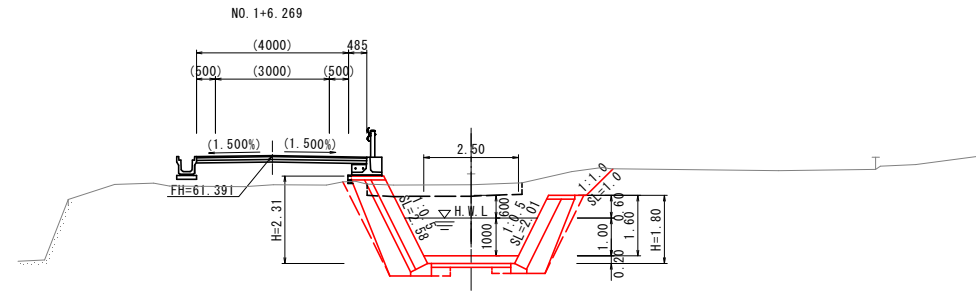
注) 供用中の仮設道路と横断面に示す仮設道路(青)との差異及び、TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

**実施**  
付替河川R

年度	令和 8 年度
番号	契 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	横断面図
項目	BC. 2~NO. 3+10. 0 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 5

BC. 3

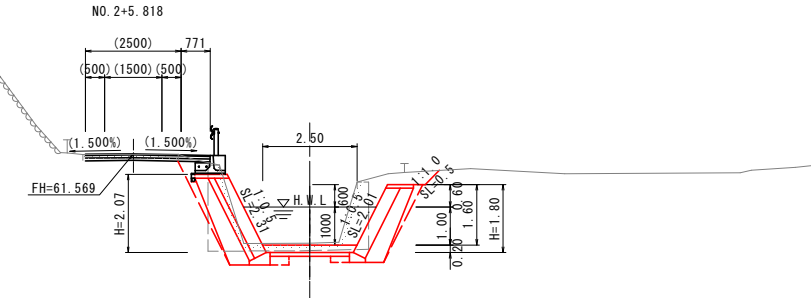
PH=60.910  
GH=60.62  
FH=58.74  
D= 4.98



DL=55.00

NO. 4+10.0

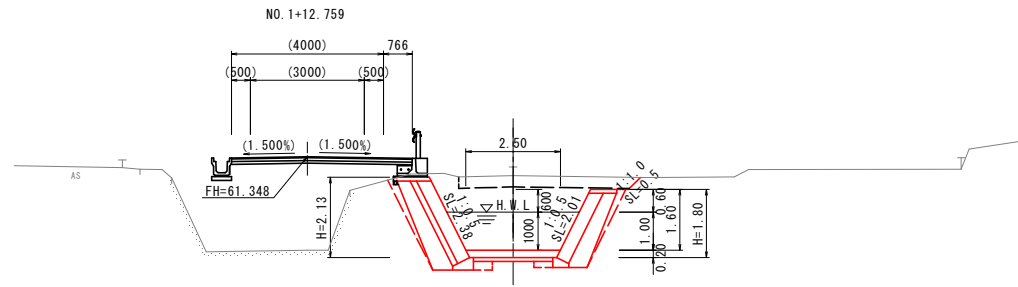
PH=59.216  
GH=59.21  
FH=59.16  
D= 5.127



DL=55.00

NO. 4

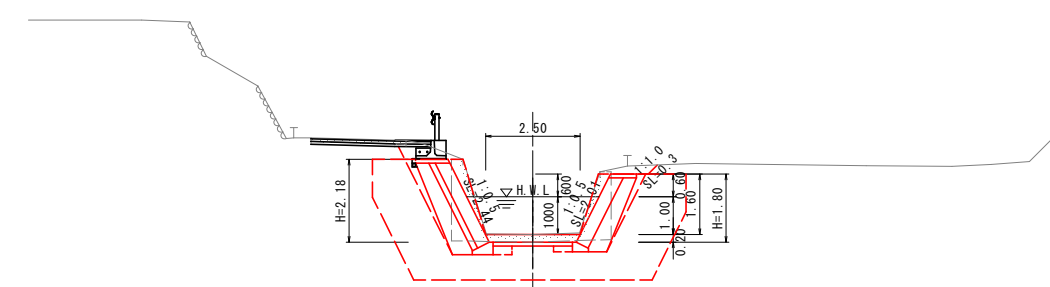
PH=61.072  
GH=60.85  
FH=58.88  
D= 5.02



DL=55.00

EC. 3

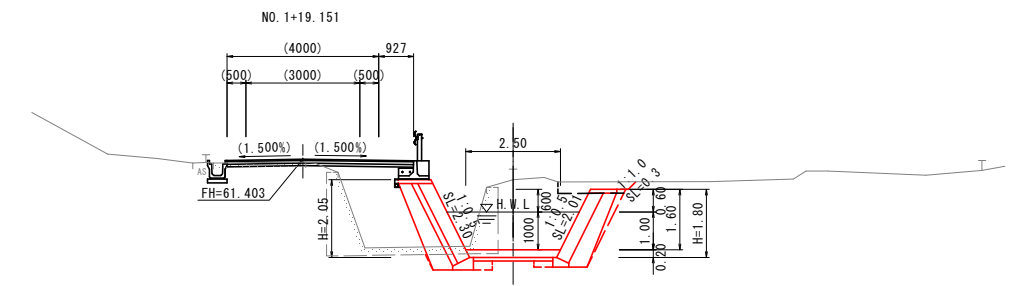
PH=59.293  
GH=59.29  
FH=59.29  
D= 4.762



DL=55.00

SP. 3

PH=61.145  
GH=60.86  
FH=59.01  
D= 4.87



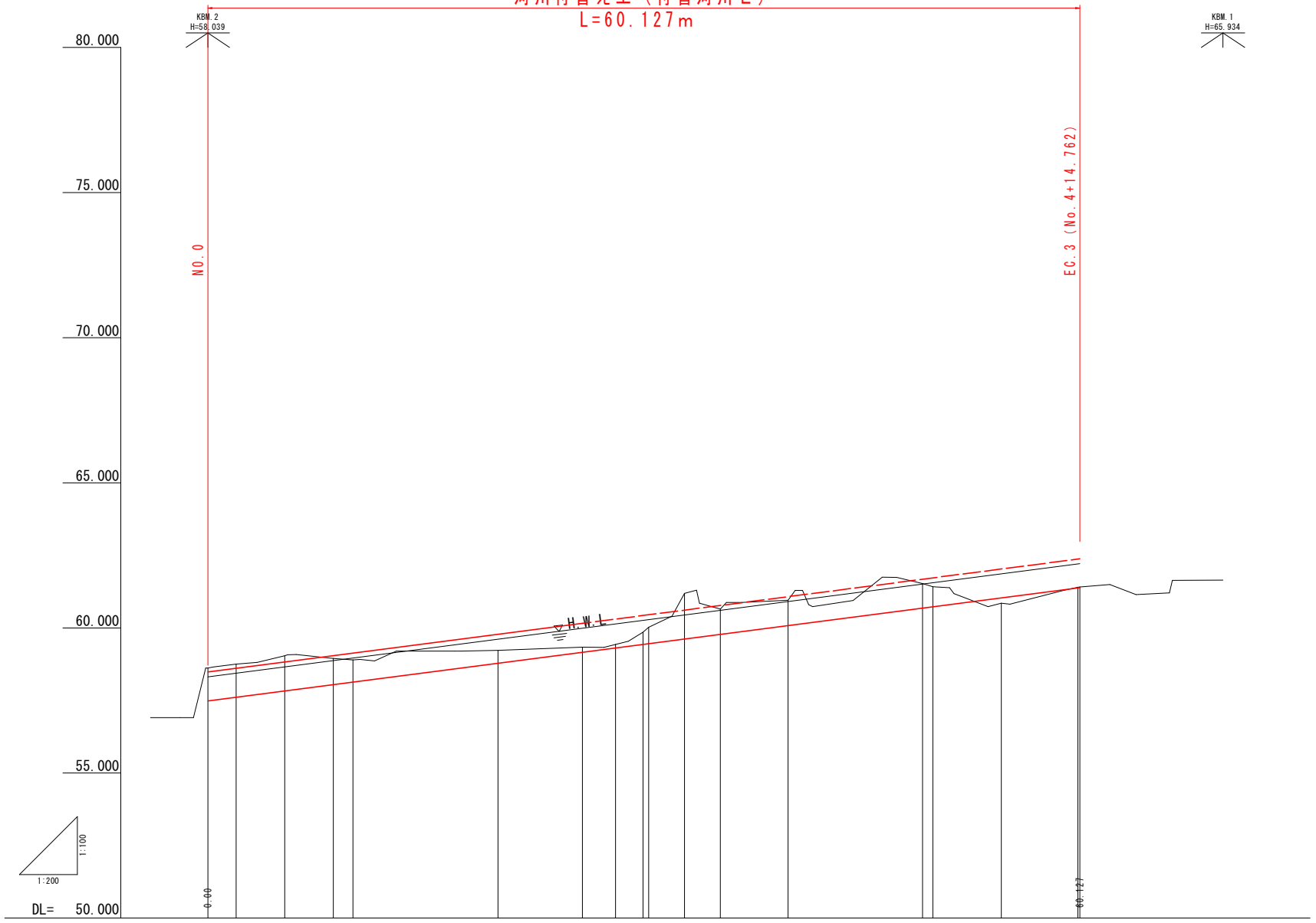
DL=55.00

注) 供用中の仮設道路と横断面図に示す仮設道路(青)との差異及び、TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

実施  
付替河川R

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	横断面図 BC.3~EC.3 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 6

斐川上島線（武部2工区）総合交付金（改築）工事（補正）第18期  
 河川付替え工（付替河川L）  
 L=60.127m



計 画 面	勾配	57.48 - 57.48		i=1/15.4 L=60.127m		61.38 - 61.38													
	計画高	57.48	57.61	57.82	58.04	58.13	58.78	59.16	59.31	59.43	59.45	59.61	59.78	60.08	60.68	60.73	61.03	61.38	61.38
	盛土																0.18		
	切土	1.14	1.14	1.22	0.91	0.77	0.45	0.18	0.12	0.54	0.54	1.58	0.87	0.87	0.85	0.69		0.02	0.03
地盤高	58.62	58.75	59.04	58.95	58.90	59.23	59.34	59.43	59.85	60.02	61.19	60.65	60.95	61.53	61.42	60.85	61.40	61.41	
追加距離	0.000	1.953	5.298	8.644	10.000	20.000	25.820	28.110	30.000	30.390	32.888	35.345	40.000	49.285	50.000	54.706	60.000	60.127	
単距離	0.000	1.953	3.346	3.345	1.356	10.000	5.830	2.280	1.890	0.390	2.478	2.477	4.655	9.285	0.715	4.706	5.244	0.127	
測点	NO.0	BC.1	SP.1	EC.1	+10.0	NO.1	BC.2	SP.2	+10.0	EC.2	SP.3	EC.3	NO.2	BC.4	+10.0	SP.4	NO.3	EC.4	
曲線	IP.1 IA=42-35-51 R=9 CL= 6.691 TL= 3.509 SL= 0.660				IP.2 IA=29-01-23 R=9 CL= 4.559 TL= 2.329 SL= 0.297				IP.3 IA=31-32-36 R=9 CL= 4.955 TL= 2.542 SL= 0.352				IP.4 IA=69-01-21 R=9 CL=10.842 TL= 6.188 SL= 1.922						
片勾配 付け図																			
拡幅																			

実施  
付替河川L

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線（武部2工区）総合交付金（改築）工事（補正）第18期
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	縦断面図
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 7

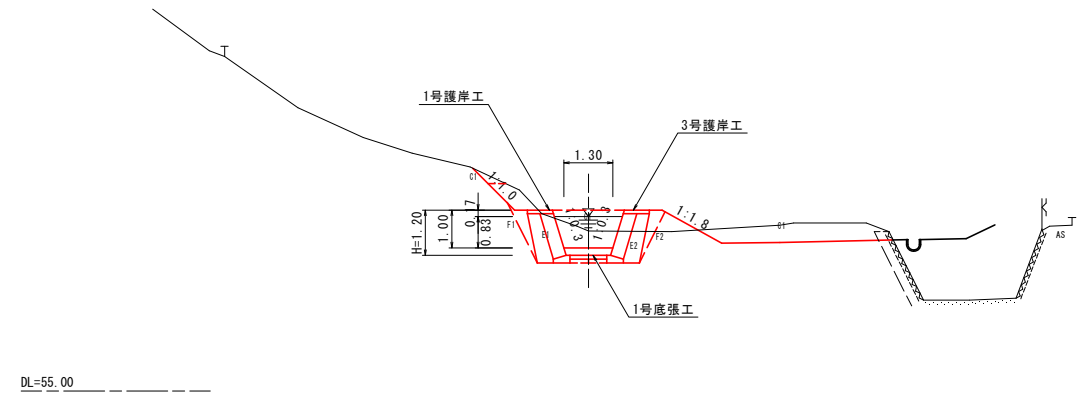
# 標準断面図

S=1:100

土砂片切	C1	切土法面整形 土砂片切	SLC(片)	左	右
オープン	C2	切土法面整形 オープン	SLC(オ)		
堤体盛土	B1(1)	盛土法面整形 削り取り整形	BL1		
W<2.5	B1(2)				
2.5≦W<4.0	B1(3)	法面保護工 種子吹付(ネット併用,切土法面)			
4.0≦W	B2	種子吹付(盛土法面)			
埋土	B2				
床掘(左岸)	E1	舗装はぎとり			
埋戻(左岸)	F1	表土はぎとり	C3		
床掘(右岸)	E2				
埋戻(右岸)	F2				

NO.1付近

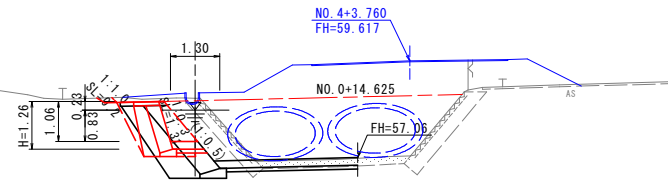
付替河川L



実施

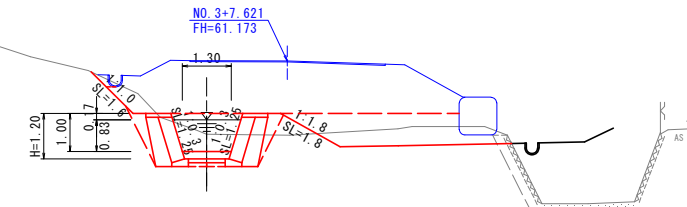
付替河川L	令和 8 年度
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10期
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	標準断面図
縮尺	縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
項目	
測量	
調査	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 8

NO. 0  
PH=58.629  
GH=58.62  
FH=57.48  
D= 0.000



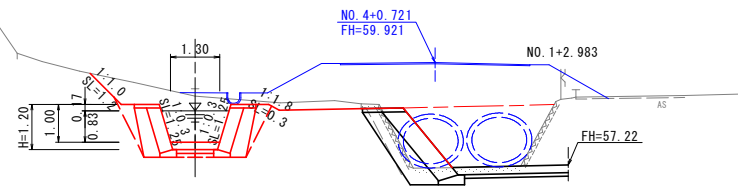
DL=55.00

NO. 1  
PH=59.539  
GH=59.23  
FH=58.78  
D=10.000



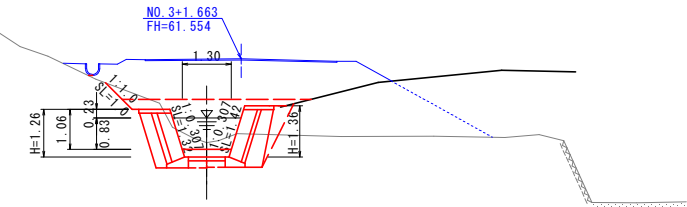
DL=55.00

SP. 1  
PH=59.228  
GH=59.04  
FH=57.82  
D= 5.299



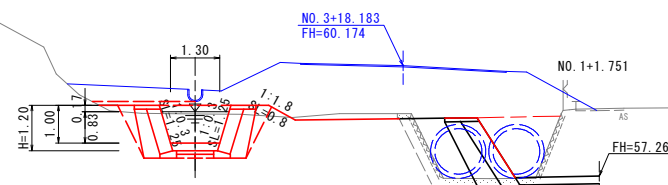
DL=55.00

BC. 2  
PH=59.637  
GH=59.34  
FH=59.16  
D= 5.830



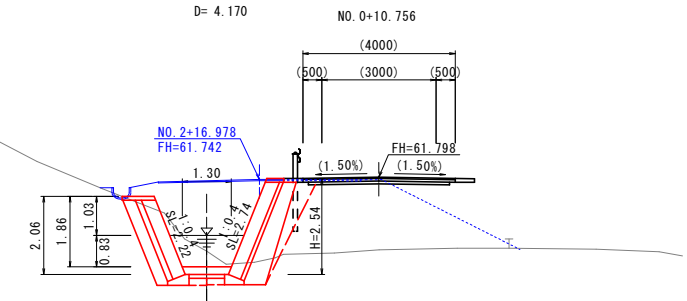
DL=55.00

NO. 0+10. 0  
PH=59.130  
GH=58.90  
FH=58.13  
D= 4.701



DL=55.00

NO. 1+10. 0  
PH=60.067  
GH=59.85  
FH=59.43  
D= 4.170



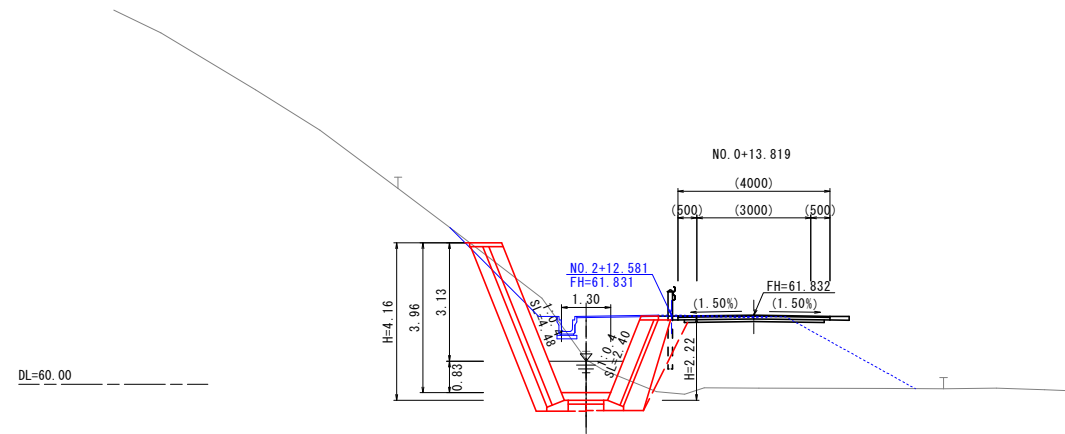
DL=55.00

注) 供用中の仮設道路と横断面図に示す仮設道路(青)との差異及び、TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

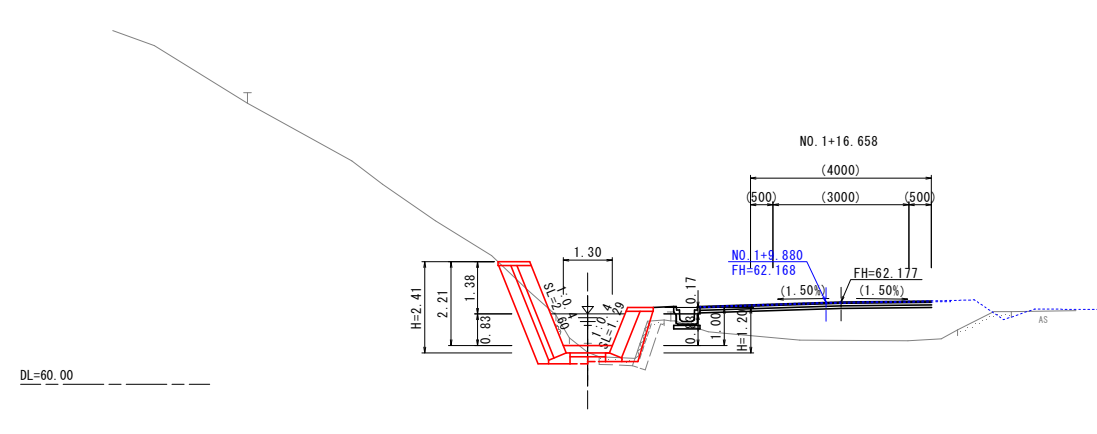
実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	横断面図
項目	NO. 0~NO. 1+10. 0 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 9

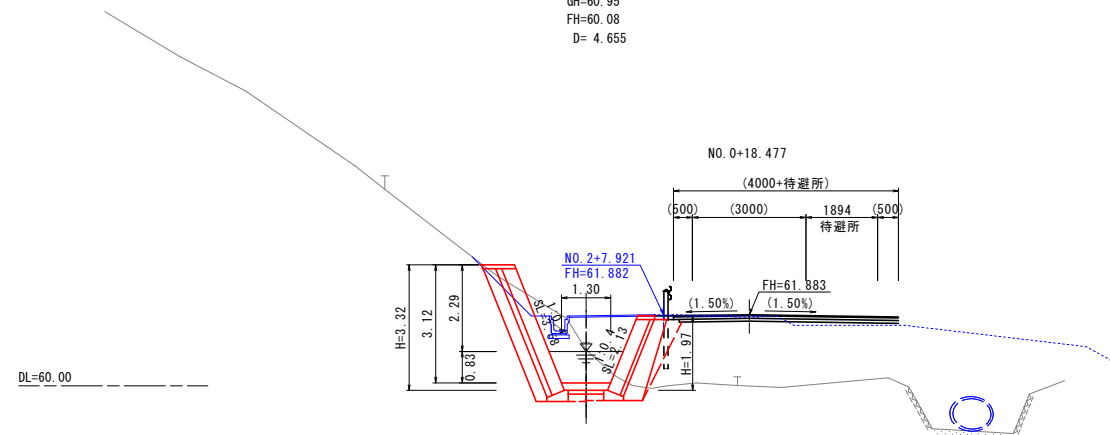
EC. 3  
 PH=60.875  
 GH=60.65  
 FH=59.78  
 D= 5.345



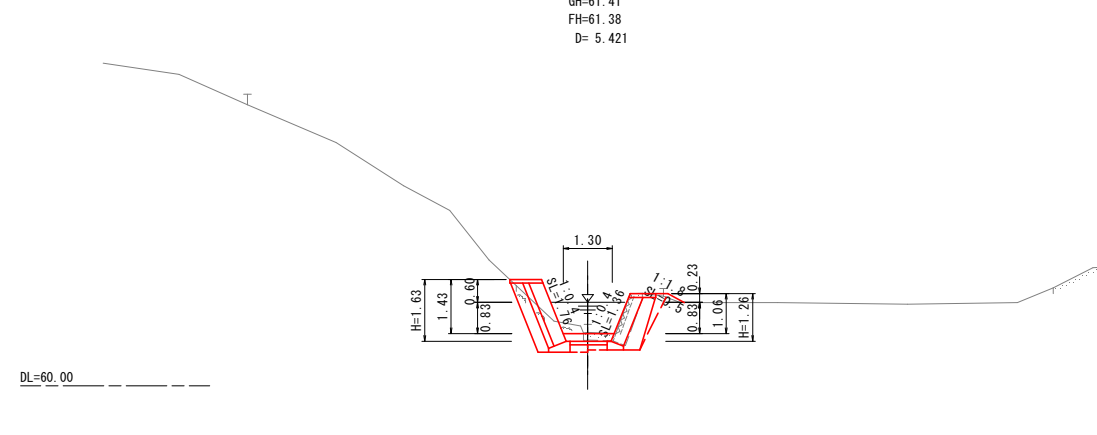
SP. 4  
 PH=61.212  
 GH=60.85  
 FH=61.03  
 D= 4.706



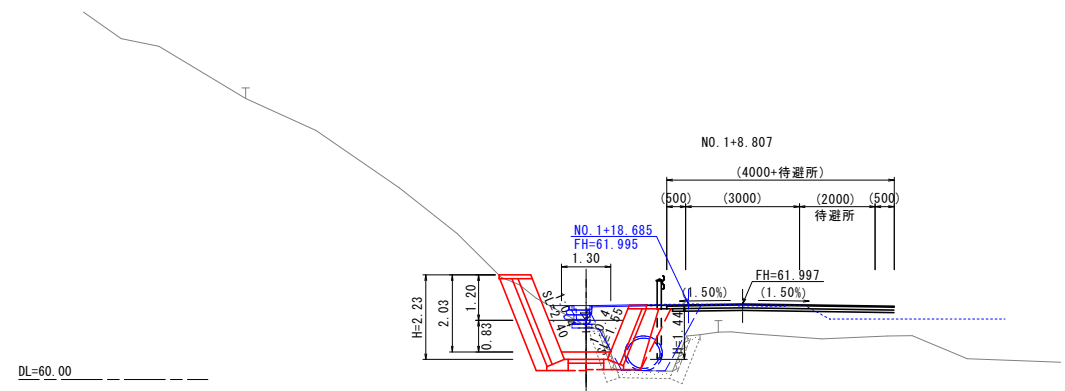
NO. 2  
 PH=61.142  
 GH=60.95  
 FH=60.08  
 D= 4.655



EC. 4  
 PH=61.411  
 GH=61.41  
 FH=61.38  
 D= 5.421



NO. 2+10. 0  
 PH=61.781  
 GH=61.42  
 FH=60.73  
 D=10.000



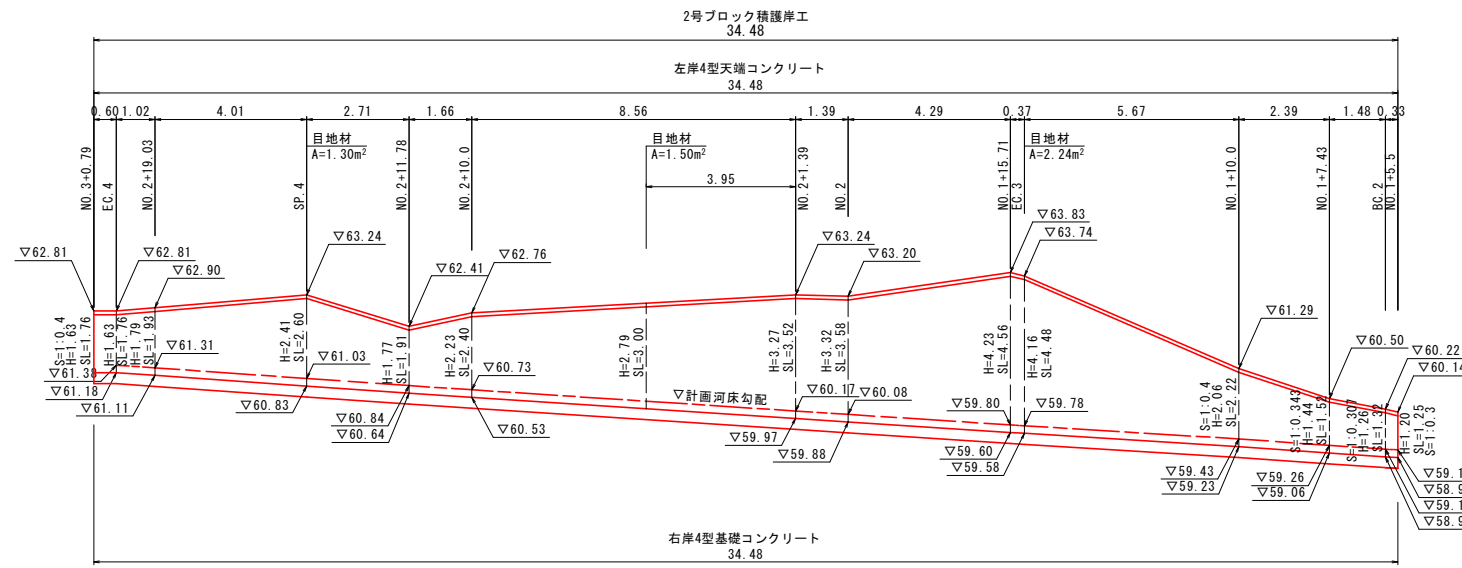
注) 供用中の仮設道路と横断面図に示す仮設道路(青)との差異及び、TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10期
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	横断面図
項目	EC. 3~EC. 4 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 10

# 護岸工展開図・構造図(1)

S=1:100



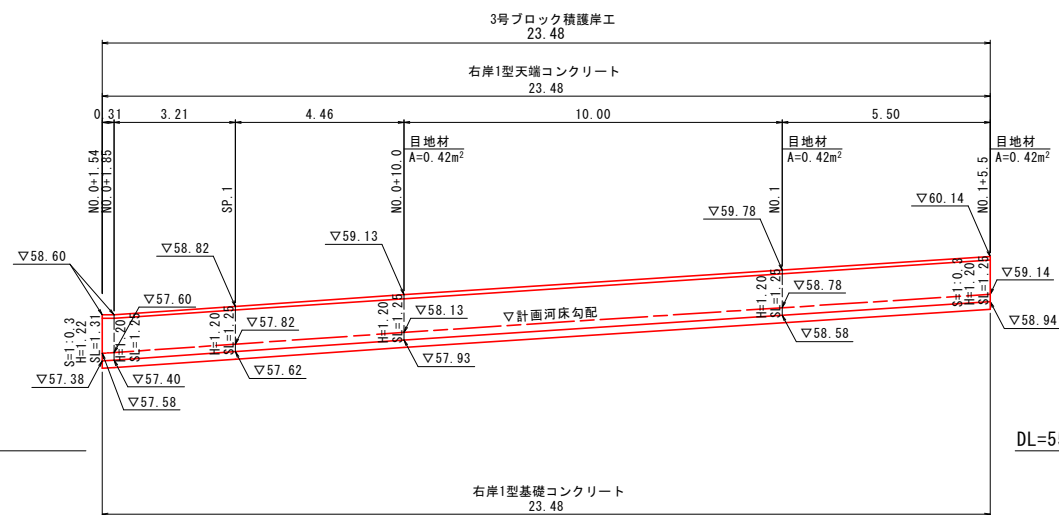
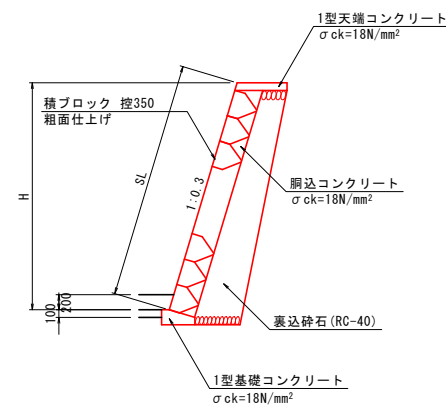
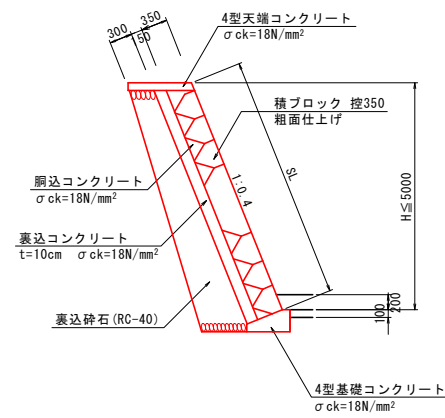
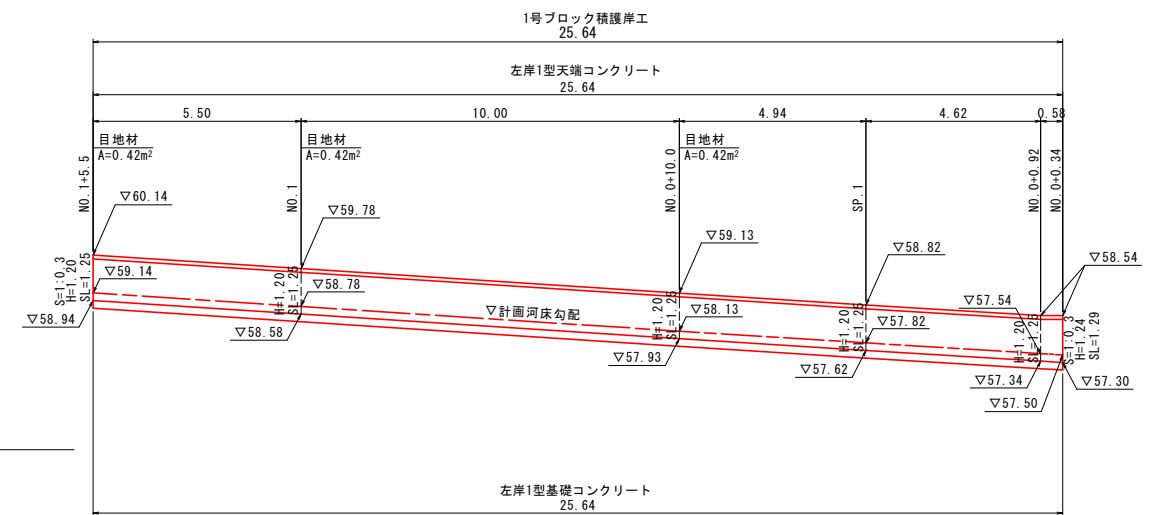
2号ブロック積護岸工

S=1:50

1号ブロック積護岸工

S=1:50

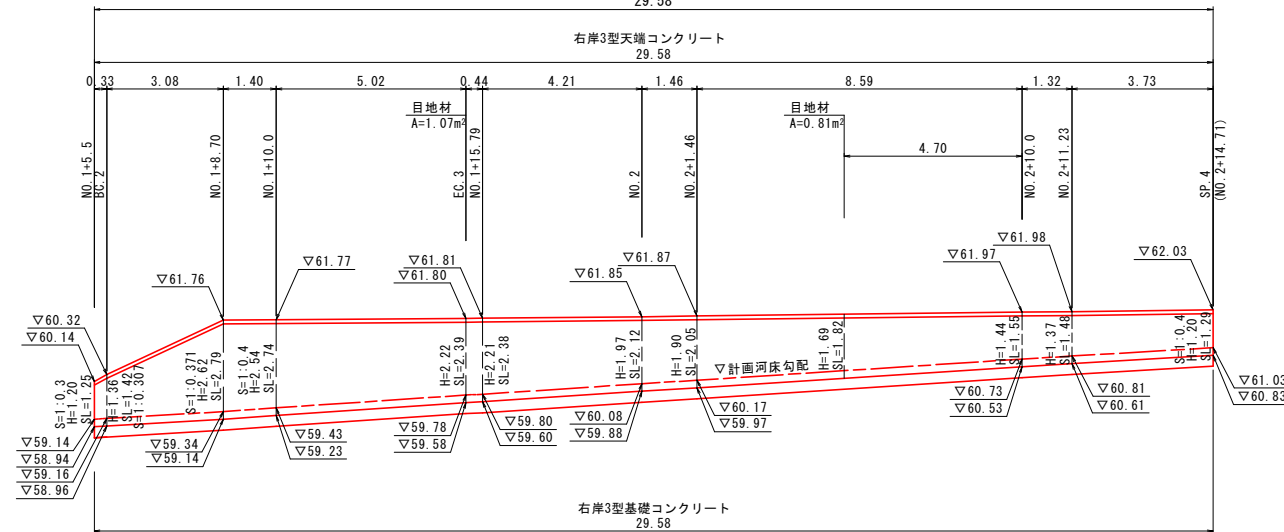
DL=55.000



3号ブロック積護岸工

S=1:50

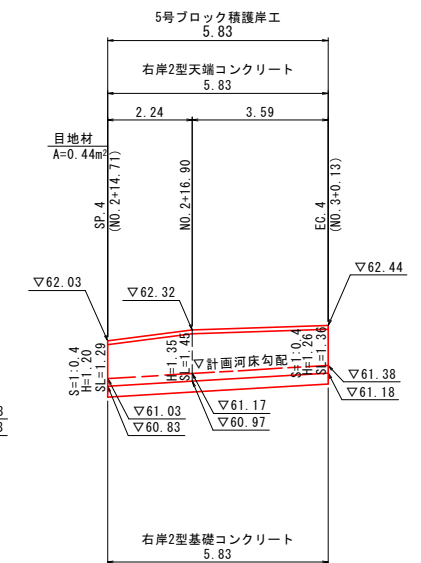
DL=55.000



4号ブロック積護岸工

S=1:50

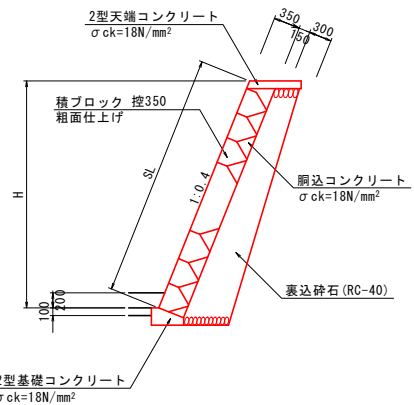
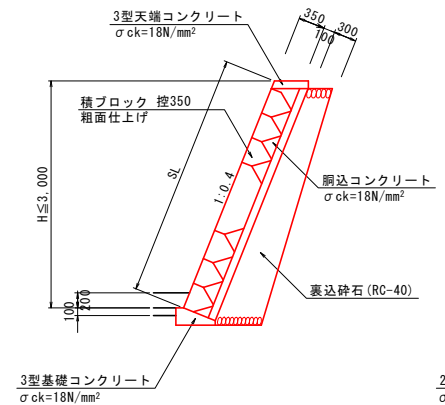
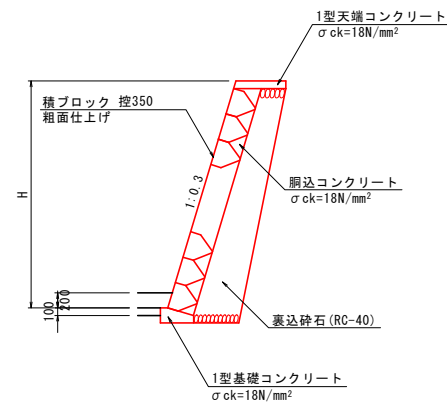
DL=55.000



5号ブロック積護岸工

S=1:50

DL=55.000



【ブロック積護岸構造】

<左岸>

- 1号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.3
- 2号ブロック積護岸工：兼用護岸、切土部H≤5.0m、S=1:0.4、裏コン15cm
- 3号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.3
- 4号ブロック積護岸工：兼用護岸、盛土部H≤3.0m、S=1:0.4、裏コン10cm
- 5号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.4

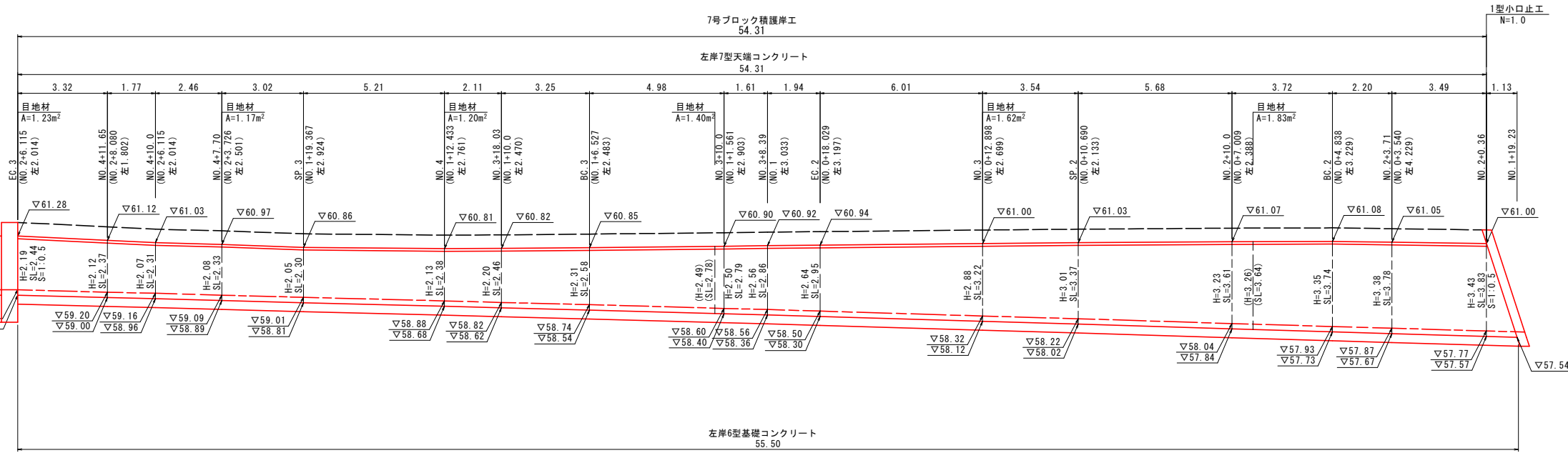
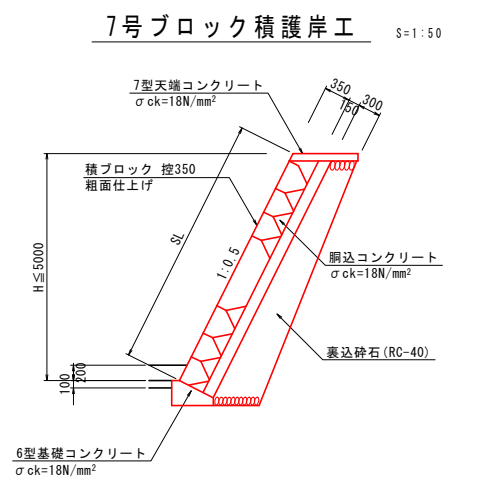
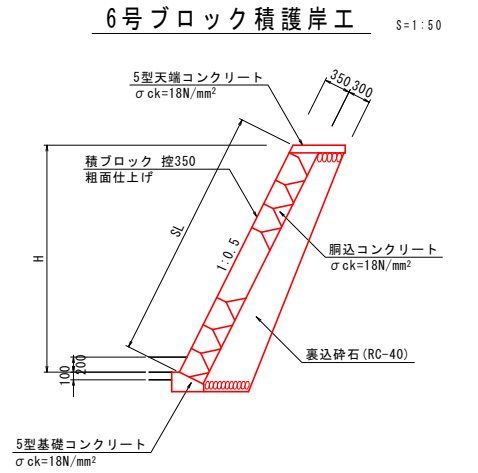
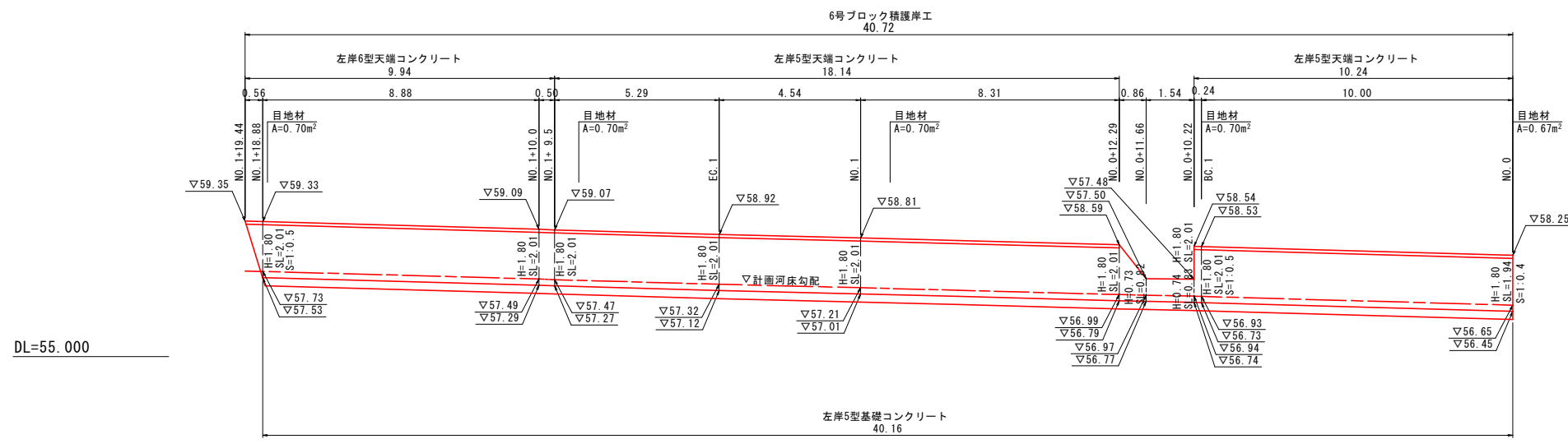
<右岸>

- 3号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.3
- 4号ブロック積護岸工：兼用護岸、盛土部H≤3.0m、S=1:0.4、裏コン10cm
- 5号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.4

実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 崩落防止工事 (改築) 工事 (第1種)
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	護岸工展開図・構造図(1)
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替河川】 18 葉の内 11	

# 護岸工展開図・構造図(2)

S=1:100



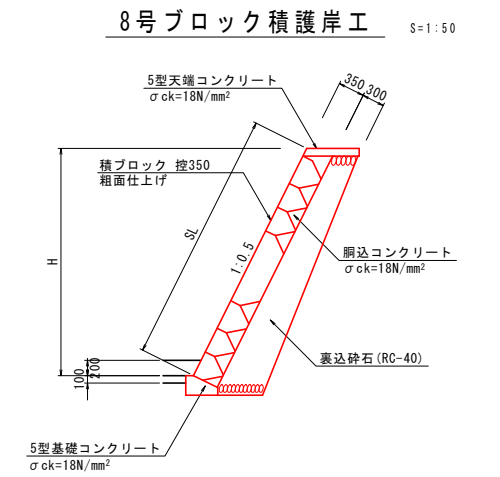
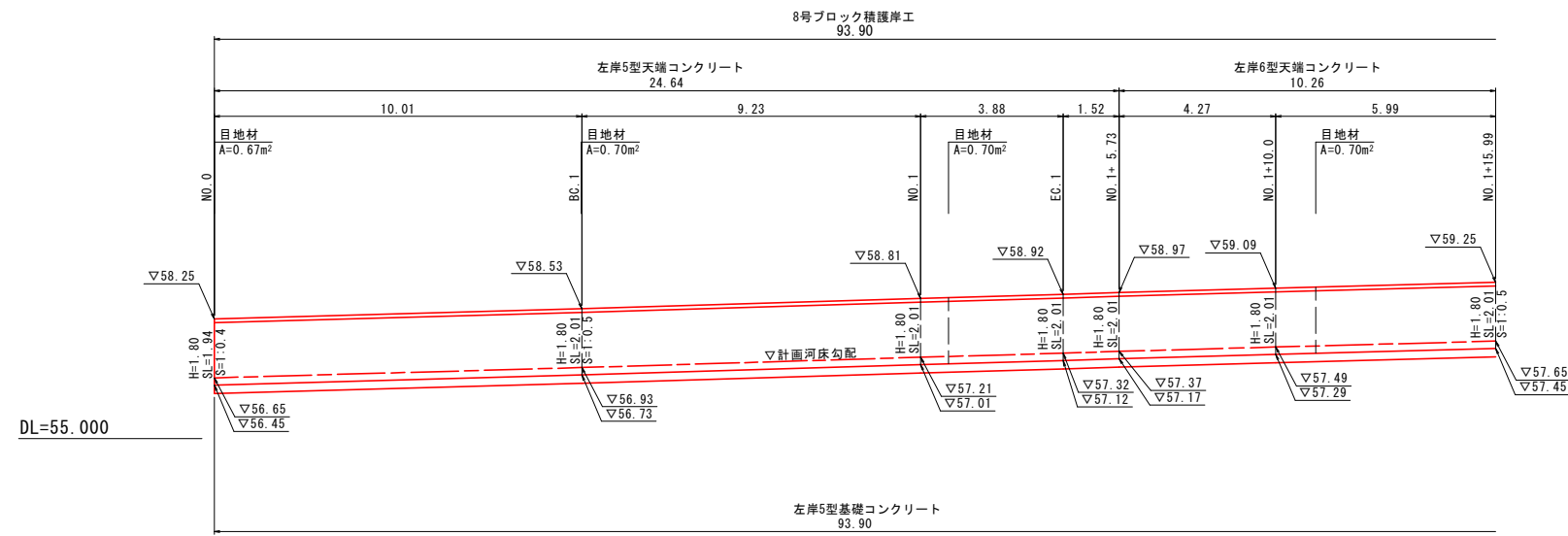
【ブロック積護岸構造】  
 <左岸>  
 6号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.5  
 7号ブロック積護岸工：兼用護岸、切土部H≤5.0m、S=1:0.5、裏コン15cm

実施  
付替河川R

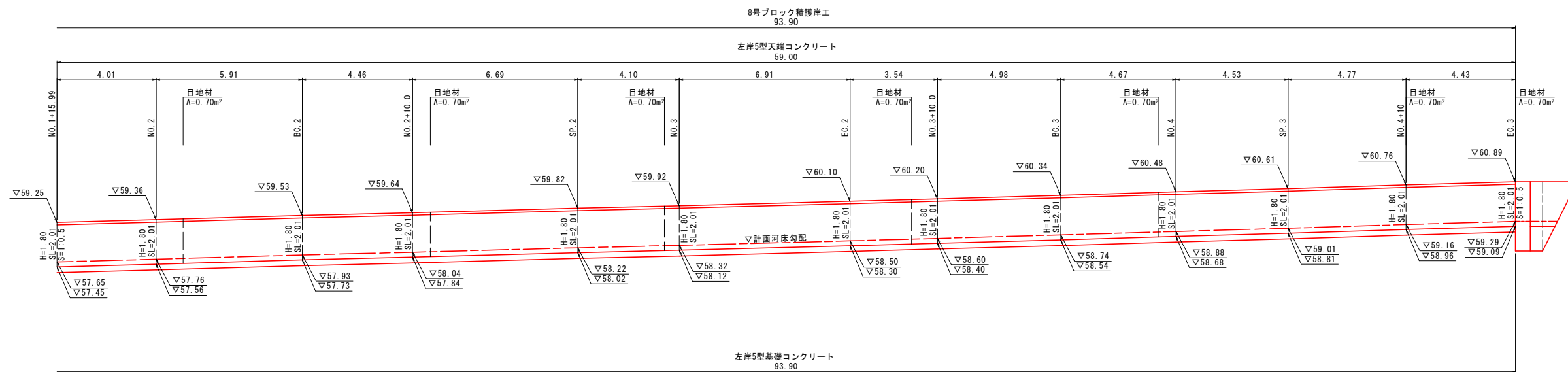
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島橋 (東部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	護岸工展開図・構造図(2)
項目	会社名 会社及び責任者
調査	
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 12

# 護岸工展開図・構造図(3)

S=1:100



【ブロック積護岸構造】  
 <右岸>  
 8号ブロック積護岸工：河川護岸、S=1:0.5

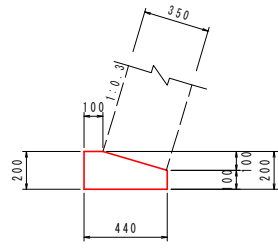


DL=55.000

## 実施 付替河川R

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	護岸工展開図・構造図(3)
項目	会社名 会社及び責任者 縮尺 図示
測量	
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 13

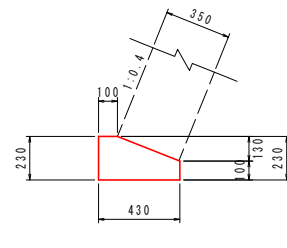
1型基礎コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	4.4
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.71
型枠		m <sup>2</sup>	3.00
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.07

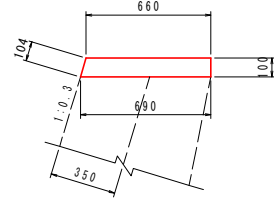
2型基礎コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	4.3
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.77
型枠		m <sup>2</sup>	3.30
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.08

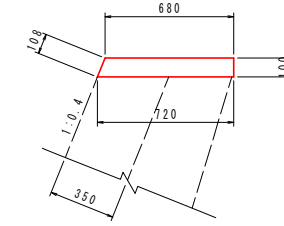
1型天端コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.68
型枠		m <sup>2</sup>	2.04
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.07

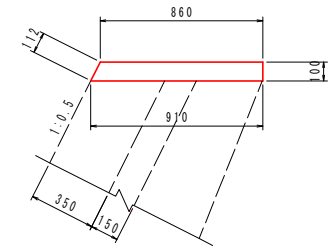
2型天端コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.70
型枠		m <sup>2</sup>	2.08
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.07

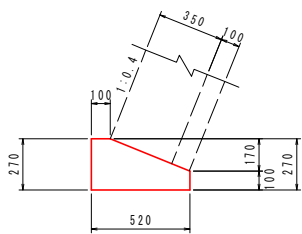
7型天端コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.89
型枠		m <sup>2</sup>	2.12
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.09

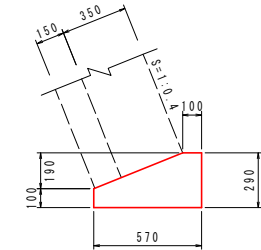
3型基礎コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	5.2
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.05
型枠		m <sup>2</sup>	3.70
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.10

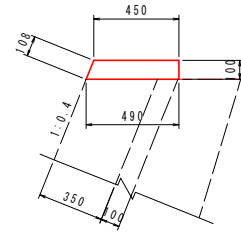
4型基礎コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	5.7
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.21
型枠		m <sup>2</sup>	3.90
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.12

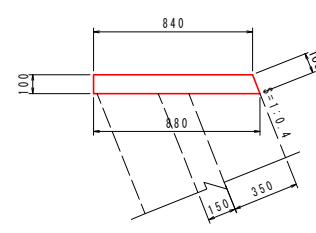
3型天端コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.47
型枠		m <sup>2</sup>	2.08
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.05

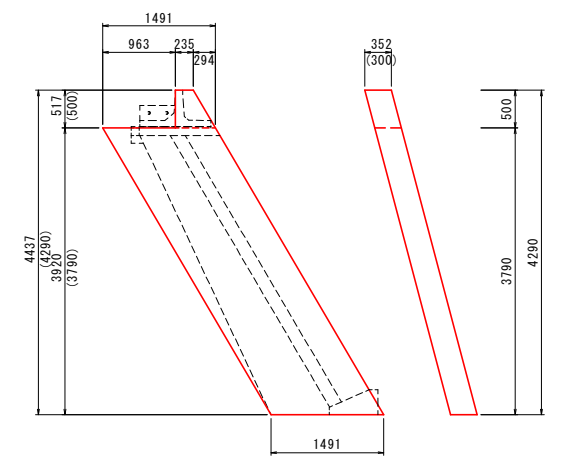
4型天端コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.86
型枠		m <sup>2</sup>	2.08
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.09

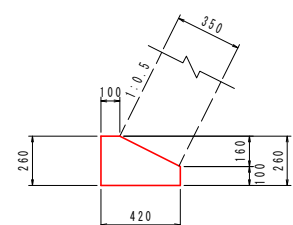
1型小口止工 S=1:50



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.813
型枠		m <sup>2</sup>	13.77

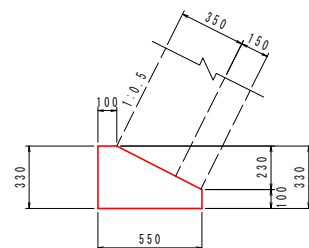
5型基礎コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	4.2
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.84
型枠		m <sup>2</sup>	3.60
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.08

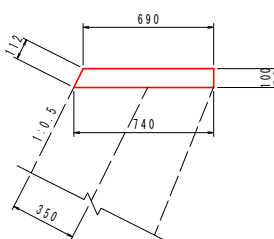
6型基礎コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	5.5
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.30
型枠		m <sup>2</sup>	4.30
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.13

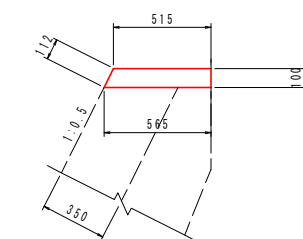
5型天端コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.72
型枠		m <sup>2</sup>	2.12
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.07

6型天端コンクリート S=1:20



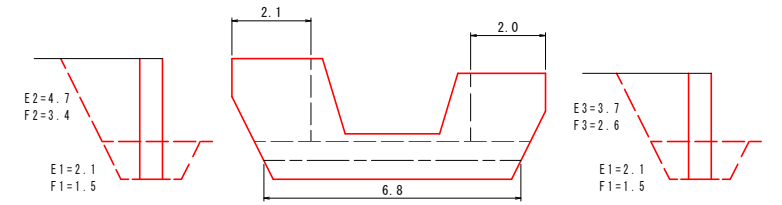
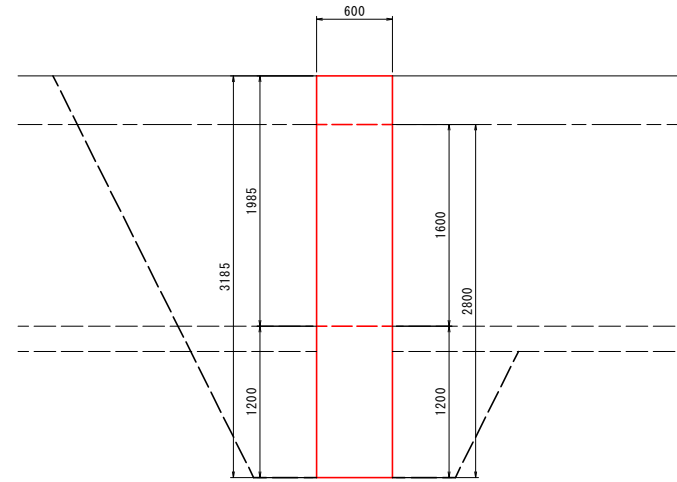
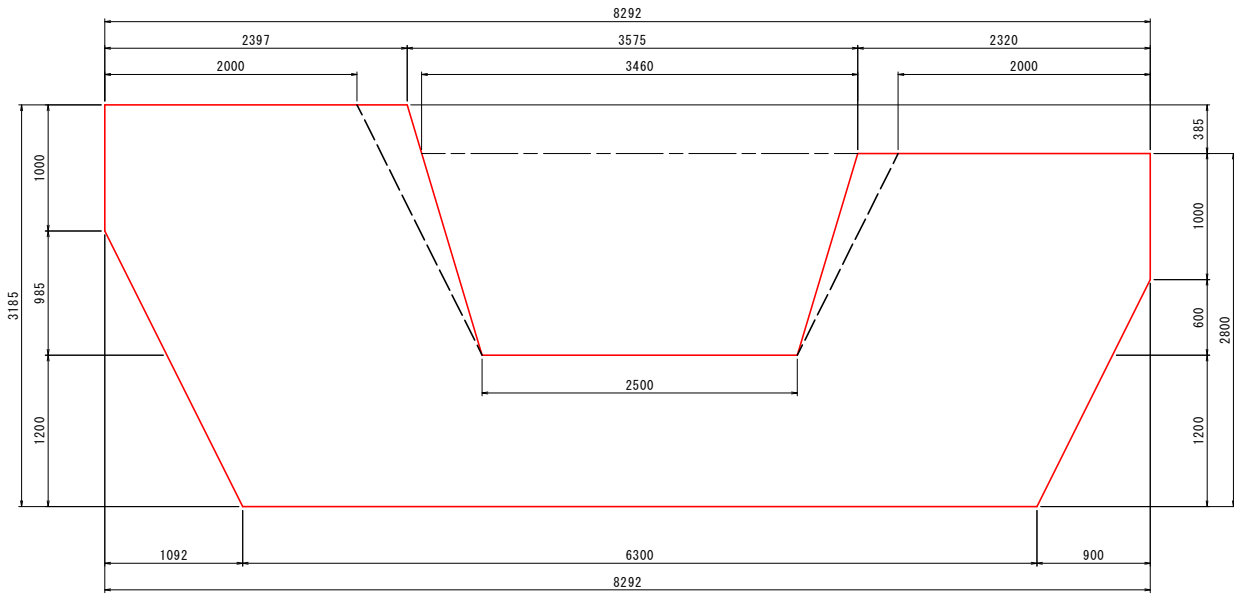
数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.54
型枠		m <sup>2</sup>	1.12
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.05

実施  
付替河川

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線(武部2工区)総合交付金(改善)工事(補正)第10種
運川港名	(一)奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	構造図(1)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量調査	
設計	
【付替河川】	18 葉の内 14

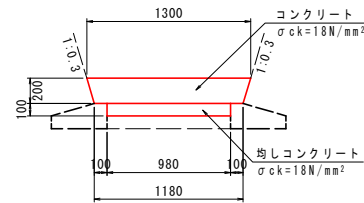
1号帯工 S=1:30



数量表 1基当り

名称	規格	単位	数量
床土砂		m <sup>3</sup>	31.6
埋戻	1.0 ≦ W < 4.0 (種別C)	m <sup>3</sup>	22.5
基面整正		m <sup>2</sup>	3.8
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	10.435
型枠		m <sup>2</sup>	38.229

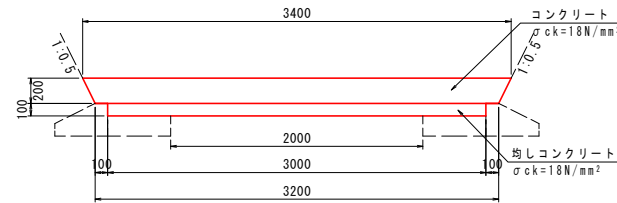
1型底張工 S=1:30



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	-
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.480
均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.980
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.346

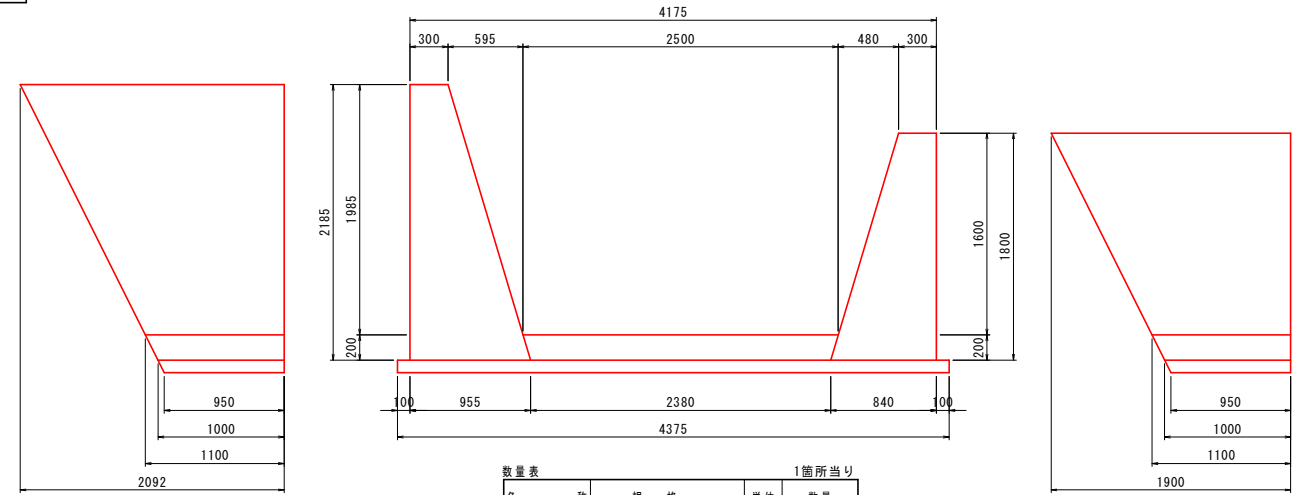
3型底張工 S=1:30



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	20.0
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	6.600
均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	3.000
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.960

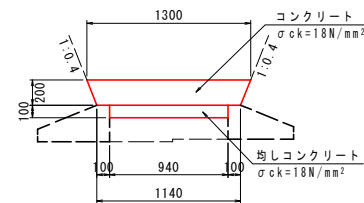
すりつけ工 S=1:30



数量表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	3.727
底張コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.512
均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.427
型枠		m <sup>2</sup>	12.239
均し型枠		m <sup>2</sup>	0.195

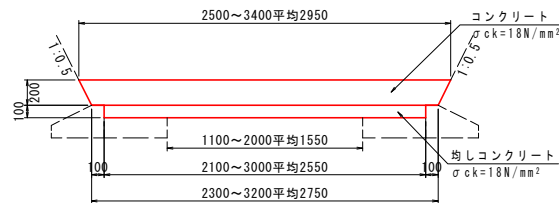
2型底張工 S=1:30



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	-
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.440
均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.940
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.338

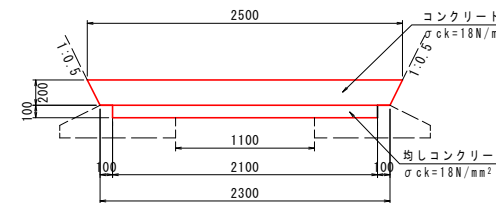
4型底張工 S=1:30



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	15.5
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	5.700
均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.550
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.825

5型底張工 S=1:30



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基面整正		m <sup>2</sup>	11.0
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	4.800
均しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.100
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.690

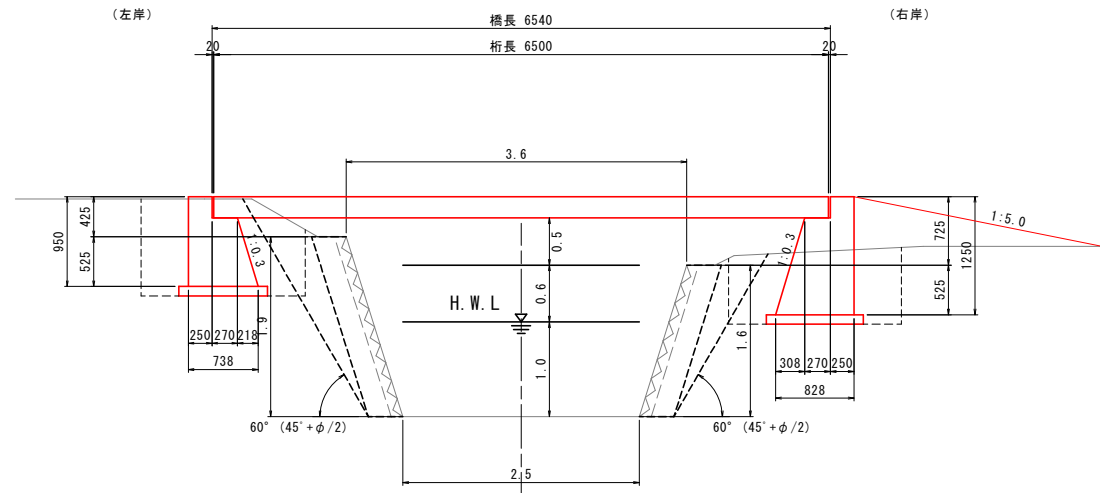
実施  
付替河川

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第18期
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	構造図 (2)
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
調査	
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 15

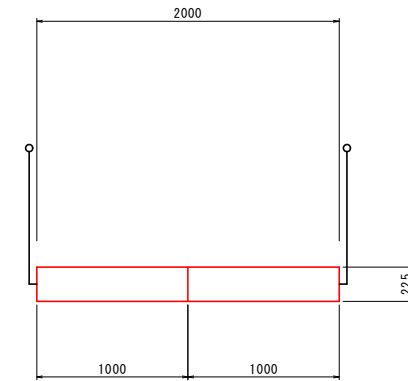
# 橋梁一般図

(残地アクセス橋梁)

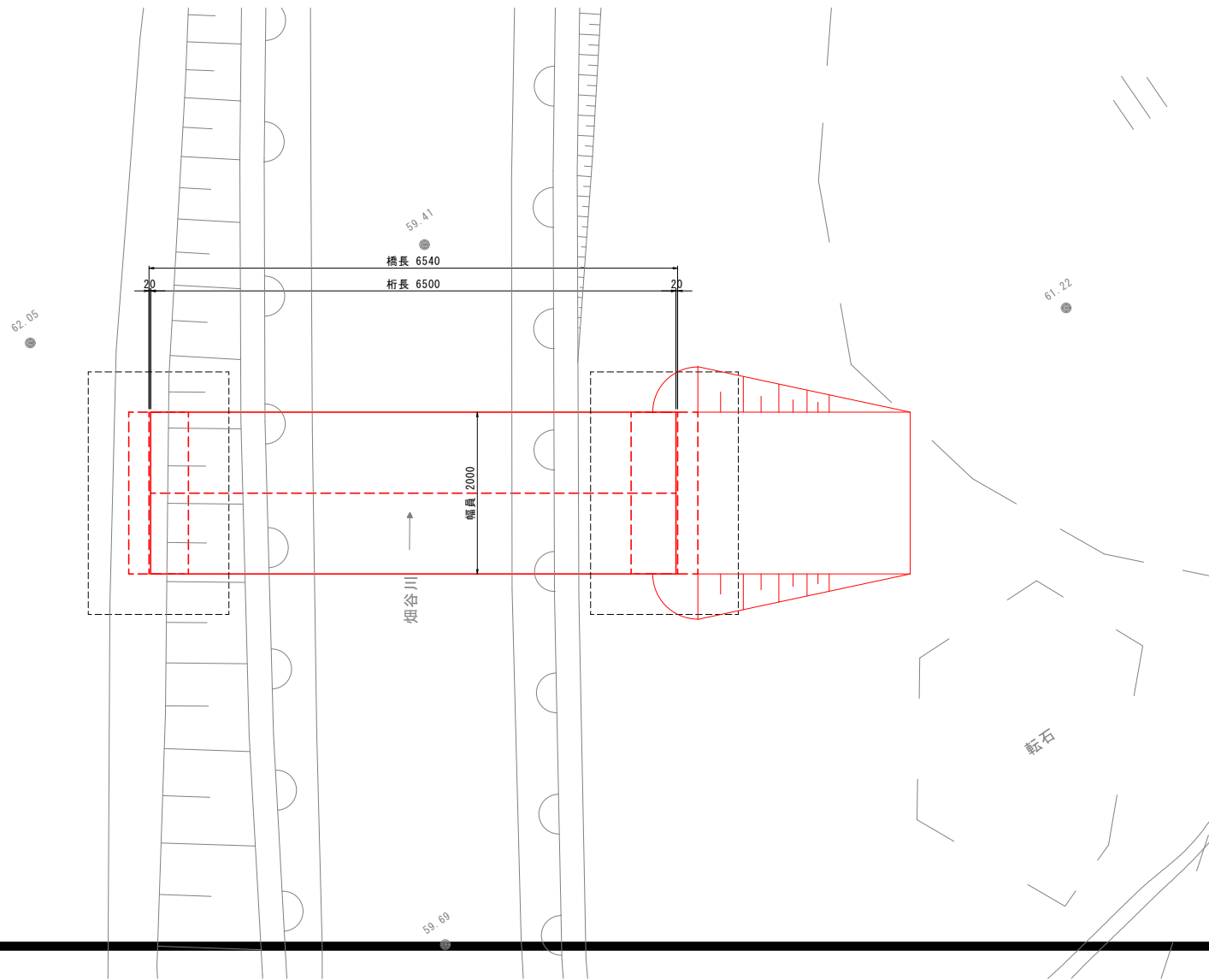
側面図 S=1:40



断面図 S=1:25



平面図 S=1:40



設計条件

橋名	里道橋 (仮称)
路線名	
河川名	畑谷川
橋種	
橋長	L = 6.540m
桁長	L = 6.500m
支間長	L = 6.300m
幅員	有効幅員 W = 2.000m 全幅員 W = 2.000m
横断勾配	LEVEL
縦断勾配	LEVEL
斜角	90° 00'
設計荷重	群集荷重 (スラブ製品はT-2対応)
雪荷重	1.0KN/m <sup>2</sup>
添架物	

※橋台下面で平板載荷試験を行い、必要な支持力を確認すること。  
 ※スラブ製品は「ニューフリースラブ T-2」を想定する。  
 ※市道舗装の復旧は原形復旧とする。

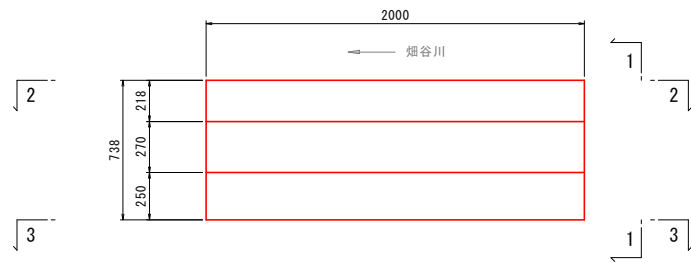
実施  
付替河川

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (奥部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 郡 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	橋梁一般図
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
項目	
調査	
設計	
	【付替河川】 18 葉の内 16

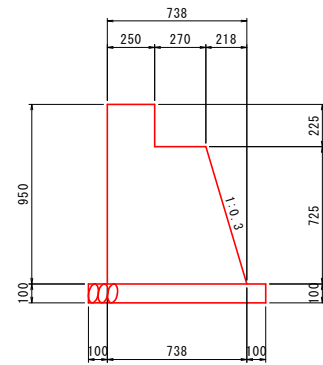
# 左岸橋台構造図

S=1:20

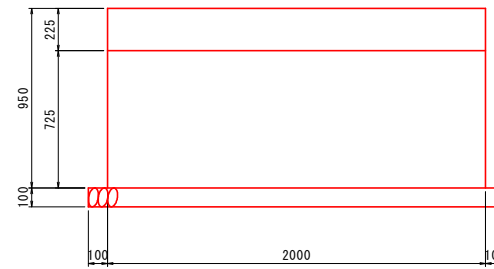
平面図



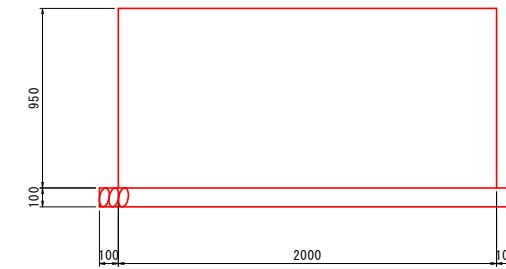
側面図(1-1)



正面図(2-2)



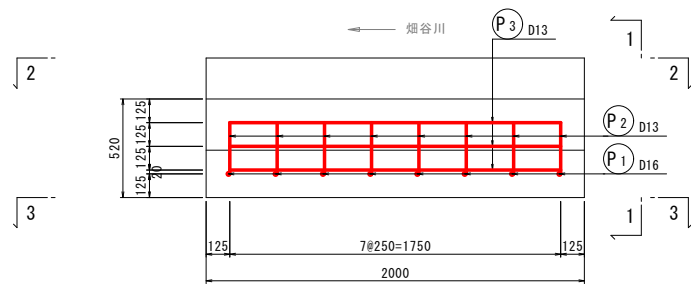
背面図(3-3)



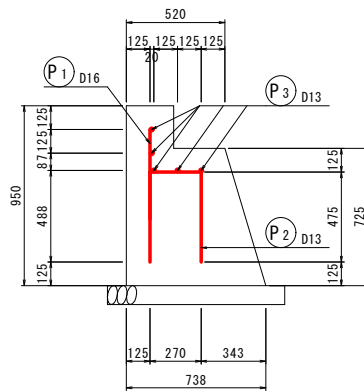
# 左岸橋台配筋造図

S=1:20

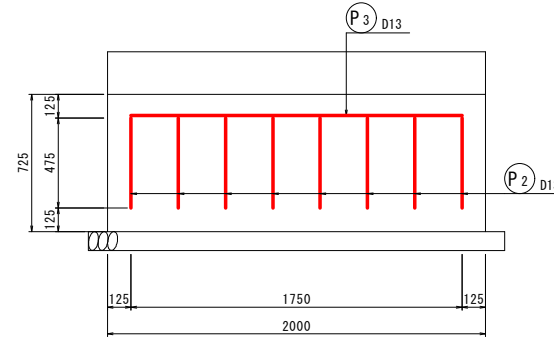
平面図



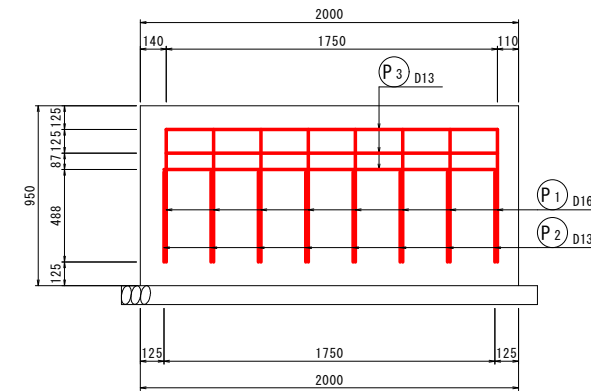
側面図(1-1)



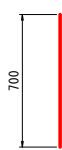
正面図(2-2)



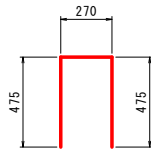
背面図(3-3)



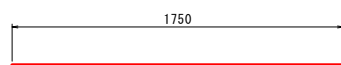
Ⓐ 8-D16 X 700



Ⓑ 8-D13 X 1220



Ⓒ 5-D13 X 1750



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 1	D16	700	8	1.56	1.09	9	
P 2	D13	1220	8	0.995	1.21	10	□
P 3	D13	1750	5	0.995	1.74	9	—
28 kg							

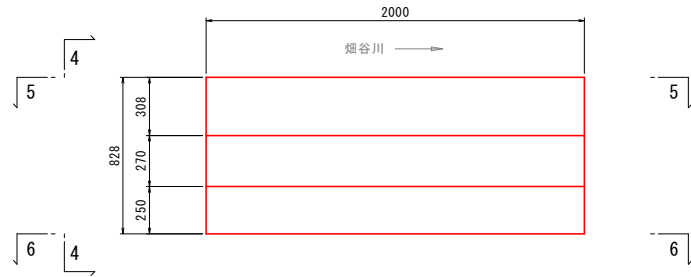
実施  
付替河川

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	左岸橋台構造図・配筋図
項目	会社名 会社及び責任者
測 量	
調 査	
設 計	
	【付替河川】 18 葉の内 17

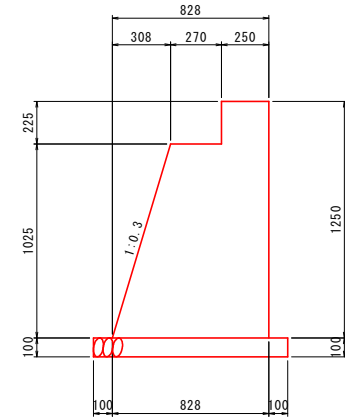
# 右岸橋台構造図

S=1:20

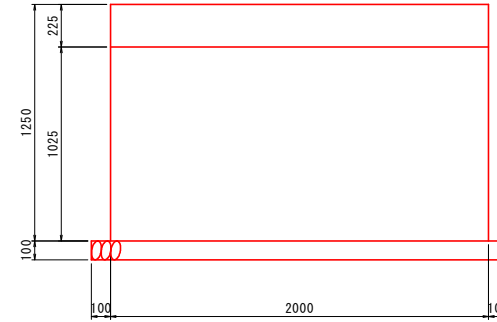
平面図



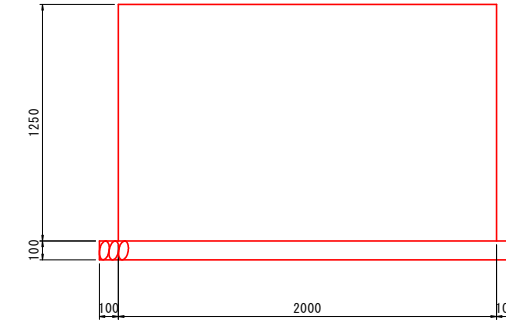
側面図(4-4)



正面図(5-5)



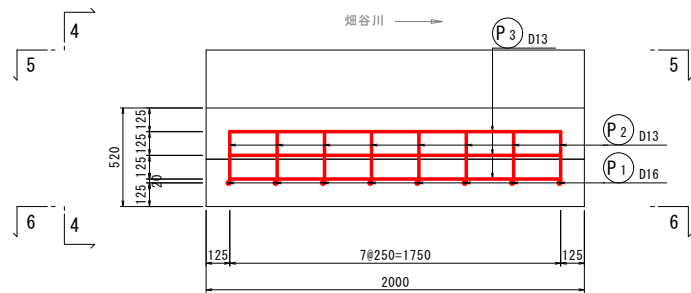
背面図(6-6)



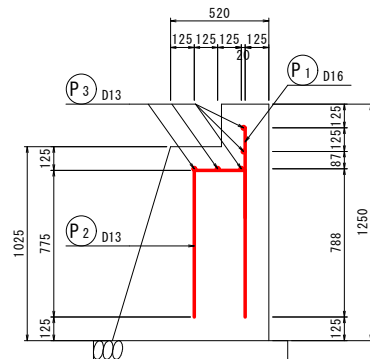
# 右岸橋台配筋図

S=1:20

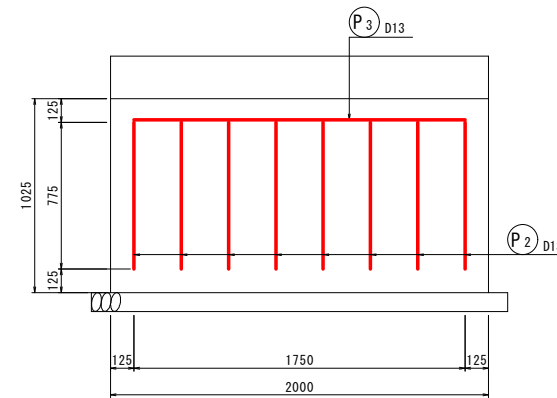
平面図



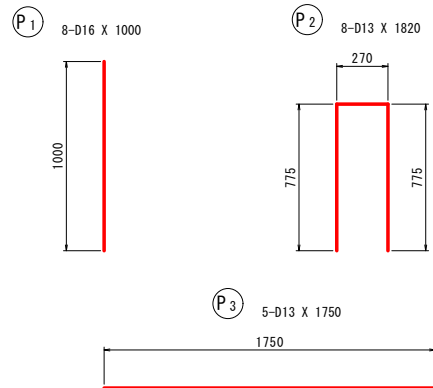
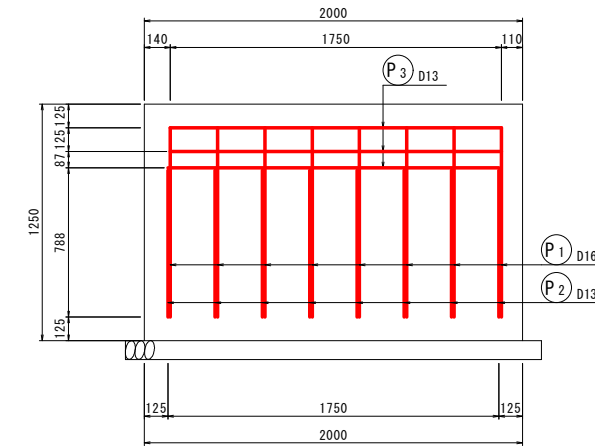
側面図(4-4)



正面図(5-5)



背面図(6-6)



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 1	D16	1000	8	1.56	1.56	12	
P 2	D13	1820	8	0.995	1.81	14	□
P 3	D13	1750	5	0.995	1.74	9	—
35 kg							

実施  
付替河川

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第1種
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	右岸橋台構造図・配筋図
項目	会社名 会社及び責任者
測 量	
設 計	
	【付替河川】 18 葉の内 18

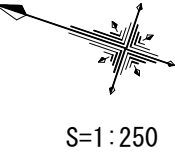
# 計画平面図 【付替道路】

IPNO	IP. 1
IA	83-04-33
R	20.000
TL	17.718
CL	28.999
SL	6.719
BC. 1	NO. 0+ 0.000
BC. 2	NO. 0+14.500
EC. 1	NO. 1+ 8.999

IPNO	IP. 2
IA	38-09-10
R	70.000
TL	24.207
CL	46.612
SL	4.068
BC. 2	NO. 1+18.622
BC. 3	NO. 4+ 5.234
EC. 2	NO. 4+ 5.234

IPNO	IP. 3
IA	54-26-10
R	15.000
TL	7.715
CL	14.251
SL	1.868
BC. 3	NO. 4+ 5.234
BC. 3	NO. 4+19.485
EC. 3	NO. 4+19.485

IPNO	IP. 4
IA	13-01-27
R	20.000
TL	2.283
CL	4.546
SL	0.130
BC. 3	NO. 4+19.485
BC. 3	NO. 5+ 1.758
EC. 3	NO. 5+ 4.031



IPNO	IP. 1
IA	100-59-32
R	6.000
TL	7.278
CL	10.576
SL	3.432
BC. 1	NO. 0+ 3.750
SP. 1	NO. 0+ 9.038
EC. 1	NO. 0+14.326

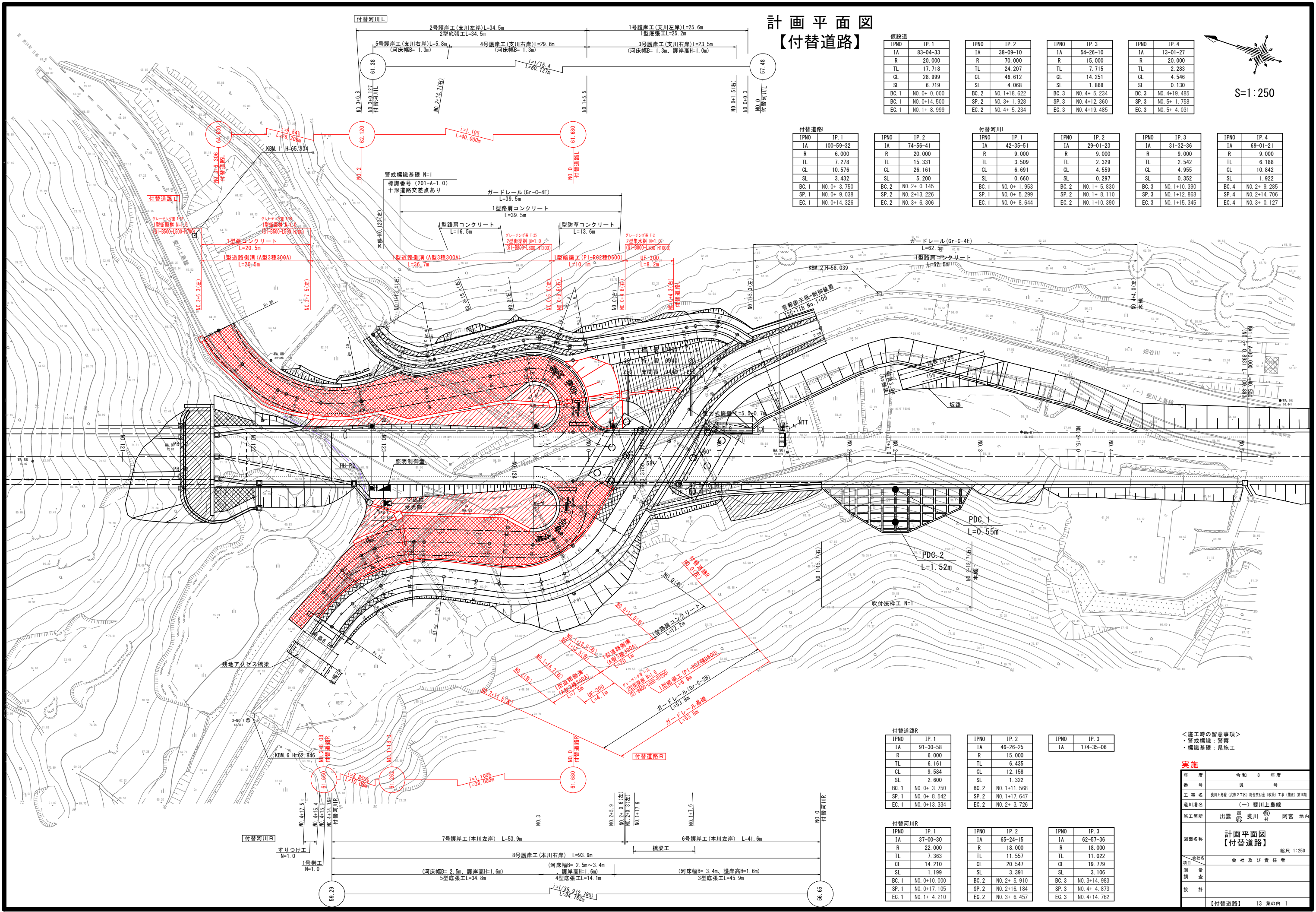
IPNO	IP. 2
IA	74-56-41
R	20.000
TL	15.331
CL	26.161
SL	5.200
BC. 2	NO. 2+ 0.145
SP. 2	NO. 2+13.226
EC. 2	NO. 3+ 6.306

IPNO	IP. 1
IA	42-35-51
R	9.000
TL	3.509
CL	6.691
SL	0.660
BC. 1	NO. 0+ 1.953
SP. 1	NO. 0+ 5.299
EC. 1	NO. 0+ 8.644

IPNO	IP. 2
IA	29-01-23
R	9.000
TL	2.329
CL	4.559
SL	0.297
BC. 2	NO. 1+ 5.830
SP. 2	NO. 1+ 8.110
EC. 2	NO. 1+10.390

IPNO	IP. 3
IA	31-32-36
R	9.000
TL	2.542
CL	4.955
SL	0.352
BC. 3	NO. 4+10.390
SP. 3	NO. 1+12.868
EC. 3	NO. 1+15.345

IPNO	IP. 4
IA	69-01-21
R	9.000
TL	6.188
CL	10.842
SL	1.922
BC. 4	NO. 2+ 9.285
SP. 4	NO. 2+14.706
EC. 4	NO. 3+ 0.127



IPNO	IP. 1
IA	91-30-58
R	6.000
TL	6.161
CL	9.584
SL	2.600
BC. 1	NO. 0+ 3.750
SP. 1	NO. 0+ 8.542
EC. 1	NO. 0+13.334

IPNO	IP. 2
IA	46-26-25
R	15.000
TL	6.435
CL	12.158
SL	1.322
BC. 2	NO. 1+11.568
SP. 2	NO. 1+17.647
EC. 2	NO. 2+ 3.726

IPNO	IP. 3
IA	174-35-06

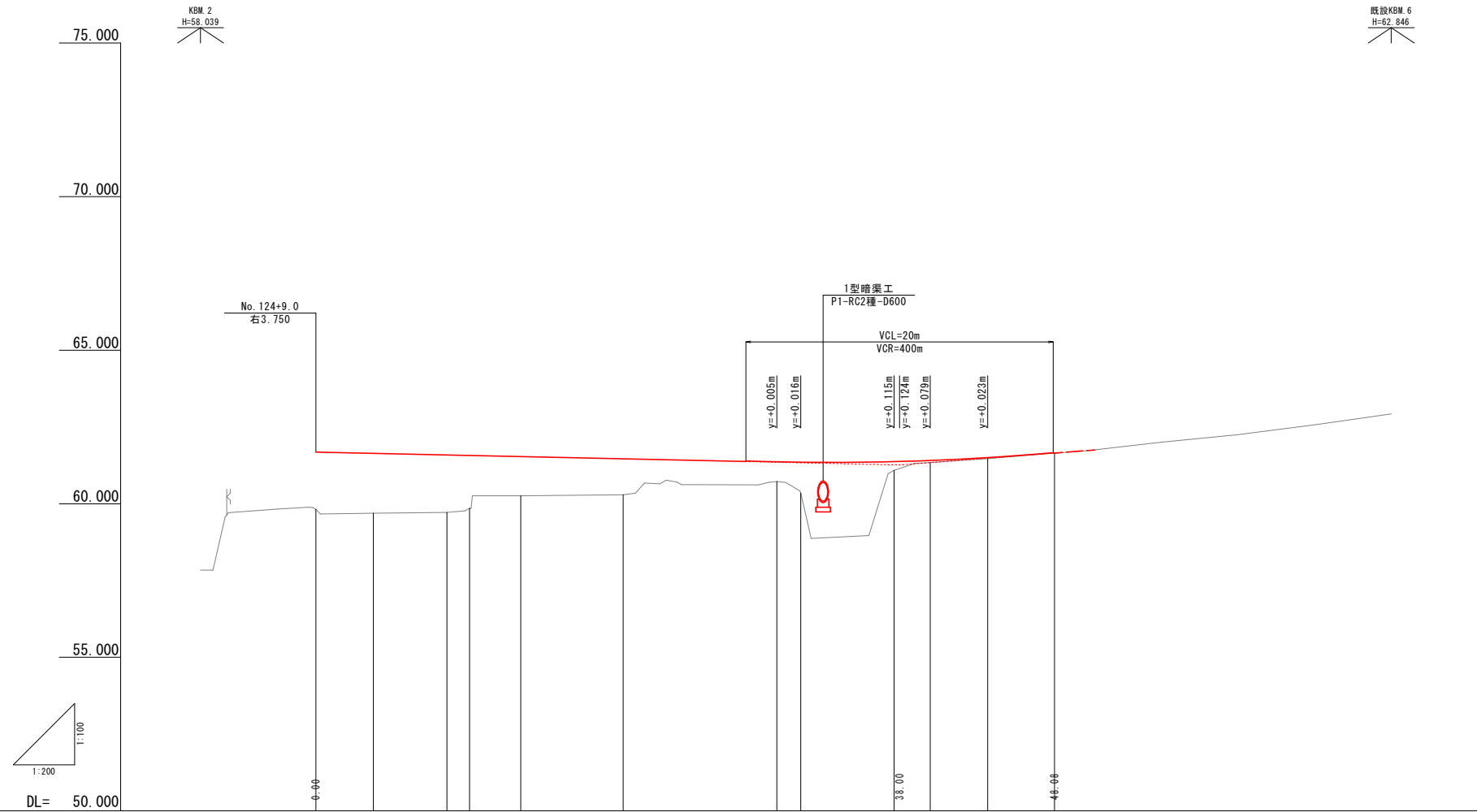
IPNO	IP. 1
IA	37-00-30
R	22.000
TL	7.363
CL	14.210
SL	1.199
BC. 1	NO. 0+10.000
SP. 1	NO. 0+17.105
EC. 1	NO. 1+ 4.210

IPNO	IP. 2
IA	65-24-15
R	18.000
TL	11.557
CL	20.547
SL	3.391
BC. 2	NO. 2+ 5.910
SP. 2	NO. 2+16.184
EC. 2	NO. 3+ 6.457

IPNO	IP. 3
IA	62-57-36
R	18.000
TL	11.022
CL	19.779
SL	3.106
BC. 3	NO. 3+14.983
SP. 3	NO. 4+ 4.873
EC. 3	NO. 4+14.762

＜施工時の留意事項＞  
 ・警戒標識：警察  
 ・標識基礎：県施工

実施	
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上高橋(奥川2工区)道路交付金(改修)工事(第1種)
通川港名	(一)奥川上高橋
施工箇所	出雲 斐川 村 阿宮 地内
図面名称	計画平面図 【付替道路】
縮尺	1:250
設計	会社及び責任者
【付替道路】	13 葉の内 1



計 面	勾配												
	計画高	61.680	61.639	61.586	61.570	61.533	61.460	61.355	61.349	61.262	61.505	61.650	
	盛土	1.86	1.95	1.87	1.72	1.27	1.17	0.64	1.00	0.29	0.08	0.04	0.00
	切土												
地盤高	59.82	59.69	59.72	59.85	60.26	60.29	60.72	60.35	61.09	61.34	61.47	61.65	
追加距離	0.00	3.75	8.54	10.00	13.33	20.00	30.00	31.58	37.07	40.00	43.76	48.08	
単距離	0.00	3.75	4.79	1.45	3.33	6.66	10.00	1.56	6.07	2.33	3.76	4.33	
測点	NO.0	BC.1	SP.1	+10.0	EC.1	NO.1	+10.0	BC.2	SP.2	NO.2	IP.3	+8.08	
曲線	IP.1 IA=91-30-58 R=6 CL=9.584 TL=6.161 SL=2.600 IP.2 IA=46-26-25 R=15 CL=12.158 TL=6.435 SL=1.322 IP.3 IA=174-35-06												
片勾配摺付け図													
拡幅													

注) TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

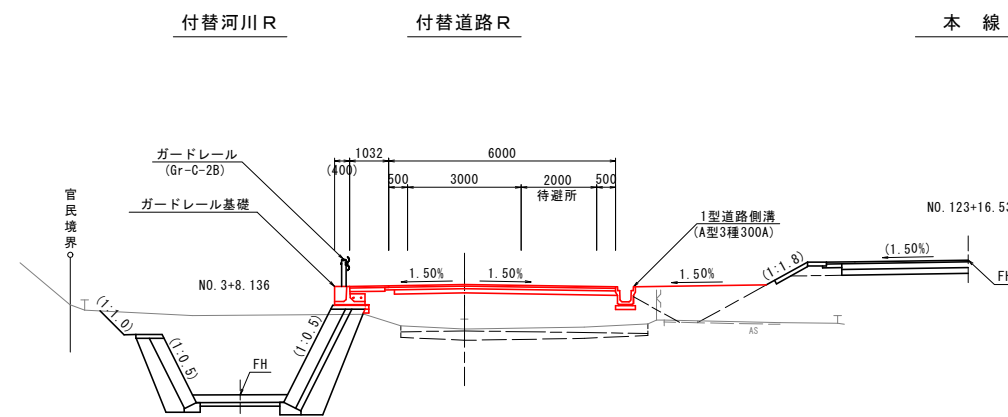
実施  
付替道路R

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改善)工事(補正)第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	縦断面図
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
項目	【付替道路】 13 葉の内 2

# 標準断面図

S=1:100

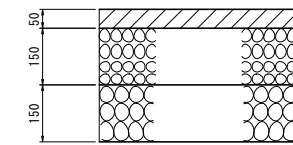
## NO.1付近



## 舗装構成

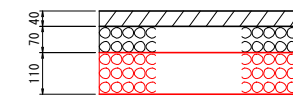
S=1:10

### 車道舗装



表層 (密粒度20ギャップ) t=5cm  
 上層路盤 (粒度調整石M-40) t=15cm  
 下層路盤 (切込砕石RC-40) t=15cm  
 交通区分 N4交通  
 設計CBR 8%

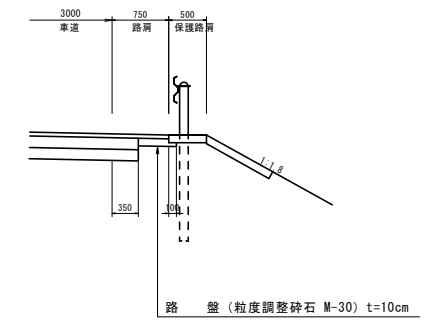
### 付替道路舗装



表層 (密粒度13スタプス60/80) t=4cm  
 上層路盤 (粒度調整石M-30) t=7cm  
 下層路盤 (切込砕石RC-30) t=11cm  
 交通区分 N1交通  
 設計CBR 8%

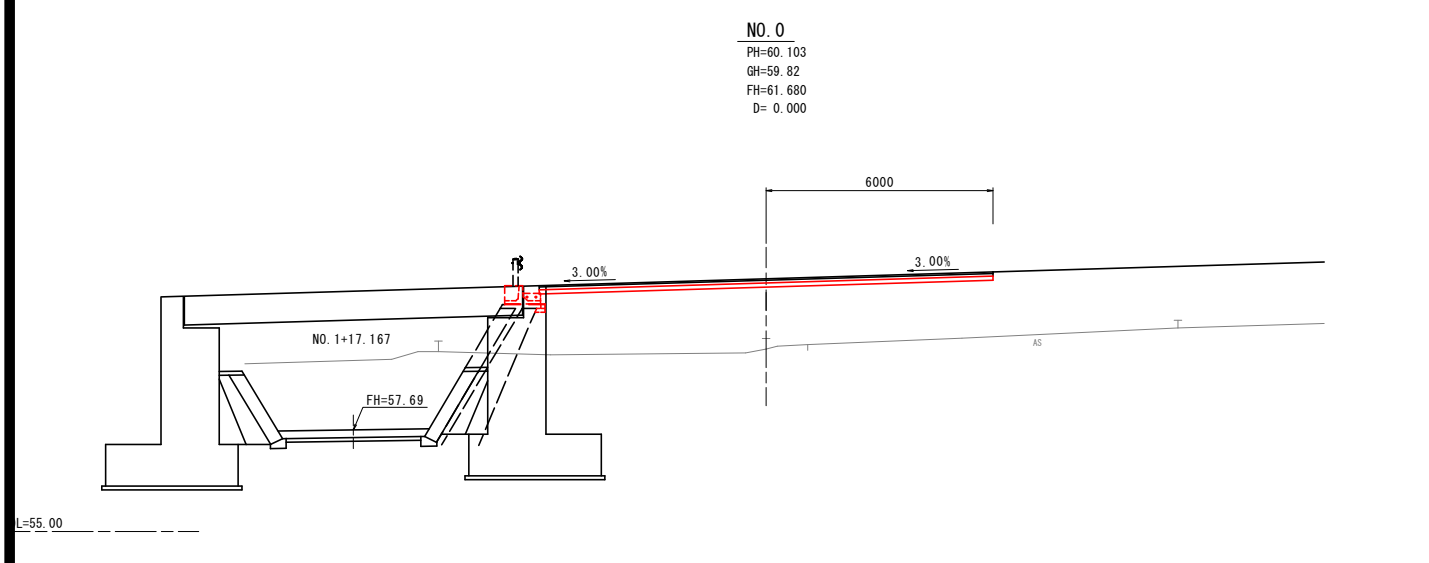
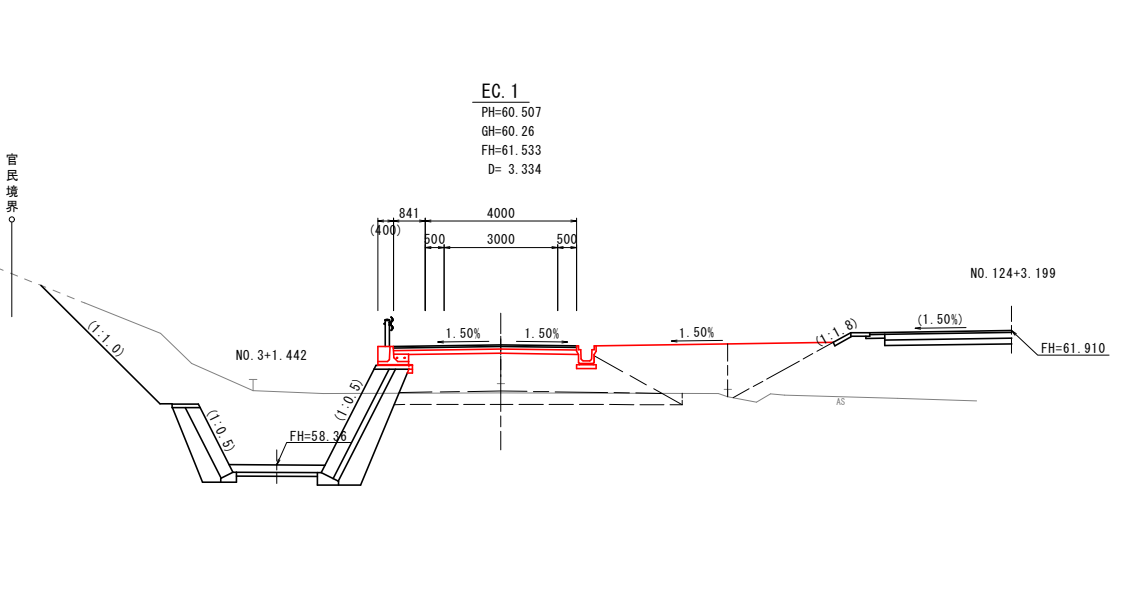
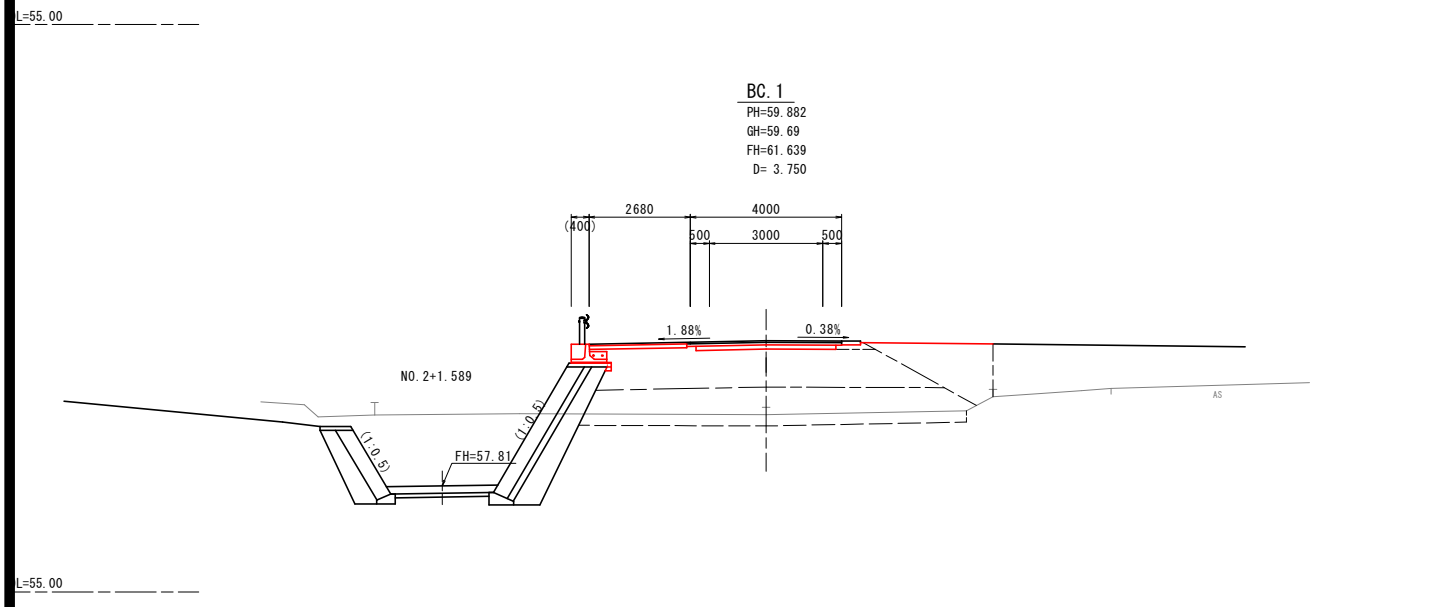
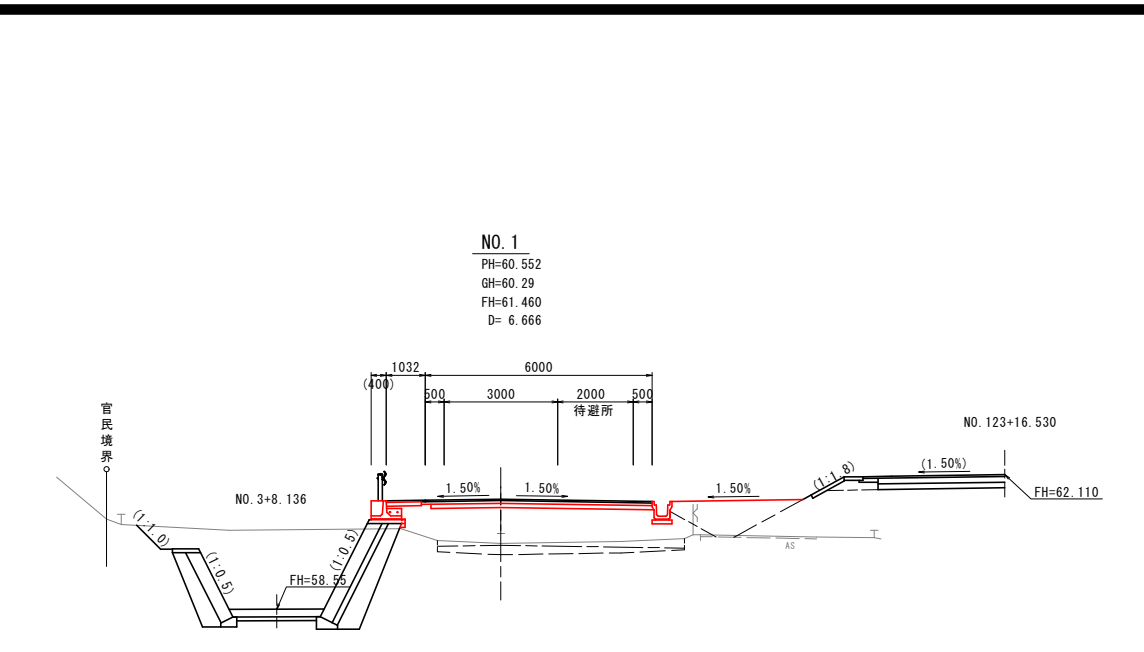
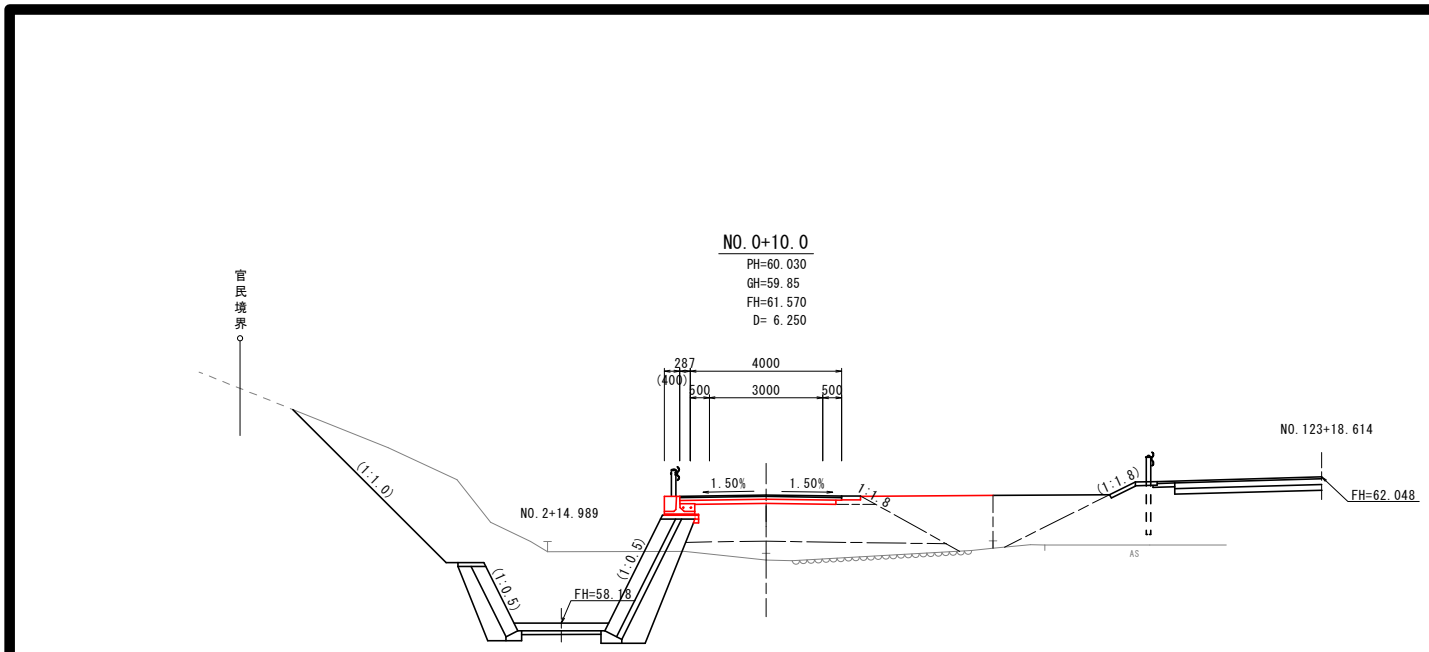
## 路肩部詳細図

S=1:50



## 実施

付替道路R	令和8年度
年度	令和8年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	標準断面図
項目	会社名 会社及び責任者 縮尺 図示
測量	
調査	
設計	
【付替道路】 13 葉の内 3	

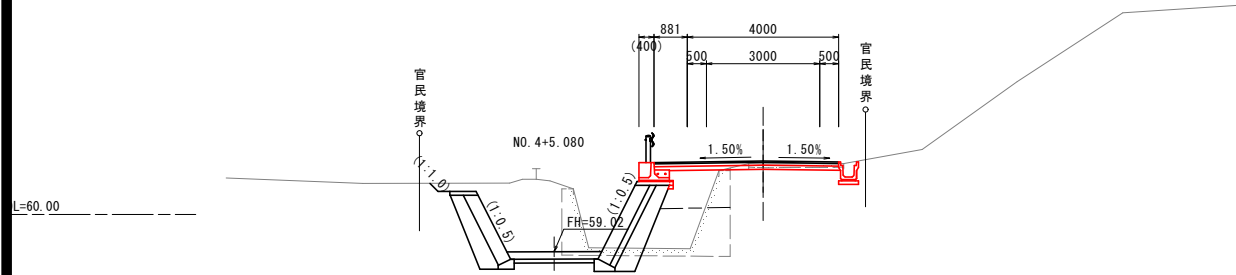


注) TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

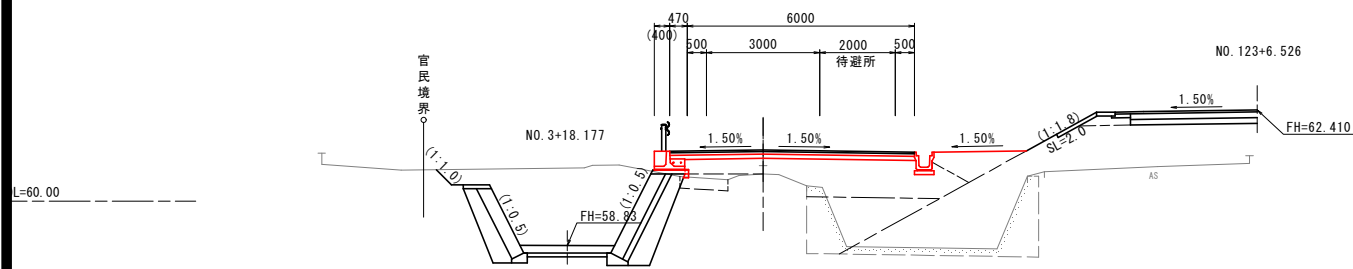
**実施**  
付替道路R

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一)斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	<b>横断面図</b> NO. 0~NO. 1 縮尺 1:100
項目	会社名 会社及び責任者
測量	
設計	
	【付替道路】 13 葉の内 4

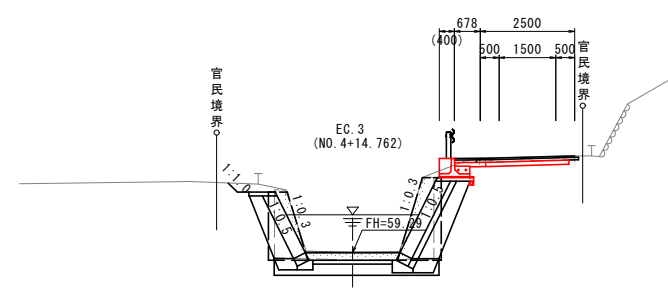
NO. 2  
 PH=61.342  
 GH=61.34  
 FH=61.418  
 D=10.000



NO. 1+10.0  
 PH=60.936  
 GH=60.72  
 FH=61.355  
 D=10.000

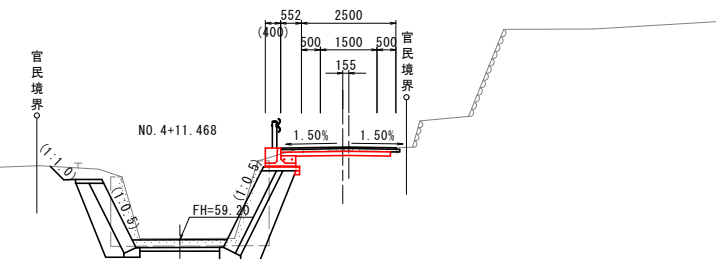


NO. 2+11.79  
 (河川 EC. 3)



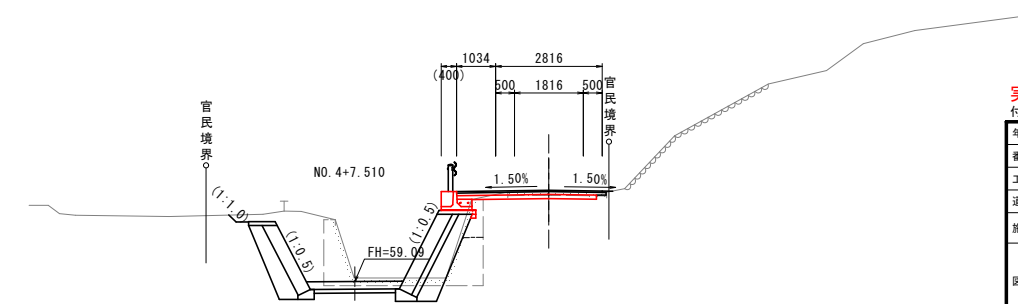
NO. 2+8.08  
 PH=61.650  
 GH=61.65  
 FH=61.650  
 D= 4.354

DL=55.00



NO. 2+3.726  
 PH=61.474  
 GH=61.47  
 FH=61.505  
 D= 3.726

DL=60.00

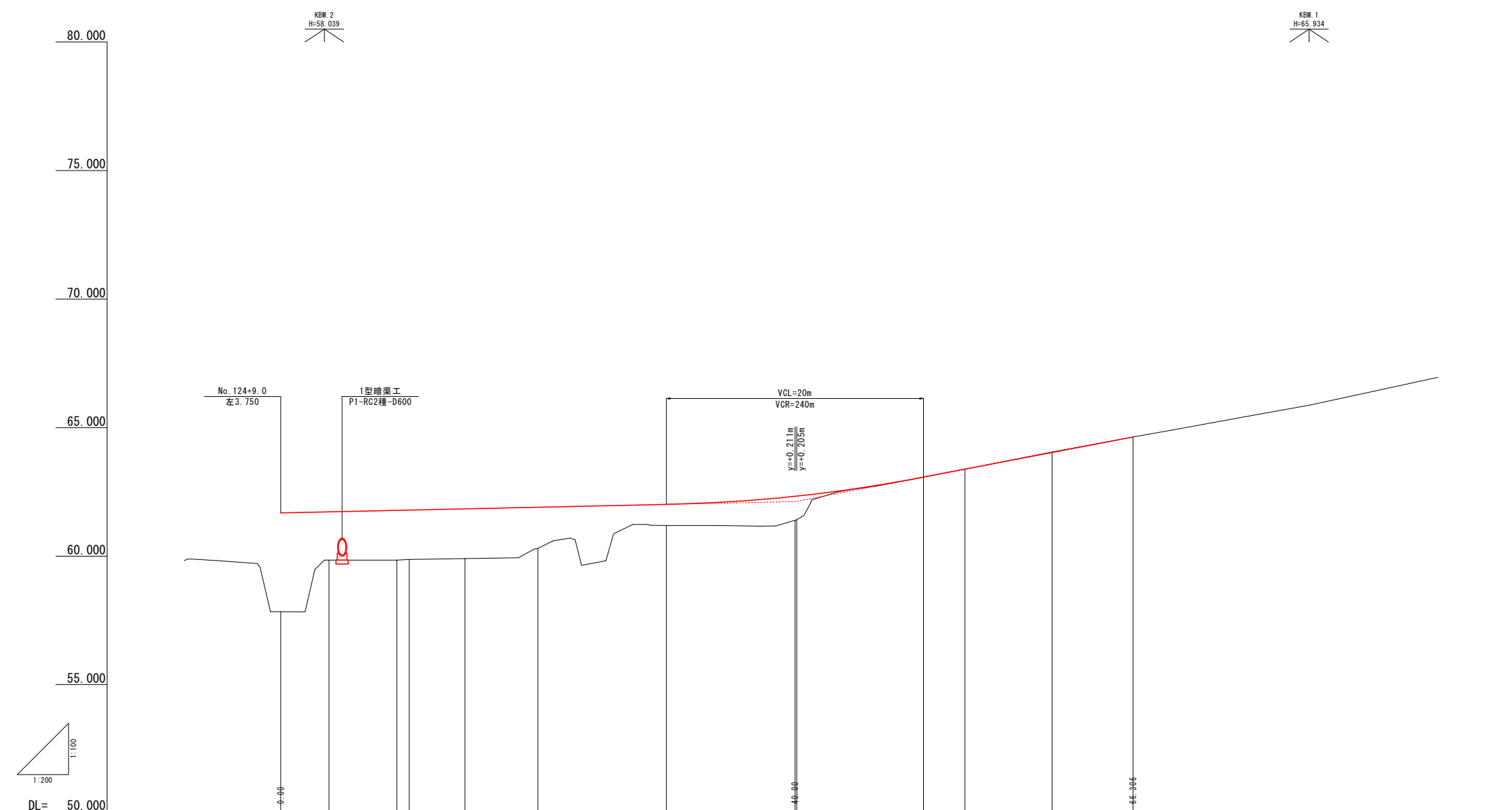


DL=60.00

注) TN工用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

実施  
 付替道路R

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	横断面図
項目	NO. 1+10.0~NO. 2+8.08 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替道路】	13 葉の内 5



勾配												
盛土	3.84	1.88	1.94	1.92	1.94	1.60	0.82	0.84	0.82	0.00	0.00	0.00
切土											0.02	0.00
計画高	61.680	61.721	61.778	61.790	61.838	61.900	62.010	62.331	63.074	63.382	64.028	64.630
地盤高	57.84	59.84	59.84	59.87	59.90	60.30	61.19	61.42	63.38	63.38	64.05	64.63
追加距離	0.000	3.750	9.038	10.000	14.326	20.000	30.000	40.000	50.000	53.226	60.000	66.306
単距離	0.000	3.750	5.288	0.962	4.326	5.674	10.000	10.000	9.885	3.226	6.774	6.306
測点	NO.0	BC.1	SP.1	+10.0	EC.1	NO.1	+10.0	NO.2	+10.0	SP.2	NO.3	EC.2
曲線	IP.1 IA=100-59-32 R=6 CL=10.576 TL= 7.278 SL= 3.432						IP.2 IA=74-56-41 R=20 CL=26.161 TL=15.331 SL= 6.290					
片勾配摺付け図												
拡幅												

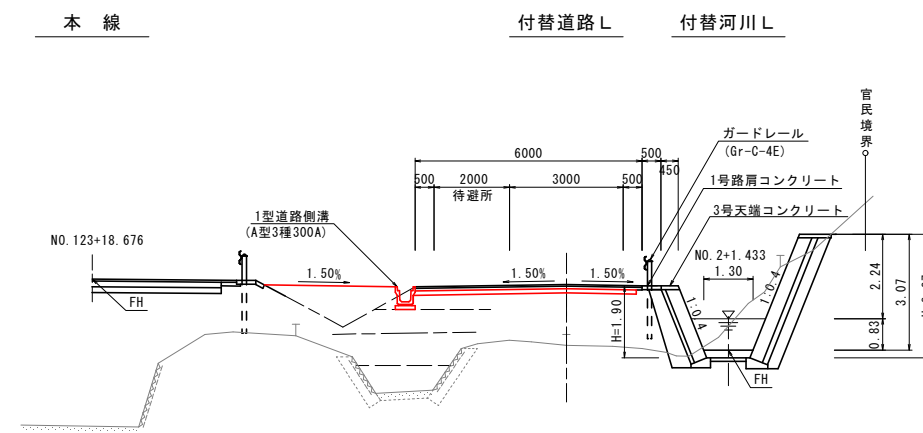
**実施**  
付替道路 L

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	縦断面図
項目	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替道路】	13 葉の内 6

# 標準断面図

S=1:100

## NO.1付近



## 舗装構成

S=1:10

### 車道舗装

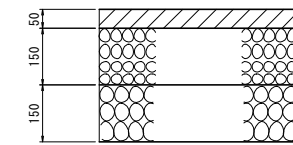


表 層 (密粒度20ギャップ)  $t=5\text{ cm}$   
 上層路盤 (粒度調整石M-40)  $t=15\text{ cm}$   
 下層路盤 (切込砕石RC-40)  $t=15\text{ cm}$   
 交通区分 N4交通  
 設計CBR 8%

### 付替道路舗装

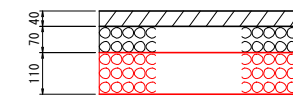
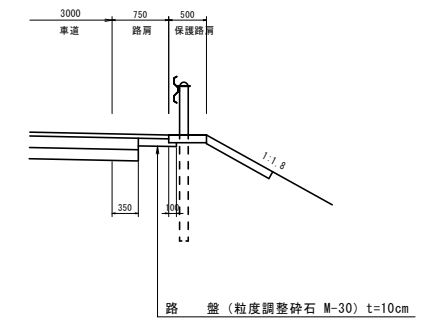


表 層 (密粒度13ストアス60/80)  $t=4\text{ cm}$   
 上層路盤 (粒度調整石M-30)  $t=7\text{ cm}$   
 下層路盤 (切込砕石RC-30)  $t=11\text{ cm}$   
 交通区分 N1交通  
 設計CBR 8%

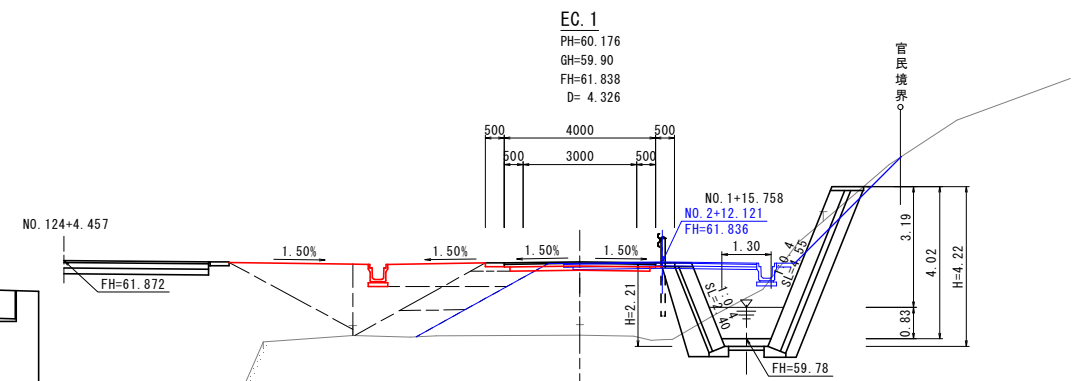
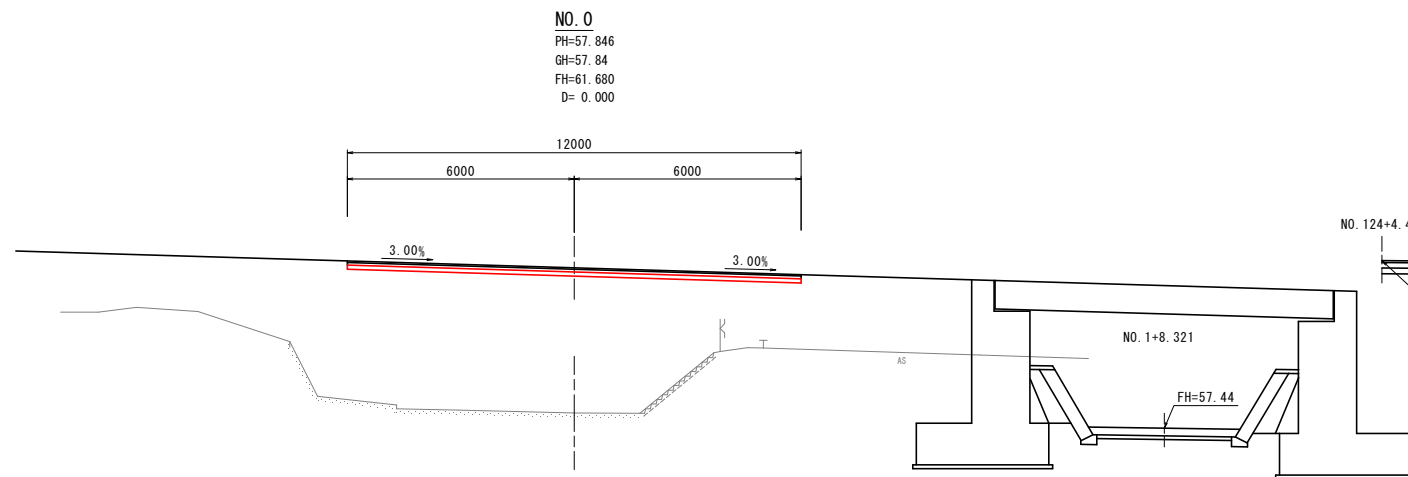
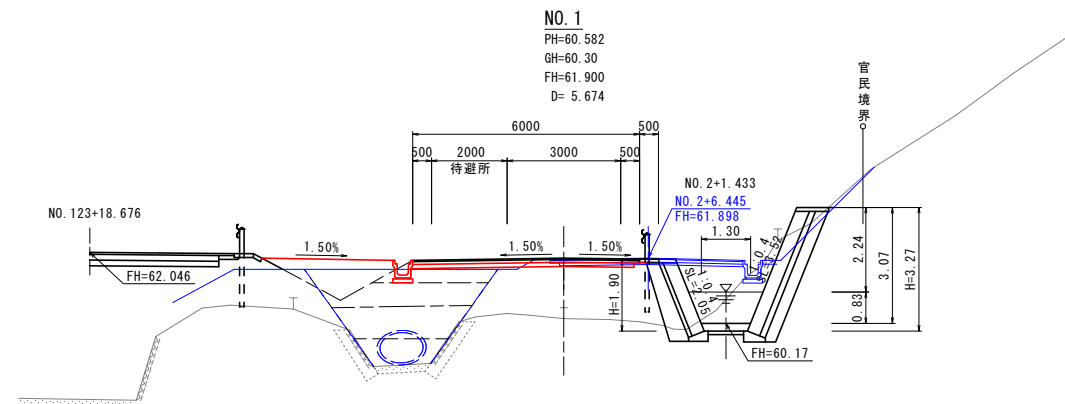
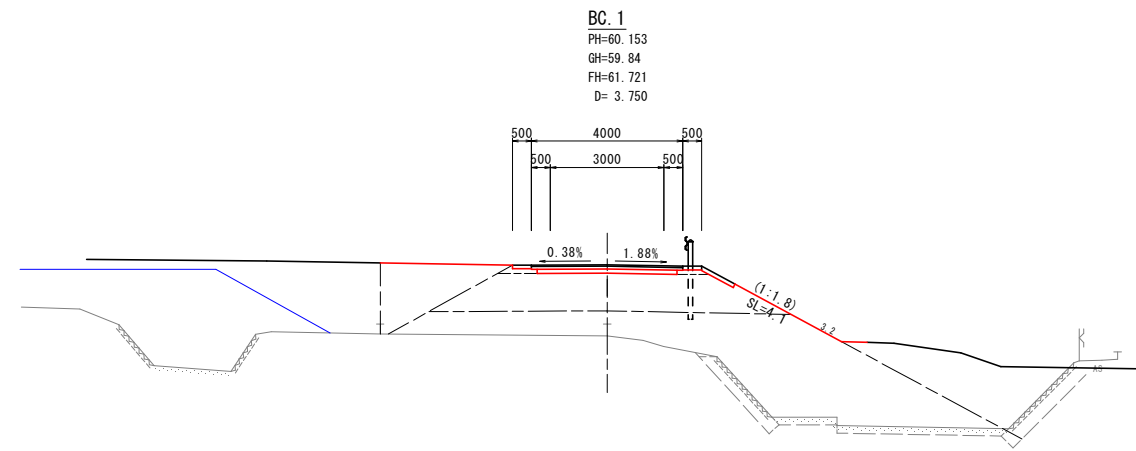
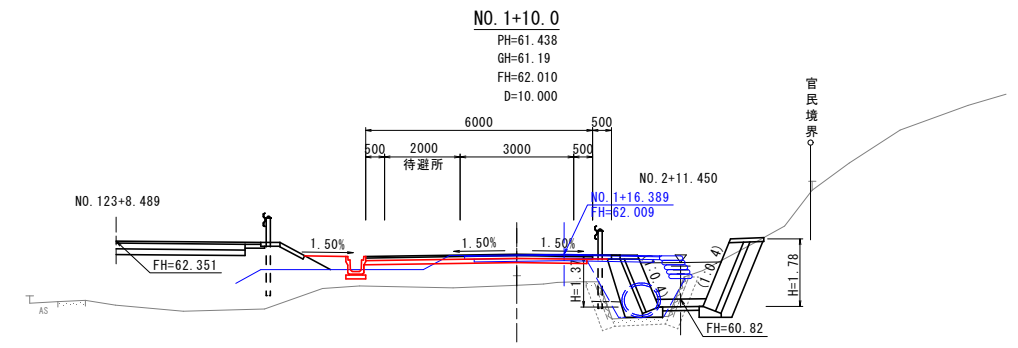
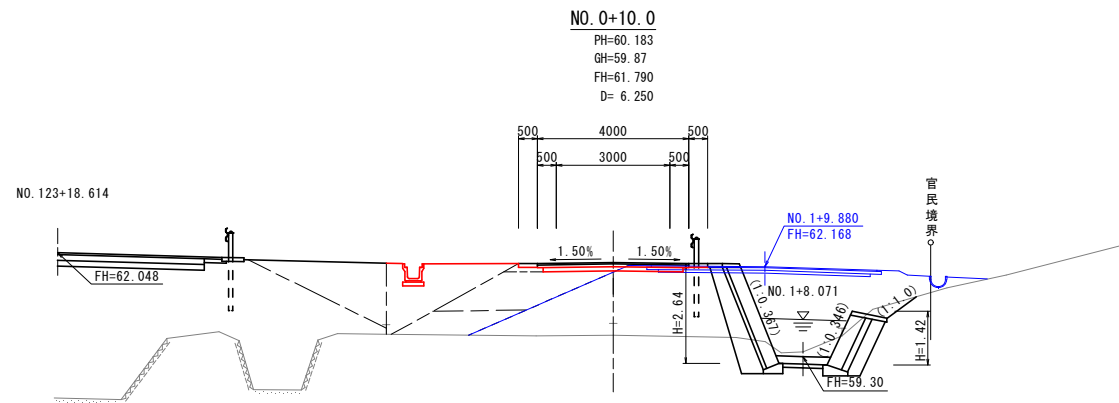
## 路肩部詳細図

S=1:50



## 実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	標準断面図
項目	会社名 会社及び責任者 縮尺 図示
測量	
調査	
設計	
【付替道路】 13 葉の内 7	



実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第10種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	横断面図
項目	NO. 0~NO. 1+10.0 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替道路】	13 葉の内 8

注) 供用中の仮設道路と横断面図に示す仮設道路(青)との差異及び、TN工事用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

SP. 2  
 PH=63.383  
 GH=63.38  
 FH=63.382  
 D= 3.226

EC. 2  
 PH=64.639  
 GH=64.63  
 FH=64.630  
 D= 6.306

DL=60.00

DL=65.00

NO. 0+13.080

NO. 3

PH=64.057  
 GH=64.05  
 FH=64.028  
 D= 6.774

NO. 2+10.0  
 PH=63.073  
 GH=63.07  
 FH=63.074  
 D=10.000

DL=60.00

DL=65.00

NO. 0+16.306

NO. 0+6.306

NO. 2  
 PH=61.645  
 GH=61.39  
 FH=62.331  
 D=10.000

NO. 122+18.303

DL=60.00

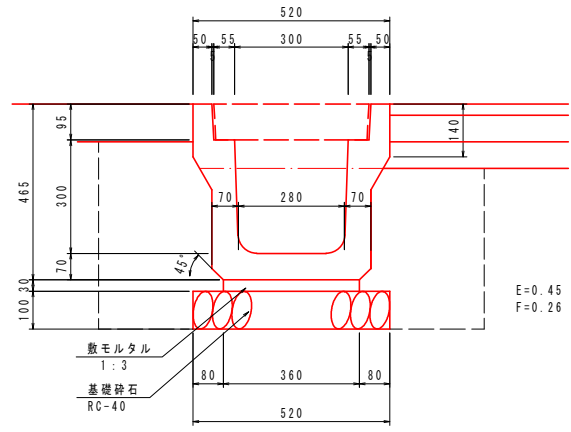
NO. 1+6.306

注) 供用中の仮設道路と横断面に示す仮設道路(青)との差異及び、TN工用ヤードと現況地盤(灰)との差異を確認すること。

実施

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線(斐川2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第10期
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	横断面図 NO. 2~EC. 2 縮尺 1:100
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替道路】	13 葉の内 9

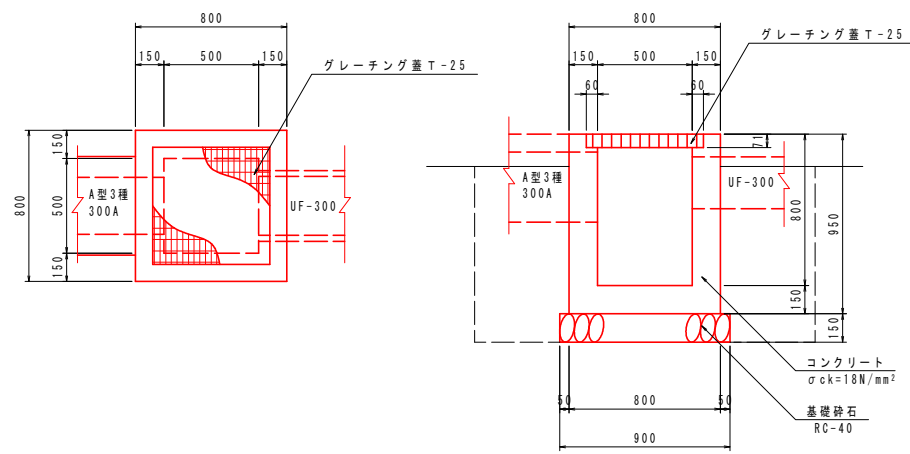
1型道路側溝  
A型3種300A S=1:10



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>2</sup>	4.5
埋 戻	W<1.0(種別D)	m <sup>2</sup>	2.6
基 面 整 正	土 砂	m <sup>2</sup>	5.2
敷モルタル	1:3 t=3cm	m <sup>2</sup>	0.108
基礎 砕 石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	5.20
側 溝	A型3種300A	m	10.0

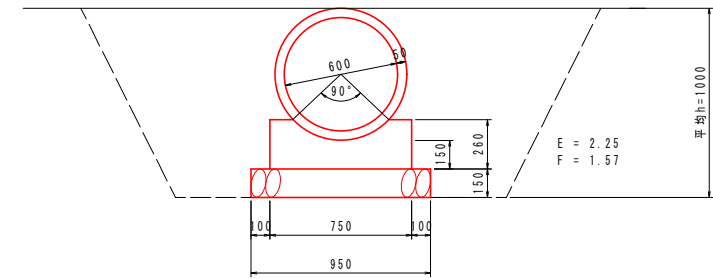
1型街渠枡  
G1-B500-L500-H700 S=1:20



数量表 1ヶ所当り

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>2</sup>	3.0
埋 戻	W<1.0(種別D)	m <sup>2</sup>	2.4
基 面 整 正	土 砂	m <sup>2</sup>	0.8
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0.392
型 枠		m <sup>2</sup>	4.94
基礎 砕 石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	0.81
グレーチング	B500-L500用 T-25	枚	1.0

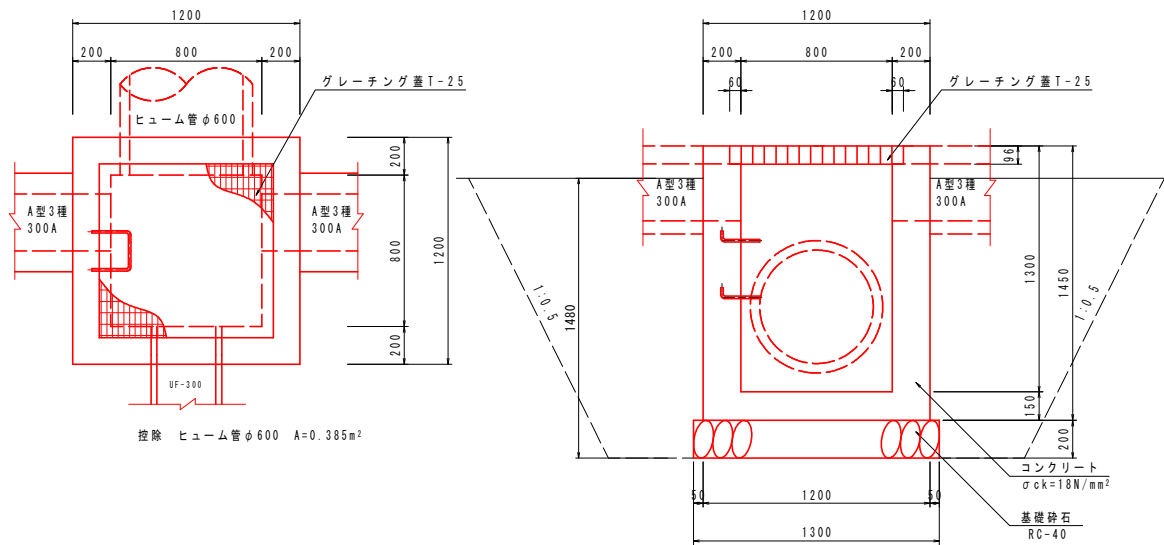
1型暗渠工  
P1-RC2種-D600 S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>2</sup>	22.5
埋 戻	1.0≦W<4.0(種別C)	m <sup>2</sup>	15.7
基 面 整 正	土 砂	m <sup>2</sup>	9.5
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1.563
型 枠		m <sup>2</sup>	5.20
基礎 砕 石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	9.50
ヒューム管	2種D600	本	4.1

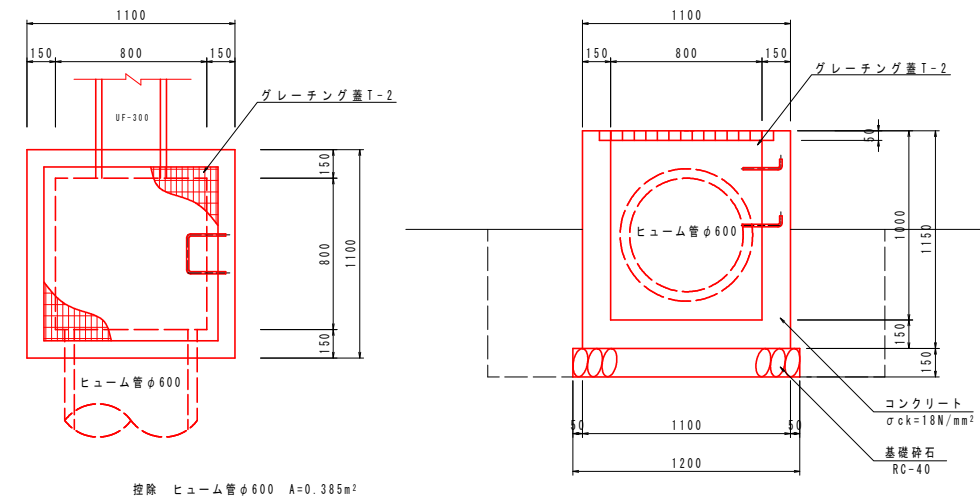
2型街渠枡  
G1-B800-L800-H1200 S=1:20



数量表 1ヶ所当り

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>2</sup>	13.6
埋 戻	1.0≦W<4.0(種別C)	m <sup>2</sup>	11.4
基 面 整 正	土 砂	m <sup>2</sup>	1.7
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1.155 (1.232)
型 枠		m <sup>2</sup>	11.60
基礎 砕 石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	1.69
グレーチング	B800-L800用 T-25	枚	1.0
足掛金具	D13	本	2.0

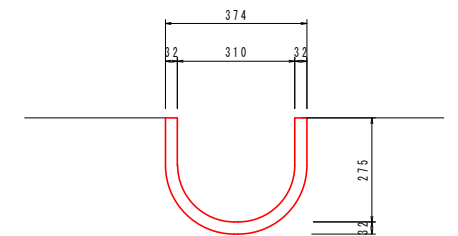
2型集水枡  
G2-B800-L800-H1000 S=1:20



数量表 1ヶ所当り

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>2</sup>	3.4
埋 戻	W<1.0(種別D)	m <sup>2</sup>	2.4
基 面 整 正	土 砂	m <sup>2</sup>	1.4
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0.694 (0.752)
型 枠		m <sup>2</sup>	8.74
基礎 砕 石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.44
足掛金具	D13	本	2.0
鉄鋼板蓋	900×900	枚	1.0

U字フリューム  
UF-300 S=1:10



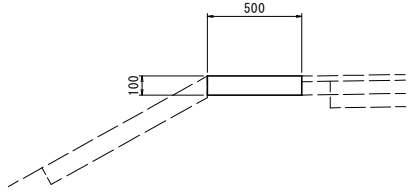
数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
基 面 整 正	土 砂	m <sup>2</sup>	2.0
U字フリューム	UF-300	m	10.0

実施  
付替道路

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改築) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	構造図 (1)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
項目	【付替道路】 13 葉の内 10

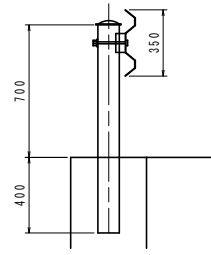
1型路肩コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.500
型枠		m <sup>2</sup>	2.00
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.05

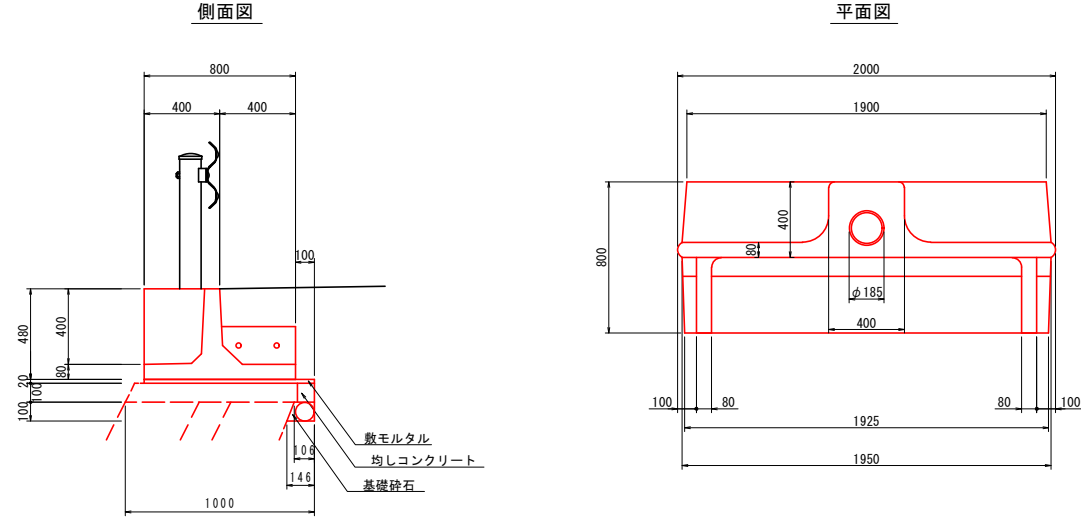
ガードレール Gr-C-2B S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
ガードレール	Gr-C-2B	m	10.0

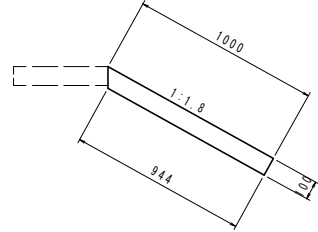
1型プレキャストガードレール基礎 S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	1.260	t=100mm
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.100	t=100mm
同上型枠		m <sup>2</sup>	-	ブロック積計上
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.180	t=20mm
間詰コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.087	
止め型枠		m <sup>2</sup>	0.240	
ガードレール基礎		個	5	

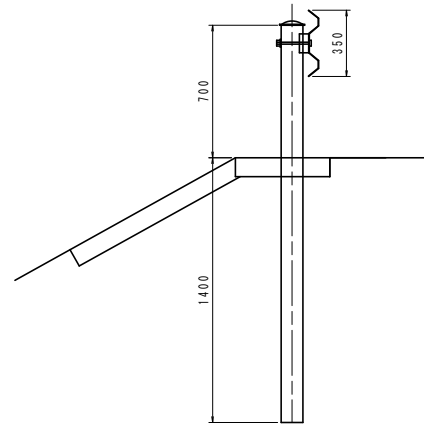
1型防草コンクリート S=1:20



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.972
型枠		m <sup>2</sup>	1.00
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.10

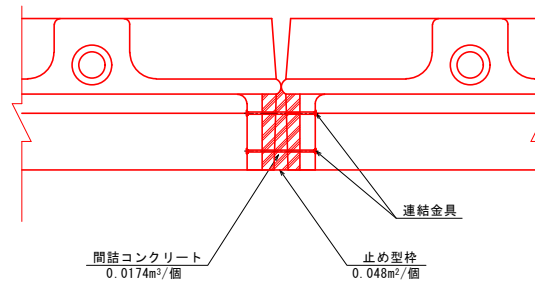
ガードレール Gr-C-4E S=1:20



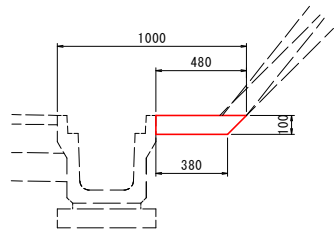
数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
ガードレール	Gr-C-4E	m	10.0

連結部詳細図



1型張コンクリート S=1:20



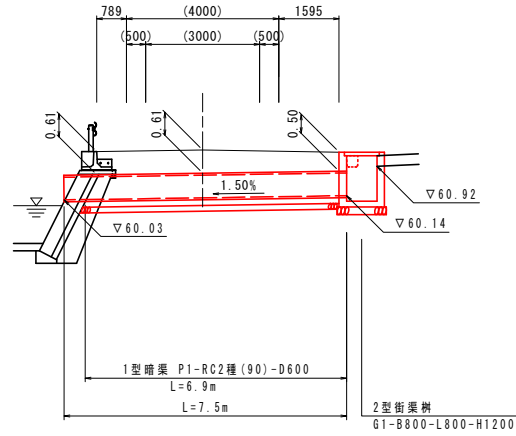
数量表

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.430
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.04

実施  
付替道路

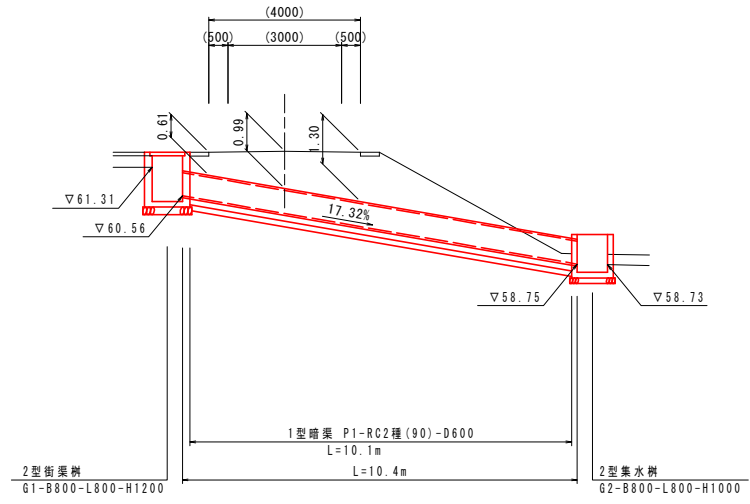
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線 (武部2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	構造図 (2)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
【付替道路】	13 葉の内 11

付替道路R  
NO. 1+13.02  
FH-61.348



DL=55.00

付替道路L  
NO. 0+4.78  
FH-61.733



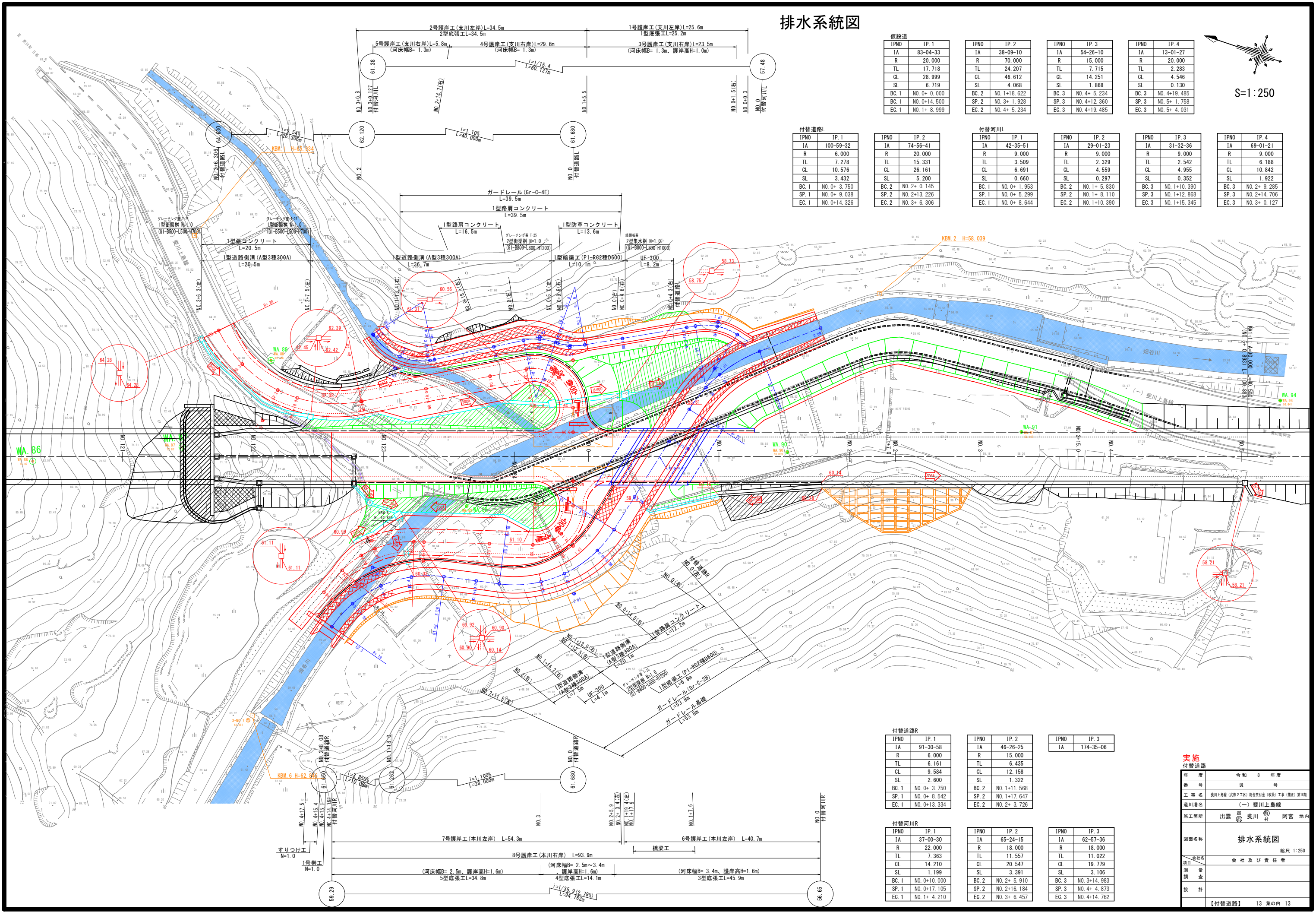
DL=55.00

実施  
付替道路

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	斐川上島線 (斐川2工区) 総合交付金 (改善) 工事 (補正) 第1種
運川港名	(一) 斐川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	布設図
項目	会社名 会社及び責任者 縮尺 図示
測量	
調査	
設計	
	【付替道路】 13 葉の内 12

# 排水系統図

S=1:250



仮設道

IPNO	IP.1
IA	83-04-33
R	20.000
TL	17.718
CL	28.999
SL	6.719
BC.1	NO.0+0.000
BC.2	NO.0+14.500
EC.1	NO.1+8.999

付替河川

IPNO	IP.2
IA	38-09-10
R	70.000
TL	24.207
CL	46.612
SL	4.068
BC.2	NO.1+18.622
SP.2	NO.3+1.928
EC.2	NO.4+5.234

付替河川

IPNO	IP.3
IA	54-26-10
R	15.000
TL	7.715
CL	14.251
SL	1.868
BC.3	NO.4+5.234
SP.3	NO.4+12.360
EC.3	NO.4+19.485

付替河川

IPNO	IP.4
IA	13-01-27
R	20.000
TL	2.283
CL	4.546
SL	0.130
BC.3	NO.4+19.485
SP.3	NO.5+1.758
EC.3	NO.5+4.031

付替道路

IPNO	IP.1
IA	100-59-32
R	6.000
TL	7.278
CL	10.576
SL	3.432
BC.1	NO.0+3.750
SP.1	NO.0+9.038
EC.1	NO.0+14.326

付替道路

IPNO	IP.2
IA	74-56-41
R	20.000
TL	15.331
CL	26.161
SL	5.200
BC.2	NO.2+0.145
SP.2	NO.2+13.226
EC.2	NO.3+6.306

付替河川

IPNO	IP.1
IA	42-35-51
R	9.000
TL	3.509
CL	6.691
SL	0.660
BC.1	NO.0+1.953
SP.1	NO.0+5.299
EC.1	NO.0+8.644

付替河川

IPNO	IP.2
IA	29-01-23
R	9.000
TL	2.329
CL	4.559
SL	0.297
BC.2	NO.1+5.830
SP.2	NO.1+8.110
EC.2	NO.1+10.390

付替河川

IPNO	IP.3
IA	31-32-36
R	9.000
TL	2.542
CL	4.955
SL	0.352
BC.3	NO.1+10.390
SP.3	NO.1+12.868
EC.3	NO.1+15.345

付替河川

IPNO	IP.4
IA	69-01-21
R	9.000
TL	6.188
CL	10.842
SL	1.922
BC.3	NO.2+9.285
SP.3	NO.2+14.706
EC.3	NO.3+0.127

付替道路

IPNO	IP.1
IA	91-30-58
R	6.000
TL	6.161
CL	9.584
SL	2.600
BC.1	NO.0+3.750
SP.1	NO.0+8.542
EC.1	NO.0+13.334

付替道路

IPNO	IP.2
IA	46-26-25
R	15.000
TL	6.435
CL	12.158
SL	1.322
BC.2	NO.1+11.568
SP.2	NO.1+17.647
EC.2	NO.2+3.726

付替道路

IPNO	IP.3
IA	174-35-06

付替河川

IPNO	IP.1
IA	37-00-30
R	22.000
TL	7.363
CL	14.210
SL	1.199
BC.1	NO.0+10.000
SP.1	NO.0+17.105
EC.1	NO.1+4.210

付替河川

IPNO	IP.2
IA	65-24-15
R	18.000
TL	11.557
CL	20.547
SL	3.391
BC.2	NO.2+5.910
SP.2	NO.2+16.184
EC.2	NO.3+6.457

付替河川

IPNO	IP.3
IA	62-57-36
R	18.000
TL	11.022
CL	19.779
SL	3.106
BC.3	NO.3+14.983
SP.3	NO.4+4.873
EC.3	NO.4+14.762

実施 付替道路

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	奥川上島線(武部2工区) 建設交付金(改築) 工事(補正) 第1種
通川港名	(一) 奥川上島線
施工箇所	出雲 斐川 阿宮 地内
図面名称	排水系統図
縮尺	1:250
会社名	会社及び責任者
調査	
設計	
【付替道路】	13 葉の内 13